

世論調査結果報告書
令和2年9月調査

都民生活に関する世論調査

令和3年1月

 東京都生活文化局

ま え が き

「都民生活に関する世論調査」は、都民の日常生活に関わる意識や、都政に何を望んでいるかなどを調査し、今後の都政運営に役立てることを目的として実施しています。

経年調査の項目（「暮らし」「住んでいる地域」「東京」「都政への要望」）では、過去の調査結果をもとに意識の変化を把握しています。

今回は、経年調査の他に「都民のスポーツ活動の実施状況や障害者スポーツへの関心」を調査しました。

この世論調査が、行政担当者のみならず、広く都民の方々や、都民の生活意識に関心のある方々のお役に立てれば幸いです。

最後に、この世論調査にご協力いただいた多くの皆様に深く感謝申し上げます。

※ 「都民生活に関する世論調査」は、昭和43年から毎年実施してきた「都市生活に関する世論調査」と、昭和47年から毎年実施してきた「都民要望に関する世論調査」を平成10年に統合したものです。

令和3年1月

東京都生活文化局広報広聴部

目 次

※印は過去の調査結果を掲載する質問項目

調査実施の概要	①～⑤
調査結果の詳細	1
1 暮らし	3
※1-1 暮らしむきの変化	3
※1-2 暮らしの余裕	9
※1-3 生活程度	14
※1-4 これからの暮らしむき	18
※1-5 今後切りつめていくもの	23
※1-6 生活満足度	26
※1-7 満足の理由	30
※1-8 不満の理由	33
※1-9 今後の生活の不安	36
※1-10 税金への関心度とその内容	40
2 住んでいる地域	46
※2-1 地域の住みよさ	46
※2-2 地域定住意向	50
3 東京	60
※3-1 東京の住みよさ	60
※3-2 東京定住意向	66
4 都政への要望	79
※4-1 これからの都政の進め方	79
4-2 新型コロナウイルス感染症対策	82
※4-3 都政への要望	85
4-4 具体的な要望施策	89
5 都民のスポーツ活動・障害者スポーツ	95
※5-1 スポーツ・運動の1年間の実施状況	95
※5-2 スポーツ・運動を実施した理由	102
※5-3 スポーツ・運動を実施した日数(頻度)	105
※5-4 スポーツ・運動の実施頻度が週1日未満の理由	112
5-5 新型コロナウイルス感染症によるスポーツ・運動習慣の変化	115
※5-6 障害者スポーツへの関心度	119
※5-7 障害者・スポーツに関心がない理由	123
調査票及び単純集計結果	127
付属資料	151

調査実施の概要

1 調査目的

都民の日常生活に関わる意識や東京に対する意識を捉えるとともに、都政に対する都民の意識や意見・要望を把握し、今後の都政運営の参考とする。

また、今回は随時テーマとして、都民のスポーツ活動の実施状況や障害者スポーツへの関心について把握し、スポーツ都市東京の実現に向けたスポーツ推進策展開のための参考とする。

2 調査項目

- (1) 暮らし
- (2) 住んでいる地域
- (3) 東京
- (4) 都政への要望
- (5) 都民のスポーツ活動・障害者スポーツ

3 調査設計

- (1) 調査対象：東京都全域に住む満18歳以上の男女個人
- (2) 標本数：4,000標本〔令和元年までは3,000標本〕
- (3) 標本抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
- (4) 調査方法：郵送法（郵送配布・郵送回収、WEB〔インターネット〕回答併用）
〔令和元年までは個別訪問面接聴取法〕
- (5) 調査期間：令和2年9月4日～10月4日（当初の9月27日までを期間延長）
- (6) 調査実施機関：株式会社 RJCリサーチ

4 回収結果

- (1) 有効回収標本数（率） 2,273標本（56.8%）〔うち郵送1,546標本、インターネット727標本〕
- (2) 未完了標本数（率） 1,727標本（43.2%）

未完了標本内訳

	無効回収	転居	拒否	高齢・病気等	宛先不明	未回収	その他
1,727標本	170	4	7	13	94	1,437	2
比率(%)	9.8	0.2	0.4	0.8	5.4	83.2	0.1

(3) 性・年齢別回収結果

	男性			女性			無回答 回収数	合計		
	標本数	回収数	回収率(%)	標本数	回収数	回収率(%)		標本数	回収数	回収率(%)
18・19歳	35	10	28.6	44	20	45.5	-	79	30	38.0
20代	316	126	39.9	294	136	46.3	2	610	264	43.3
30代	357	147	41.2	334	202	60.5	1	691	350	50.7
40代	401	184	45.9	349	204	58.5	1	750	389	51.9
50代	327	175	53.5	290	196	67.6	1	617	372	60.3
60代	272	178	65.4	215	165	76.7	1	487	344	70.6
70歳以上	335	228	68.1	431	280	65.0	8	766	516	67.4
無回答		1			-		7		8	
合計	2,043	1,049	51.3	1,957	1,203	61.5	21	4,000	2,273	56.8

(注) 平成28年度より、選挙年齢の引下げに伴い、18・19歳を調査対象者に加えた。

5 標本構成 (n=2,273)

上段：実数
下段：(%)

(1) 性別

男	女	無回答	計
1,049	1,203	21	2,273
46.2	52.9	0.9	100.0

(2) 年齢

	18・19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年齢無回答	計
男	10	126	147	184	175	178	228	1	1,049
	0.4	5.5	6.5	8.1	7.7	7.8	10.0	0.0	46.2
女	20	136	202	204	196	165	280	-	1,203
	0.9	6.0	8.9	9.0	8.6	7.3	12.3	-	52.9
性別無回答	-	2	1	1	1	1	8	*7	21
	-	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.3	0.9
計	30	264	350	389	372	344	516	8	2,273
	1.3	11.6	15.4	17.1	16.4	15.1	22.7	0.4	100.0

*性・年齢とも無回答

(3) 職業 ※ 年齢別職業分布はP④参照

自営・家族従業 (計)					勤め (計)							無職				無回答	計
農林漁業	サービス業	商工	自由業	無回答	経営・管理職	専門・技術職	事務職	労務・技能職	販売・サービス職	無回答	主婦・主夫	無職の学生	その他の無職				
303	3	206	87	7	1,209	117	347	244	117	289	95	400	80	242	39	2,273	
13.3	0.1	9.1	3.8	0.3	53.2	5.1	15.3	10.7	5.1	12.7	4.2	17.6	3.5	10.6	1.7	100.0	

(4) 雇用形態 (勤めのみ n=1209)

正社員、正規職員				派遣、契約・嘱託・パート・アルバイトなど				無回答	計
男	女	無回答		男	女	無回答			
777	462	314	1	311	110	199	2	121	1,209
64.3	38.2	26.0	0.1	25.7	9.1	16.5	0.2	10.0	100.0

(5) 住居形態

持家 (計)	持家以外 (計)			民間の借家 (二戸建)	民間の借家 (賃貸マンション・アパートなど集合住宅)	都市機構 (旧公団)・公社・公営の賃貸住宅・アパート	社宅・公務員住宅など給与住宅	住み込み・寮・寄宿舎など	その他	無回答	計
	持家 (二戸建)	持家 (分譲マンションなど集合住宅)	持家 (分譲マンションなど集合住宅)								
1,398	1,002	396	861	45	597	121	35	23	40	14	2,273
61.5	44.1	17.4	37.9	2.0	26.3	5.3	1.5	1.0	1.8	0.6	100.0

(6) 未・既婚

未 婚 (計)				既 婚 (計)						無回答	計
男	女	無回答		有配偶		離・死別		無回答			
				男	女	男	女				
646	320	321	5	1,615	636	629	88	246	16	12	2,273
28.4	14.1	14.1	0.2	71.1	28.0	27.7	3.9	10.8	0.7	0.5	100.0

(7) 共働き状況（既婚・有配偶のみ：性別無回答を含む n=1,277）

共働きをしている（計）				共働きをしていない（計）				無回答	計
男	女	無回答		男	女	無回答			
668	308	358	2	605	328	267	10	4	1,277
52.3	24.1	28.0	0.2	47.4	25.7	20.9	0.8	0.3	100.0

(8) 子供の数

いない	いる						無回答	計
		1人	2人	3人	4人	5人以上		
832	1,329	375	685	235	27	7	112	2,273
36.6	58.5	16.5	30.1	10.3	1.2	0.3	4.9	100.0

(9) 家族人数

1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	無回答	計
493	683	496	364	128	34	28	47	2,273
21.7	30.0	21.8	16.0	5.6	1.5	1.2	2.1	100.0

(10) 居住地域生まれか否か

居住地域 生まれ	居住地域 以外生まれ	無回答	計
552	1,719	2	2,273
24.3	75.6	0.1	100.0

(11) 東京生まれか否か

東京生まれ	東京以外 からきた	無回答	計
1,047	1,218	8	2,273
46.1	53.6	0.4	100.0

(12) 地域居住年数

1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～30年 未満	30年以上	無回答	計
77	206	137	210	231	161	367	877	7	2,273
3.4	9.1	6.0	9.2	10.2	7.1	16.1	38.6	0.3	100.0

(13) 東京居住年数

1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～30年 未満	30年以上	無回答	計
33	73	61	132	137	139	341	1,350	7	2,273
1.5	3.2	2.7	5.8	6.0	6.1	15.0	59.4	0.3	100.0

(14) 世帯年収

200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～700万円未満	700～900万円未満	900～1,100万円未満	1,100～1,300万円未満	1,300～1,500万円未満	1,500～2,000万円未満	2,000万円以上	わからない	無回答	計
223	274	278	253	335	234	152	94	58	66	45	214	47	2,273
9.8	12.1	12.2	11.1	14.7	10.3	6.7	4.1	2.6	2.9	2.0	9.4	2.1	100.0

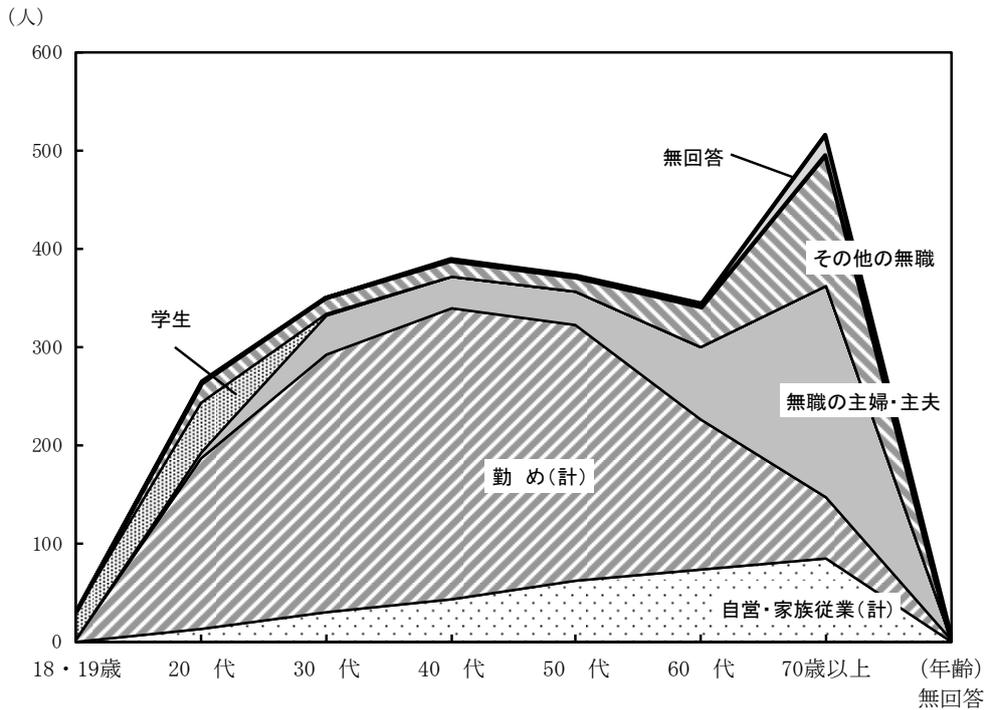
(15) インターネットの利用

利用している (計)	利用している		利用していない (計)	利用していない		無回答	計
	よく利用している	ときどき利用している		あまり利用していない	利用していない		
1,728	1,444	284	507	129	378	38	2,273
76.0	63.5	12.5	22.3	5.7	16.6	1.7	100.0

(16) 居住エリア ※各エリアの範囲はP⑤参照

区部 (計)	区部			市町村部 (計)	市町村部				計
	センター・コア	区部東部・北部	区部西部・南部		多摩東部	多摩中央部北	多摩中央部南	多摩西部・島しょ	
1,518	430	435	653	755	296	105	296	58	2,273
66.8	18.9	19.1	28.7	33.2	13.0	4.6	13.0	2.6	100.0

※ 年齢別職業分布



	18・19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答	計
自営・家族従業(計)	-	12	29	43	62	73	84	-	303
勤め(計)	1	174	262	296	260	152	63	1	1,209
無職の主婦・主夫	-	6	41	32	33	74	214	-	400
学生	28	51	1	-	-	-	-	-	80
その他の無職	1	20	16	16	15	41	133	-	242
無回答	-	1	1	2	2	4	22	7	39
計	30	264	350	389	372	344	516	8	2,273

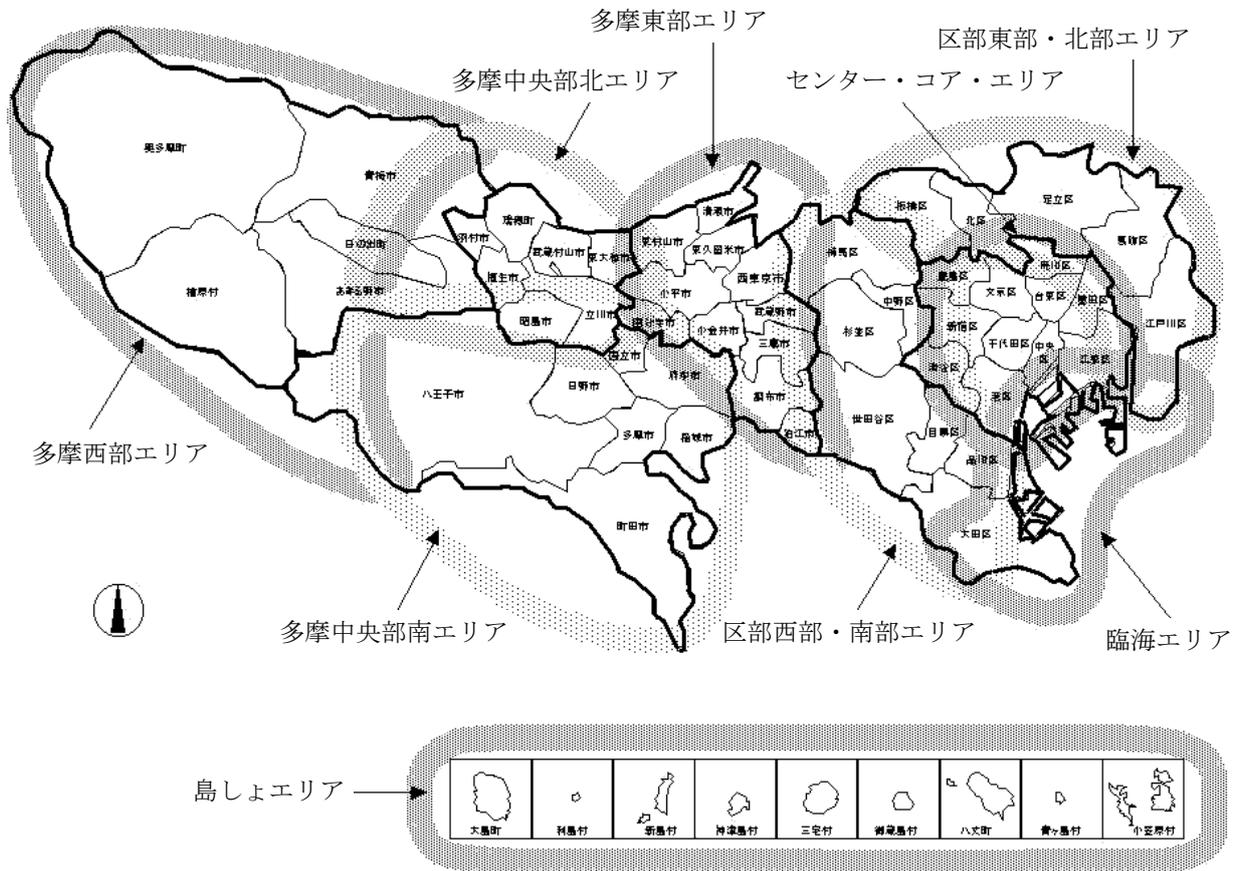
※ 層（エリア）

〔区 部〕

- センター・コア・エリア ----- 千代田・中央・港・新宿・文京・台東・墨田・江東・渋谷・豊島・荒川区
- 区部東部・北部エリア ----- 北・板橋・足立・葛飾・江戸川区
- 区部西部・南部エリア ----- 品川・目黒・大田・世田谷・中野・杉並・練馬区

〔市町村部〕

- 多摩東部エリア ----- 武蔵野・三鷹・調布・小金井・小平・東村山・国分寺・狛江・清瀬・東久留米・西東京市
- 多摩中央部北エリア ----- 立川・昭島・福生・東大和・武蔵村山・羽村市、瑞穂町
- 多摩中央部南エリア ----- 八王子・府中・町田・日野・国立・多摩・稲城市
- 多摩西部・島しょエリア ----- 青梅・あきる野市、日の出町、檜原村、奥多摩・大島町、利島・新島・神津島・三宅・御蔵島村、八丈町、青ヶ島・小笠原村



(注) 上記、世論調査における7つのエリアは、東京構想2000の9つのエリアを基に、従前の世論調査との継続性を考慮して、行政区域単位に便宜上、区分した。

調査結果の詳細

【報告書を読む際の注意】

注1) 用語・符号等

- n ——— Number of case の略
質問に対する回答者数で、比率算出の基数を示す。
- M. A. ——— Multiple Answers の略
回答者に2つ以上の回答を認める質問
- M. T. ——— Multiple Total の略
M. A. の場合に、回答の合計を回答者数 (n) で割った比率で、通常100%を超える。
- 図中「0」 }
表中「-」 } ——— 皆無の結果を示す。
- 図中「0.0」 }
表中「0.0」 } ——— 0.05%未満の結果を示す。

注2) 結果数値 (%) ——— 数値は、各実数を基に比率表示し、小数第2位を四捨五入している。
したがって、内訳の合計が全体の計に一致しないことがある。
また、結果の説明においては、小数第1位を四捨五入している。

注3) 調査結果には、統計上多少誤差 (標本誤差) が生じることがある。なお、層化二段無作為抽出法による標本誤差は次の式で算出される。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{P(100-P)}{n}}$$

Nは母集団数 (人)、nは回答者数 (人)、Pは回答率 (%) を表す。

注4) 調査結果の標本誤差の範囲は、以下の標本誤差早見表のとおりとなる。 (信頼度 : 95%)

回答の比率 (P) 基礎 (n)	10%又は 90%	20%又は 80%	30%又は 70%	40%又は 60%	50%
2,273	±1.8%	±2.4%	±2.7%	±2.9%	±3.0%
2,000	±1.9%	±2.5%	±2.9%	±3.1%	±3.2%
1,500	±2.2%	±2.9%	±3.3%	±3.6%	±3.7%
1,000	±2.7%	±3.6%	±4.1%	±4.4%	±4.5%
500	±3.8%	±5.1%	±5.8%	±6.2%	±6.3%
300	±4.9%	±6.5%	±7.5%	±8.0%	±8.2%
100	±8.5%	±11.3%	±13.0%	±13.9%	±14.1%

注5) 調査結果の分析においては、全体平均と比べ、統計的に有意差のあるものを中心にふれている。
なお、誤差を考慮し、nが50未満のものについてはふれていない場合が多い。

注6) 一部の図表では、対比を明確にするために選択肢の順序を入れ替えている。

注7) 性・年齢・職業などの属性又は他の質問項目とのクロス分析において、無回答を除いているため、各項目のnの合計が全体のnに一致しないことがある。

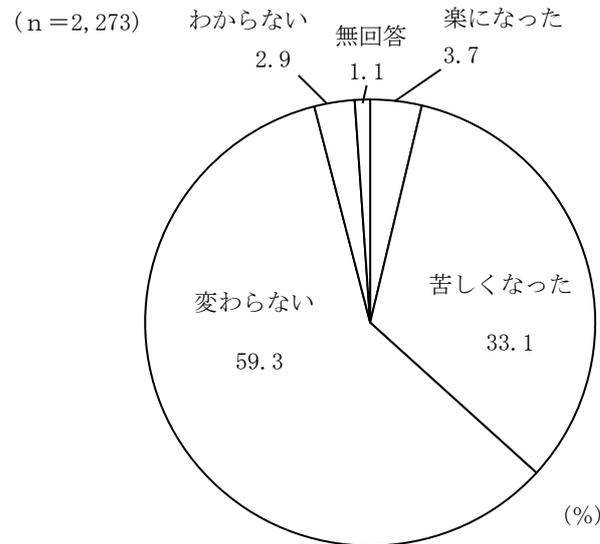
1 暮らし

※1-1 暮らしむきの変化

図1-1-1

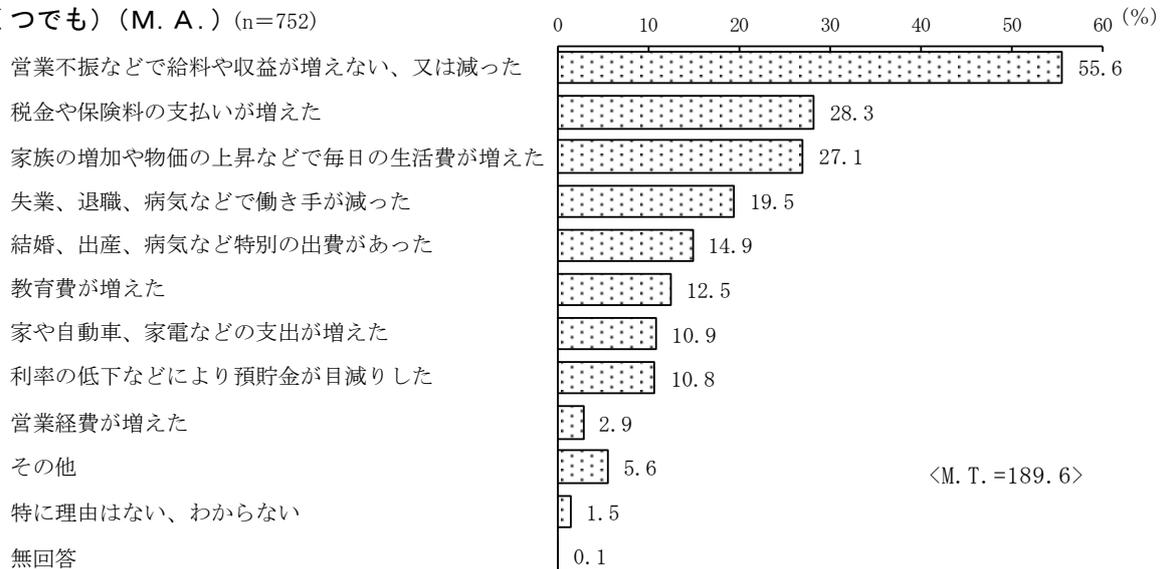
(全員の方に)

問1 さっそくですが、お宅さまの暮らしは、昨年の今ごろとくらべて楽になりましたか、苦しくなりましたか、それとも、変わりませんか。(〇は1つ)



(問1で「2 苦しくなった」と答えた方に)

問1-1 暮らしが苦しくなったのはなぜでしょうか。次の中からいくつでもお選びください。(〇はいくつでも) (M. A.) (n=752)



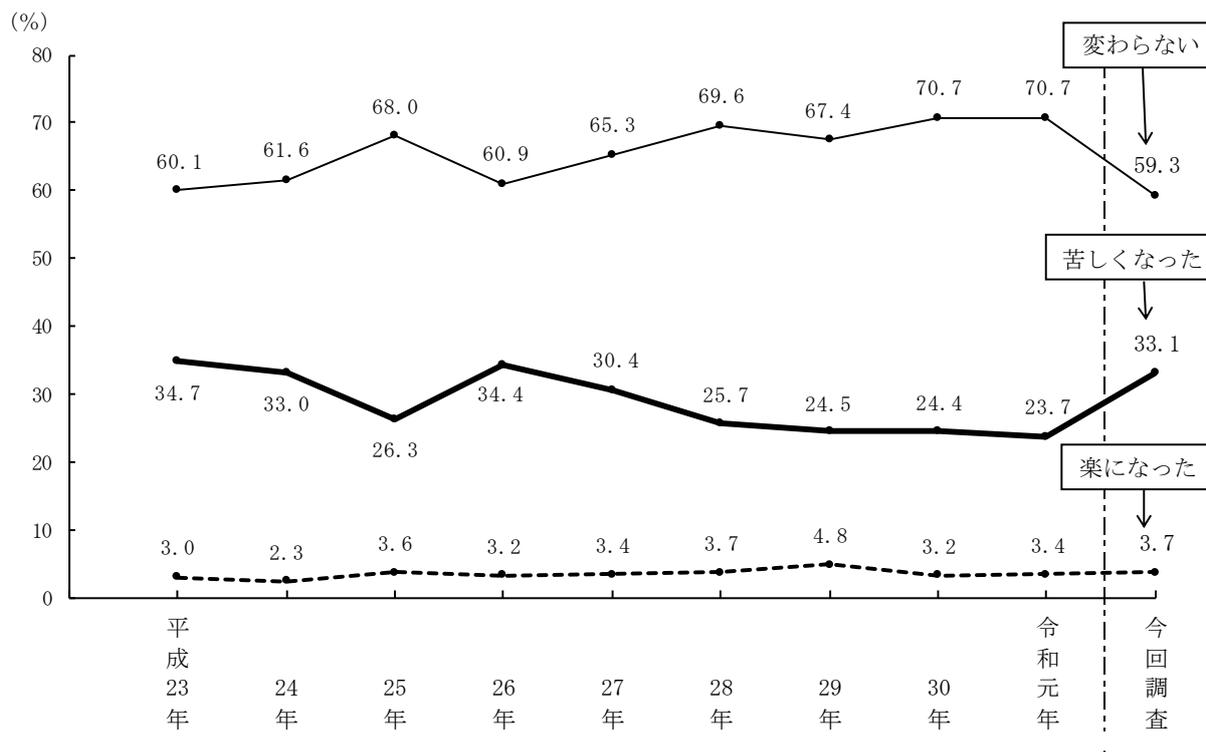
暮らしは、昨年の今ごろと比べて楽になったか、苦しくなったかを聞いたところ、「楽になった」4%、「苦しくなった」33%、「変わらない」59%となっている。

暮らしむきが「苦しくなった」と答えた人(752人)にその理由を聞いたところ、「営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った」56%と最も多く、次いで「税金や保険料の支払いが増えた」が28%、「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」27%、「失業、退職、病気などで働き手が減った」20%などの順となっている。(図1-1-1)

今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、暮らしむきの変化を過去の調査結果と単純に比較することはできないが、「苦しくなった」は昨年よりも9ポイント増加し、「変わらない」は11ポイント減少している。(図1-1-2)

なお、暮らしむきの変化の昭和47年からの調査結果を巻末の付属資料(P153 図1)に掲載している。

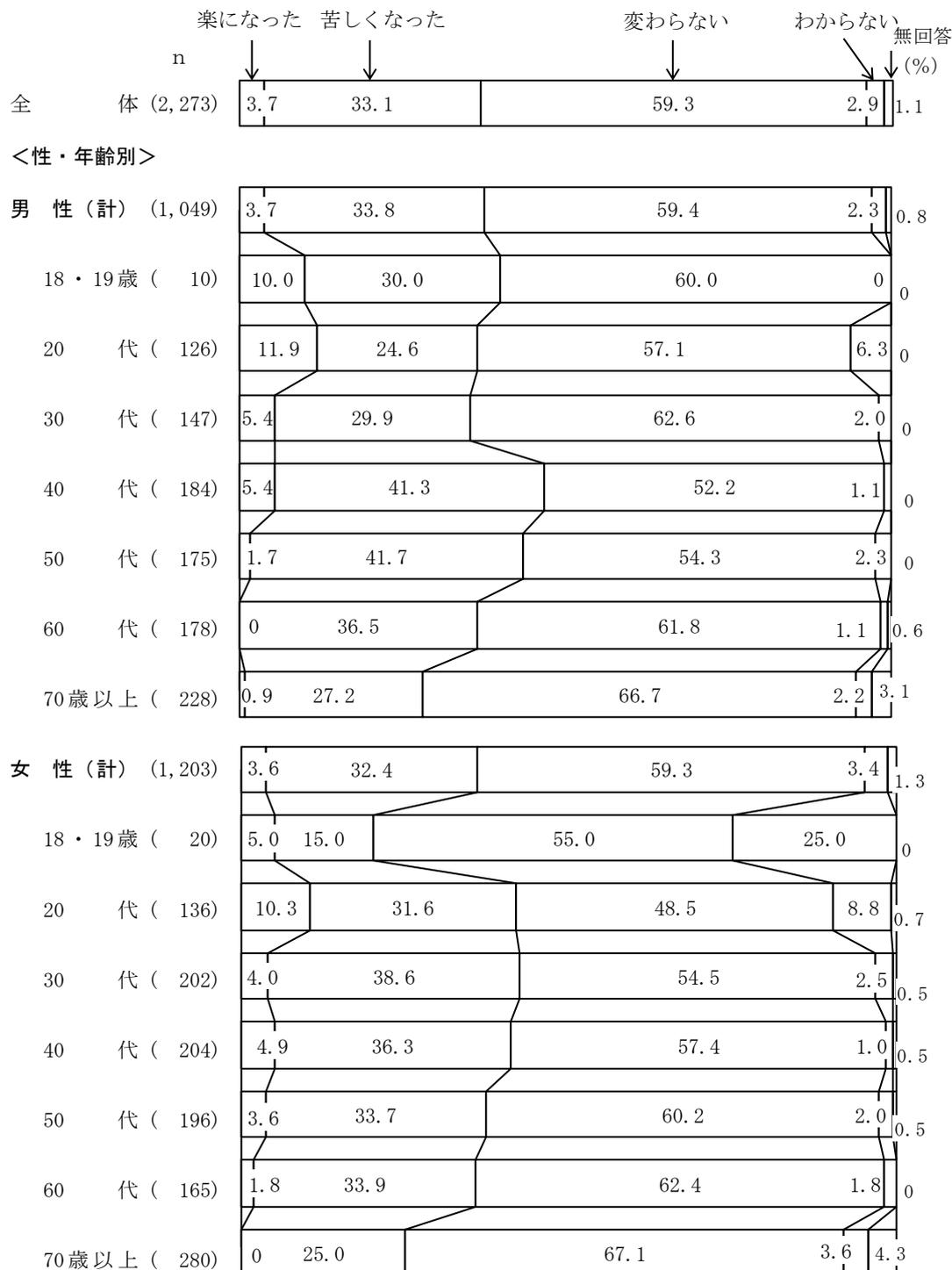
図1-1-2 暮らしむきの変化－過去の調査結果



(注) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、「苦しくなった」は男性40代、50代で4割を超えて多くなっている。(図1-1-3)

図1-1-3 暮らしむきの変化－性・年齢別



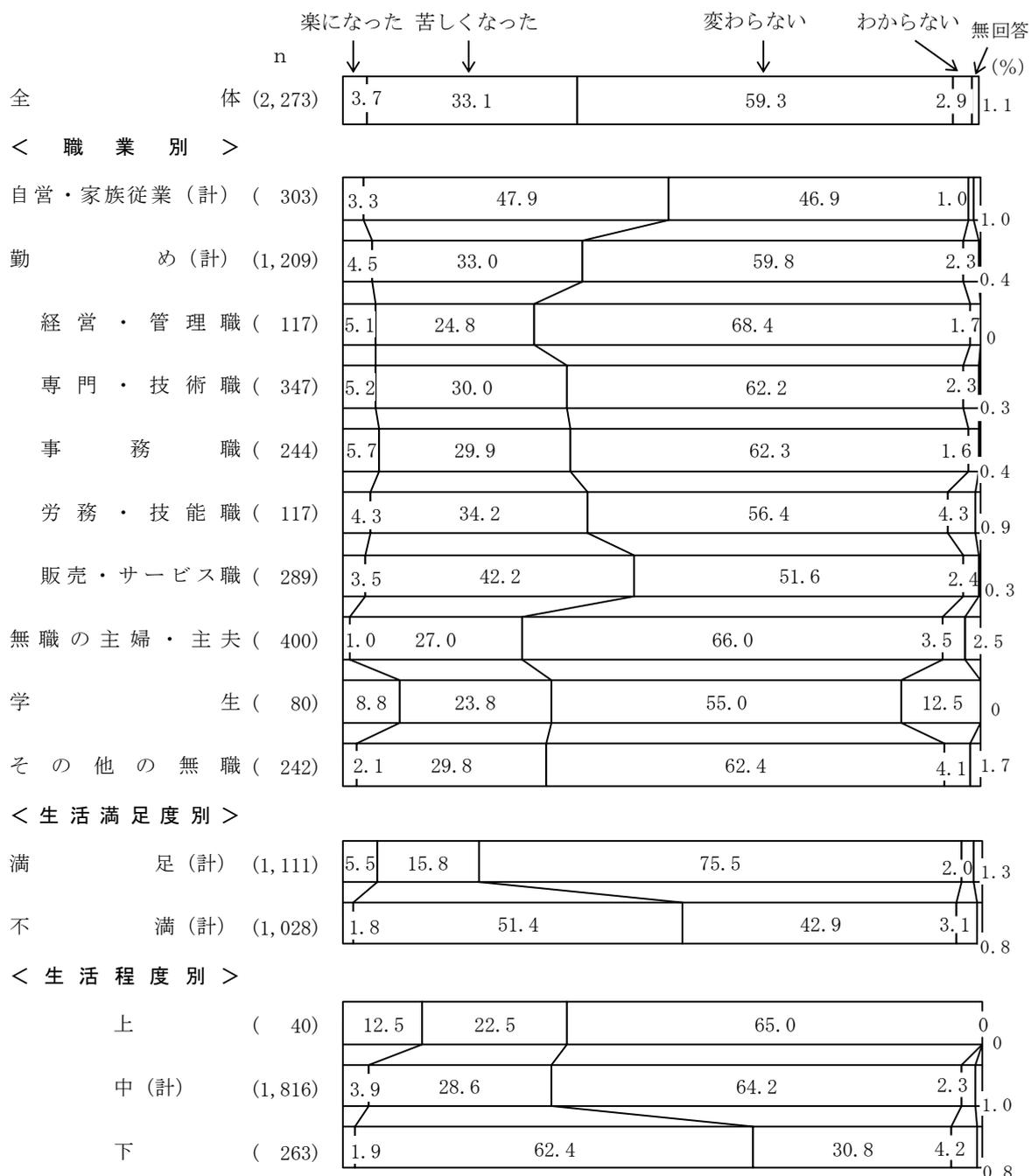
(注) 性・年齢の無回答者を除く (以下同様)。

職業別にみると、「苦しくなった」は自営・家族従業（計）で5割近くと多くなっている。

生活満足度（問5 P26）との関係でみると、「苦しくなった」は『不満（計）』で5割を超えて多く、一方、「変わらない」は『満足（計）』で7割半ばと多くなっている。

生活程度（問3 P14）との関係でみると、「苦しくなった」は“下”で6割を超えて多くなっている。一方、「変わらない」は『中（計）』で6割半ばと多くなっている。（図1-1-4）

図1-1-4 暮らしむきの変化－職業別、生活満足度別、生活程度別



(注) 職業別等の各区分で無回答者を除く（以下同様）。

今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、暮らしむきが苦しくなった理由を過去の調査結果と単純に比較することはできないが、昨年よりも「営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った」は18ポイント増加している。(表1-1-1)

表1-1-1 暮らしむきが苦しくなった理由－過去の調査結果

		(%)												
	n	営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った	税金や保険料の支払いが増えた	毎日の生活費が増えた	家族の増加や物価の上昇などで	失業、退職、病気などで働き手が減った	結婚、出産、病気など特別の出費があつた	教育費が増えた	家や自動車、家電などの支出が増えた	利率の低下などにより預貯金が目減りした	営業経費が増えた	その他	特に理由はない、わからない	無回答
今回調査	752	55.6	28.3	27.1	19.5	14.9	12.5	10.9	10.8	2.9	5.6	1.5	0.1	
令和元年	438	37.7	32.9	28.3	18.9	14.2	19.9	16.2	11.2	3.7	7.3	2.1	-	
30年	453	35.1	37.5	26.7	19.0	16.6	19.2	13.7	10.6	4.4	11.9	2.4	-	
29年	444	33.1	34.0	30.4	20.0	16.9	24.1	14.0	13.1	3.8	14.0	1.4	-	
28年	463	37.8	33.9	33.0	18.4	13.6	17.9	12.3	12.7	3.7	7.8	1.9	-	
27年	578	36.3	39.6	40.3	19.2	16.1	16.3	12.5	10.2	4.2	8.8	1.2	-	
26年	637	36.6	45.1	44.1	14.8	14.3	16.8	15.4	12.2	5.0	9.1	1.7	-	
25年	529	42.2	32.9	23.3	20.4	14.7	19.8	12.1	11.2	3.6	10.6	2.3	-	
24年	661	49.8	34.8	21.3	20.1	11.8	17.7	10.0	14.4	3.2	10.3	1.7	-	
23年	698	51.0	25.8	21.1	21.5	11.9	19.9	13.6	13.5	4.0	9.3	1.9	-	

(注) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

年齢別にみると、「営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った」は50代で7割近くと多くなっている。また「教育費が増えた」は40代で3割と多くなっている。

職業別にみると、「営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った」は自営・家族従業（計）で9割近くと多くなっている。「失業、退職、病気などで働き手が減った」はその他の無職で6割近くと多くなっている。（表1-1-2）

表1-1-2 暮らしむきが苦しくなった理由—年齢別、職業別

(%)

	n	営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った	税金や保険料の支払いが増えた	家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた	失業、退職、病気などで働き手が減った	結婚、出産、病気など特別の出費があつた	教育費が増えた	家や自動車、家電などの支出が増えた	目減りした	利率の低下などにより預貯金が増えた	営業経費が増えた	その他	特に理由はない、わからない	無回答
全 体	752	55.6	28.3	27.1	19.5	14.9	12.5	10.9	10.8	2.9	5.6	1.5	0.1	
< 年 齢 別 >														
18 ・ 19 歳	6	50.0	-	33.3	16.7	-	33.3	-	-	-	16.7	-	-	
20 代	74	55.4	28.4	24.3	21.6	17.6	2.7	8.1	18.9	-	9.5	2.7	-	
30 代	122	53.3	27.0	34.4	17.2	24.6	12.3	11.5	4.9	1.6	3.3	1.6	-	
40 代	150	62.7	30.7	27.3	20.0	10.7	30.0	13.3	7.3	2.0	4.0	-	-	
50 代	139	67.6	26.6	29.5	18.7	10.8	20.9	10.8	10.8	5.8	2.9	-	-	
60 代	122	59.0	32.0	16.4	23.0	9.0	0.8	9.0	7.4	2.5	9.0	1.6	-	
70 歳 以 上	137	35.8	26.3	28.5	18.2	19.7	-	11.7	19.0	4.4	6.6	3.6	0.7	
< 職 業 別 >														
自営・家族従業（計）	145	86.9	23.4	14.5	9.7	11.0	9.7	8.3	16.6	11.7	4.1	0.7	-	
勤 め（計）	399	62.4	29.8	30.8	14.0	13.8	16.5	12.3	8.8	1.0	4.5	1.3	-	
経 営 ・ 管 理 職	29	62.1	27.6	31.0	10.3	10.3	31.0	6.9	-	-	6.9	-	-	
専 門 ・ 技 術 職	104	52.9	28.8	34.6	13.5	12.5	20.2	13.5	11.5	-	4.8	3.8	-	
事 務 職	73	64.4	26.0	34.2	16.4	16.4	16.4	12.3	8.2	1.4	4.1	-	-	
労 務 ・ 技 能 職	40	70.0	32.5	35.0	17.5	12.5	10.0	12.5	10.0	7.5	5.0	-	-	
販 売 ・ サ ー ビ ス 職	122	68.9	30.3	25.4	13.1	15.6	10.7	11.5	7.4	-	4.1	0.8	-	
無 職 の 主 婦 ・ 主 夫	108	22.2	32.4	35.2	29.6	25.0	7.4	10.2	9.3	0.9	9.3	1.9	0.9	
学 生	19	42.1	10.5	26.3	15.8	-	26.3	5.3	5.3	-	15.8	-	-	
そ の 他 の 無 職	72	13.9	29.2	20.8	58.3	16.7	1.4	9.7	13.9	-	6.9	1.4	-	

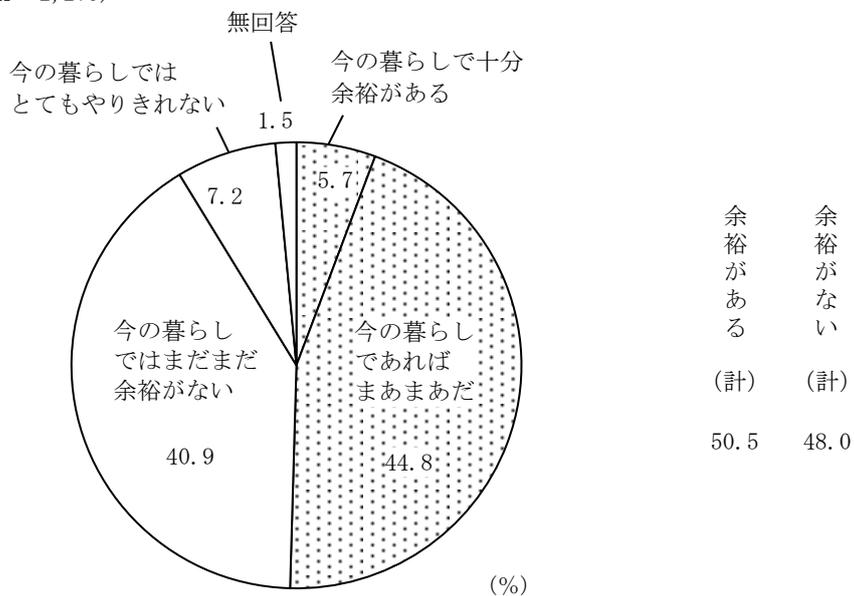
※1-2 暮らしの余裕

図1-2-1

(全員の方に)

問2 お宅さまの暮らしは、次のうちどれに当たりますか。あなたの感じ方に一番近いものを1つだけお選びください。(○は1つ)

(n=2,273)



(注) 『余裕がある (計)』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計

『余裕がない (計)』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

暮らしの余裕について聞いたところ、『余裕がある (計)』は51%、『余裕がない (計)』は48%となっている。(図1-2-1)

今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、暮らしの余裕を過去の調査結果と単純に比較することはできないが、参考として過去の調査結果を以下に示す。(図1-2-2)

なお、暮らしの余裕の昭和47年からの調査結果を巻末の付属資料（P155 表1）に掲載している。

図1-2-2 暮らしの余裕－過去の調査結果

	n	暮らしの余裕					無回答	わからない	%	余裕がある (計)	余裕がない (計)
		今の暮らしで十分余裕がある	今の暮らしであればまあまあだ	今の暮らしではまだまだ余裕がない	今の暮らしではとてもやりきれない	今の暮らしでは					
今回調査	(2,273)	5.7	44.8	1.5	40.9	7.2			50.5	48.0	
令和元年	(1,845)	5.9	47.9	0.7	39.6	6.0			53.7	45.6	
平成30年	(1,856)	5.2	49.1	0.8	38.1	6.8			54.3	44.9	
29年	(1,810)	5.4	49.6	2.1	36.7	6.3			54.9	43.0	
28年	(1,805)	4.7	47.1	0.9	40.1	7.1			51.9	47.2	
27年	(1,900)	3.6	46.2	0.9	41.7	7.6			49.8	49.3	
26年	(1,850)	4.5	45.9	0.7	40.4	8.4			50.4	48.9	
25年	(2,010)	4.8	43.9	2.6	41.2	7.4			48.8	48.7	
24年	(2,002)	3.6	44.7	2.4	41.0	8.3			48.3	49.3	
23年	(2,009)	4.0	45.2	2.5	40.5	7.8			49.2	48.3	

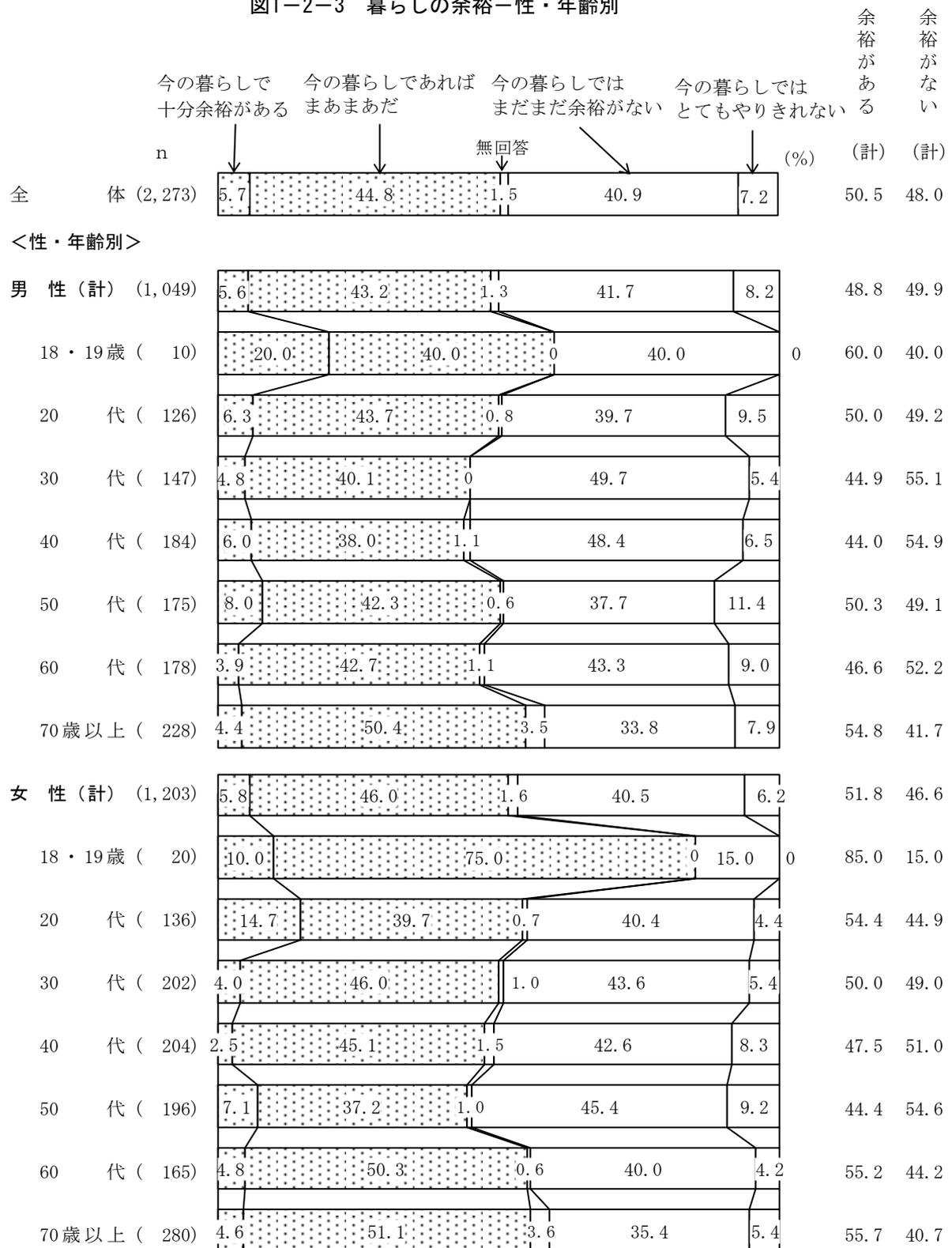
(注1) 『余裕がある (計)』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計

『余裕がない (計)』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

(注2) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、「今の暮らしではまだまだ余裕がない」は男性30代、40代で5割近くと多くなっている。(図1-2-3)

図1-2-3 暮らしの余裕－性・年齢別

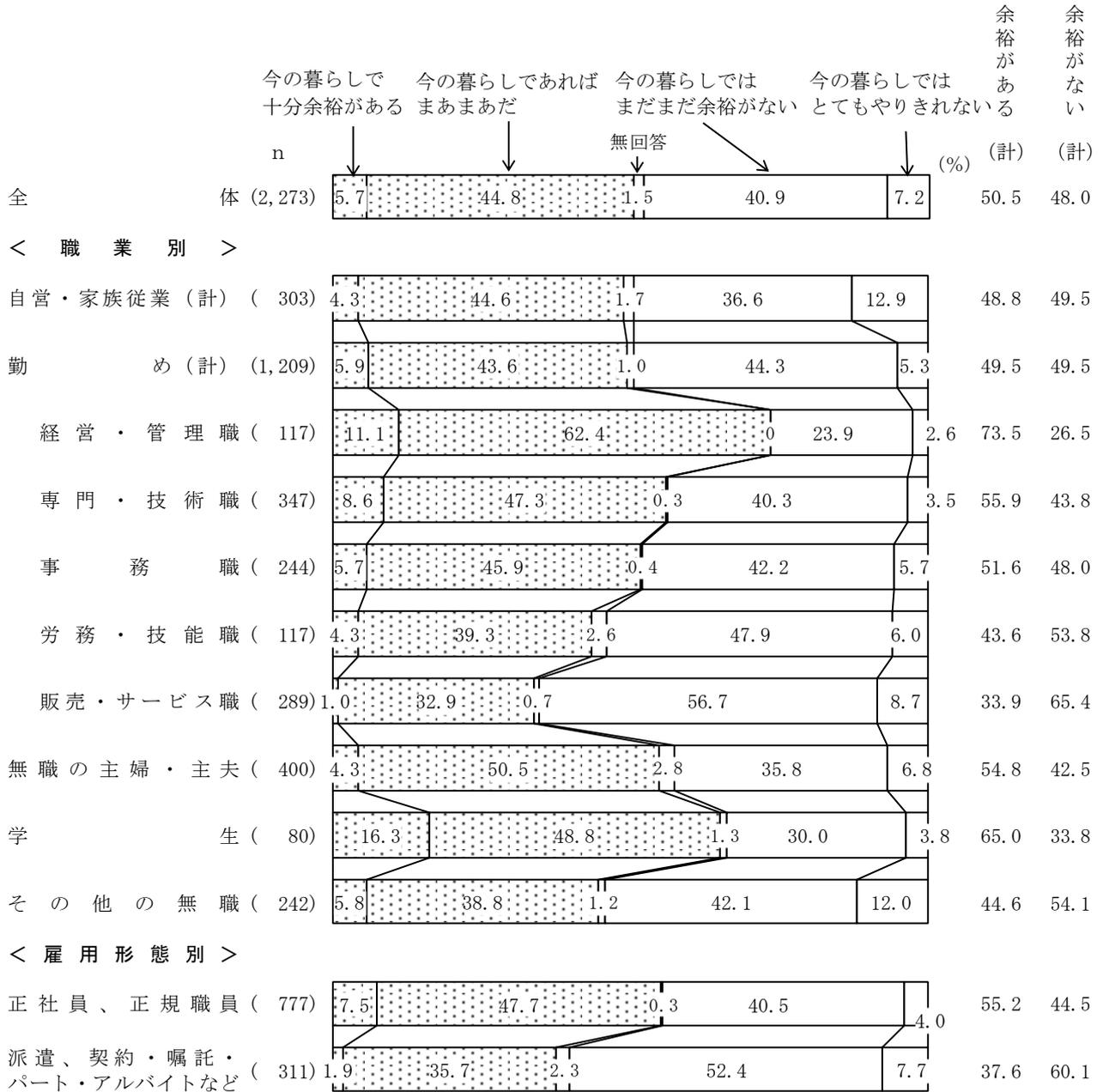


(注) 『余裕がある (計)』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計
『余裕がない (計)』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

職業別にみると、『余裕がある（計）』は、経営・管理職で7割半ばと多くなっている。一方、『余裕がない（計）』は販売・サービス職で6割半ばと多くなっている。

雇用形態別にみると、『余裕がない（計）』は「派遣、契約・嘱託・パート・アルバイトなど」で約6割と多くなっている。（図1-2-4）

図1-2-4 暮らしの余裕－職業別、雇用形態別



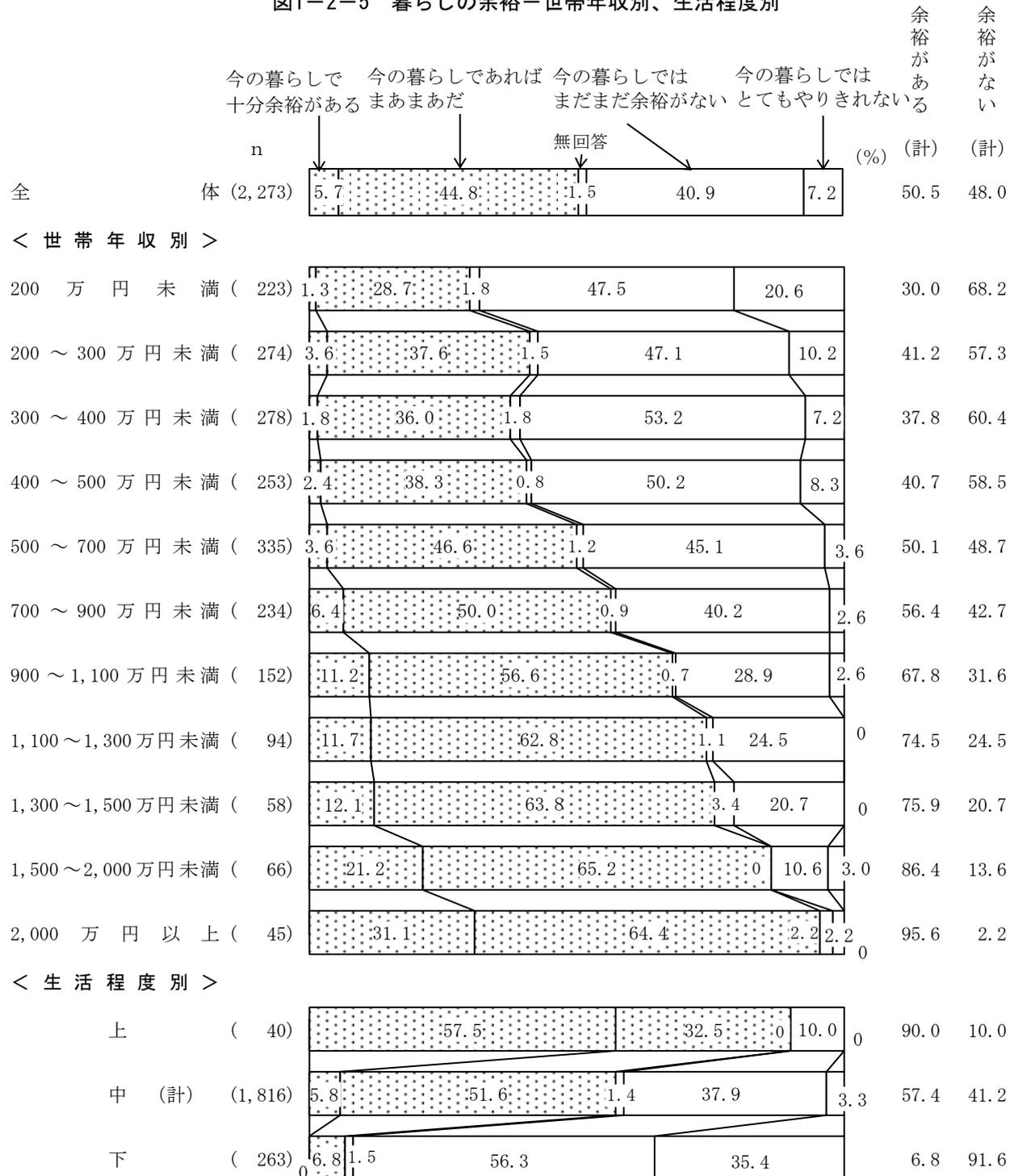
(注) 『余裕がある（計）』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計

『余裕がない（計）』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

世帯年収別にみると、『余裕がある（計）』はおおむね世帯年収が多くなるほど割合が高くなる傾向にあり、年収1,100万円以上の世帯でいずれも7割を超えて多くなっている。一方、『余裕がない（計）』は年収200万円未満の世帯で7割近く、年収200万円以上500万円未満の世帯でいずれも5割半ばから6割と多くなっている。

生活程度（問3 P14）との関係でみると、“下”と答えた人では『余裕がない（計）』が9割を超えて多くなっている。（図1-2-5）

図1-2-5 暮らしの余裕—世帯年収別、生活程度別



(注) 『余裕がある（計）』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計

『余裕がない（計）』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

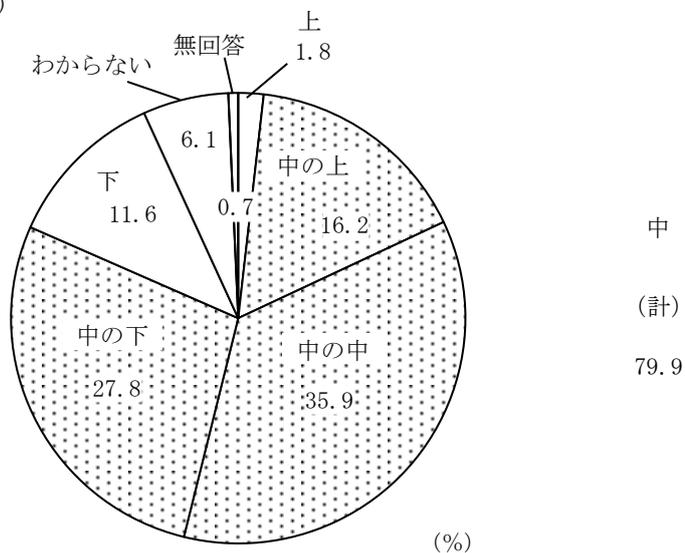
※1-3 生活程度

図1-3-1

(全員の方に)

問3 お宅さまの生活程度は、世間一般からみて、次のうちどれに入りますか。(○は1つ)

(n=2,273)

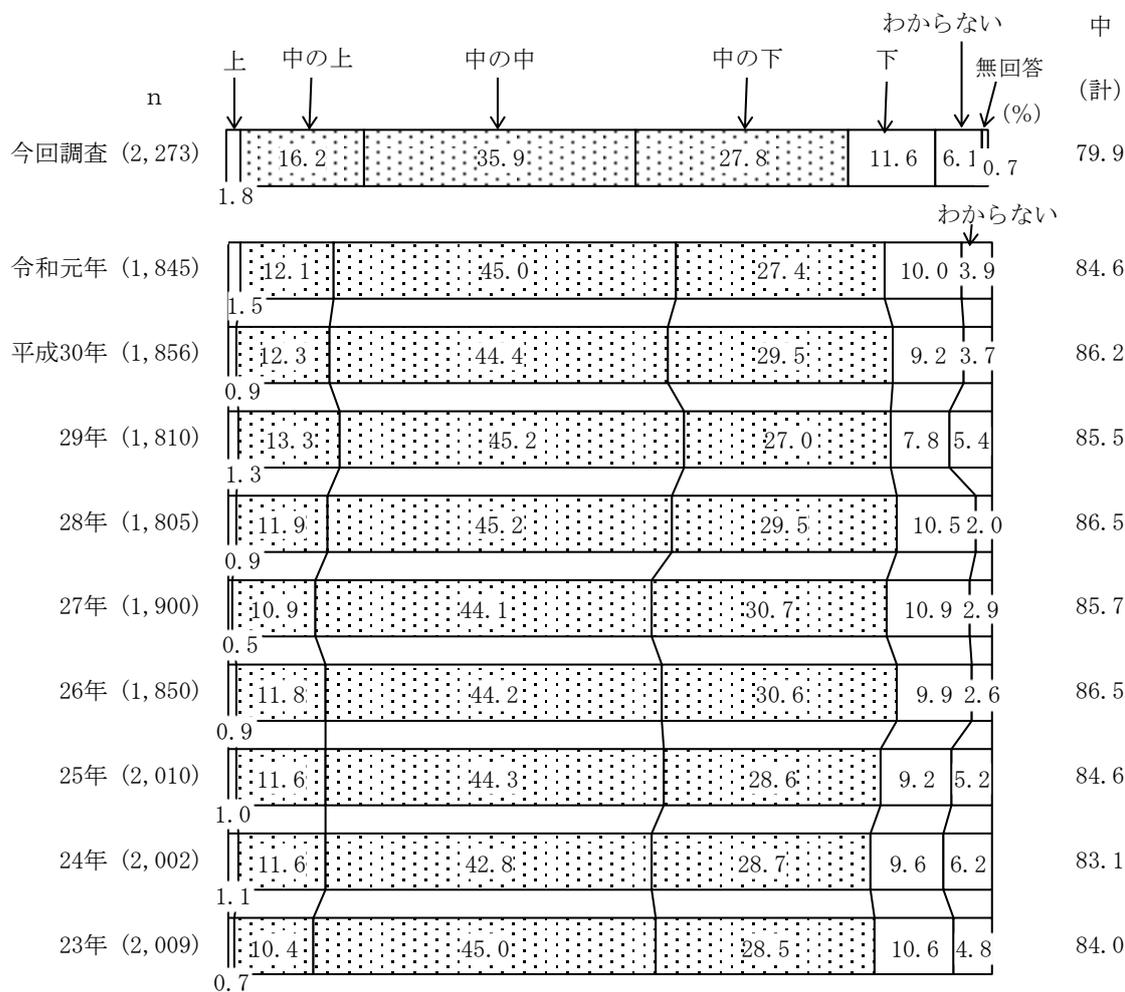


(注) 『中 (計)』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

5段階に分けた生活程度がどれにあたると思うか聞いたところ、「上」2%、「中の上」16%、「中の中」36%、「中の下」28%、「下」12%となっている。「中の上」、「中の中」、「中の下」を合わせた『中 (計)』は80%となっている。(図1-3-1)

今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、生活程度を過去の調査結果と単純に比較することはできないが、『中（計）』は昨年よりも5ポイント減少している。（図1-3-2）

図1-3-2 生活程度－過去の調査結果

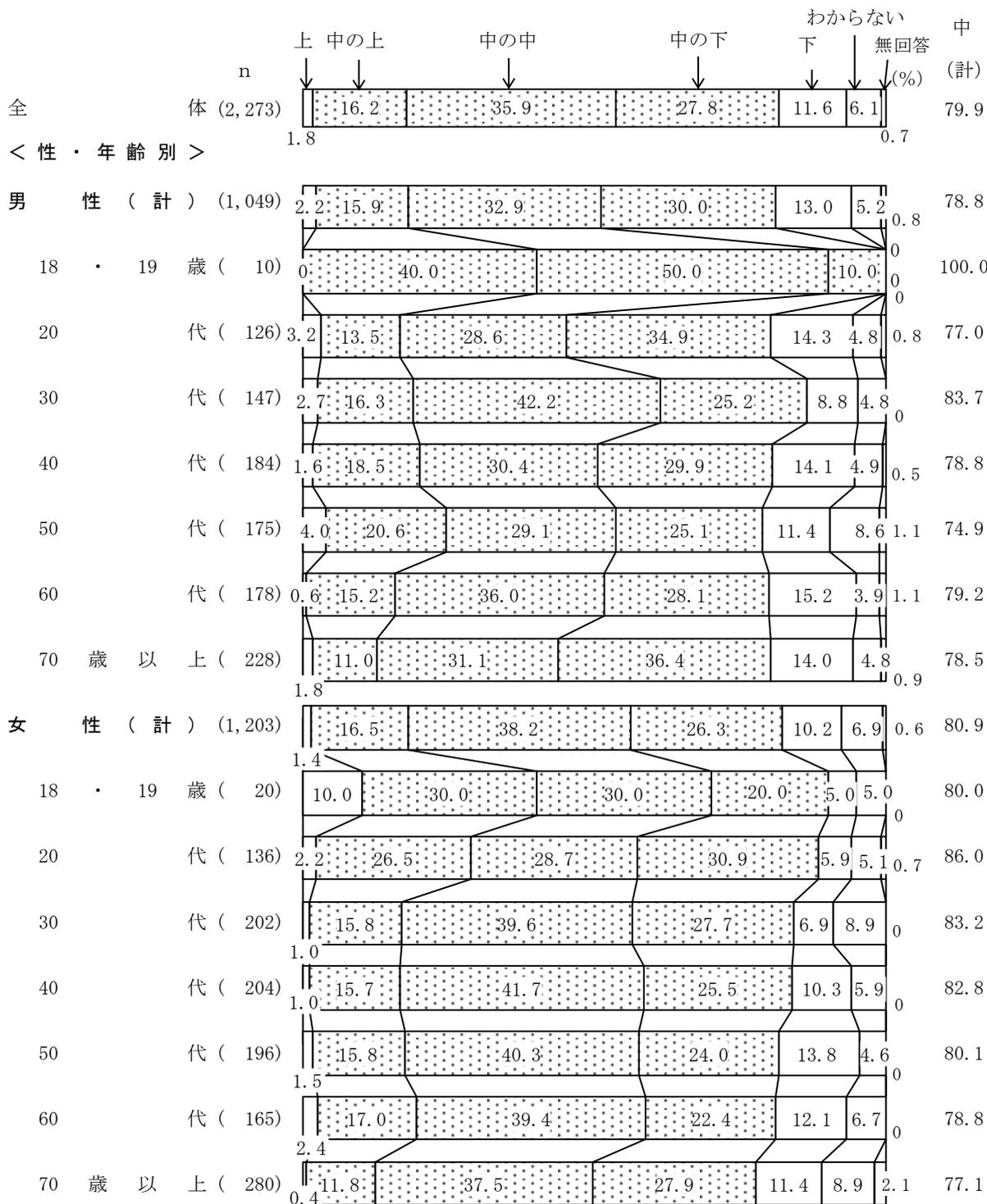


(注1) 『中（計）』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

(注2) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、『中（計）』は男性30代と女性20代で8割半ばと多くなっている。（図1-3-3）

図1-3-3 生活程度—性・年齢別

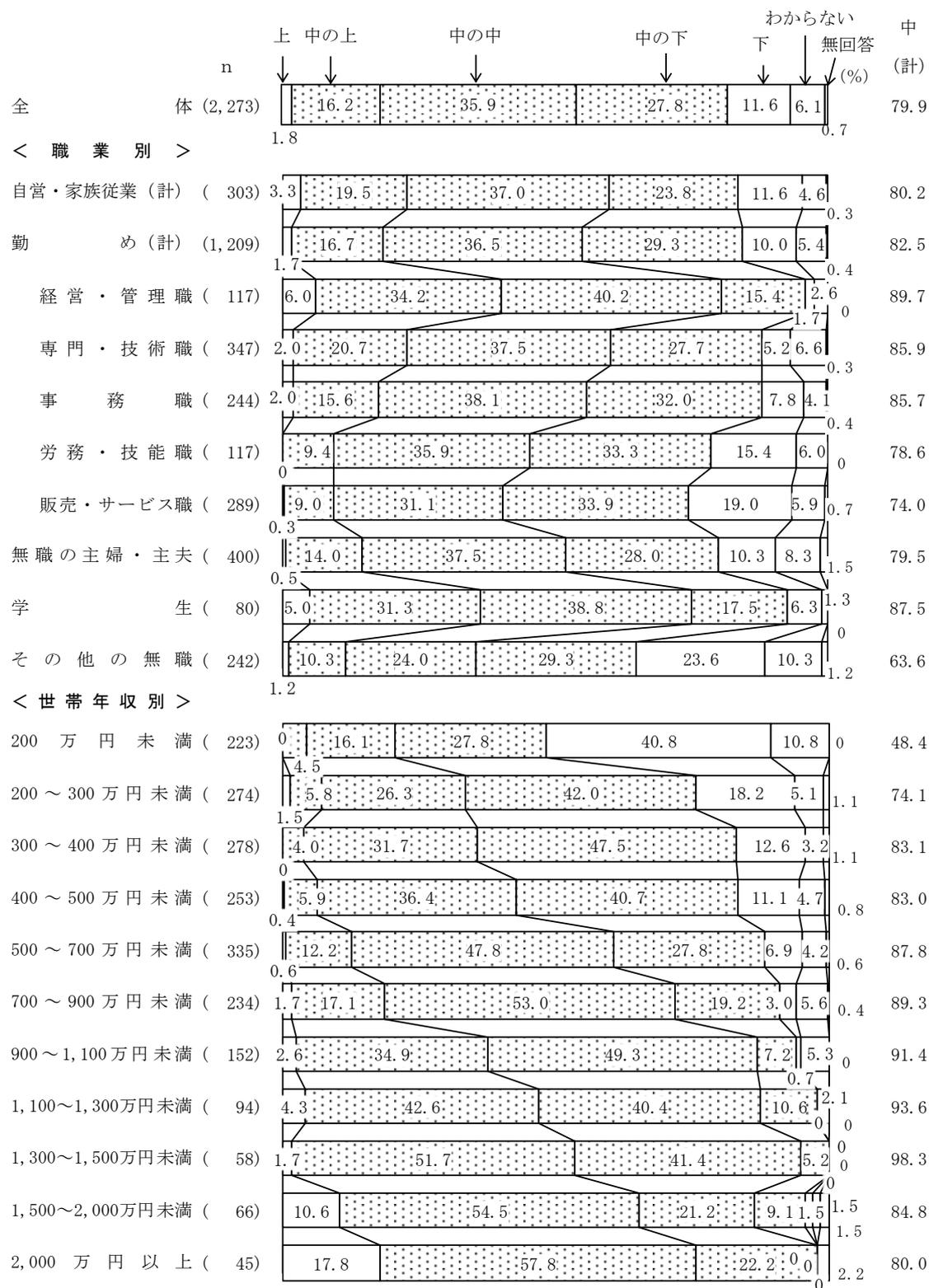


(注)『中（計）』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

職業別にみると、『中（計）』は経営・管理職で9割近くと多くなっている。一方、「下」はその他の無職で2割半ばとなっている。

世帯年収別にみると、「上」は年収1500万円以上で1割を超えている。『中（計）』は年収900万円以上1,500万円未満の世帯で9割台と多くなっている。一方、「下」は年収200万円未満の世帯で4割を超えて多くなっている。（図1-3-4）

図1-3-4 生活程度—職業別、世帯年収別



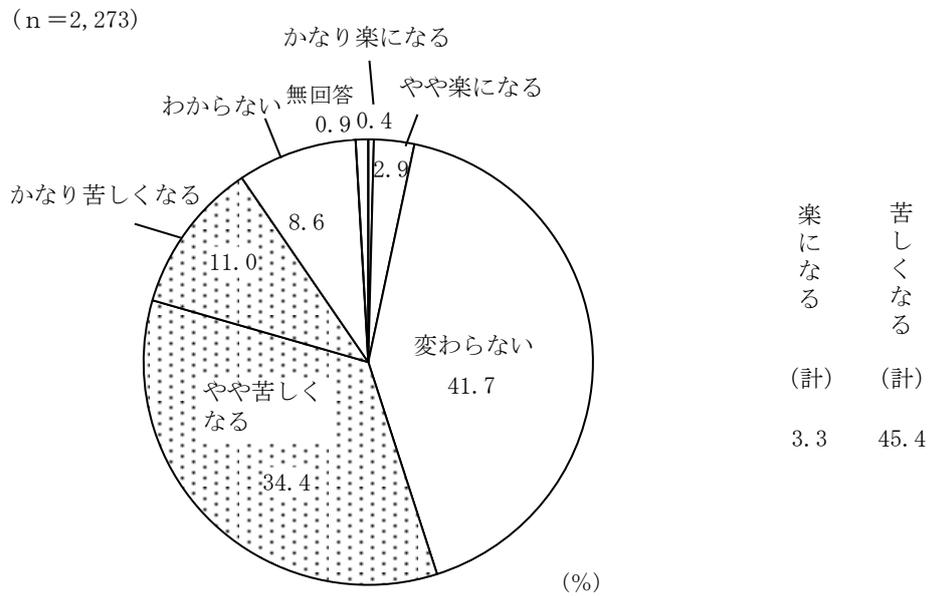
(注) 『中（計）』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

※1-4 これからの暮らしむき

図1-4-1

(全員の方に)

問4 あなたの暮らしむきは、これから1年間楽になると感じますか、苦しく感じますか。それとも変わらないと感じますか。(○は1つ)



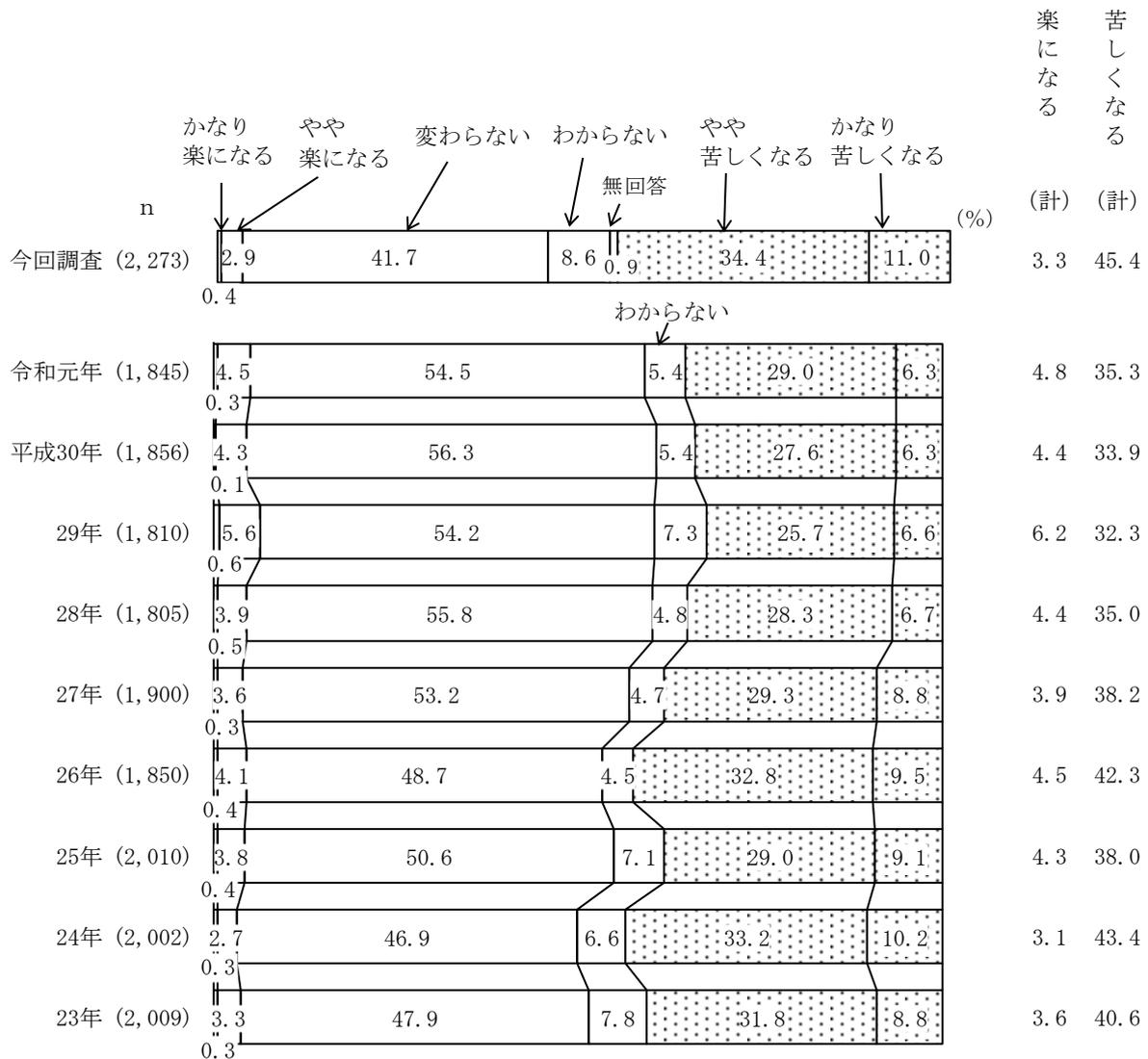
(注) 『楽になる (計)』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計
 『苦しくなる (計)』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

これから1年間の暮らしむきを聞いたところ、『楽になる (計)』は3%、『苦しくなる (計)』は45%となっており、「変わらない」が42%となっている。(図1-4-1)

今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、これからの暮らしむきを過去の調査結果と単純に比較することはできないが、『苦しくなる（計）』は昨年よりも10ポイント増加している。一方、「変わらない」は13ポイント減少している。（図1-4-2）

なお、これからの暮らしむきの昭和56年からの調査結果を巻末の付属資料（P155 表2）に掲載している。

図1-4-2 これからの暮らしむき—過去の調査結果



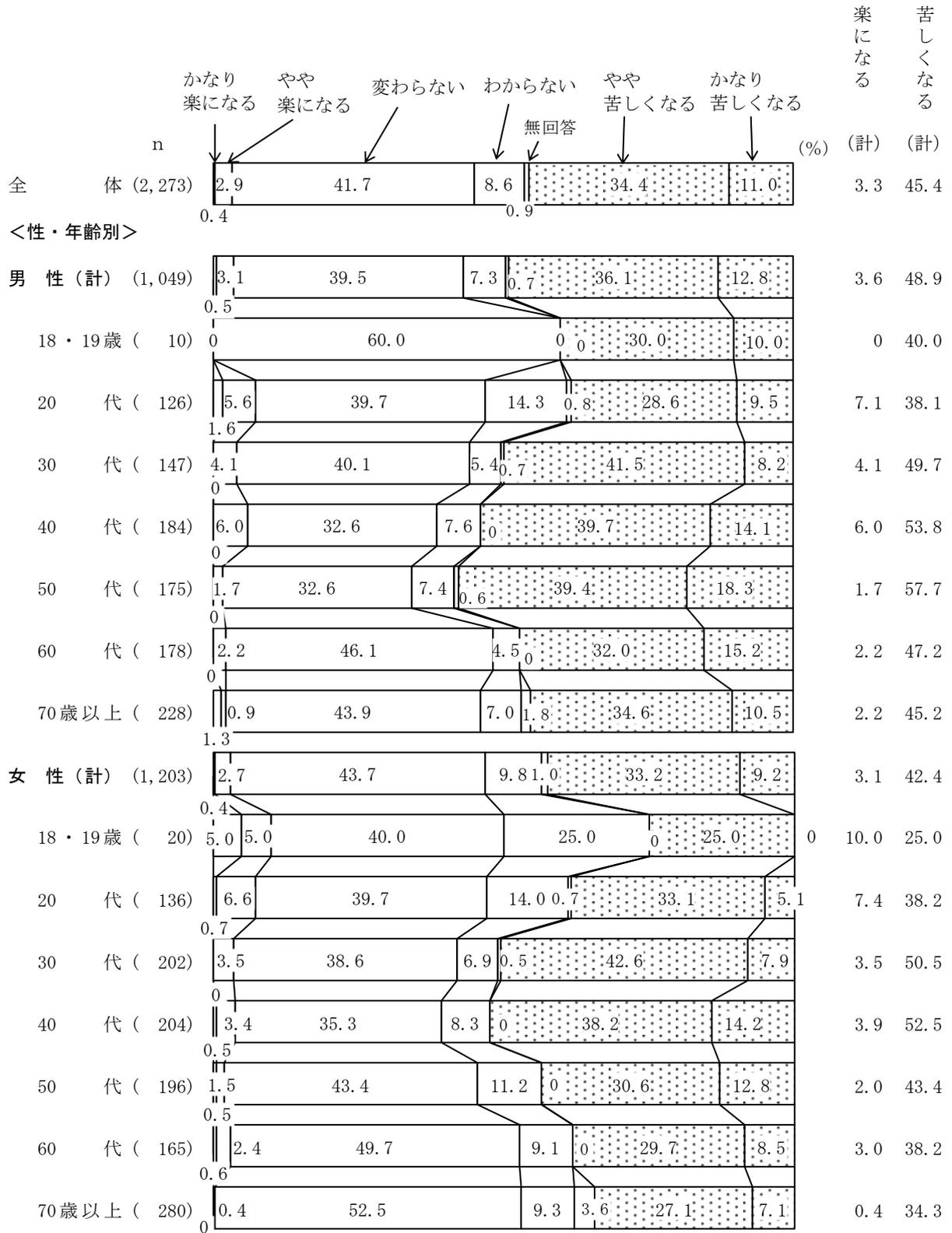
(注1) 『楽になる (計)』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計

『苦しくなる (計)』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

(注2) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、『苦しくなる（計）』は男性50代で6割近くと多くなっている。（図1-4-3）

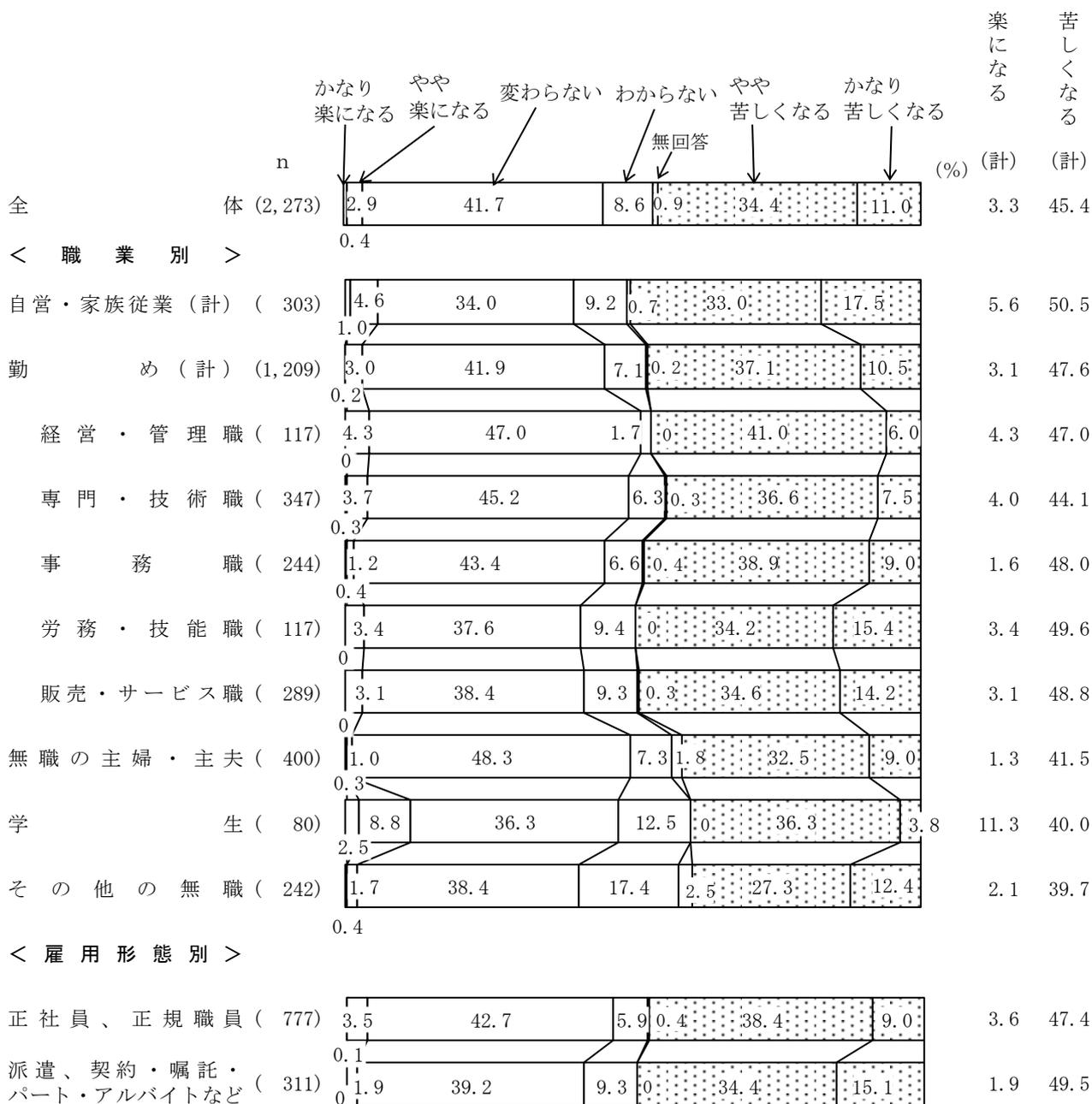
図1-4-3 これからの暮らしむき－性・年齢別



(注) 『楽になる（計）』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計
『苦しくなる（計）』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

職業別にみると、『楽になる（計）』は学生で1割を超えている。（図1-4-4）

図1-4-4 これからの暮らしむき－職業別、雇用形態別

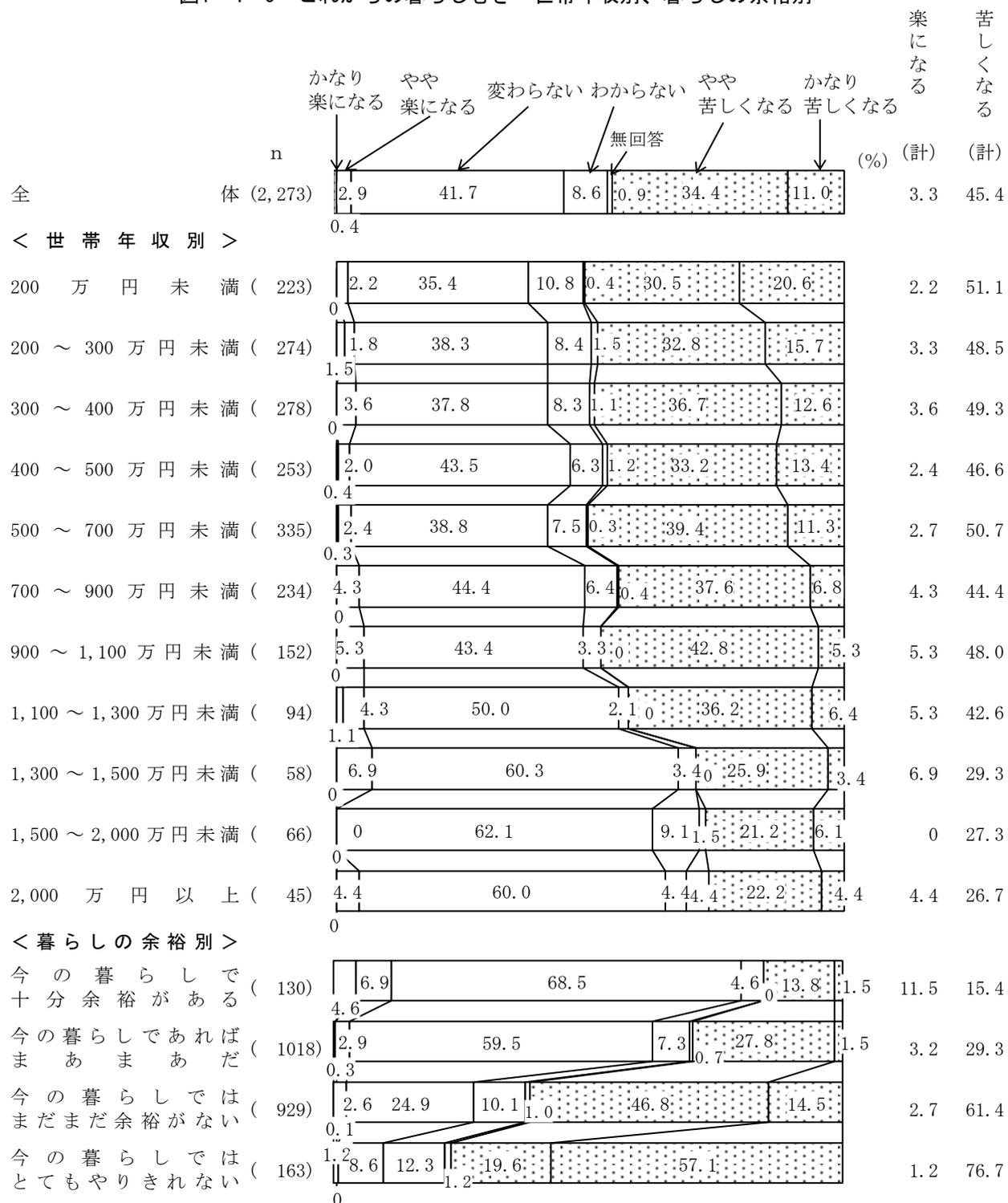


(注) 『楽になる（計）』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計
『苦しくなる（計）』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

世帯年収別にみると、『苦しくなる（計）』は年収200万円未満で5割を超えて多くなっている。

暮らしの余裕（問2 P9）との関係でみると、『苦しくなる（計）』は余裕の度合いが低くなるほど割合が高くなる傾向にあり、“今の暮らしではとてもやりきれない”と答えた人では8割近く、“今の暮らしではまだまだ余裕がない”と答えた人では6割を超えて多くなっている。（図1-4-5）

図1-4-5 これからの暮らしむき—世帯年収別、暮らしの余裕別



(注) 『楽になる (計)』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計

『苦しくなる (計)』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

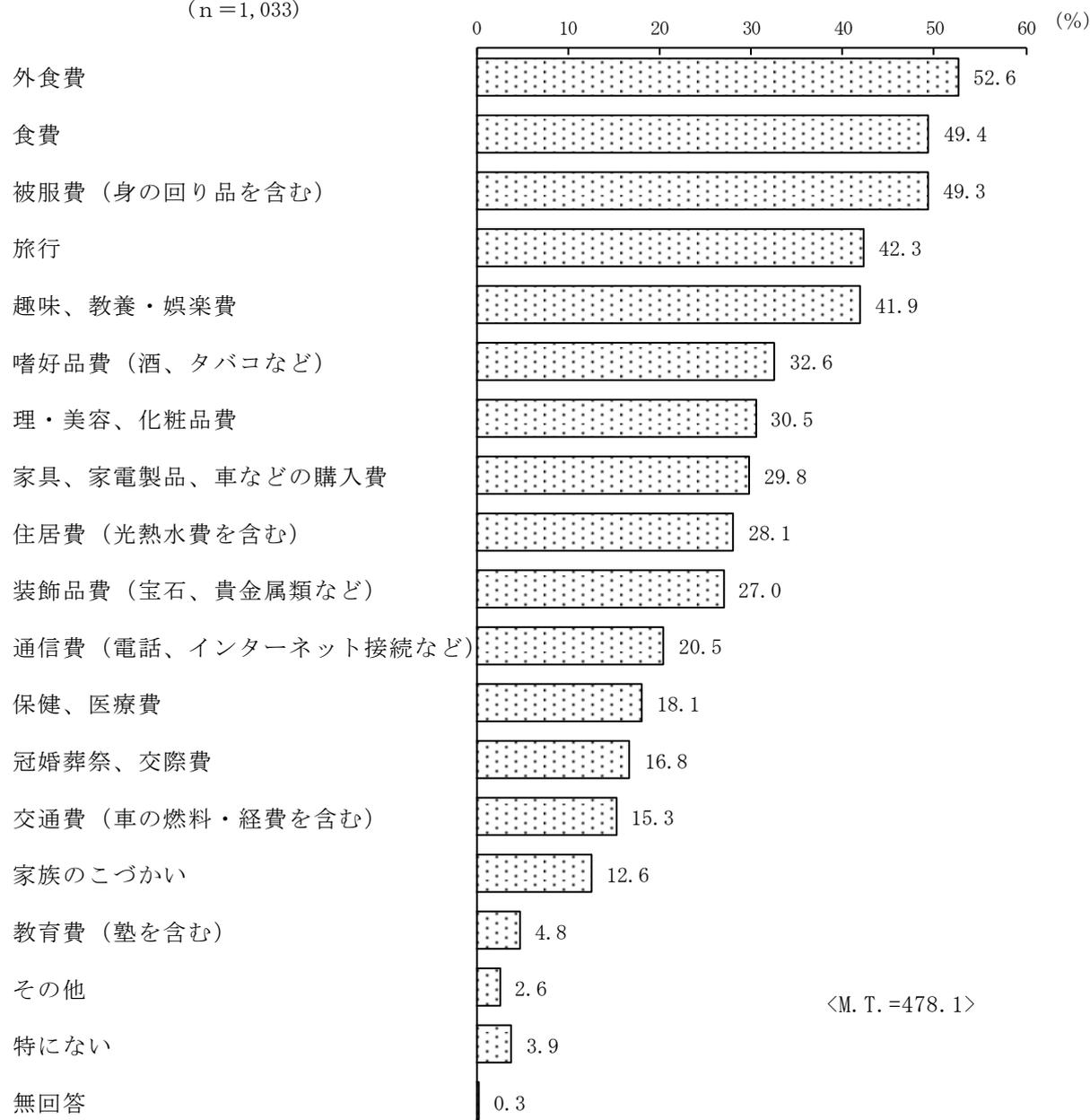
※1-5 今後切りつめていくもの

図1-5-1

(問4で「4 やや苦しくなる」「5 かなり苦しくなる」と答えた方に)

問4-1 では、今後、切りつめていこうと思うものがありますか。次の中から当てはまるものをいくつかもお選びください。(〇はいくつでも)(M. A.)

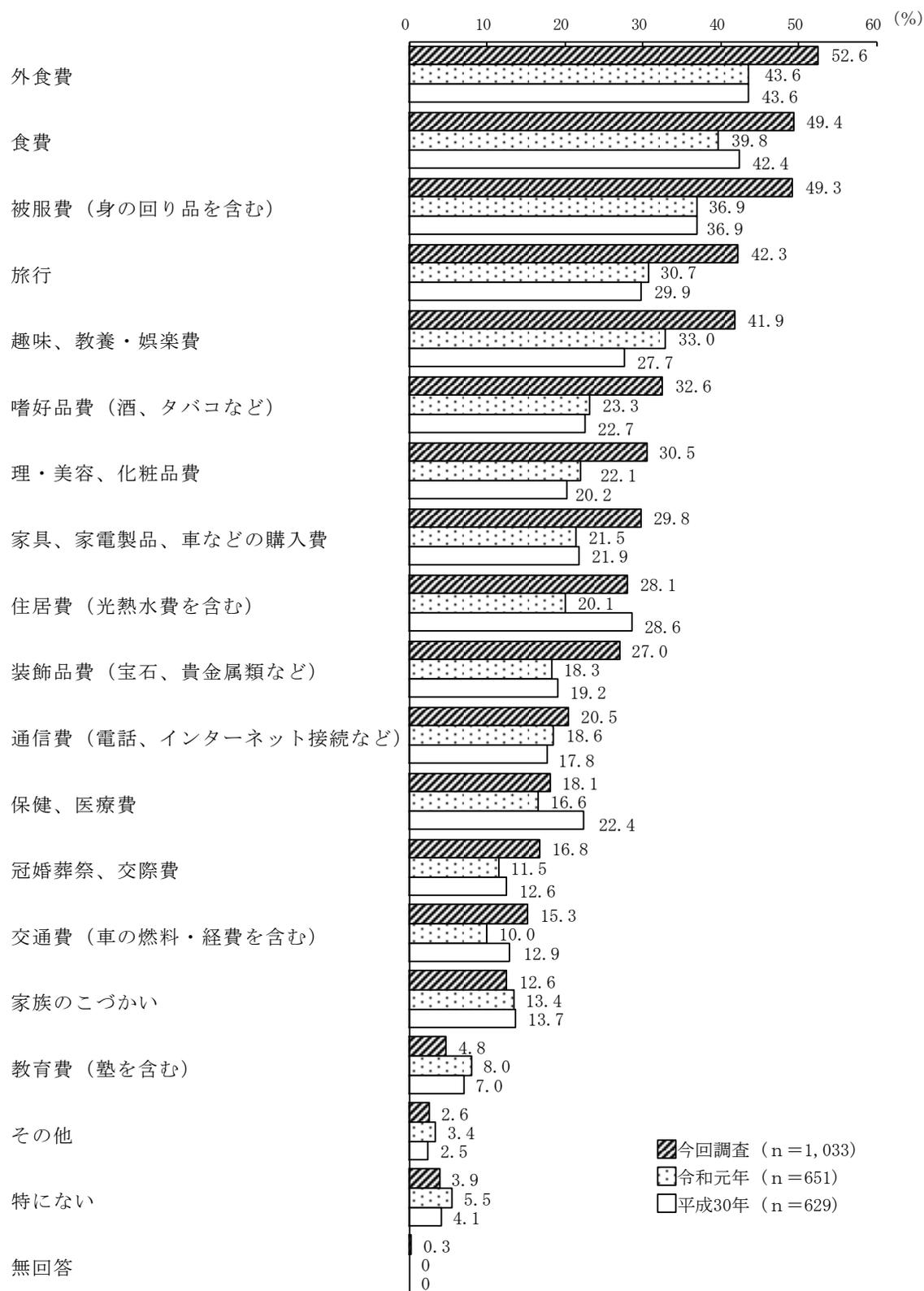
(n=1,033)



これから1年間の暮らしむきが苦しくなると答えた人(1,033人)に、今後切りつめていこうと思うものを聞いたところ、「外食費」が53%で最も多く、次いで「食費」「被服費(身の回り品を含む)」49%、「旅行」「趣味、教養・娯楽費」42%などの順となっている。(図1-5-1)

今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、今後切りつめていくものを過去の調査結果と単純に比較することはできないが、「被服費（身の回り品を含む）」と「旅行」は昨年よりも12ポイント、「食費」は10ポイント増加など、多くの項目で増加している。（図1-5-2）

図1-5-2 今後切りつめていくもの—過去の調査結果



（注）前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、女性は男性よりも「理・美容、化粧品費」が22ポイント高く、特に女性30代で5割を超えて多くなっている。また、「被服費（身の回り品を含む）」も女性は男性より14ポイント高くなっている。

生活程度（問3 P14）との関係でみると、「食費」は“下”と答えた人で7割近くと多くなっている。また、「住居費（光熱水費を含む）」も“下”と答えた人で4割を超えて多くなっている。（表1-5-1）

表1-5-1 今後切りつけていくもの－性・年齢別、生活程度別

(%)

		外食費	食費	被服費（身の回り品を含む）	旅行	趣味、教養・娯楽費	嗜好品費（酒、タバコなど）	理・美容、化粧品費	家具、家電製品、車などの購入費	住居費（光熱水費を含む）	装飾品費（宝石、貴金属類など）	通信費（電話、インターネット接続など）	保健、医療費	冠婚葬祭、交際費	交通費（車の燃料・経費を含む）	家族のこづかい	教育費（塾を含む）	その他	特になし	無回答
全 体	1,033	52.6	49.4	49.3	42.3	41.9	32.6	30.5	29.8	28.1	27.0	20.5	18.1	16.8	15.3	12.6	4.8	2.6	3.9	0.3
<性・年齢別>																				
男 性（計）	513	51.3	47.2	42.1	41.9	43.3	37.8	19.1	32.7	28.5	23.6	22.4	19.9	16.6	16.8	12.9	4.5	2.7	4.9	0.2
18・19歳	4	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-
20代	48	50.0	50.0	22.9	43.8	47.9	50.0	20.8	31.3	22.9	20.8	18.8	8.3	6.3	16.7	10.4	6.3	-	8.3	-
30代	73	45.2	39.7	47.9	38.4	39.7	41.1	20.5	28.8	27.4	21.9	17.8	13.7	12.3	11.0	8.2	9.6	1.4	4.1	-
40代	99	60.6	49.5	48.5	40.4	46.5	42.4	17.2	40.4	18.2	29.3	21.2	18.2	21.2	15.2	11.1	8.1	7.1	3.0	-
50代	101	48.5	42.6	38.6	40.6	48.5	32.7	19.8	29.7	21.8	24.8	16.8	12.9	9.9	18.8	8.9	4.0	-	8.9	1.0
60代	84	45.2	53.6	38.1	38.1	41.7	39.3	14.3	33.3	29.8	23.8	25.0	22.6	16.7	13.1	19.0	1.2	4.8	2.4	-
70歳以上	103	55.3	49.5	47.6	49.5	36.9	30.1	22.3	30.1	46.6	19.4	33.0	36.9	27.2	24.3	18.4	-	1.9	1.9	-
女 性（計）	510	53.5	51.4	55.9	42.4	40.6	27.5	41.4	27.3	27.5	30.4	18.8	16.3	16.9	13.7	12.0	5.1	2.5	2.9	0.4
18・19歳	5	60.0	20.0	20.0	40.0	20.0	-	20.0	-	20.0	20.0	40.0	-	-	-	-	20.0	-	-	-
20代	52	46.2	46.2	51.9	32.7	46.2	25.0	40.4	28.8	17.3	25.0	21.2	9.6	11.5	21.2	5.8	3.8	1.9	-	1.9
30代	102	52.0	43.1	59.8	35.3	35.3	32.4	51.0	21.6	12.7	31.4	11.8	7.8	5.9	7.8	9.8	4.9	2.0	5.9	-
40代	107	64.5	54.2	64.5	59.8	55.1	36.4	43.9	33.6	24.3	37.4	15.9	14.0	17.8	14.0	13.1	7.5	-	0.9	-
50代	85	63.5	55.3	60.0	49.4	45.9	35.3	43.5	38.8	38.8	35.3	35.3	16.5	20.0	23.5	16.5	8.2	2.4	2.4	-
60代	63	47.6	60.3	44.4	28.6	25.4	12.7	36.5	20.6	38.1	19.0	15.9	22.2	17.5	9.5	7.9	-	4.8	4.8	-
70歳以上	96	41.7	52.1	50.0	38.5	33.3	17.7	31.3	20.8	35.4	28.1	14.6	28.1	28.1	10.4	15.6	3.1	5.2	3.1	1.0
<生活程度別>																				
上	10	50.0	40.0	40.0	50.0	40.0	50.0	20.0	30.0	-	30.0	-	20.0	10.0	10.0	-	-	-	20.0	-
中の上	100	46.0	26.0	41.0	42.0	39.0	27.0	26.0	27.0	14.0	30.0	17.0	5.0	10.0	9.0	7.0	1.0	2.0	6.0	-
中の中	325	52.3	40.0	48.6	42.8	36.0	28.0	27.7	29.2	20.3	27.4	16.0	12.3	12.9	11.1	11.1	4.3	3.1	3.1	0.3
中の下	357	56.0	54.6	50.4	41.7	44.5	35.9	30.0	29.4	31.9	28.3	22.4	21.8	19.0	16.2	14.6	5.3	1.7	3.4	0.3
下	178	53.4	69.7	55.1	43.3	50.6	33.7	39.3	32.6	42.1	22.5	29.8	29.2	24.7	23.6	16.3	5.1	3.9	2.8	0.6

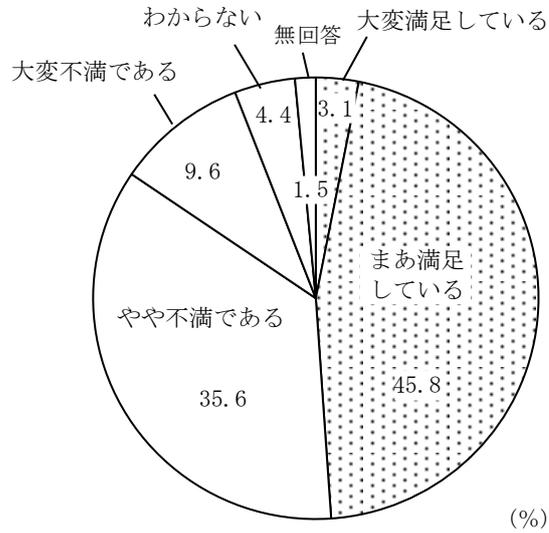
※1-6 生活満足度

図1-6-1

(全員の方に)

問5 あなたは、現在のご自分の生活に満足していますか。(○は1つ)

(n=2,273)



満	不
足	満
(計)	(計)
48.9	45.2

(注) 『満足 (計)』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計
 『不満 (計)』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

現在の生活に満足しているかどうか聞いたところ、『満足 (計)』は49%、『不満 (計)』は45%となっている。(図1-6-1)

今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、生活満足度の過去の調査結果と単純に比較することはできないが、『不満（計）』は昨年よりも5ポイント増加している。（図1-6-2）

なお、生活満足度の昭和53年から調査結果を巻末の付属資料（P156 表3、P157 図4）に掲載している。

図1-6-2 生活満足度—過去の調査結果

n	生活満足度の調査結果 (%)					満足 (計)	不満 (計)
	大変満足している	まあ満足している	わからない	無回答	やや不満である		
今回調査 (2,273)	3.1	45.8	4.4	1.5	35.6	48.9	45.2
令和元年 (1,845)	4.4	48.8	6.3		33.2	53.2	40.5
平成30年 (1,856)	4.5	49.9	4.7		33.6	54.4	40.8
29年 (1,810)	4.5	49.4	5.8		33.3	54.0	40.2
28年 (1,805)	4.4	49.3	4.8		33.1	53.7	41.6
27年 (1,900)	3.0	47.8	4.1		35.9	50.8	45.1
26年 (1,850)	3.6	49.4	3.6		34.0	53.0	43.5
25年 (2,010)	4.3	49.5	4.9		32.6	53.8	41.3
24年 (2,002)	3.6	49.9	4.6		33.9	53.4	42.0
23年 (2,009)	4.0	49.4	3.8		34.1	53.5	42.7

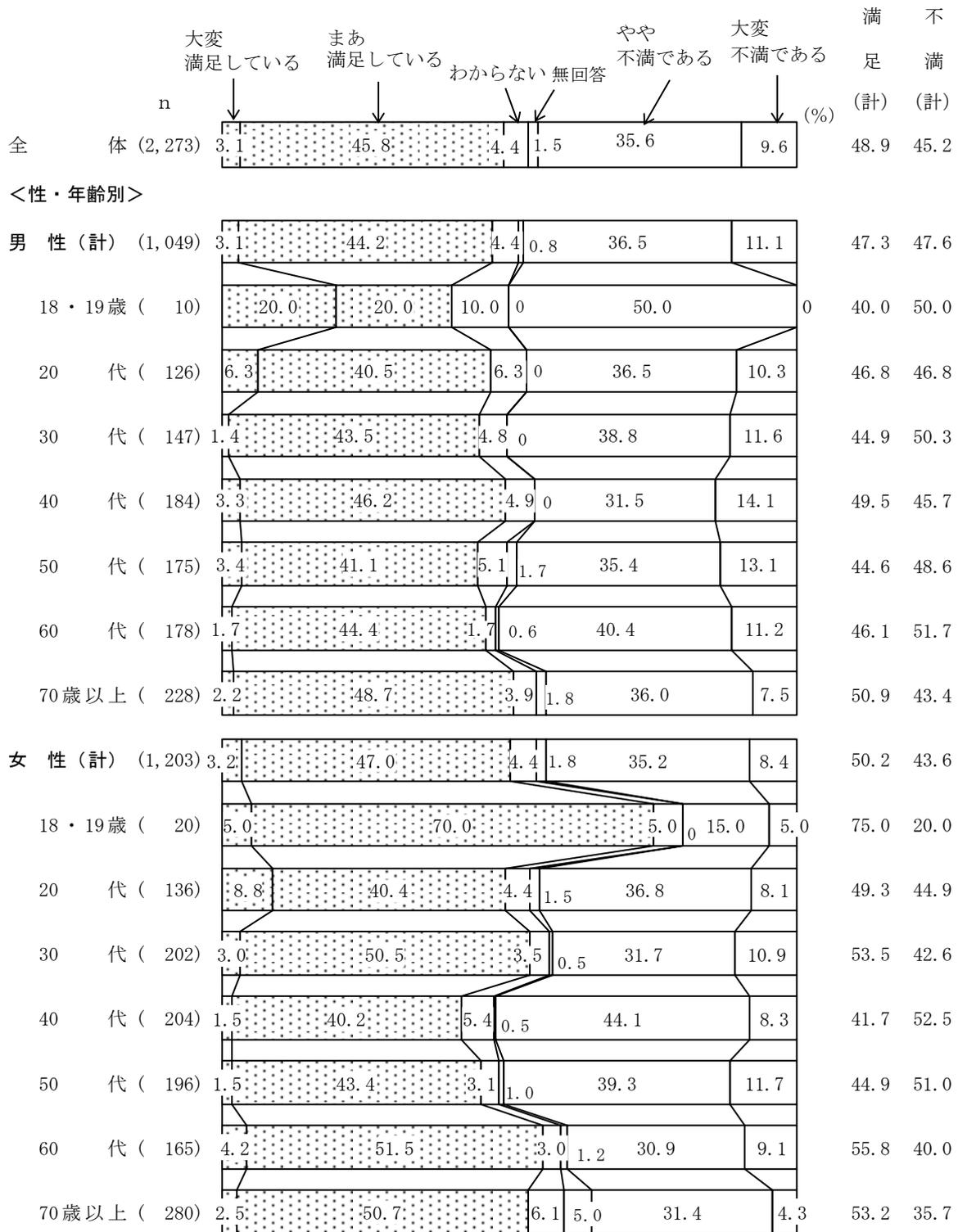
(注1) 『満足（計）』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計

『不満（計）』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

(注2) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、特に大きな差はみられない。(図1-6-3)

図1-6-3 生活満足度—性・年齢別

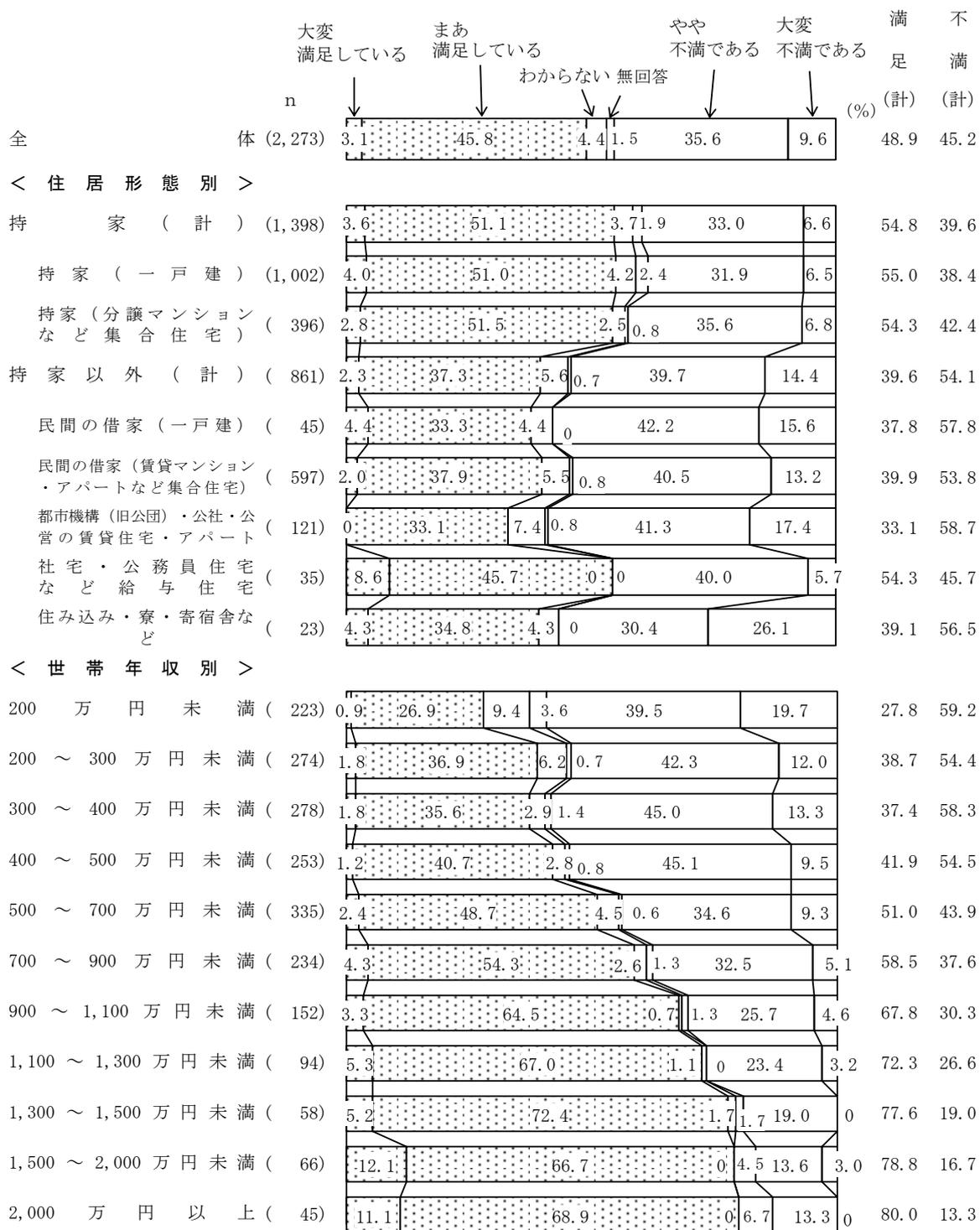


(注) 『満足 (計)』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計
 『不満 (計)』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

住居形態別にみると、『満足（計）』は持家（計）で5割半ばとなっており、持家以外（計）よりも15ポイント高くなっている。一方、『不満（計）』は持家以外（計）で5割半ばとなっており、持家（計）よりも15ポイント高くなっている。

世帯年収別にみると、『満足（計）』はおおむね年収が多くなるほど割合が高くなる傾向がある。一方、『不満（計）』はおおむね年収が低くなるほど割合が高くなる傾向にあり、年収200万円未満の世帯で6割近くと多くなっている。（図1-6-4）

図1-6-4 生活満足度－住居形態別、世帯年収別



（注）『満足（計）』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計
『不満（計）』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

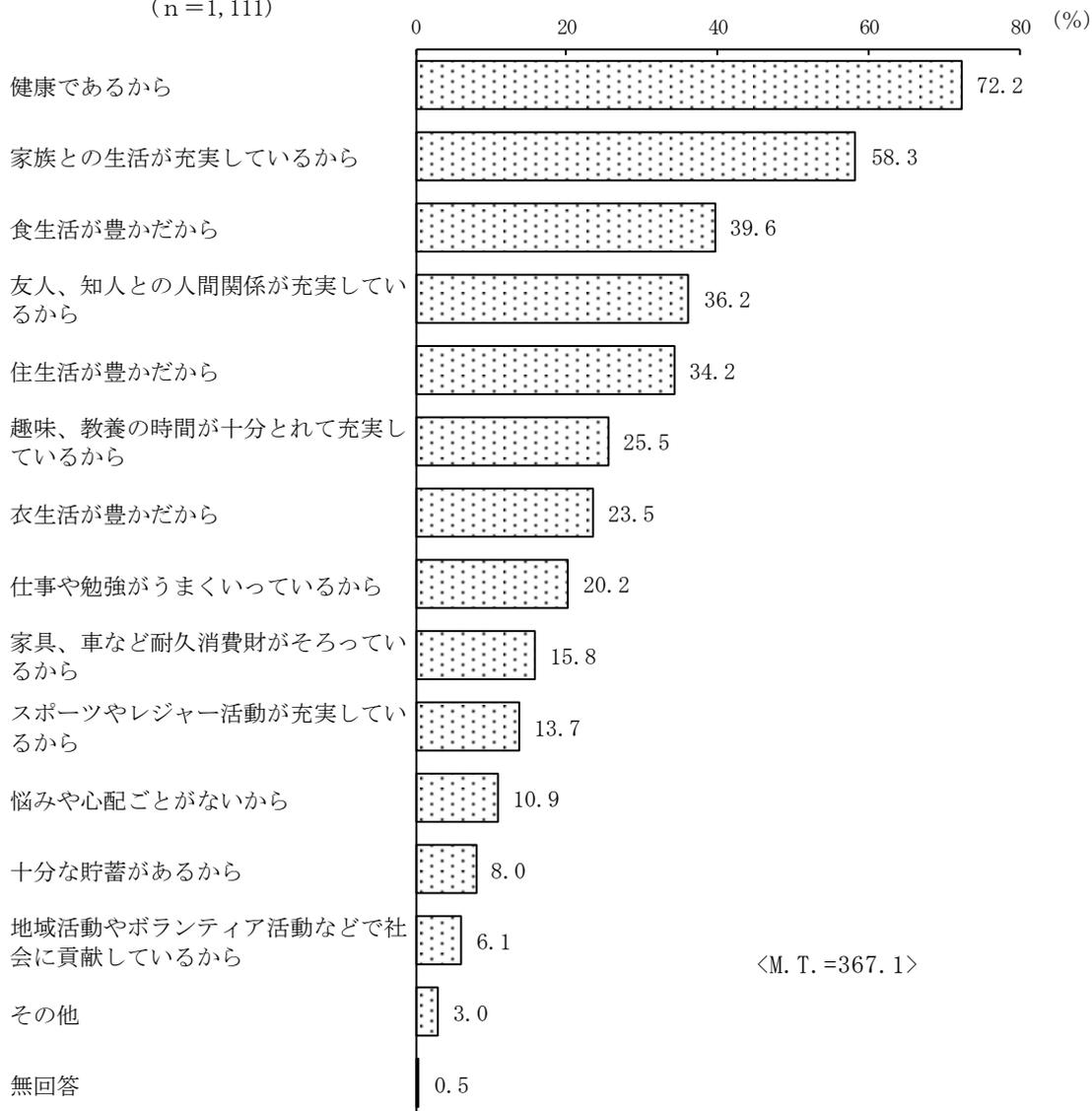
※1-7 満足の原因

図1-7-1

(問5で「1 大変満足している」「2 まあ満足している」と答えた方に)

問5-1 どのような理由で満足されていますか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)(M. A.)

(n=1,111)

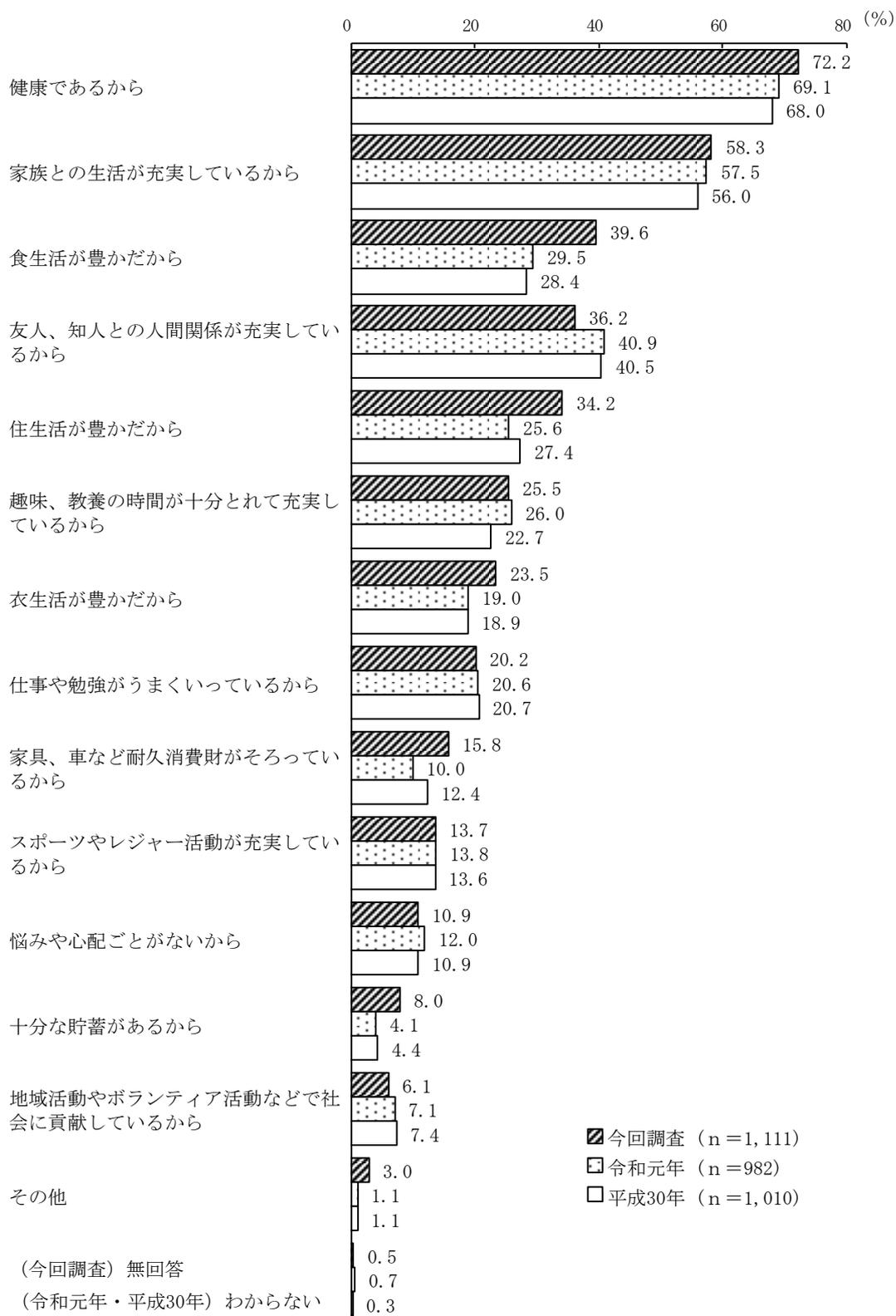


現在の生活に満足しているという人(1,111人)にその理由を聞いたところ、「健康であるから」が72%で最も多く、次いで「家族との生活が充実しているから」58%、「食生活が豊かだから」40%、「友人、知人との人間関係が充実しているから」36%、「住生活が豊かだから」34%などの順となっている。

(図1-7-1)

今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、満足の理由を過去の調査結果と単純に比較することはできないが、「食生活が豊かだから」は昨年よりも10ポイント増加している。(図1-7-2)

図1-7-2 満足の理由－過去の調査結果



(注) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、女性は男性よりも「友人、知人との人間関係が充実しているから」で15ポイント高くなっている。「健康であるから」は女性60代で8割半ば、「家族との生活が充実しているから」は女性30代で7割半ばと多くなっている。

生活程度（問3 P14）との関係でみると、多くの項目で、生活程度が高いほど割合も高くなる傾向になっている。（表1-7-1）

表1-7-1 満足の理由－性・年齢別、生活程度別

(%)

	n	健康であるから	家族との生活が充実しているから	食生活が豊かだから	友人、知人との人間関係が充実しているから	住生活が豊かだから	趣味、教養の時間が十分とれて充実しているから	衣生活が豊かだから	仕事や勉強がうまくいっているから	家具、車など耐久消費財がそろっているから	スポーツやレジャー活動が充実しているから	悩みや心配ごとがないから	十分な貯蓄があるから	地域活動やボランティア活動などで社会に貢献しているから	その他	無回答
全体	1,111	72.2	58.3	39.6	36.2	34.2	25.5	23.5	20.2	15.8	13.7	10.9	8.0	6.1	3.0	0.5
< 性・年齢別 >																
男性（計）	496	70.6	55.2	35.9	27.8	35.7	27.8	19.4	25.0	16.7	15.9	10.3	7.5	5.6	2.0	-
18・19歳	4	25.0	50.0	50.0	50.0	75.0	75.0	50.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-
20代	59	76.3	30.5	42.4	33.9	39.0	40.7	33.9	27.1	11.9	20.3	13.6	3.4	1.7	-	-
30代	66	75.8	63.6	47.0	21.2	36.4	27.3	28.8	28.8	18.2	15.2	3.0	7.6	-	1.5	-
40代	91	65.9	67.0	40.7	23.1	37.4	24.2	19.8	34.1	13.2	8.8	7.7	6.6	3.3	1.1	-
50代	78	69.2	61.5	30.8	19.2	33.3	17.9	11.5	33.3	26.9	19.2	6.4	6.4	2.6	1.3	-
60代	82	69.5	50.0	31.7	22.0	34.1	25.6	14.6	25.6	18.3	14.6	14.6	13.4	6.1	3.7	-
70歳以上	116	71.6	53.4	28.4	41.4	33.6	31.0	13.8	8.6	13.8	19.0	14.7	6.9	14.7	3.4	-
女性（計）	604	73.3	60.8	42.2	42.4	32.8	23.8	26.5	16.6	14.9	11.6	10.9	8.4	6.1	3.8	0.8
18・19歳	15	60.0	66.7	46.7	33.3	40.0	33.3	40.0	6.7	13.3	6.7	6.7	6.7	-	-	-
20代	67	73.1	62.7	52.2	47.8	37.3	26.9	40.3	14.9	10.4	10.4	13.4	6.0	1.5	1.5	-
30代	108	75.0	75.0	46.3	33.3	36.1	18.5	31.5	12.0	13.0	5.6	0.9	7.4	1.9	4.6	-
40代	85	76.5	70.6	42.4	28.2	34.1	25.9	30.6	25.9	16.5	11.8	2.4	7.1	2.4	4.7	-
50代	88	76.1	54.5	37.5	40.9	25.0	19.3	19.3	28.4	19.3	11.4	11.4	9.1	8.0	6.8	-
60代	92	85.9	59.8	32.6	48.9	28.3	26.1	17.4	20.7	13.0	14.1	14.1	12.0	9.8	3.3	-
70歳以上	149	62.4	47.7	43.0	52.3	34.2	25.5	22.8	6.7	16.1	15.4	20.1	8.7	10.7	2.7	3.4
< 生活程度別 >																
上	33	81.8	51.5	54.5	30.3	48.5	24.2	33.3	39.4	24.2	21.2	12.1	33.3	3.0	3.0	-
中の上	308	75.0	63.3	55.5	37.3	49.4	32.8	34.7	26.6	23.7	16.6	12.0	14.9	6.2	3.2	-
中の中	503	72.8	57.7	39.0	37.0	32.4	22.9	21.9	18.9	14.5	13.9	10.1	5.2	7.0	2.6	0.2
中の下	191	66.5	57.1	19.4	36.1	17.8	23.6	9.9	14.1	8.9	9.9	12.0	2.6	5.2	3.1	0.5
下	30	73.3	40.0	10.0	40.0	10.0	16.7	10.0	13.3	3.3	6.7	10.0	-	6.7	3.3	3.3

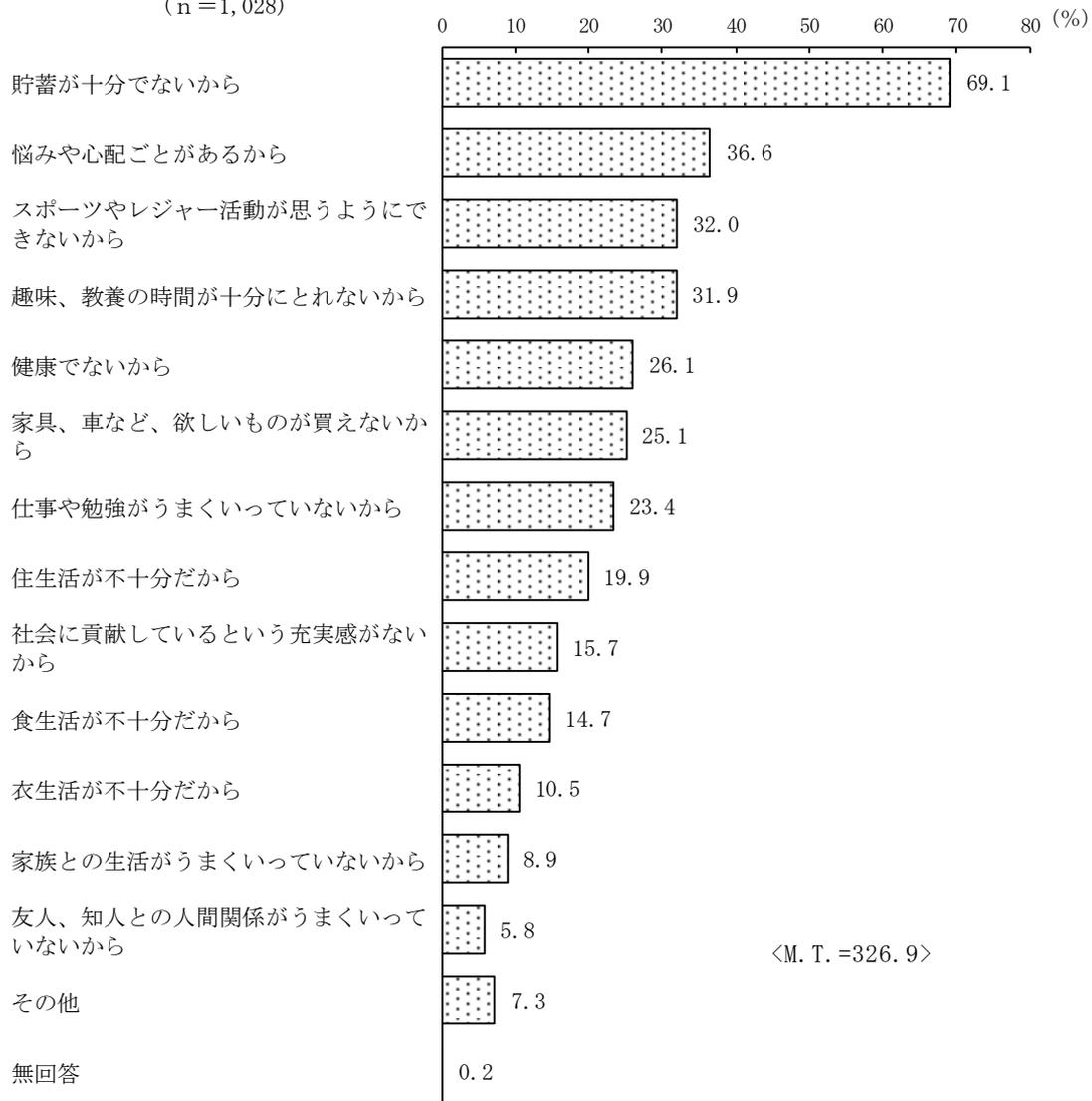
※1-8 不満の理由

図1-8-1

(問5で「3 やや不満である」「4 大変不満である」と答えた方に)

問5-2 どのような理由で不満であると感じていますか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)(M. A.)

(n=1,028)



現在の生活に不満であるという人(1,028人)にその理由を聞いたところ、「貯蓄が十分でないから」が69%で最も多く、次いで「悩みや心配ごとがあるから」37%、「スポーツやレジャー活動が思うようにできないから」「趣味、教養の時間が十分にとれないから」32%、「健康でないから」26%などの順となっている。(図1-8-1)

今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、不満の理由を過去の調査結果と単純に比較することはできないが、「スポーツやレジャー活動が思うようにできないから」は昨年よりも17ポイント、「悩みや心配ごとがあるから」は11ポイント増加している。(表1-8-1)

表1-8-1 不満の理由—過去の調査結果

		(%)															
	n	貯蓄が十分でないから	悩みや心配ごとがあるから	スポーツやレジャー活動が思うようにできないから	趣味、教養の時間が十分に取れないから	健康でないから	家具、車などが買えないから	欲しいものがないから	仕事や勉強がうまくいっていないから	住生活が不十分だから	社会に貢献していないから	食生活が不十分だから	衣生活が不十分だから	家族との生活がうまくいっていないから	友人、知人との人間関係がうまくいっていないから	その他	無回答（※前回以前は「わからない」）
今回調査	1,028	69.1	36.6	32.0	31.9	26.1	25.1	23.4	19.9	15.7	14.7	10.5	8.9	5.8	7.3	0.2	
令和元年	747	68.0	26.0	15.4	25.8	22.9	20.9	15.7	18.1	9.5	12.4	8.6	5.4	1.9	6.8	0.9	
平成30年	758	64.0	26.1	18.9	27.8	26.6	21.6	13.9	16.8	7.7	9.9	7.4	7.3	1.7	6.6	0.9	
29年	728	64.0	30.1	21.0	29.7	23.2	22.5	19.9	15.4	8.4	9.6	7.8	6.2	2.5	5.1	1.4	
28年	750	63.1	24.1	16.5	27.1	24.9	19.2	15.2	21.5	9.9	12.4	10.1	6.1	2.0	5.2	1.1	
27年	856	65.5	24.1	17.4	28.2	23.1	19.9	14.6	17.8	10.0	13.8	7.6	5.1	2.7	5.3	1.3	
26年	804	71.5	25.9	18.4	28.2	25.0	23.5	16.0	19.9	8.1	14.1	10.4	5.2	2.1	5.3	0.9	
25年	830	66.9	26.1	17.5	25.8	22.0	24.5	16.9	19.5	9.3	10.6	7.3	5.1	2.3	6.4	2.4	
24年	840	63.7	28.2	17.3	27.1	25.5	21.1	16.3	18.1	9.0	11.8	9.9	6.7	2.1	5.2	2.5	
23年	858	62.2	25.2	19.3	28.1	21.9	20.2	19.9	16.9	12.1	10.3	6.6	5.8	2.4	6.4	1.3	

(注) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、「趣味、教養の時間が十分にとれないから」は男性20代、30代で4割半ばから5割と多くなっている。「健康でないから」は男性70歳以上で5割を超えて多くなっている。

生活程度（問3 P14）との関係でみると、多くの項目で、生活程度が低いほど割合が高くなる傾向にある。（表1-8-2）

表1-8-2 不満の理由－性・年齢別、生活程度別

		(%)															
	n	貯蓄が十分でないから	悩みや心配ごとがあるから	スポーツやレジャー活動が思うようにできないから	趣味、教養の時間が十分にとれないから	健康でないから	家具、車などが買えないから	欲しいものがないから	仕事や勉強がうまくいっていないから	住生活が不十分だから	社会に貢献していないから	食生活が不十分だから	衣生活が不十分だから	家族との生活がうまくいっていないから	友人、知人との人間関係がうまくいっていないから	その他	無回答
全 体	1,028	69.1	36.6	32.0	31.9	26.1	25.1	23.4	19.9	15.7	14.7	10.5	8.9	5.8	7.3	0.2	
< 性・年齢別 >																	
男 性 (計)	499	68.9	32.1	31.3	32.1	28.7	26.5	28.7	20.4	19.0	15.0	9.4	7.4	6.4	5.8	0.2	
18・19 歳	5	40.0	20.0	60.0	40.0	20.0	40.0	40.0	-	20.0	-	-	-	20.0	20.0	-	
20 代	59	72.9	33.9	30.5	50.8	3.4	39.0	52.5	16.9	28.8	13.6	10.2	13.6	15.3	8.5	-	
30 代	74	70.3	28.4	29.7	45.9	8.1	35.1	32.4	18.9	12.2	20.3	13.5	8.1	6.8	1.4	1.4	
40 代	84	67.9	47.6	23.8	38.1	32.1	34.5	41.7	20.2	23.8	14.3	13.1	8.3	3.6	6.0	-	
50 代	85	69.4	32.9	34.1	34.1	18.8	27.1	38.8	21.2	15.3	12.9	8.2	7.1	11.8	8.2	-	
60 代	92	68.5	19.6	31.5	20.7	41.3	16.3	10.9	25.0	10.9	10.9	7.6	4.3	3.3	6.5	-	
70 歳以上	99	67.7	32.3	34.3	14.1	53.5	13.1	8.1	20.2	24.2	19.2	6.1	6.1	1.0	4.0	-	
女 性 (計)	524	69.5	41.0	33.0	32.1	23.3	24.0	18.7	19.7	12.6	14.3	11.6	10.3	5.3	8.6	-	
18・19 歳	4	25.0	25.0	-	25.0	-	25.0	25.0	-	-	-	-	50.0	25.0	25.0	-	
20 代	61	77.0	42.6	36.1	36.1	14.8	31.1	29.5	18.0	16.4	14.8	18.0	3.3	4.9	9.8	-	
30 代	86	74.4	46.5	31.4	39.5	11.6	37.2	25.6	27.9	15.1	14.0	15.1	10.5	4.7	9.3	-	
40 代	107	72.9	40.2	38.3	33.6	16.8	36.4	19.6	21.5	7.5	14.0	14.0	14.0	8.4	9.3	-	
50 代	100	77.0	45.0	42.0	34.0	16.0	26.0	26.0	22.0	15.0	18.0	14.0	7.0	5.0	8.0	-	
60 代	66	65.2	28.8	28.8	34.8	34.8	10.6	10.6	19.7	12.1	9.1	3.0	12.1	4.5	6.1	-	
70 歳以上	100	54.0	41.0	22.0	18.0	46.0	2.0	3.0	10.0	12.0	15.0	6.0	11.0	3.0	8.0	-	
< 生活程度別 >																	
上	7	28.6	14.3	28.6	42.9	-	14.3	28.6	14.3	14.3	-	-	14.3	14.3	28.6	14.3	
中の上	53	37.7	35.8	35.8	30.2	18.9	18.9	37.7	17.0	22.6	1.9	5.7	13.2	15.1	5.7	-	
中の中	276	58.7	35.1	37.7	34.8	19.2	18.8	19.6	11.2	13.4	8.0	4.7	10.5	4.7	8.3	-	
中の下	401	76.3	36.7	32.4	31.9	27.9	26.9	22.9	21.2	16.2	15.7	11.0	6.7	4.5	5.5	-	
下	216	79.2	38.0	22.7	27.3	33.8	32.9	25.9	31.9	17.1	26.9	19.9	8.8	6.9	9.3	0.5	

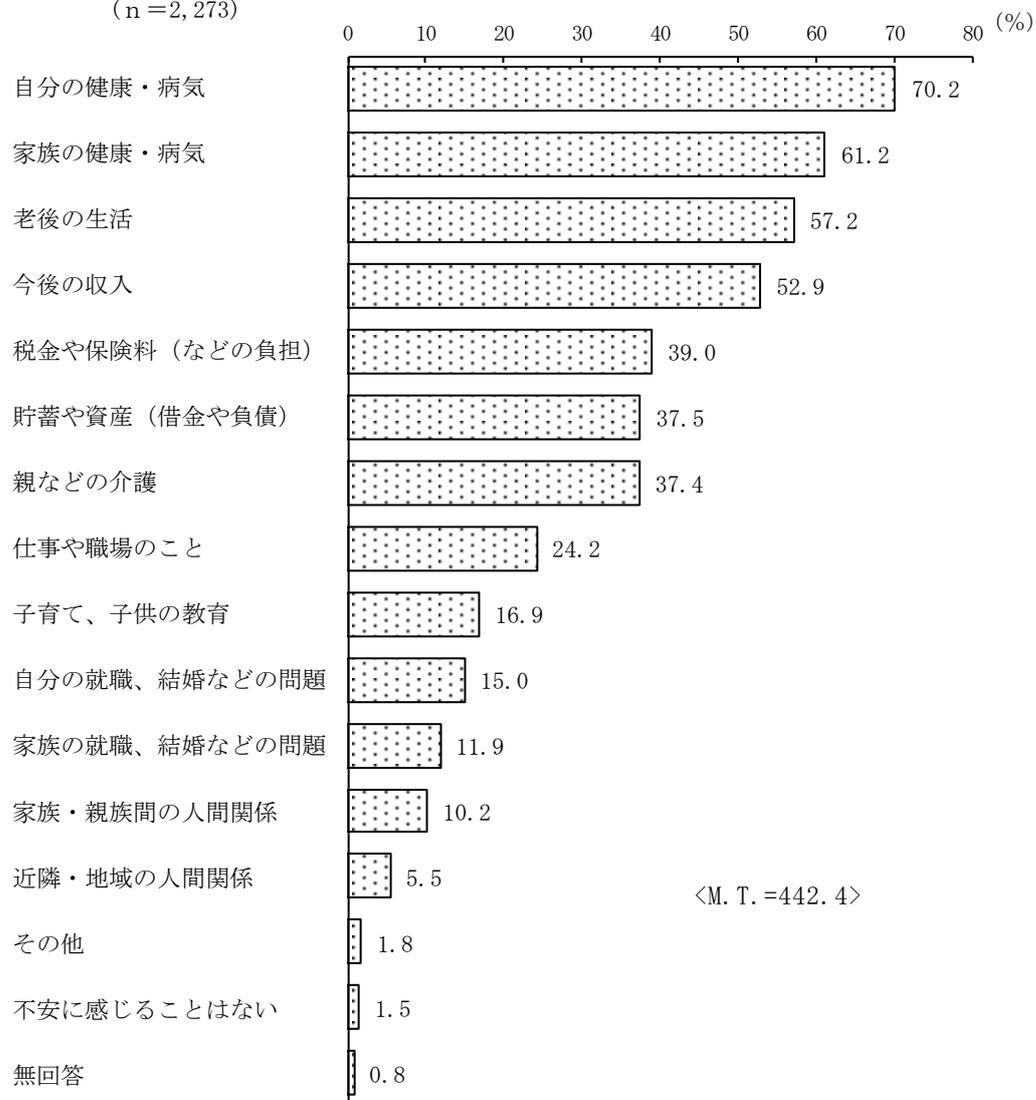
※1-9 今後の生活の不安

図1-9-1

(全員の方に)

問6 あなたが、今後の生活を考えたとき、不安に感じることはありませんか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)(M. A.)

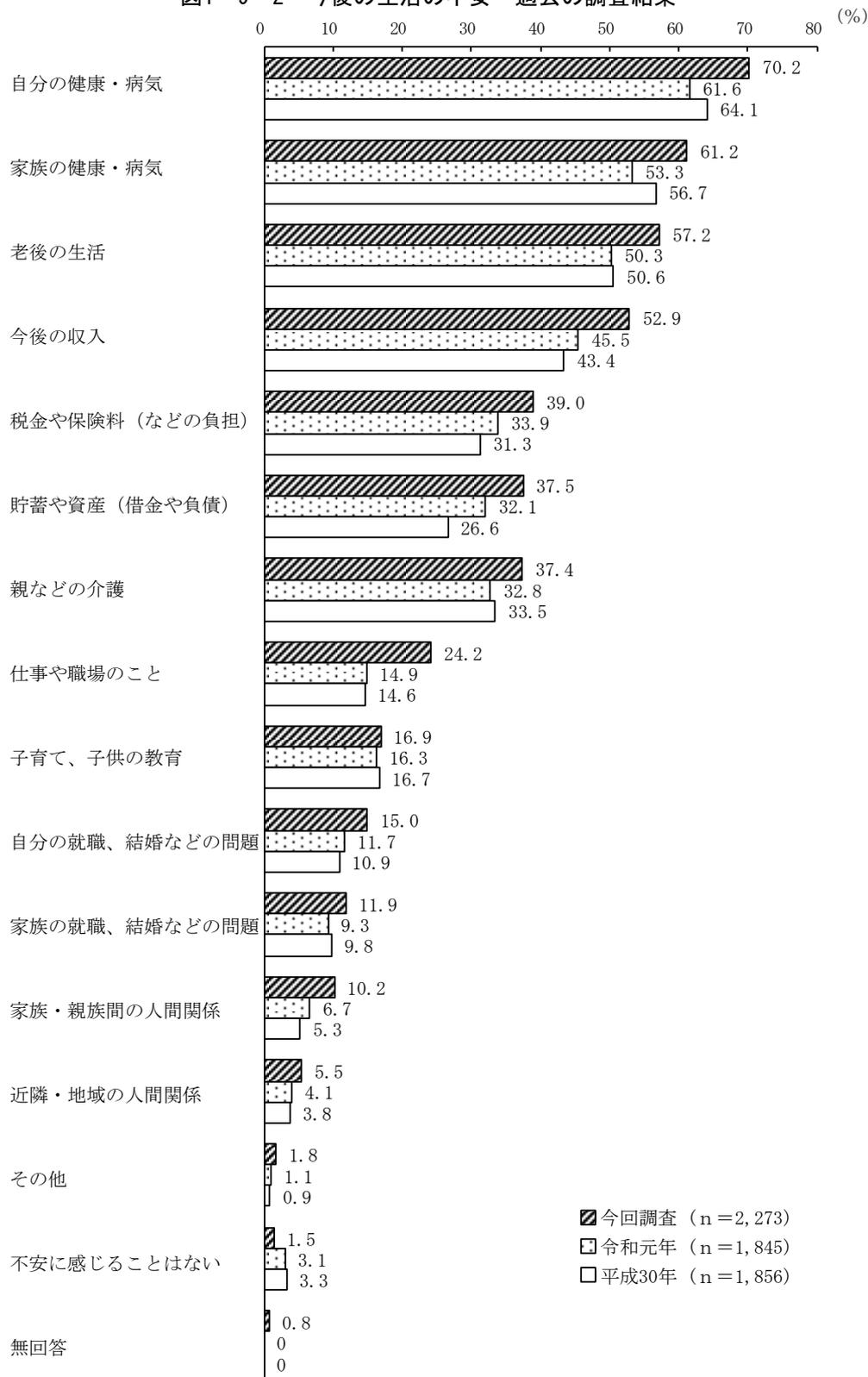
(n=2,273)



今後の生活で不安に感じることを聞いたところ、「自分の健康・病気」が70%で最も多く、次いで「家族の健康・病気」61%、「老後の生活」57%、「今後の収入」53%、「税金や保険料 (などの負担)」39%、「貯蓄や資産 (借金や負債)」38%、「親などの介護」37%などの順となっている。(図1-9-1)

今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、今後の生活の不安を過去の調査結果と単純に比較することはできないが、昨年よりもほとんどの項目で増加している。「仕事や職場のこと」と「自分の健康・病気」は昨年よりも9ポイント、「家族の健康・病気」は8ポイント増加している。(図1-9-2)

図1-9-2 今後の生活の不安—過去の調査結果



(注) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、「自分の健康・病気」はおおむね年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向にあり、男女とも50代から70歳以上で8割前後と多くなっている。「老後の生活」は女性50代で8割を超えて多くなっている。(表1-9-1)

表1-9-1 今後の生活の不安－性・年齢別

(%)

	n	自分の健康・病気	家族の健康・病気	老後の生活	今後の収入	税金や保険料(などの負担)	貯蓄や資産(借金や負債)	親などの介護	仕事や職場のこと	子育て、子供の教育	自分の就職、結婚などの問題	家族の就職、結婚などの問題	家族・親族間の人間関係	近隣・地域の人間関係	その他	不安に感じることはない	無回答
全 体	2,273	70.2	61.2	57.2	52.9	39.0	37.5	37.4	24.2	16.9	15.0	11.9	10.2	5.5	1.8	1.5	0.8
＜性・年齢別＞																	
男 性 (計)	1,049	68.8	58.2	54.9	54.8	41.1	39.4	35.8	26.0	15.9	14.2	11.6	9.5	5.1	1.6	1.3	0.9
18・19歳	10	20.0	30.0	-	40.0	40.0	10.0	10.0	-	-	50.0	-	-	-	-	10.0	10.0
20代	126	39.7	44.4	24.6	68.3	46.0	46.0	29.4	38.1	11.9	53.2	7.1	11.9	4.0	1.6	2.4	0.8
30代	147	51.0	52.4	37.4	60.5	44.9	59.2	46.3	30.6	36.1	21.8	3.4	13.6	5.4	1.4	0.7	-
40代	184	67.4	58.2	57.6	66.3	49.5	52.2	63.6	42.9	33.2	14.7	11.4	10.9	6.0	2.7	0.5	-
50代	175	78.9	64.0	70.3	58.9	42.3	45.1	57.1	38.9	20.6	5.7	20.0	11.4	7.4	-	0.6	0.6
60代	178	82.6	56.7	69.7	50.0	33.1	31.5	23.0	13.5	0.6	2.8	16.3	7.3	1.7	2.2	1.7	1.1
70歳以上	228	81.1	67.5	59.6	35.5	34.2	15.8	5.3	3.9	0.4	1.3	10.1	5.3	5.7	1.8	1.8	1.8
女 性 (計)	1,203	71.4	64.1	59.3	51.6	37.7	36.4	39.1	22.8	18.0	15.8	12.3	10.9	5.8	2.0	1.7	0.7
18・19歳	20	30.0	65.0	10.0	45.0	30.0	15.0	30.0	15.0	-	60.0	5.0	15.0	5.0	-	-	-
20代	136	46.3	59.6	30.9	58.1	48.5	44.9	38.2	40.4	16.2	50.7	5.9	8.1	4.4	-	2.2	-
30代	202	62.9	66.8	47.5	69.3	50.5	56.4	53.0	39.6	51.5	26.2	8.4	11.9	6.9	3.5	1.0	-
40代	204	67.6	65.7	65.2	66.7	43.1	49.5	64.7	28.9	36.3	16.7	13.2	14.7	7.8	0.5	0.5	-
50代	196	82.1	73.0	82.1	61.7	37.2	46.4	62.2	29.6	6.6	9.2	24.5	13.3	7.7	2.0	1.5	-
60代	165	77.6	67.3	73.3	40.0	34.5	21.2	25.5	7.9	1.2	2.4	12.1	8.5	4.2	2.4	1.8	0.6
70歳以上	280	84.3	55.0	56.4	25.0	21.8	11.8	3.2	2.1	0.4	-	9.6	8.2	3.9	2.9	2.9	2.9

世帯年収別にみると、「自分の健康・病気」は年収200万円未満の世帯で8割を超えて多くなっている。「今後の収入」は年収500～700万円未満の世帯で6割を超えている。

生活満足度（問5 P26）との関係でみると、『不満（計）』は『満足（計）』よりも「今後の収入」が28ポイント、「貯蓄や資産（借金や負債）」が27ポイント、「税金や保険料（などの負担）」が23ポイント高くなっている。（表1-9-2）

表1-9-2 今後の生活の不安－世帯年収別、生活満足度別

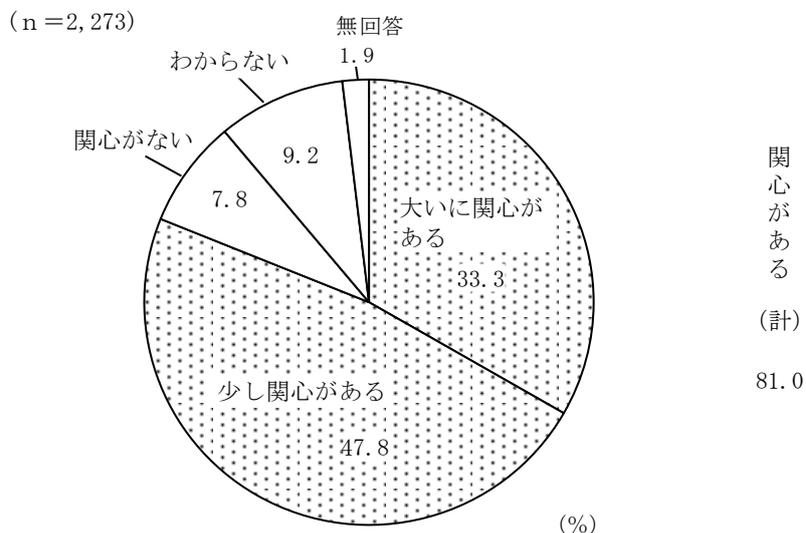
(%)

	n	自分の健康・病気	家族の健康・病気	老後の生活	今後の収入	税金や保険料（などの負担）	貯蓄や資産（借金や負債）	親などの介護	仕事や職場のこと	子育て、子供の教育	自分の就職、結婚などの問題	家族の就職、結婚などの問題	家族・親族間の人間関係	近隣・地域の人間関係	その他	不安に感じることはない	無回答
全 体	2,273	70.2	61.2	57.2	52.9	39.0	37.5	37.4	24.2	16.9	15.0	11.9	10.2	5.5	1.8	1.5	0.8
< 世帯年収別 >																	
200万円未満	223	81.6	43.9	61.4	48.9	34.1	32.7	20.2	15.7	3.1	13.0	6.7	6.7	4.9	2.2	2.7	0.4
200～300万円未満	274	72.6	58.8	58.4	51.8	43.1	35.8	25.5	23.7	6.2	16.8	9.1	8.8	4.7	2.6	0.7	1.5
300～400万円未満	278	70.5	61.9	65.8	57.9	46.0	41.7	30.2	27.0	7.2	21.2	11.9	10.4	4.0	1.1	1.4	1.4
400～500万円未満	253	67.6	64.8	64.4	58.5	47.8	43.9	36.0	22.5	17.0	13.8	13.8	11.9	7.1	1.6	0.8	1.2
500～700万円未満	335	70.7	66.0	58.2	61.8	42.1	44.2	47.2	27.8	24.5	11.0	11.9	11.9	5.4	2.4	0.6	-
700～900万円未満	234	60.3	60.7	50.0	48.7	34.2	35.5	41.9	33.3	31.6	11.1	15.8	6.8	5.6	2.1	1.7	0.4
900～1,100万円未満	152	75.7	67.1	55.3	55.9	38.2	40.1	51.3	21.7	32.9	9.2	13.8	8.6	3.9	1.3	1.3	0.7
1,100～1,300万円未満	94	71.3	73.4	54.3	48.9	24.5	34.0	48.9	20.2	27.7	5.3	16.0	10.6	3.2	1.1	3.2	1.1
1,300～1,500万円未満	58	65.5	62.1	51.7	39.7	32.8	36.2	62.1	24.1	25.9	6.9	22.4	17.2	8.6	-	3.4	-
1,500～2,000万円未満	66	60.6	57.6	59.1	36.4	22.7	33.3	51.5	24.2	22.7	12.1	12.1	15.2	3.0	4.5	4.5	-
2,000万円以上	45	80.0	68.9	66.7	40.0	22.2	22.2	48.9	22.2	15.6	6.7	20.0	13.3	8.9	2.2	-	-
< 生活満足度別 >																	
大変満足している	71	56.3	60.6	33.8	26.8	25.4	14.1	32.4	12.7	14.1	11.3	7.0	5.6	1.4	-	11.3	1.4
まあ満足している	1,040	71.3	66.0	52.4	40.7	28.8	25.9	38.8	18.0	17.9	9.7	12.4	8.3	3.9	1.7	2.0	0.8
やや不満である	809	69.1	59.7	64.0	65.4	48.6	48.7	36.7	28.2	15.8	18.0	11.6	12.0	5.8	1.9	0.1	0.9
大変不満である	219	70.8	49.8	66.7	77.2	60.3	64.8	39.3	42.0	18.7	30.1	16.0	16.4	11.4	2.7	0.5	0.5
満足（計）	1,111	70.4	65.6	51.2	39.8	28.6	25.1	38.4	17.6	17.6	9.8	12.1	8.1	3.8	1.6	2.6	0.8
不満（計）	1,028	69.5	57.6	64.6	67.9	51.1	52.1	37.3	31.1	16.4	20.6	12.5	12.9	7.0	2.0	0.2	0.8

※1-10 税金への関心度とその内容

図1-10-1
(全員の方に)

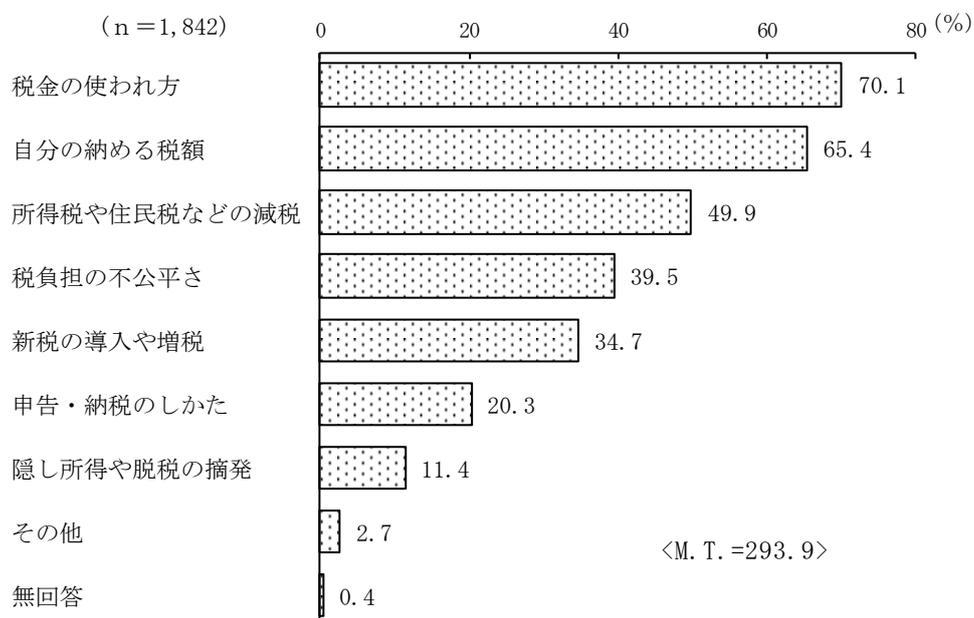
問7 あなたは、税金について関心がありますか。(○は1つ)



(注) 『関心がある (計)』は「大いに関心がある」「少し関心がある」の合計

(問7で「1 大いに関心がある」「2 少し関心がある」と答えた方に)

問7-1 では、今、あなたが関心をもっているのはどのようなことですか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(○はいくつでも) (M. A.)

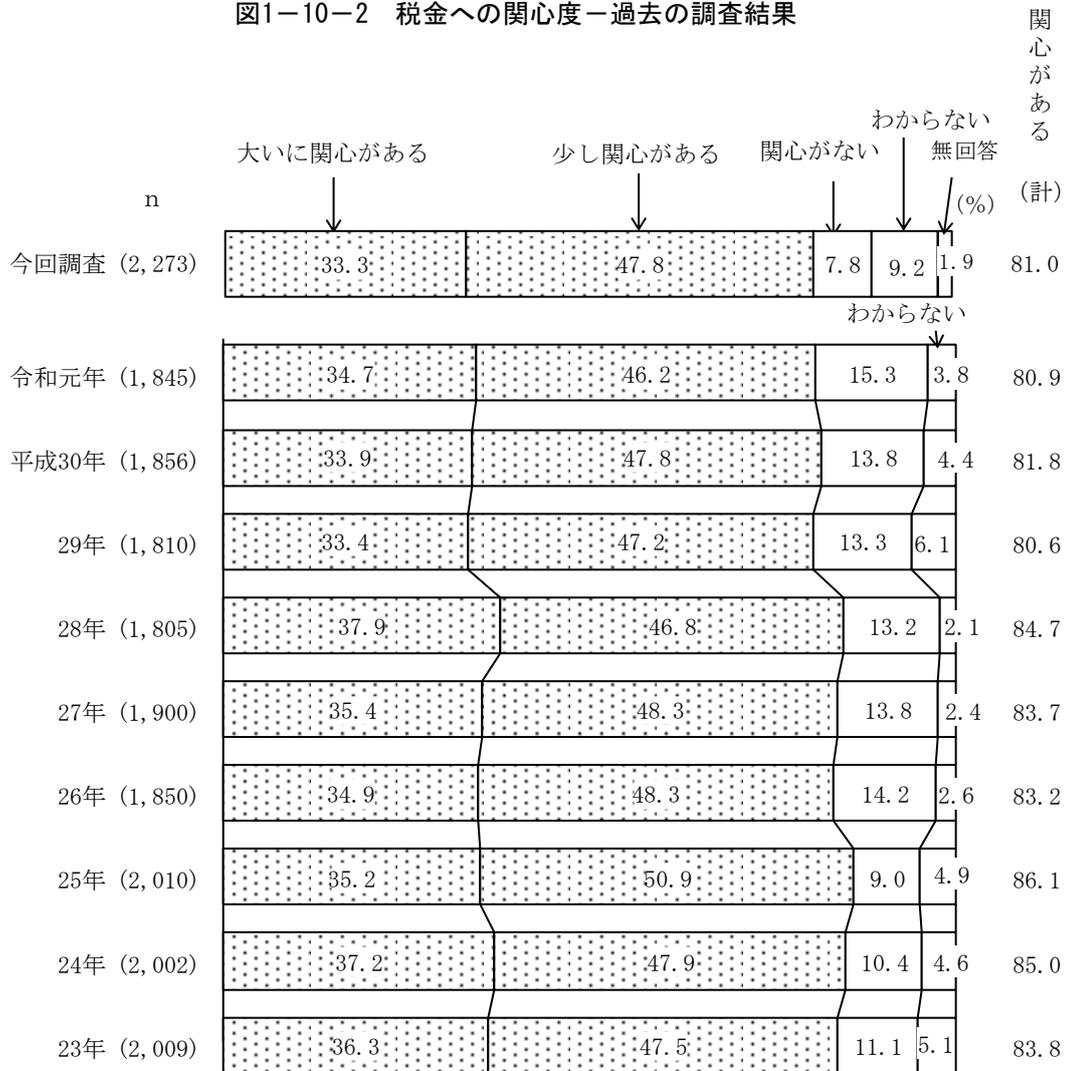


税金について関心があるかどうか聞いたところ、『関心がある (計)』は81%、「関心がない」は8%となっている。

税金に『関心がある (計)』と答えた人 (1,842人) にその内容を聞いたところ、「税金の使われ方」70%が最も多く、次いで「自分の納める税額」65%、「所得税や住民税などの減税」50%などの順となっている。(図1-10-1)

今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、税金への関心度を過去の調査結果と単純に比較することはできないが、「関心がない」は昨年よりも8ポイント減少している。(図1-10-2)

図1-10-2 税金への関心度－過去の調査結果

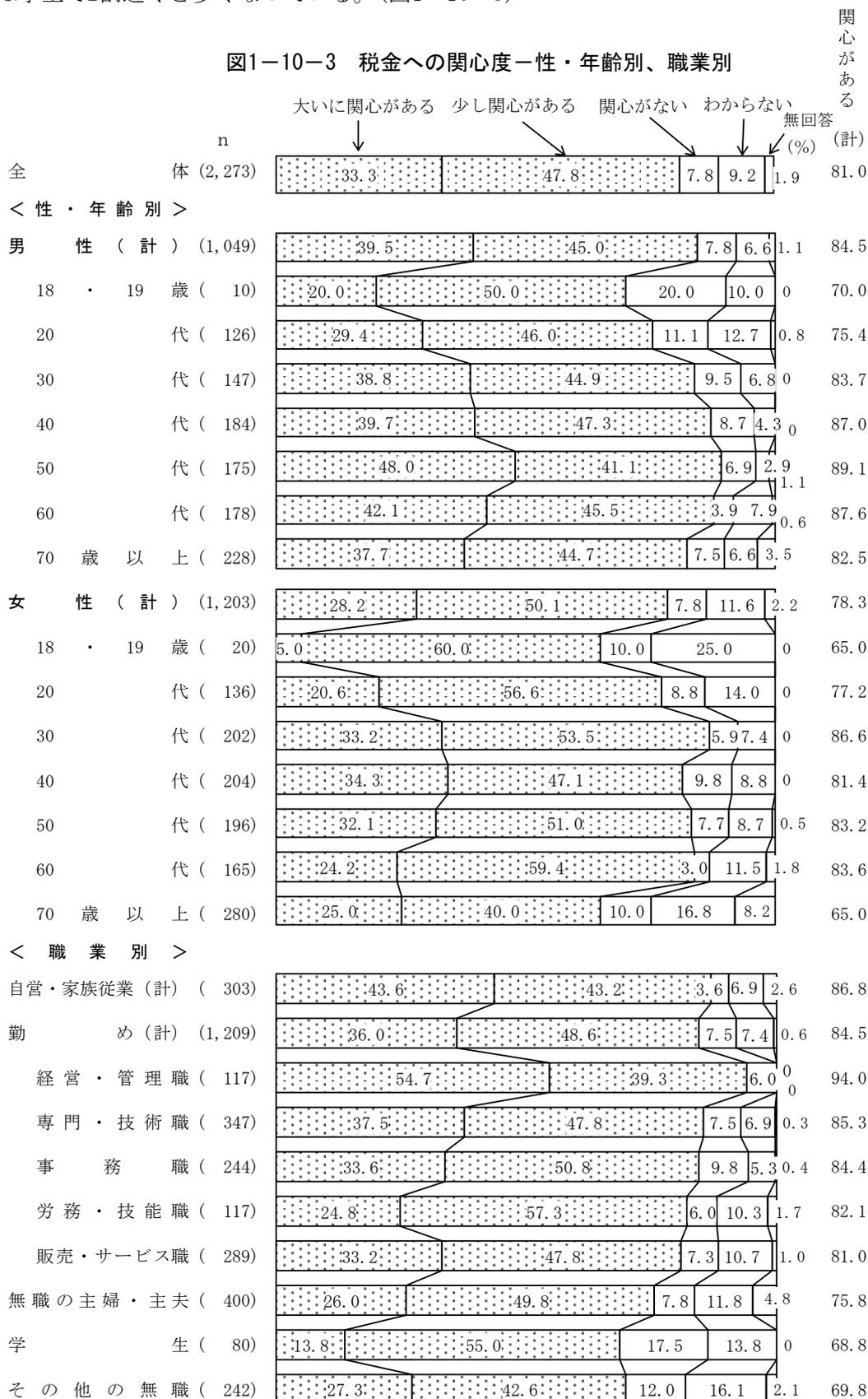


(注1) 『関心がある (計)』は「大いに興味がある」「少し興味がある」の合計

(注2) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、男性は女性よりも『関心がある（計）』が6ポイント高くなっている。男性40代から60代は9割近くと多くなっている。

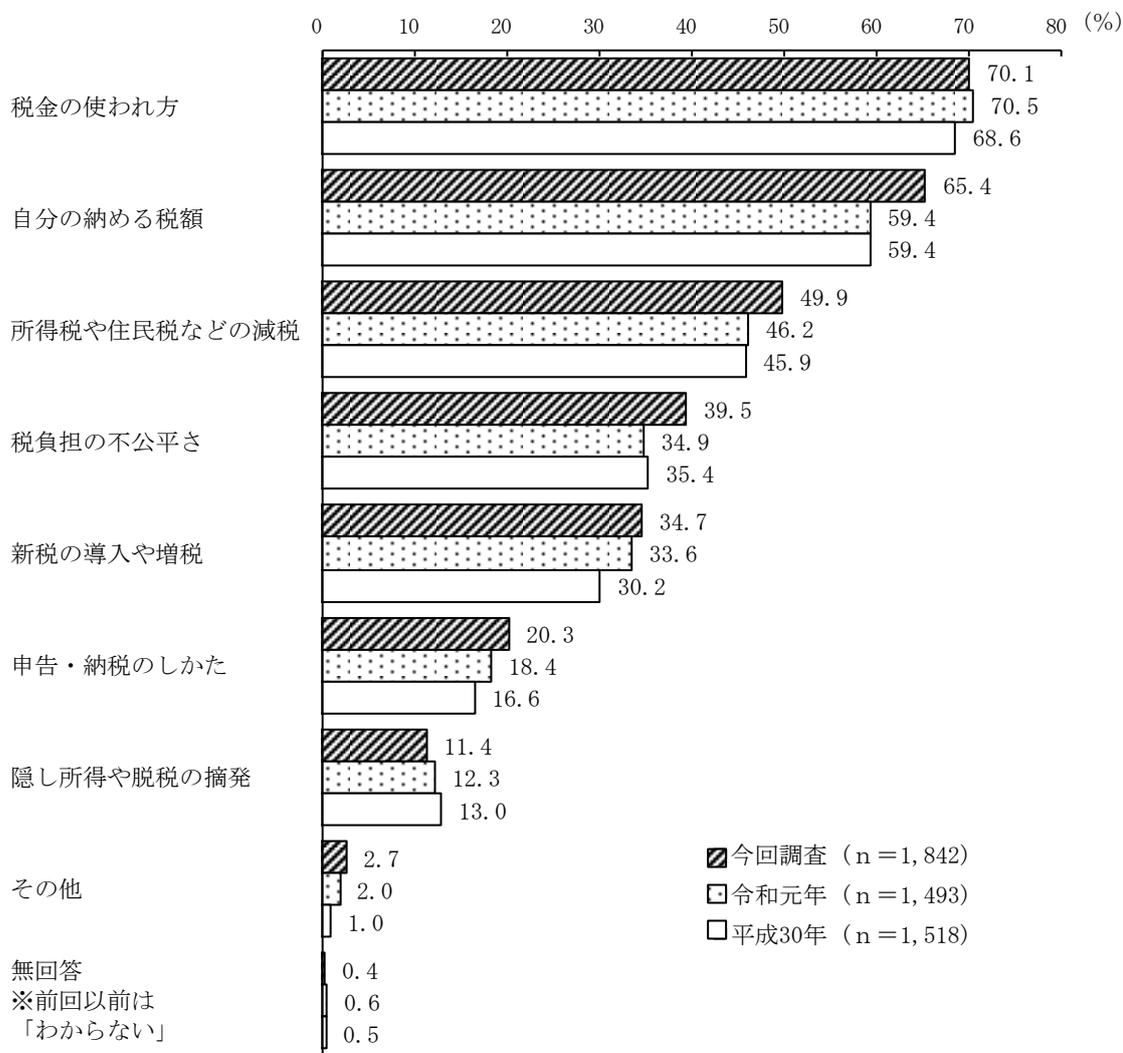
職業別にみると、『関心がある（計）』は経営・管理職で9割半ばと多くなっている。一方、「関心がない」は学生で2割近くと多くなっている。（図1-10-3）



(注) 『関心がある (計)』は「大に関心がある」「少し関心がある」の合計

今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、税金について関心がある内容を過去の調査結果と単純に比較することはできないが、「自分の納める税額」は昨年よりも6ポイント、「税負担の不公平さ」は5ポイント増加している。(図1-10-4)

図1-10-4 税金への関心の内容－過去の調査結果



(注) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、「税金の使われ方」は女性が男性よりも8ポイント高く、女性40代では8割を超えている。「自分の納める税額」では、男性が女性よりも8ポイント高く、男性30代で8割近くと多くなっている。(表1-10-1)

表1-10-1 税金への関心の内容－性・年齢別

(%)

	n	税金の使われ方	自分の納める税額	減所得税や住民税などの	税負担の不公平さ	新税の導入や増税	申告・納税のしかた	隠し所得や脱税の摘発	その他	無回答
全 体	1,842	70.1	65.4	49.9	39.5	34.7	20.3	11.4	2.7	0.4
<性・年齢別>										
男 性 (計)	886	65.8	69.5	51.7	42.0	34.3	21.2	13.2	3.0	0.1
18・19 歳	7	71.4	57.1	14.3	28.6	28.6	-	28.6	-	-
20 代	95	64.2	75.8	49.5	35.8	31.6	37.9	12.6	3.2	-
30 代	123	58.5	78.9	61.8	41.5	31.7	25.2	12.2	4.1	-
40 代	160	69.4	74.4	58.8	51.3	38.1	18.8	11.9	2.5	0.6
50 代	156	66.0	74.4	57.1	44.2	33.3	17.3	12.8	1.9	-
60 代	156	65.4	64.7	44.9	41.7	35.3	19.2	12.2	4.5	-
70 歳 以 上	188	68.1	56.4	43.1	36.2	34.6	18.1	16.0	2.7	-
女 性 (計)	942	74.0	61.7	48.6	37.4	35.1	19.5	9.9	2.3	0.6
18・19 歳	13	38.5	76.9	15.4	15.4	15.4	76.9	-	-	-
20 代	105	75.2	76.2	49.5	37.1	27.6	29.5	13.3	1.0	1.0
30 代	175	69.1	73.1	52.0	35.4	34.9	16.6	7.4	1.1	-
40 代	166	81.3	64.5	62.0	37.3	39.8	17.5	10.8	-	-
50 代	163	77.9	59.5	51.5	42.9	45.4	19.6	8.6	2.5	-
60 代	138	75.4	51.4	40.6	45.7	38.4	18.8	11.6	4.3	-
70 歳 以 上	182	69.2	48.4	38.5	29.7	25.3	14.8	9.9	4.9	2.7

職業別にみると、「自分の納める税額」は勤め（計）で7割を超えて多くなっている。

世帯年収別にみると、「自分の納める税額」は年収900～1,100万円未満の世帯で7割半ばと多くなっている。一方で、年収200万円未満の世帯で4割半ばと少なくなっている。（表1-10-2）

表1-10-2 税金への関心の内容－職業別、世帯年収別

(%)

	n	税金の使われ方	自分の納める税額	減所得税や住民税などの	税負担の不公平さ	新税の導入や増税	申告・納税のしかた	隠し所得や脱税の摘発	その他	無回答
全体	1,842	70.1	65.4	49.9	39.5	34.7	20.3	11.4	2.7	0.4
< 職業別 >										
自営・家族従業（計）	263	67.7	66.2	49.0	38.8	38.0	20.9	9.9	3.0	0.4
勤め（計）	1,022	70.2	71.0	54.9	42.8	34.1	19.7	11.1	2.5	0.1
経営・管理職	110	75.5	74.5	51.8	43.6	30.0	19.1	9.1	2.7	-
専門・技術職	296	72.0	76.0	51.4	46.6	35.5	22.3	12.2	3.7	-
事務職	206	66.5	68.0	55.8	41.3	34.5	19.9	13.1	1.5	-
労務・技能職	96	67.7	69.8	57.3	40.6	37.5	24.0	6.3	2.1	-
販売・サービス職	234	70.1	67.1	63.7	41.0	33.3	17.9	11.5	3.0	0.4
無職の主婦・主夫	303	73.9	51.5	45.5	35.6	37.3	17.8	14.2	2.3	0.7
学生	55	60.0	80.0	29.1	30.9	41.8	49.1	12.7	-	-
その他の無職	169	71.6	54.4	37.9	33.1	29.6	19.5	11.8	4.7	0.6
< 世帯年収別 >										
200万円未満	145	73.1	46.2	37.9	34.5	28.3	17.9	12.4	4.8	2.1
200～300万円未満	215	70.7	62.8	47.9	40.5	31.2	20.5	12.1	2.8	0.5
300～400万円未満	231	68.8	61.5	51.5	44.6	33.3	21.2	16.0	2.6	0.4
400～500万円未満	214	73.8	62.6	57.9	42.5	35.5	18.7	10.7	1.4	-
500～700万円未満	295	71.5	71.9	54.9	37.3	32.5	22.0	13.6	3.4	-
700～900万円未満	198	68.7	66.7	53.5	36.9	36.9	19.7	9.1	3.5	-
900～1,100万円未満	138	63.8	76.1	50.0	41.3	42.0	13.8	9.4	2.9	-
1,100～1,300万円未満	78	70.5	61.5	60.3	37.2	32.1	12.8	11.5	3.8	-
1,300～1,500万円未満	53	66.0	69.8	47.2	43.4	37.7	24.5	7.5	-	-
1,500～2,000万円未満	59	74.6	72.9	44.1	40.7	45.8	23.7	3.4	1.7	-
2,000万円以上	42	71.4	71.4	31.0	45.2	45.2	19.0	4.8	2.4	-

2 住んでいる地域

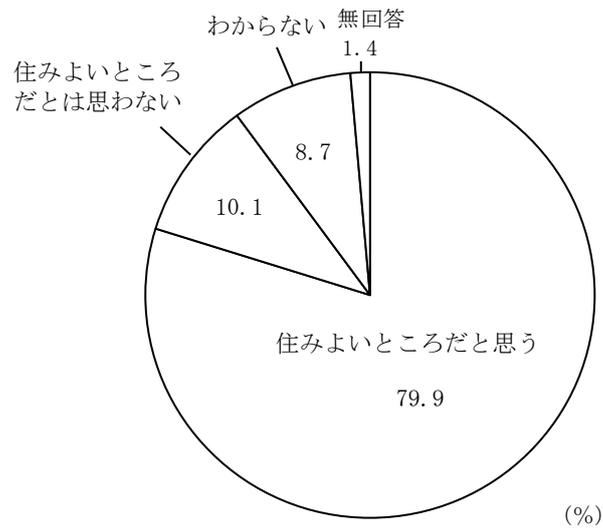
※2-1 地域の住みよさ

図2-1-1

(全員の方に)

問8 ところで、あなたが、今住んでいらっしゃるところは、住みよいところだと思いますか。それとも、思いませんか。(○は1つ)

(n=2,273)

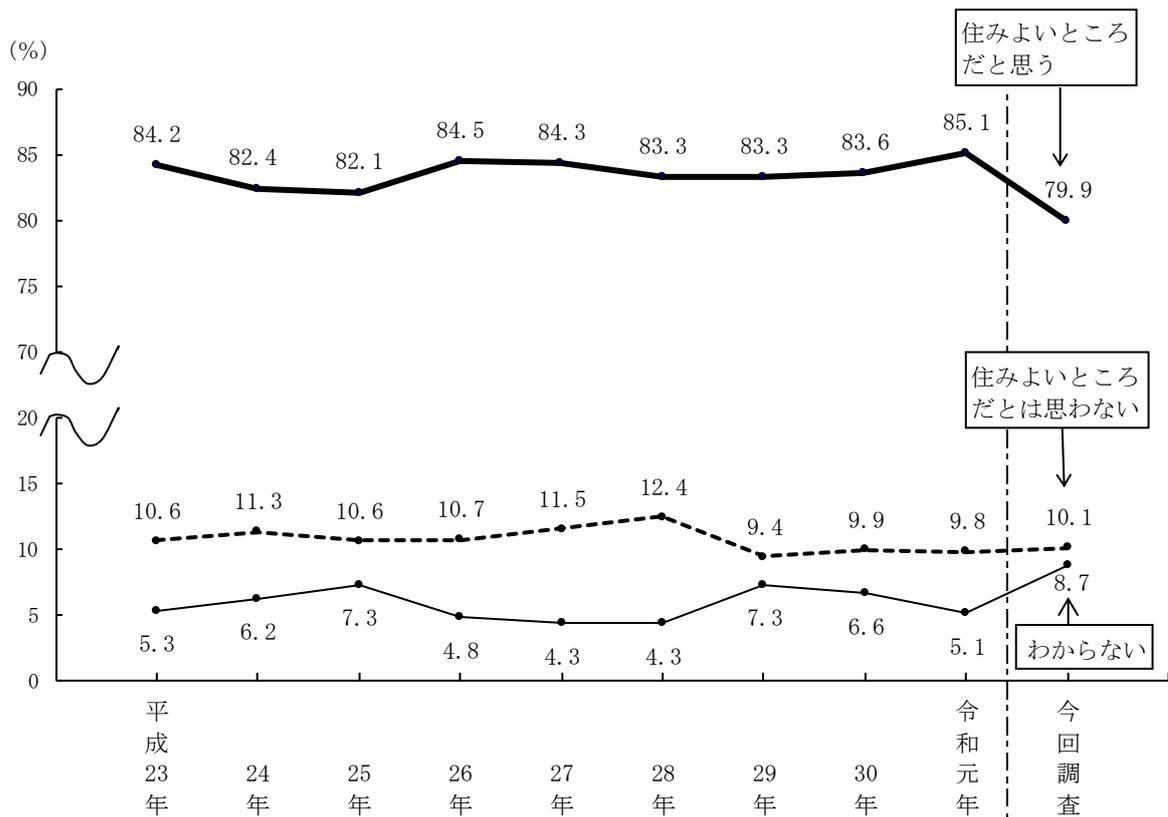


今住んでいるところが住みよいところだと思うか聞いたところ、「住みよいところだと思う」は80%、「住みよいところだとは思わない」は10%、「わからない」は9%となっている。(図2-1-1)

今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、地域の住みよさを過去の調査結果と単純に比較することはできないが、「住みよいところだと思う」は昨年よりも5ポイント減少している。(図2-1-2)

なお、地域の住みよさの昭和57年からの調査結果を巻末の付属資料(P158 図5)に掲載している。

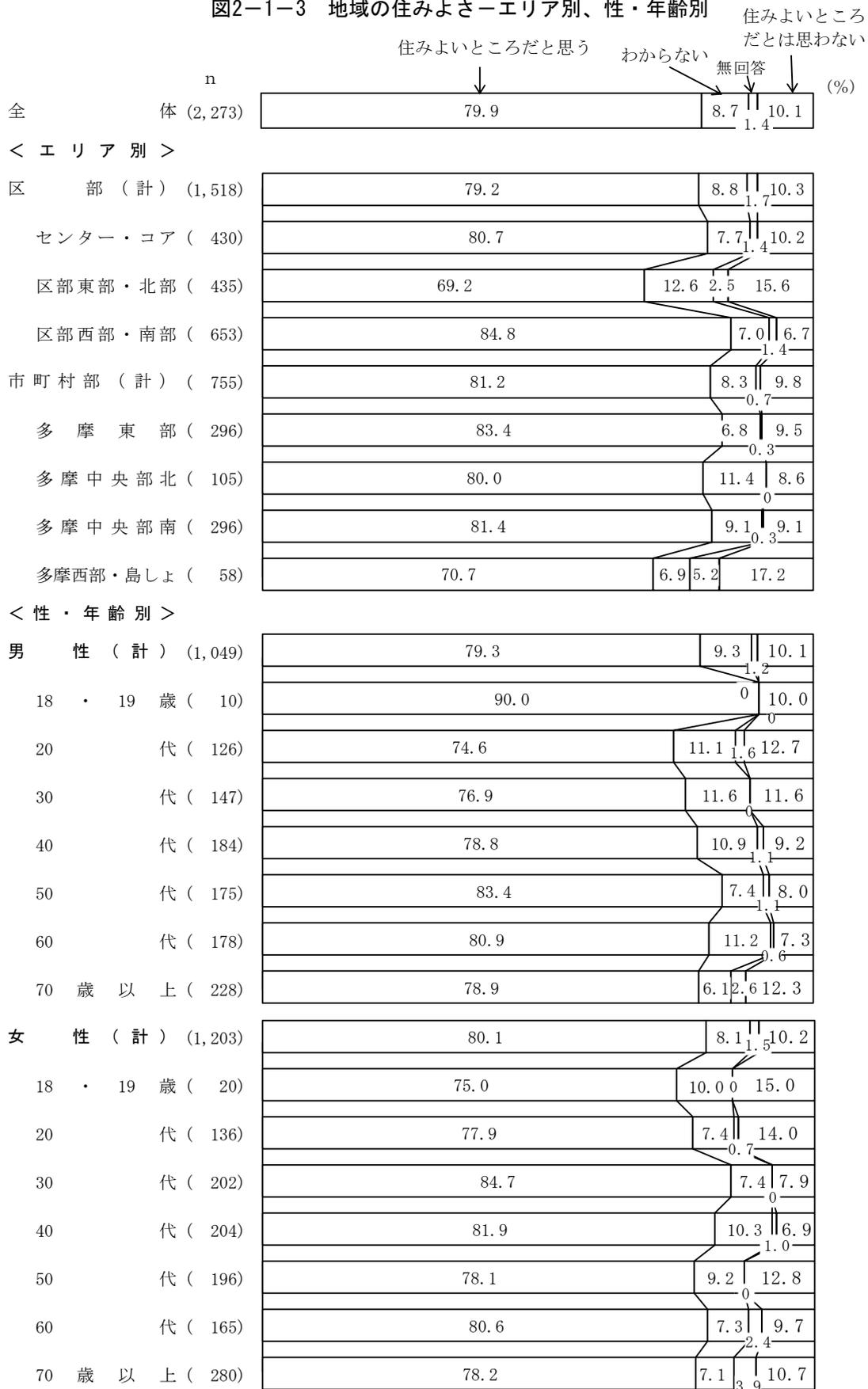
図2-1-2 地域の住みよさー過去の調査結果



(注) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

エリア別にみると、「住みよいところだと思う」は区部西部・南部で8割半ばと多くなっている。
 性・年齢別にみると、特に大きな差はみられない。(図2-1-3)

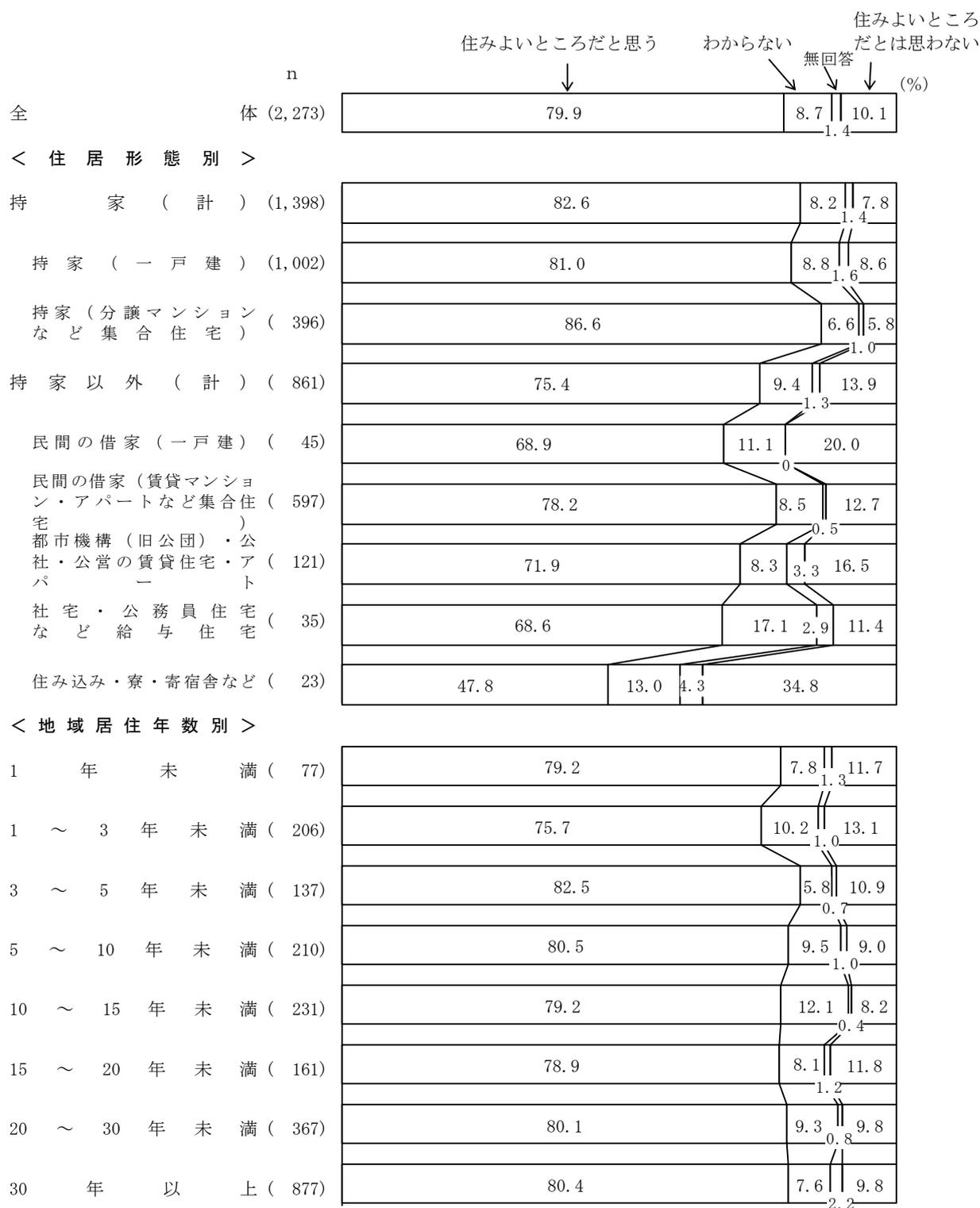
図2-1-3 地域の住みよさ—エリア別、性・年齢別



住居形態別にみると、「住みよいところだと思う」は持家（分譲マンションなど集合住宅）で9割近くと多くなっている。

地域居住年数別にみると、特に大きな差はみられない。（図2-1-4）

図2-1-4 地域の住みよさ－住居形態別、地域居住年数別

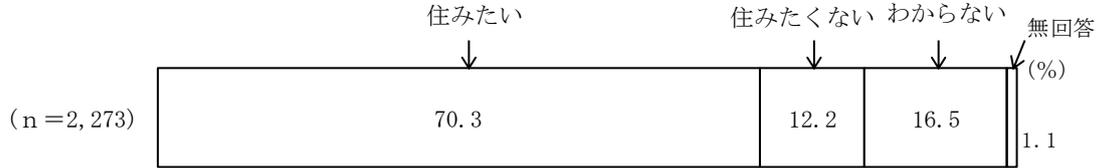


※2-2 地域定住意向

図2-2-1

(全員の方に)

問9 あなたは、今お住まいのこの地域に今後もずっと住みたいと思いますか、それとも、住みたくないと思いますか。あなたの今のお気持ちをお答えください。(○は1つ)

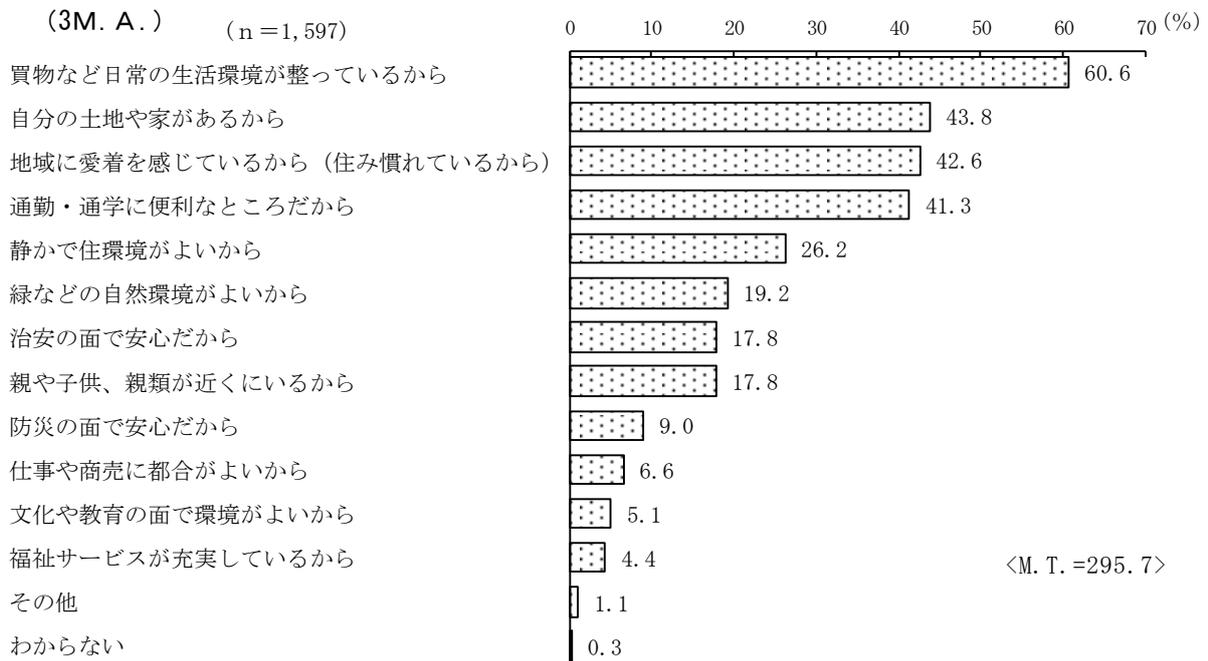


(問9で「1 住みたい」と答えた方に)

問9-1 住みたいと思うのはなぜですか。次の中から3つまでお答えください。(○は3つまで)

(3M. A.)

(n=1,597)

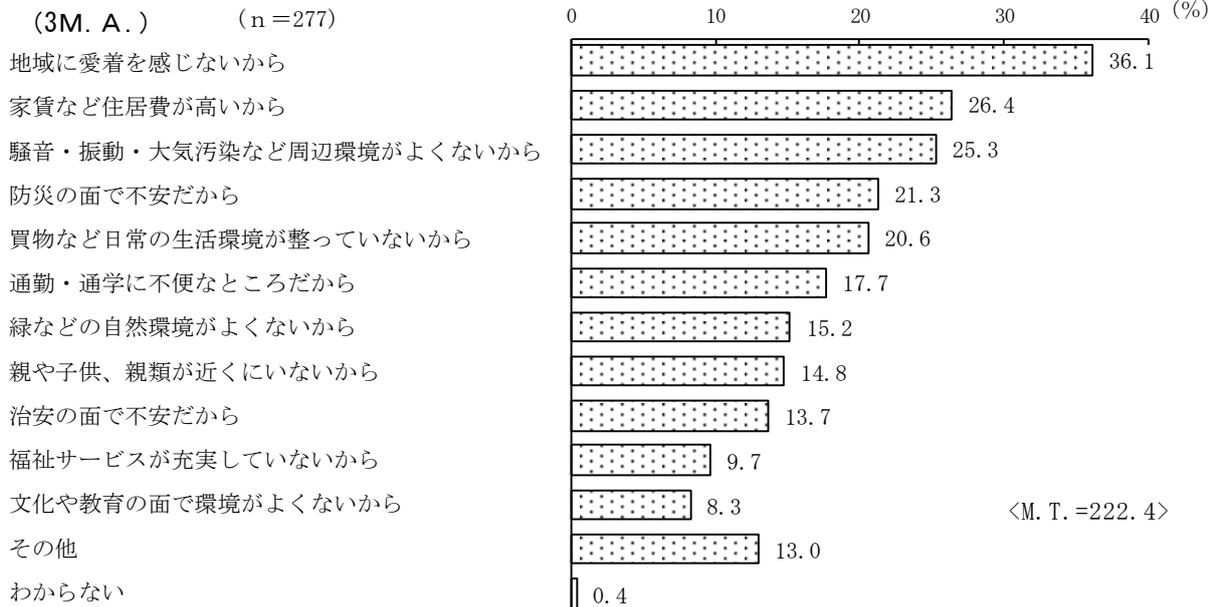


(問9で「2 住みたくない」と答えた方に)

問9-2 住みたくないと思うのはなぜですか。次の中から3つまでお答えください。(○は3つまで)

(3M. A.)

(n=277)



今住んでいる地域に今後も住みたいと思うかどうか聞いたところ、「住みたい」は70%、「住みたくない」は12%となっている。

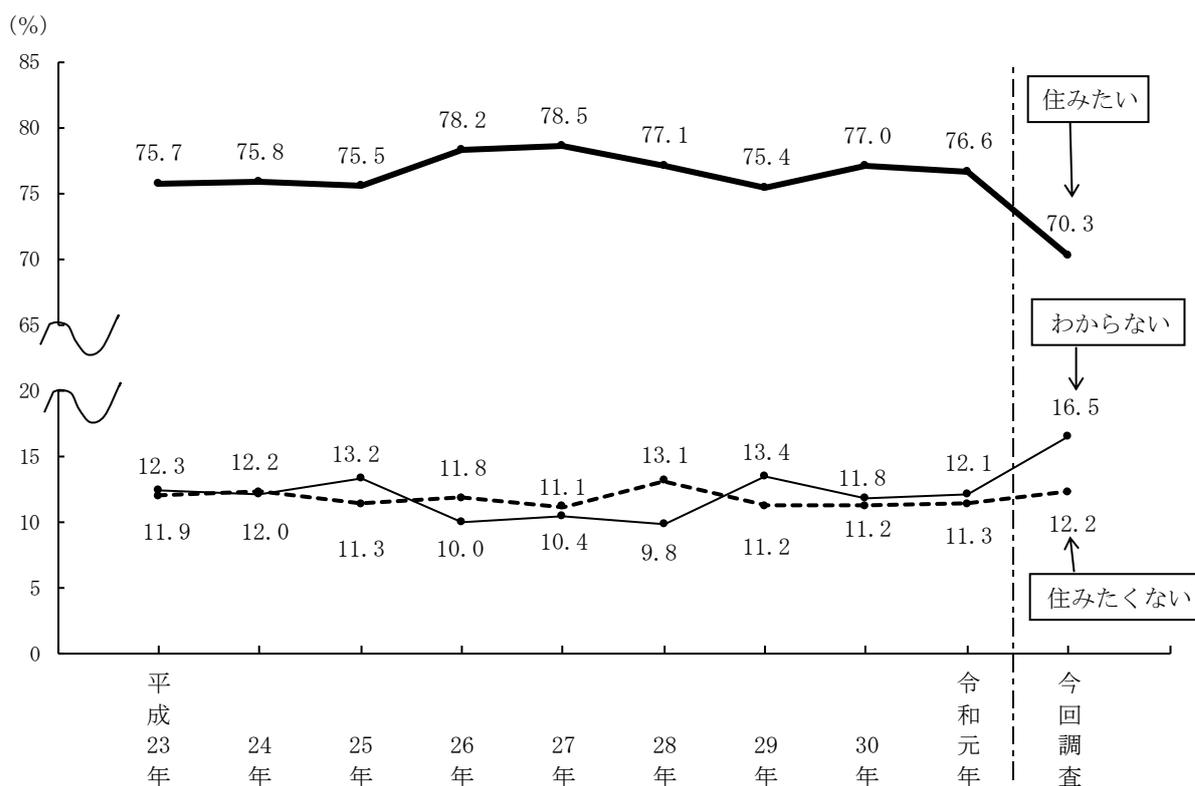
「住みたい」と答えた人（1,597人）に、その理由を聞いたところ、「買物など日常の生活環境が整っているから」が61%で最も多く、次いで「自分の土地や家があるから」44%、「地域に愛着を感じているから（住み慣れているから）」43%、「通勤・通学に便利なところだから」41%、「静かで住環境がよいから」26%などの順となっている。

「住みたくない」と答えた人（277人）に、その理由を聞いたところ、「地域に愛着を感じないから」が36%で最も多く、「家賃など住居費が高いから」26%、「騒音・振動・大気汚染など周辺環境がよくないから」25%、「防災の面で不安だから」「買物など日常の生活環境が整っていないから」21%などの順となっている。（図2-2-1）

今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、地域定住意向を過去の調査結果と単純に比較することはできないが、「住みたい」は昨年よりも6ポイント減少している。（図2-2-2）

なお、地域定住意向の昭和53年からの調査結果を巻末の付属資料（P159 図6）に掲載している。

図2-2-2 地域定住意向－過去の調査結果

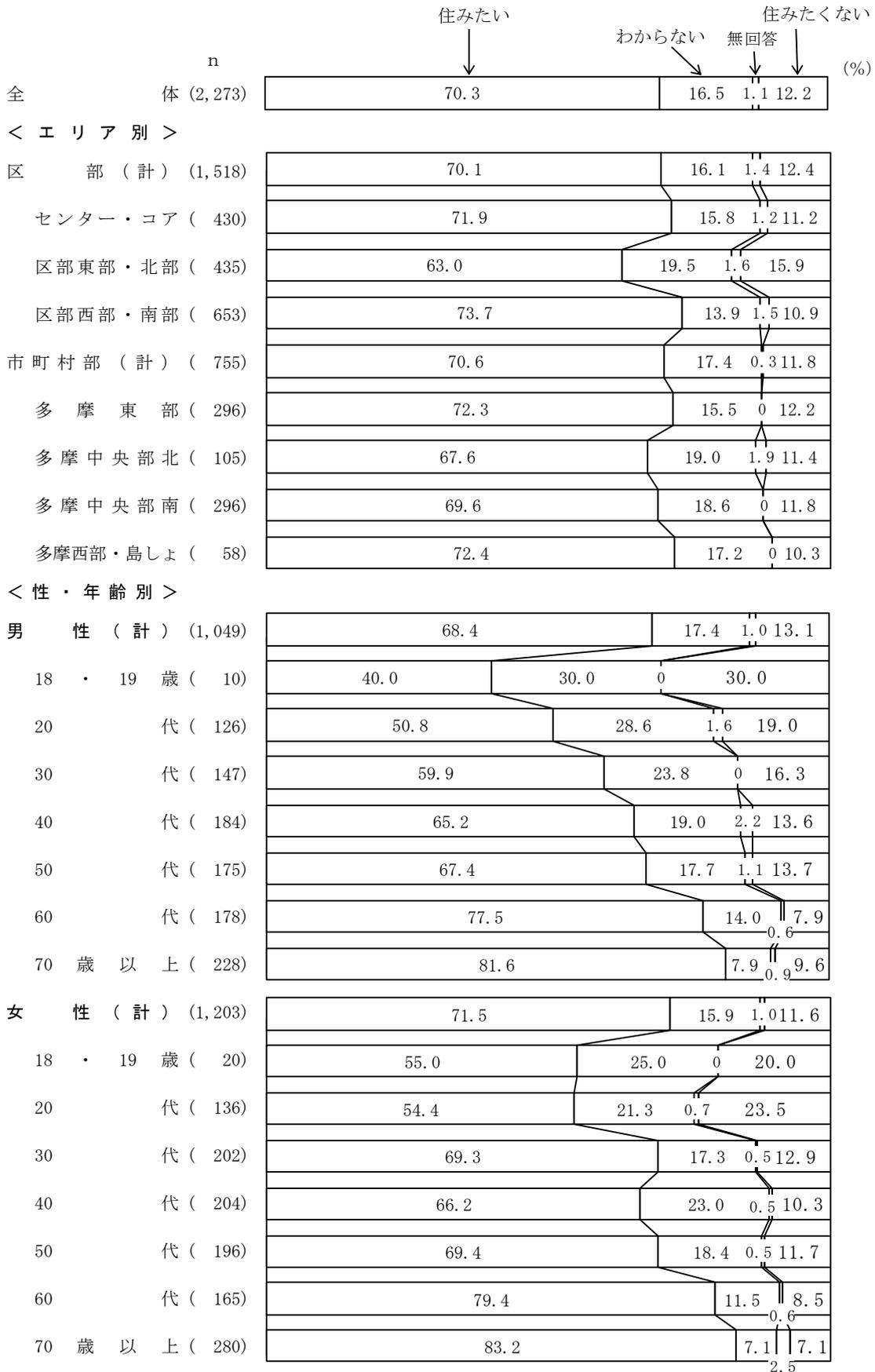


（注）前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

エリア別にみると、区部東部・北部エリアで「住みたくない」が1割半ばとなっている。
 性・年齢別にみると、「住みたい」は男女とも70歳以上で8割を超えて多くなっている。

(図2-2-3)

図2-2-3 地域定住意向－エリア別、性・年齢別



住居形態別にみると、「住みたい」は持家（計）で8割近くと多く、持家以外（計）よりも17ポイント高くなっている。

地域居住年数別にみると、「住みたい」はおおむね居住年数が増えるほど割合が高くなり、30年以上で8割を超えて多くなっている。一方、「住みたくない」は1～3年未満で2割半ばと多くなっている。

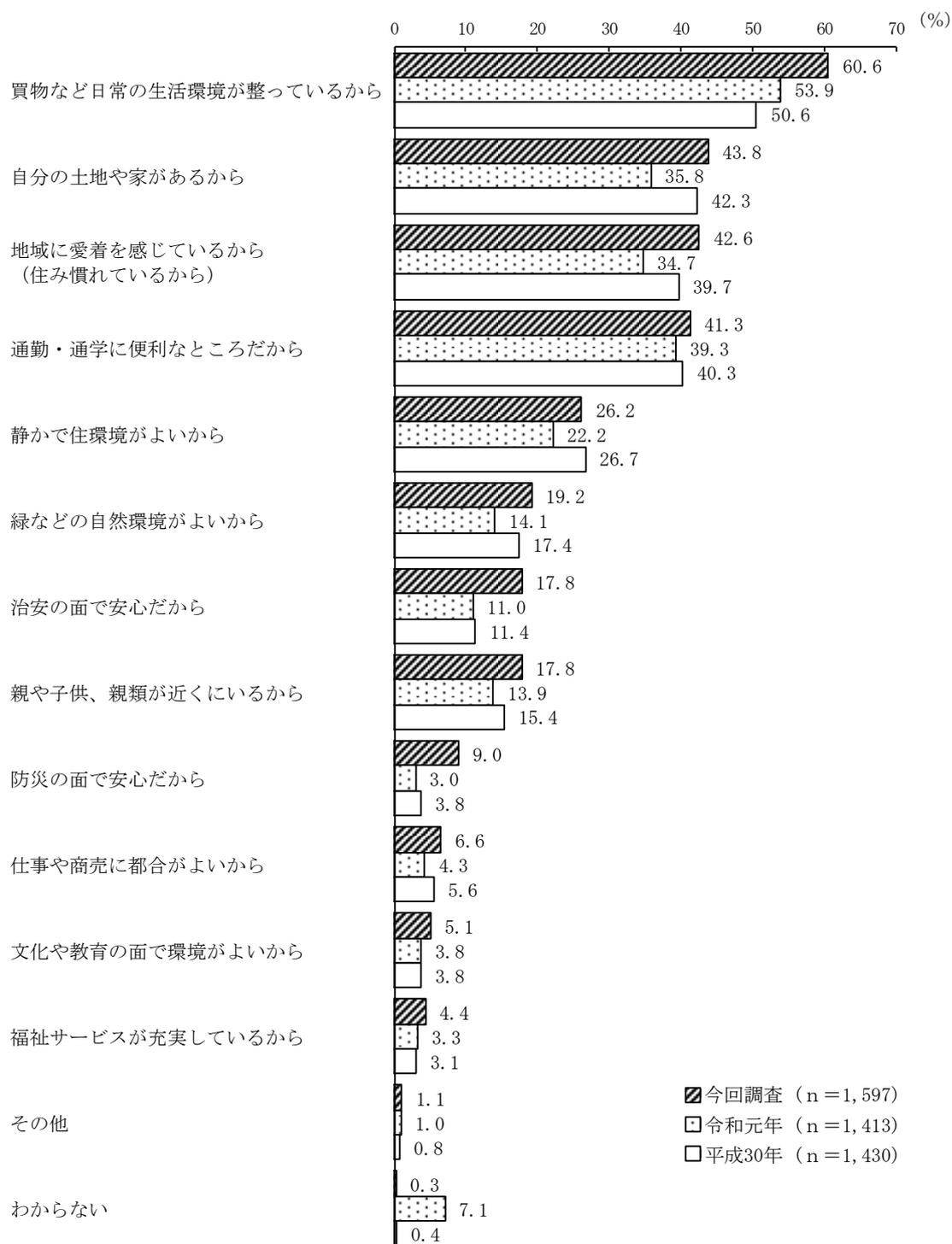
地域の住みよさ（問8 P46）との関係でみると、「住みたい」は住んでいる地域が“住みよいところだと思う”と答えた人で8割を超えている。一方、「住みたくない」は“住みよいところだとは思わない”と答えた人で6割を超えて多くなっている。（図2-2-4）

図2-2-4 地域定住意向－住居形態別、地域居住年数別、地域の住みよさ別

n	住居形態別			
	住みたい	わからない	無回答	住みたくない
全体 (2,273)	70.3	16.5	1.1	12.2
< 住居形態別 >				
持家（計） (1,398)	76.6	14.7	0.6	8.0
持家（一戸建） (1,002)	75.9	14.9	0.7	8.5
持家（分譲マンションなど集合住宅） (396)	78.3	14.4	0.5	6.8
持家以外（計） (861)	59.8	19.4	1.7	19.0
民間の借家（一戸建） (45)	60.0	17.8	0	22.2
民間の借家（賃貸マンション・アパートなど集合住宅） (597)	58.8	20.9	1.0	19.3
都市機構（旧公団）・公社・公営の賃貸住宅・アパート (121)	71.9	10.7	5.0	12.4
社宅・公務員住宅など給与住宅 (35)	42.9	25.7	2.9	28.6
住み込み・寮・寄宿舎など (23)	34.8	17.4	0	47.8
< 地域居住年数別 >				
1年未満 (77)	50.6	28.6	1.3	19.5
1～3年未満 (206)	48.5	26.7	1.0	23.8
3～5年未満 (137)	54.7	23.4	1.5	20.4
5～10年未満 (210)	64.8	20.5	1.4	13.3
10～15年未満 (231)	64.9	22.5	0.4	12.1
15～20年未満 (161)	70.8	14.3	0	14.9
20～30年未満 (367)	71.9	16.1	1.1	10.9
30年以上 (877)	81.3	10.0	1.3	7.4
< 地域の住みよさ別 >				
住みよいところだと思う (1,815)	81.4	12.9	0.1	5.6
住みよいところだと思わない (230)	19.6	19.1	0.4	60.9

今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、居住地域に住みたい理由を過去の調査結果と単純に比較することはできないが、「自分の土地や家があるから」「地域に愛着を感じているから（住み慣れているから）」はいずれも昨年よりも8ポイント、「買物など日常の生活環境が整っているから」「治安の面で安心だから」は7ポイント増加している。（図2-2-5）

図2-2-5 居住地域に住みたい理由－過去の調査結果



(注) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

居住地域に住みたい理由をエリア別にみると、区部（計）では市町村部（計）よりも「通勤・通学に便利なところだから」が19ポイント高くなっている。一方、市町村部（計）では区部（計）よりも「緑などの自然環境がよいから」が24ポイント、「静かで住環境がよいから」が8ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「通勤・通学に便利なところだから」は男女とも20代で7割前後と多くなっている。「自分の土地や家があるから」は男女とも60代以上で5割を超えて多くなっている。（表2-2-1）

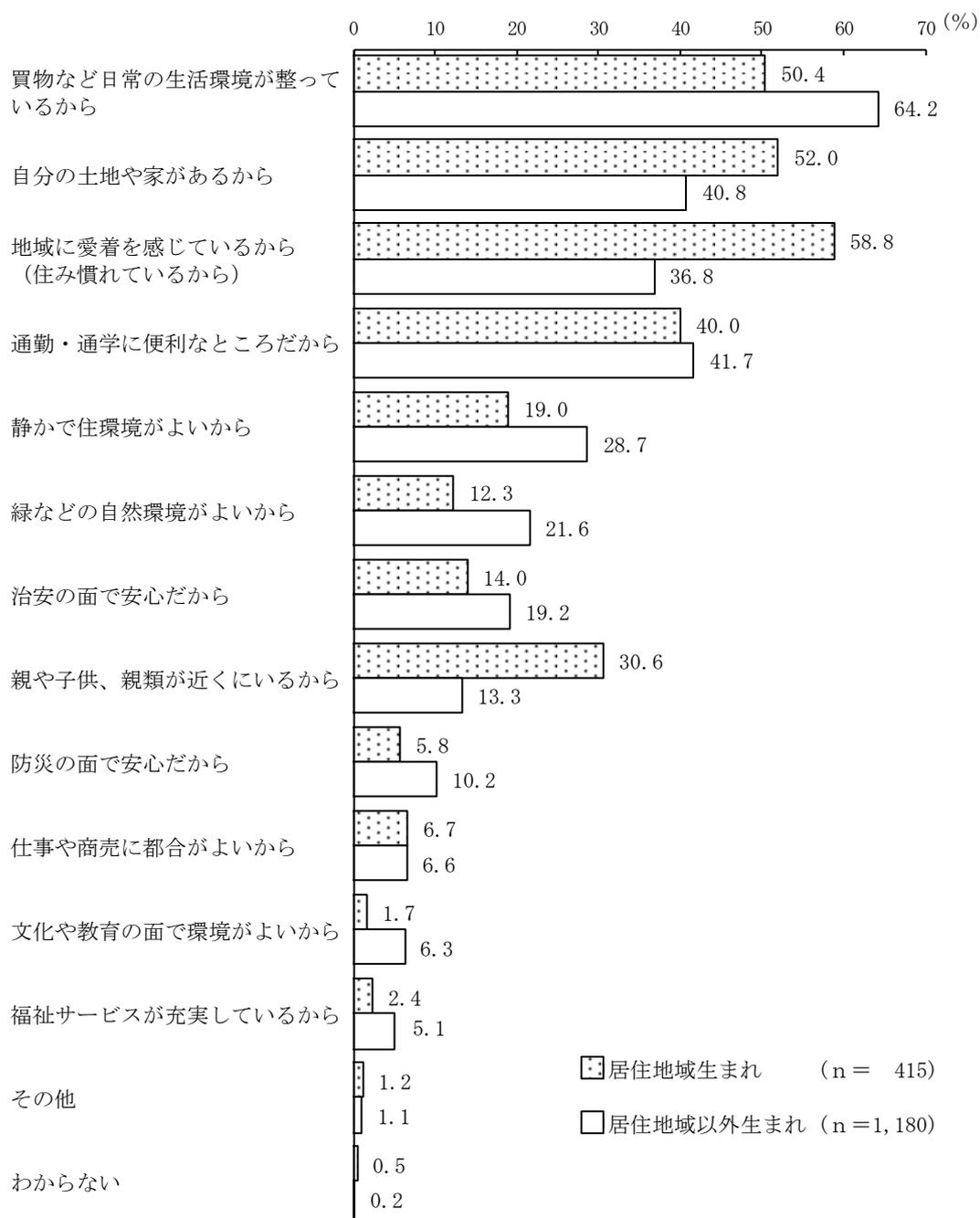
表2-2-1 居住地域に住みたい理由－エリア別、性・年齢別

(%)

	n	整買 つ物 てな い日 から常 の生 活環 境が	自 分 の土 地や 家 が あ る か ら	ら地 域に 愛着 を感 じて いる か ら (住 み慣 れて いる か ら)	だ通 から勤 ・通 学 に便 利な と こ ろ	静 か で 住 環 境 が よ い か ら	ら緑 など の自 然環 境が よ い か ら	治 安 の 面 で 安 心 だ か ら	る親 や子 供、 親類 が近 くに い る	防 災 の 面 で 安 心 だ か ら	ら仕 事や 商 売に 都 合 が よ い か ら	い文 化や 教 育の 面 で 環 境 が よ い	る福 祉サ ー ビ ス が 充 実 し て い る	そ の 他	わ か ら な い	
全 体	1,597	60.6	43.8	42.6	41.3	26.2	19.2	17.8	17.8	9.0	6.6	5.1	4.4	1.1	0.3	
< エリア別 >																
区 部（計）	1,064	61.8	41.3	43.3	47.7	23.6	11.1	20.3	16.4	9.6	7.9	6.6	4.5	1.1	0.4	
センター・コア	309	55.0	40.1	44.3	55.7	17.8	6.8	23.0	15.2	7.8	12.9	9.7	4.9	0.3	0.6	
区部東部・北部	274	63.1	48.2	46.7	40.5	21.2	11.7	10.9	22.3	5.8	5.5	4.0	6.9	0.4	0.4	
区部西部・南部	481	65.5	38.0	40.7	46.8	28.7	13.5	23.9	13.9	12.9	6.0	6.0	2.9	2.1	0.2	
市町村部（計）	533	58.0	48.8	41.1	28.5	31.3	35.3	12.9	20.5	7.9	4.1	2.1	4.1	1.1	-	
多摩東部	214	63.1	41.1	42.1	30.4	35.0	37.9	13.6	15.9	8.4	6.5	2.8	3.7	1.4	-	
多摩中央部北	71	69.0	46.5	31.0	29.6	29.6	36.6	11.3	26.8	18.3	1.4	-	4.2	-	-	
多摩中央部南	206	49.0	54.4	43.2	29.1	30.6	34.5	12.6	22.8	2.9	1.9	2.4	4.9	1.0	-	
多摩西部・島しょ	42	57.1	64.3	42.9	14.3	19.0	23.8	14.3	21.4	11.9	7.1	-	2.4	2.4	-	
< 性・年齢別 >																
男 性（計）	718	59.6	46.9	42.3	42.3	26.5	19.4	15.7	15.7	9.6	6.7	4.5	3.1	0.6	-	
18・19歳	4	50.0	25.0	50.0	50.0	-	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	
20代	64	54.7	20.3	32.8	68.8	26.6	14.1	26.6	6.3	3.1	9.4	-	-	-	-	
30代	88	64.8	26.1	39.8	51.1	35.2	20.5	18.2	20.5	5.7	6.8	4.5	-	1.1	-	
40代	120	56.7	40.8	35.8	50.0	28.3	12.5	14.2	19.2	10.8	7.5	7.5	4.2	0.8	-	
50代	118	58.5	48.3	40.7	51.7	28.0	16.9	10.2	13.6	10.2	3.4	3.4	-	0.8	-	
60代	138	61.6	60.9	44.2	41.3	18.8	20.3	10.9	13.8	8.7	9.4	4.3	2.9	0.7	-	
70歳以上	186	60.2	59.1	50.5	18.8	26.3	25.8	18.8	17.2	13.4	5.4	4.8	7.0	-	-	
女 性（計）	860	61.0	40.7	42.7	40.8	25.6	19.1	19.7	19.5	8.5	6.6	5.6	5.0	1.6	0.5	
18・19歳	11	36.4	27.3	27.3	54.5	-	27.3	27.3	18.2	9.1	-	-	-	-	9.1	
20代	74	67.6	14.9	28.4	71.6	23.0	13.5	17.6	21.6	2.7	6.8	4.1	4.1	1.4	-	
30代	140	63.6	22.9	35.7	55.7	25.7	21.4	25.7	22.9	7.9	7.1	10.0	2.1	0.7	-	
40代	135	52.6	35.6	40.7	52.6	19.3	18.5	19.3	27.4	7.4	8.9	3.7	1.5	0.7	-	
50代	136	59.6	39.0	44.9	49.3	24.3	14.7	15.4	14.7	7.4	8.8	8.1	5.9	2.9	-	
60代	131	61.8	51.9	45.0	32.1	32.8	18.3	16.8	12.2	8.4	7.6	3.8	3.8	3.1	0.8	
70歳以上	233	63.9	57.9	50.6	14.6	27.9	22.3	20.6	19.3	12.0	3.4	4.3	9.4	1.3	0.9	

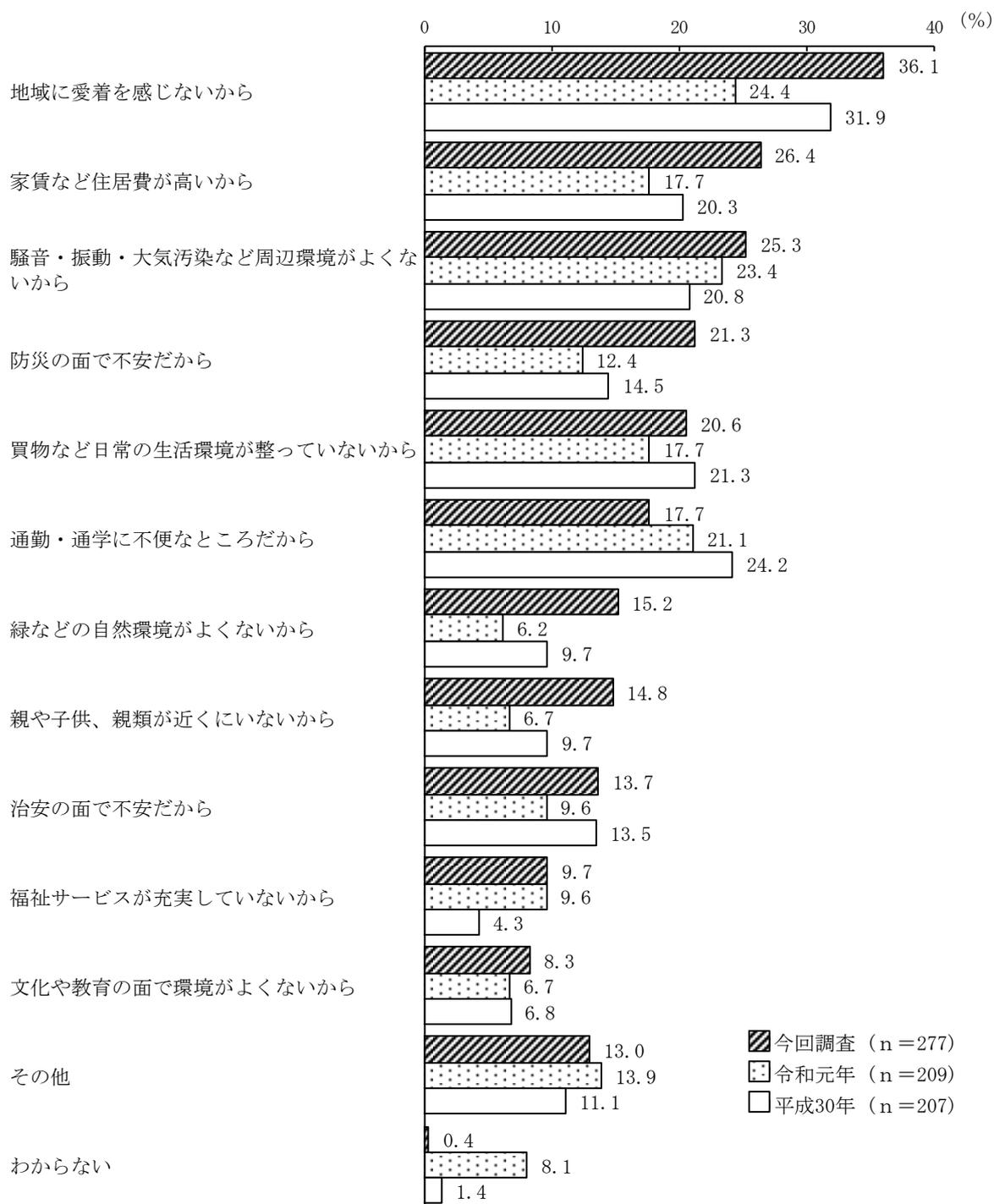
地域生まれか否か別にみると、居住地域生まれの人は居住地域以外生まれの人よりも「地域に愛着を感じているから（住み慣れているから）」が22ポイント高くなっている。一方、居住地域以外生まれの人は居住地域生まれの人よりも「買物など日常の生活環境が整っているから」が14ポイント高くなっている。（図2-2-6）

図2-2-6 居住地域に住みたい理由—地域生まれか否か別



今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、居住地域に住みたくない理由を過去の調査結果と単純に比較することはできないが、「地域に愛着を感じないから」が昨年よりも12ポイント、「緑などの自然環境がよくないから」「防災の面で不安だから」「家賃など住居費が高いから」が9ポイント増加している。(図2-2-7)

図2-2-7 居住地域に住みたくない理由—過去の調査結果



(注) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

エリア別にみると、センター・コアと区部西部・南部は「家賃など住居費が高いから」が4割を超えて多くなっている。

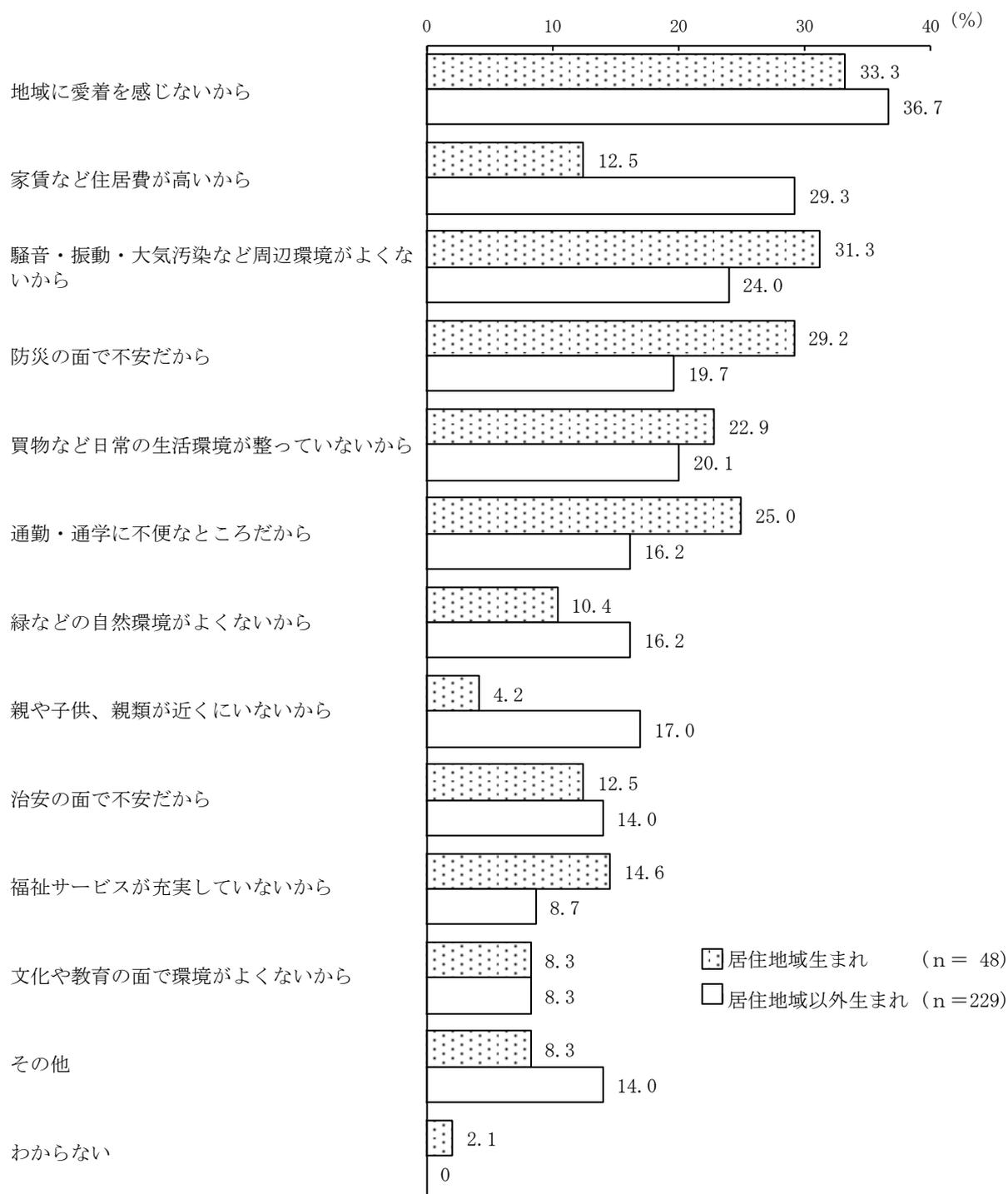
性別、年齢別にみると、大きな差はみられない。(表2-2-2)

表2-2-2 居住地域に住みたくない理由－エリア別、性別、年齢別

		(%)													
	n	地域に愛着を感じないから	家賃など住居費が高いから	騒音・振動・周辺環境がよくないから	防災の面で不安だから	買物など日常生活環境が整っていないから	通勤・通学に不便なところ	緑などの自然環境がよくないから	親や子供、親類が近くにいないから	治安の面で不安だから	福祉サービスが充実していないから	文化や教育の面で環境がよくないから	その他	わからない	
全 体	277	36.1	26.4	25.3	21.3	20.6	17.7	15.2	14.8	13.7	9.7	8.3	13.0	0.4	
< エリア別 >															
区 部 (計)	188	36.7	33.5	26.1	21.3	20.7	13.8	18.1	17.6	16.5	6.9	7.4	12.2	-	
センター・コア	48	29.2	41.7	35.4	20.8	22.9	10.4	25.0	14.6	14.6	2.1	4.2	10.4	-	
区部東部・北部	69	40.6	20.3	23.2	29.0	24.6	18.8	10.1	15.9	21.7	8.7	13.0	11.6	-	
区部西部・南部	71	38.0	40.8	22.5	14.1	15.5	11.3	21.1	21.1	12.7	8.5	4.2	14.1	-	
市町村部 (計)	89	34.8	11.2	23.6	21.3	20.2	25.8	9.0	9.0	7.9	15.7	10.1	14.6	1.1	
多摩東部	36	25.0	16.7	25.0	13.9	19.4	30.6	11.1	11.1	2.8	19.4	8.3	11.1	-	
多摩中央部北	12	33.3	-	16.7	25.0	-	33.3	16.7	-	16.7	-	16.7	16.7	8.3	
多摩中央部南	35	40.0	11.4	22.9	28.6	31.4	17.1	5.7	11.4	11.4	11.4	5.7	17.1	-	
多摩西部・島しょ	6	66.7	-	33.3	16.7	-	33.3	-	-	-	50.0	33.3	16.7	-	
< 性別 >															
男 性	137	37.2	26.3	22.6	18.2	16.1	16.8	17.5	12.4	14.6	11.7	4.4	14.6	0.7	
女 性	140	35.0	26.4	27.9	24.3	25.0	18.6	12.9	17.1	12.9	7.9	12.1	11.4	-	
< 年齢別 >															
18・19歳	7	28.6	-	14.3	14.3	28.6	14.3	-	-	14.3	-	-	14.3	-	
20代	56	41.1	19.6	28.6	14.3	25.0	30.4	14.3	12.5	23.2	7.1	7.1	10.7	-	
30代	50	32.0	34.0	14.0	16.0	14.0	24.0	24.0	22.0	18.0	6.0	6.0	14.0	-	
40代	46	34.8	34.8	23.9	15.2	17.4	13.0	15.2	13.0	13.0	6.5	10.9	19.6	-	
50代	47	31.9	36.2	27.7	21.3	17.0	21.3	17.0	12.8	6.4	10.6	12.8	10.6	-	
60代	28	42.9	14.3	25.0	42.9	10.7	3.6	3.6	14.3	10.7	10.7	3.6	10.7	-	
70歳以上	42	38.1	19.0	33.3	28.6	35.7	4.8	14.3	16.7	7.1	21.4	9.5	9.5	2.4	

地域生まれか否か別にみると、「家賃など住居費が高いから」は居住地域以外生まれの人が居住地域生まれの人よりも17ポイント高くなっている。(図2-2-8)

図2-2-8 居住地域に住みたくない理由—地域生まれか否か別



3 東京

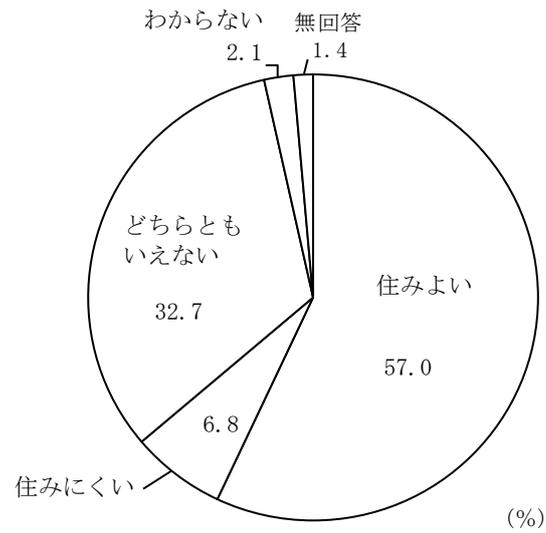
※3-1 東京の住みよさ

図3-1-1

(全員の方に)

問10 ところで、あなたにとって東京は、全般的にみて住みよいところですか、それとも、住みにくいところですか。(○は1つ)

(n=2,273)

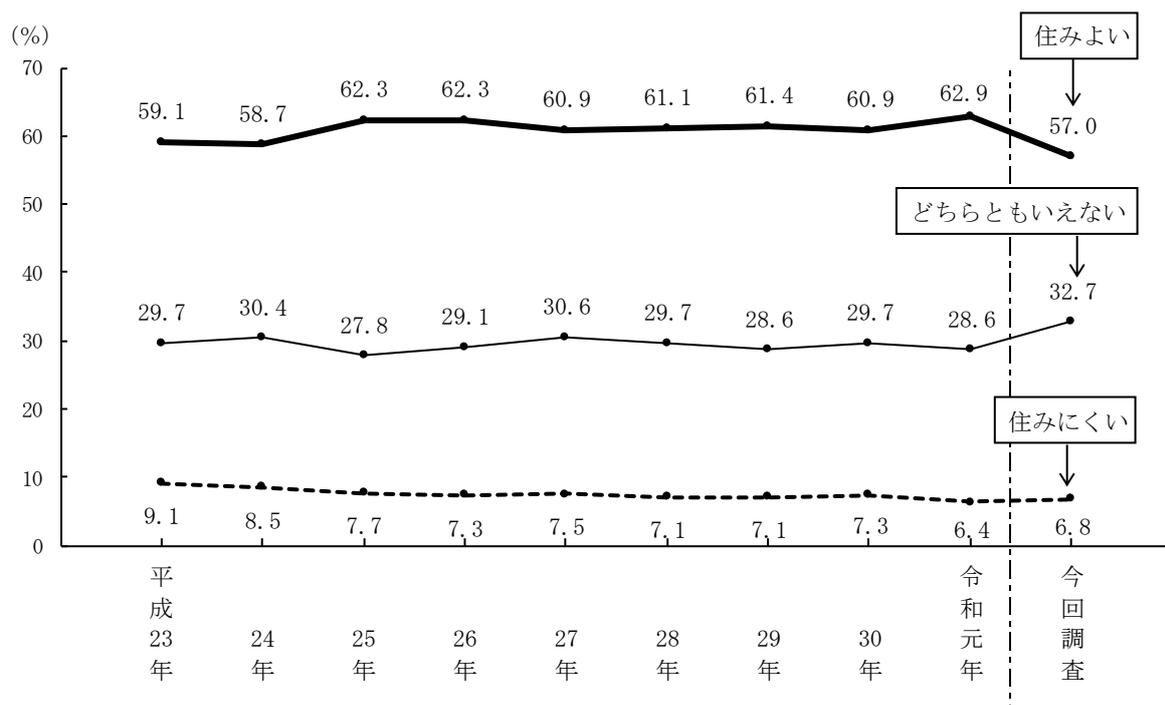


東京は全般的にみて住みよいところだと思うか聞いたところ、「住みよい」は57%、「住みにくい」は7%、「どちらともいえない」は33%となっている。(図3-1-1)

今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、東京の住みよさを過去の調査結果と単純に比較することができないが、「住みよい」は昨年より6ポイント減少している。(図3-1-2)

なお、東京の住みよさの昭和53年から調査結果を巻末の付属資料（P160 図7）に掲載している。

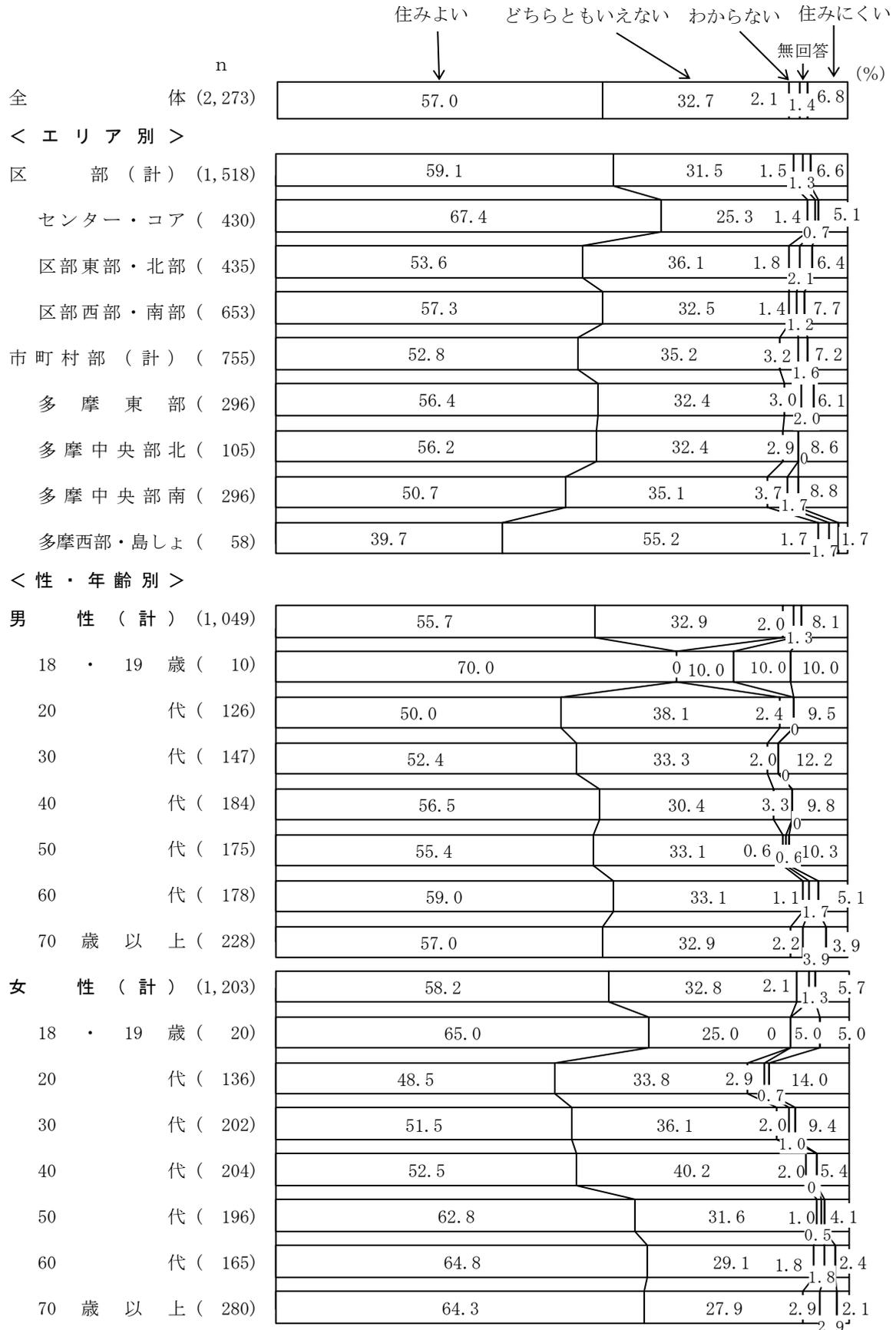
図3-1-2 東京の住みよさー過去の調査結果



(注) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

エリア別にみると、「住みよい」はセンター・コアで7割近くと多くなっている。
 性・年齢別にみると、「住みよい」は女性は50代以上で6割半ばと多くなっている。(図3-1-3)

図3-1-3 東京の住みよさ－エリア別、性・年齢別



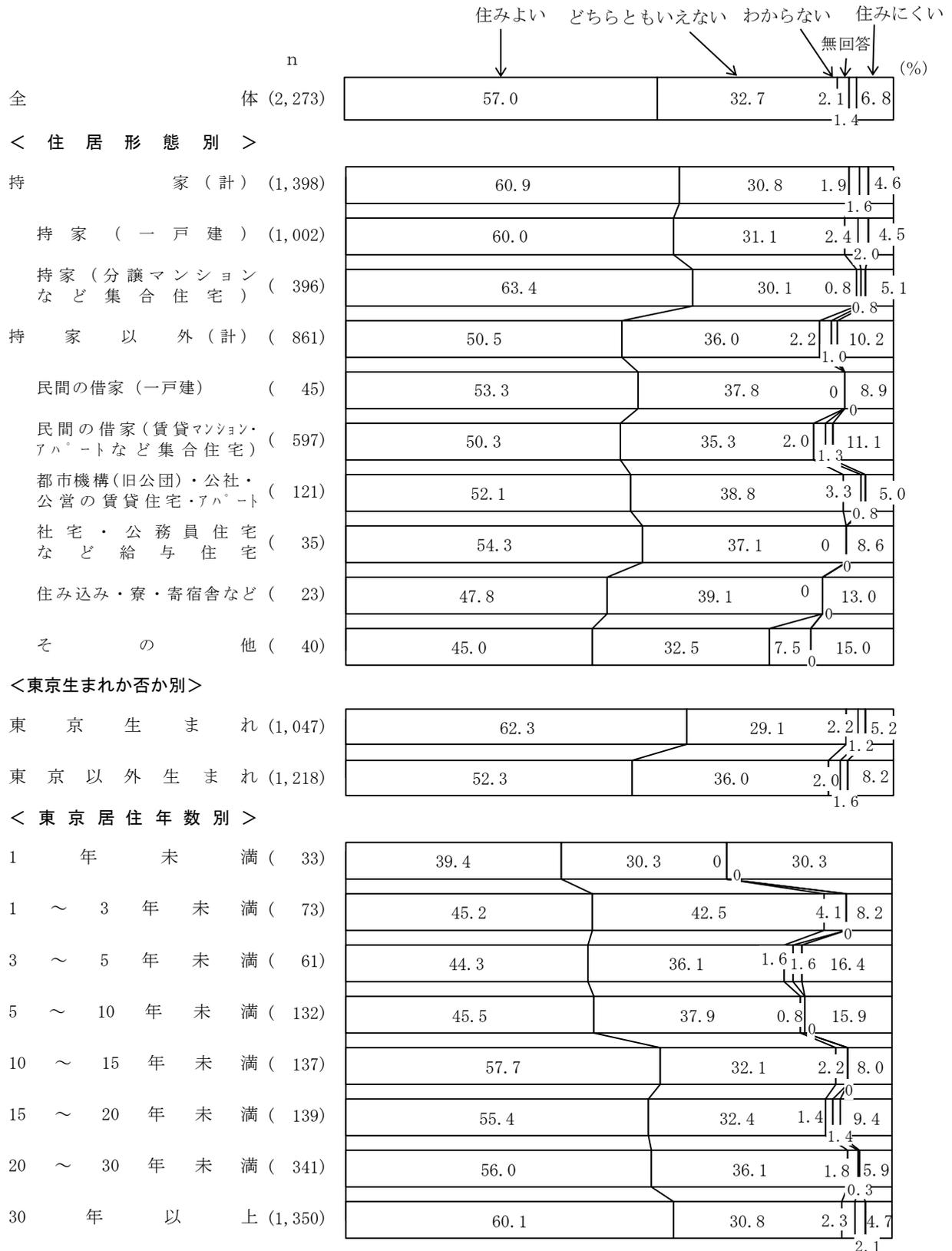
住居形態別にみると、「住みよい」は持家（計）で6割を超えて多く、持家以外（計）よりも10ポイント高くになっている。

東京生まれか否か別にみると、「住みよい」は東京生まれの人で6割を超えて多く、東京以外生まれの人よりも10ポイント高くになっている。

東京居住年数別にみると、「住みよい」は居住年数が増えるほどおおむね割合が高くなる傾向があり、年数が30年以上で6割となっている。一方、「住みにくい」は3～10年未満で1割半ばとなっている。

(図3-1-4)

図3-1-4 東京の住みよさ－住居形態別、東京生まれか否か別、東京居住年数別



東京の住みよさと地域の住みよさ（問8 P46）を組み合わせると、「東京も地域も住みよい」51%、「地域は住みよいが東京は住みにくい」4%、「東京は住みよいが、地域は住みよいところだとは思わない」3%、「東京も地域も住みよいとは思わない」2%となっている。（表3-1-1）

表3-1-1 東京と地域の住みよさ

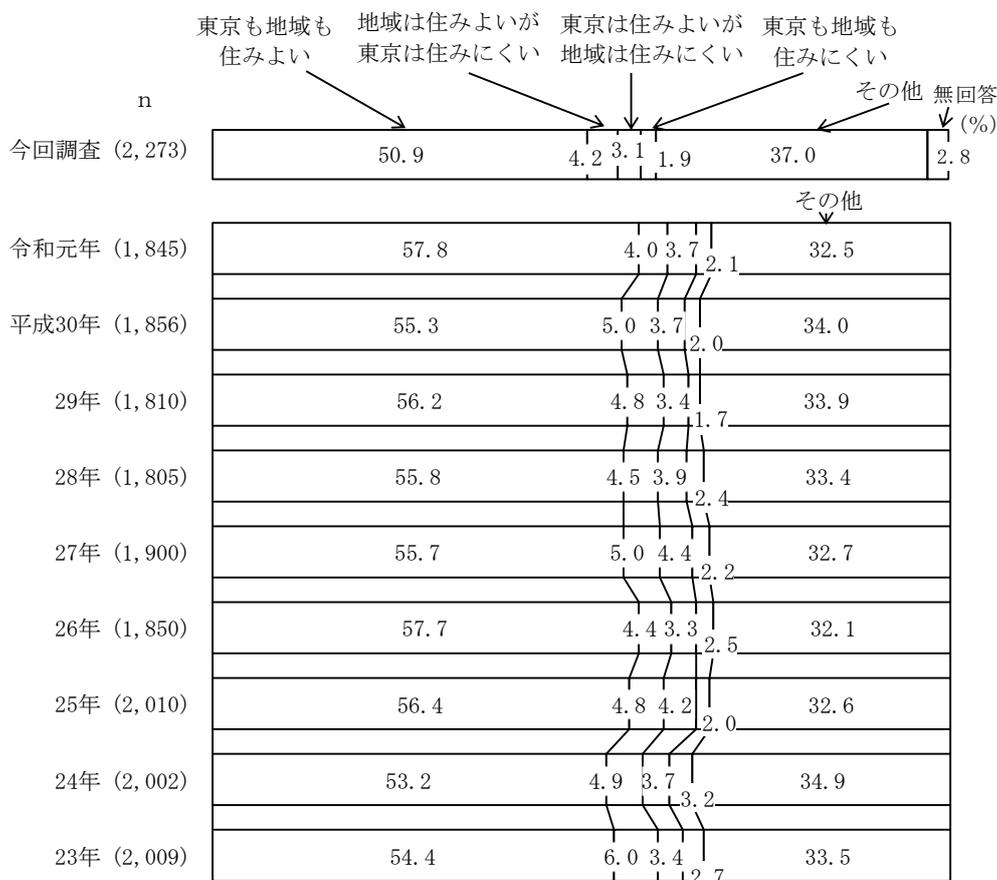
(n = 2, 273)

(%)

東京の住みよさ 地域の住みよさ	住みよい	住みにくい	どちらともいえない わからない	無回答
住みよいところだと思う	50.9	4.2	23.6	1.1
住みよいところだとは思わない	3.1	1.9	4.8	0.2
わからない	2.2	0.6	5.8	0.1
無回答	0.8	-	0.6	-

今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、東京の住みよさと地域の住みよさの組み合わせを過去と単純に比較することはできないが、「東京も地域も住みよい」は昨年よりも7ポイント減少している。（図3-1-5）

図3-1-5 東京と地域の住みよさ－過去の調査結果

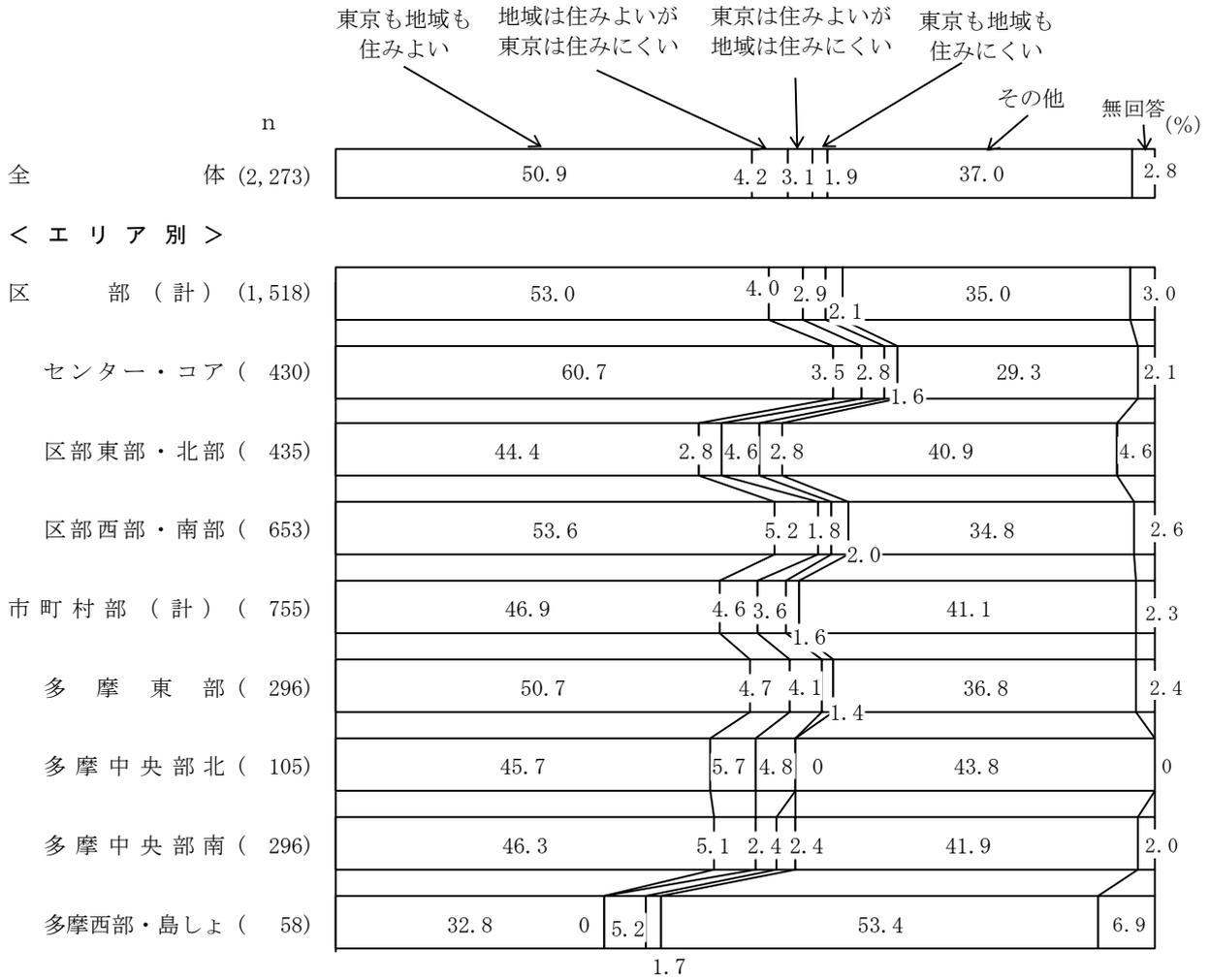


(注) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

エリア別にみると、「東京も地域も住みよい」はセンター・コアで6割を超えて多くなっている。

(図3-1-6)

図3-1-6 東京と地域の住みよさ－エリア別

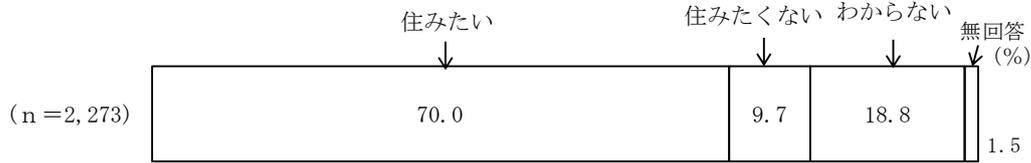


※3-2 東京定住意向

図3-2-1

(全員の方に)

問11 あなたは、東京に今後もずっと住みたいと思いますか、それとも、住みたくないと思いますか。
あなたのお気持ちを教えてください。(○は1つ)

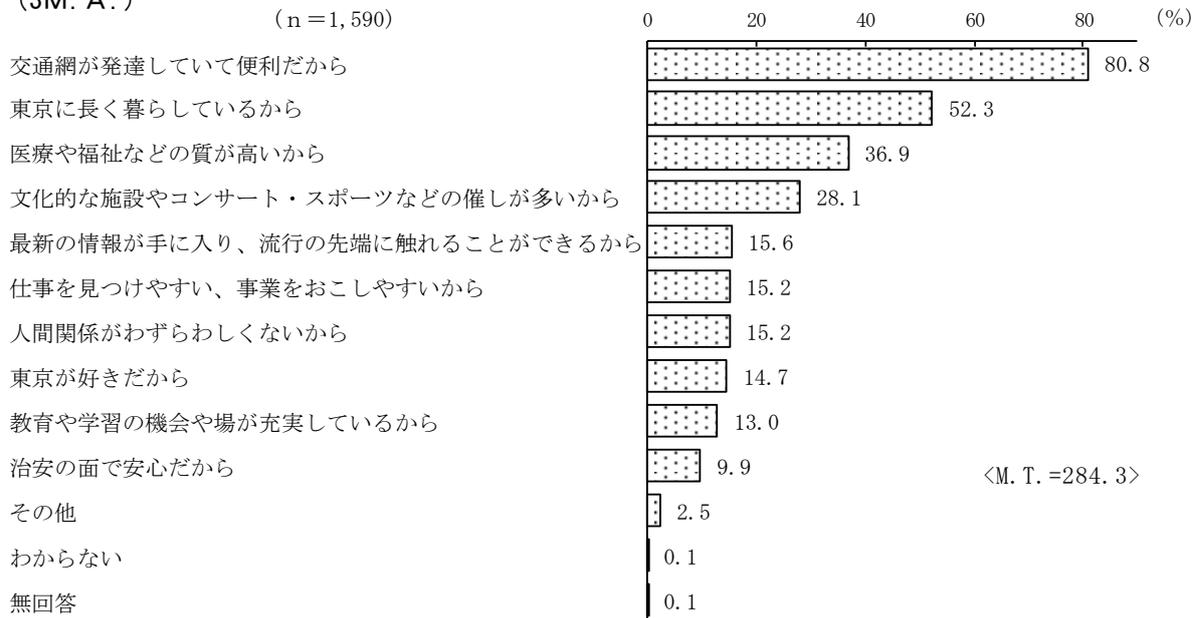


(問11で「1 住みたい」と答えた方に)

問11-1 住みたいと思うのはなぜですか。次の中から3つまでお答えください。(○は3つまで)

(3M. A.)

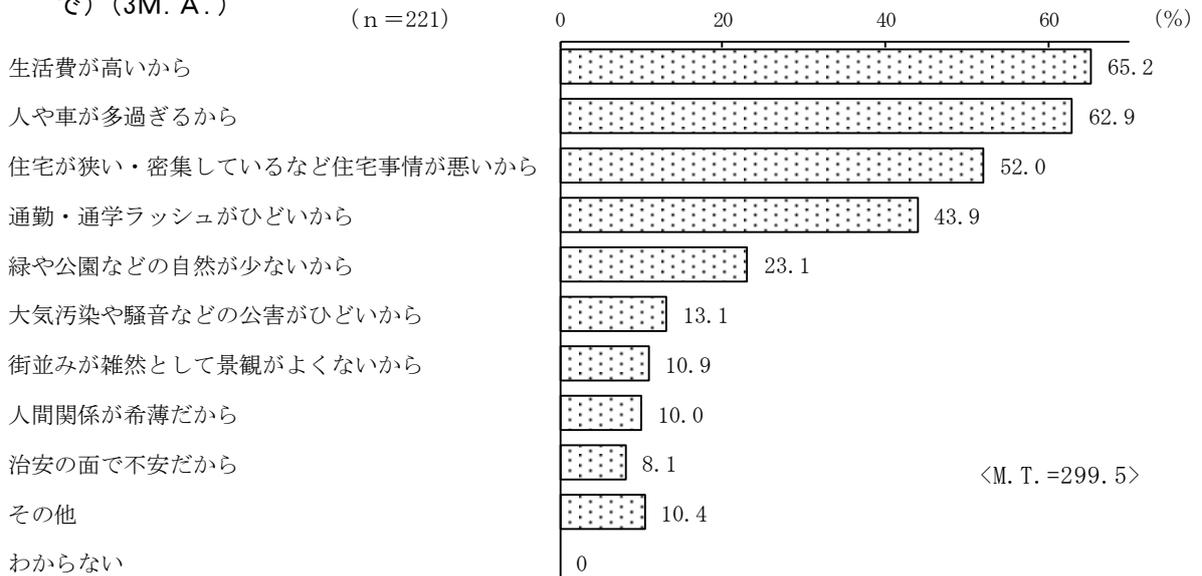
(n=1,590)



(問11で「2 住みたくない」と答えた方に)

問11-2 住みたくないと思うのはなぜですか。次の中から3つまでお答えください。(○は3つまで)
(3M. A.)

(n=221)



東京に今後もずっと住みたいと思うか聞いたところ、「住みたい」は70%、「住みたくない」は10%となっている。

「住みたい」と答えた人(1,590人)にその理由を聞いたところ、「交通網が発達していて便利だから」が81%で最も多く、次いで「東京に長く暮らしているから」52%、「医療や福祉などの質が高いから」37%、「文化的な施設やコンサート・スポーツなどの催しが多いから」28%などの順となっている。

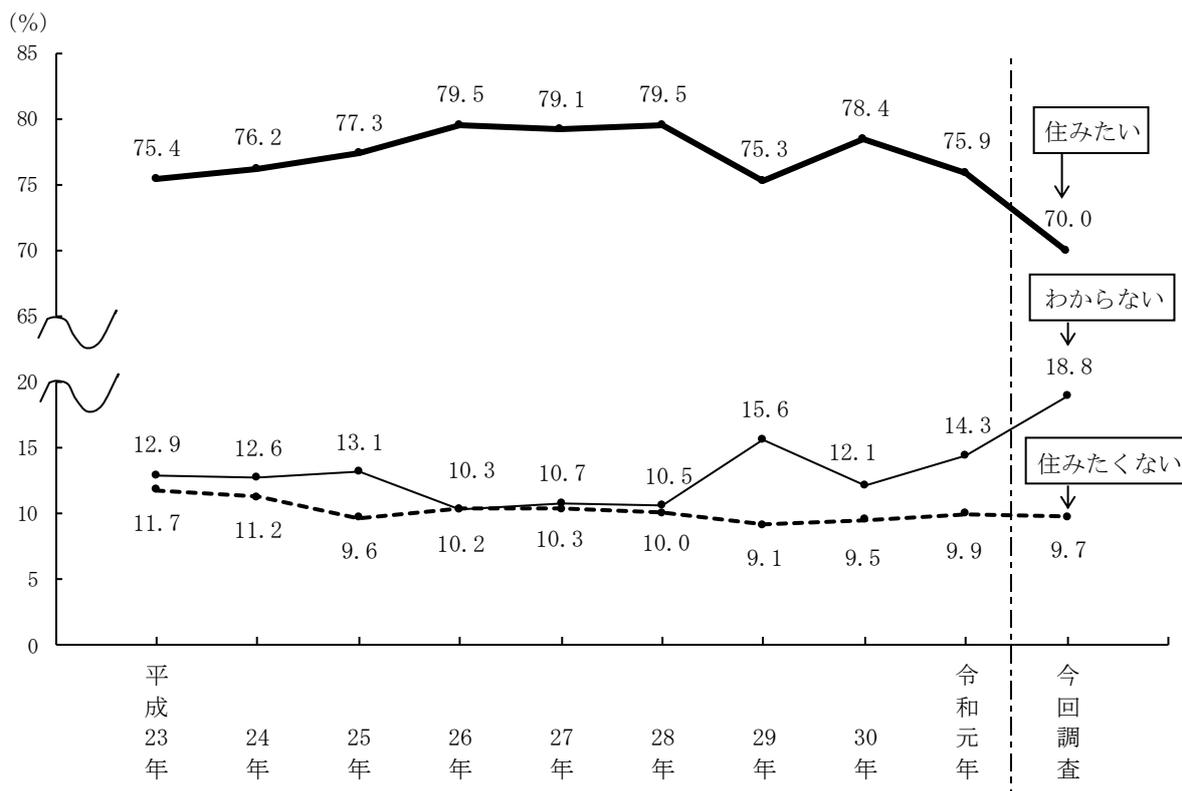
「住みたくない」と答えた人(221人)にその理由を聞いたところ、「生活費が高いから」が65%で最も多く、次いで「人や車が多過ぎるから」63%、「住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから」52%、「通勤・通学ラッシュがひどいから」44%などの順となっている。(図3-2-1)

今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、東京定住意向を過去の調査結果と単純に比較することはできないが、「住みたい」は昨年よりも6ポイント減少している。

(図3-2-2)

なお、東京定住意向の昭和59年からの調査結果を巻末の付属資料(P161 図8)に掲載している。

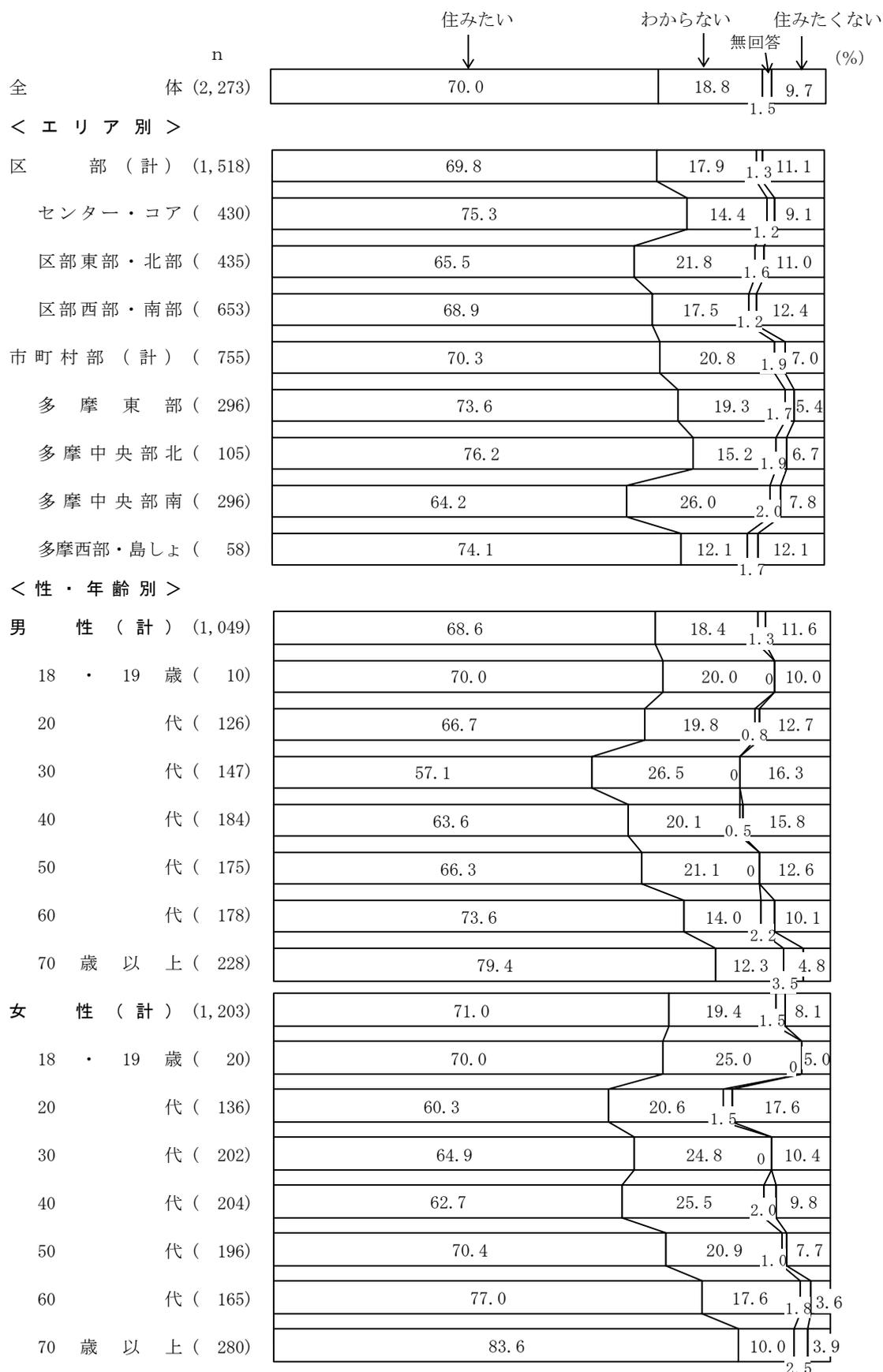
図3-2-2 東京定住意向—過去の調査結果



注) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

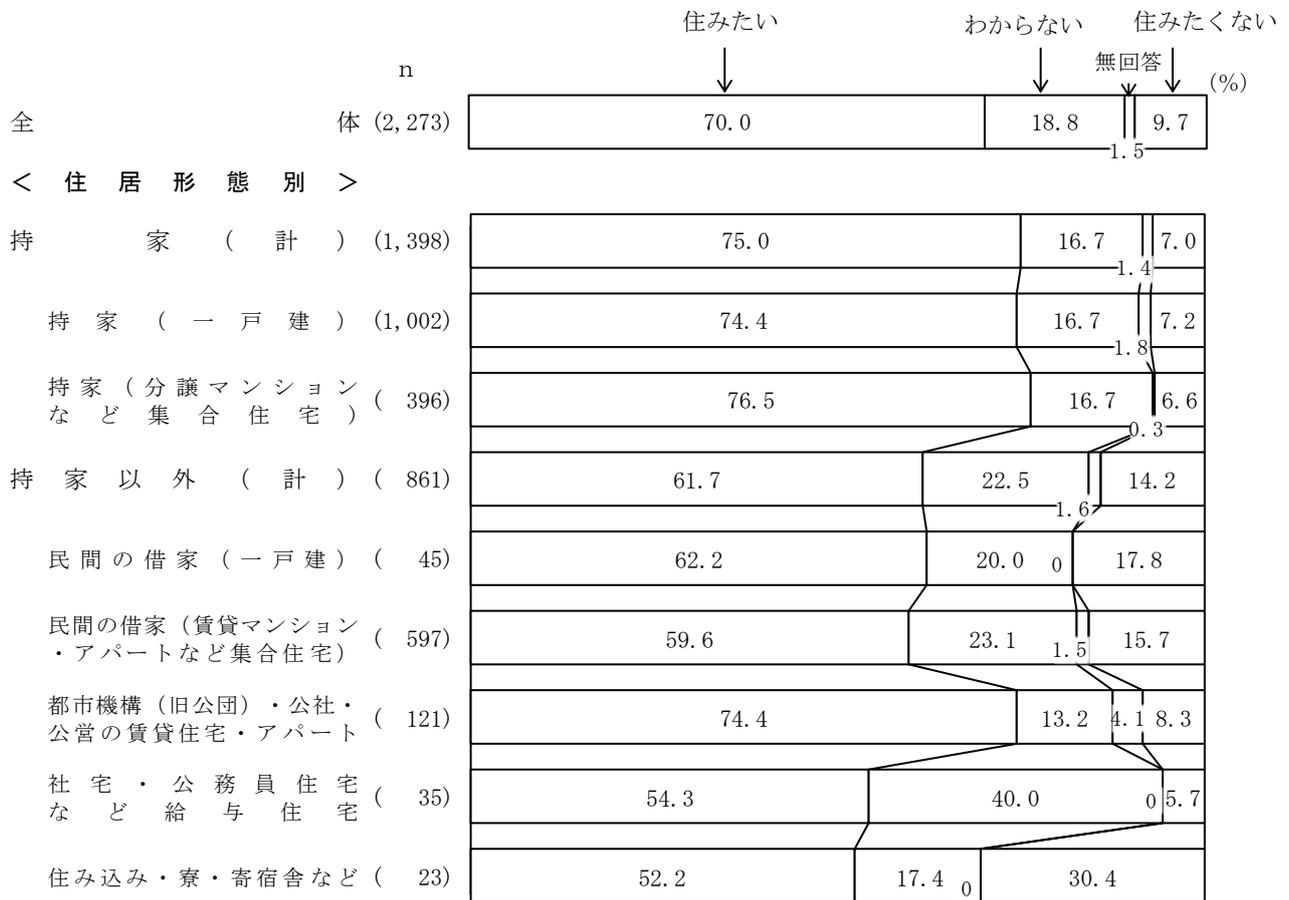
エリア別にみると、センター・コアで「住みたい」が7割半ばと多くなっている。
 性・年齢別にみると、「住みたい」は男女とも70歳以上で約8割から8割半ばと多くなっている。
 (図3-2-3)

図3-2-3 東京定住意向－エリア別、性・年齢別



住居形態別にみると、「住みたい」は持家（計）は7割半ばで、持家以外（計）よりも13ポイント高く
なっている。一方、「住みたくない」は持家以外（計）で1割半ばとなっている。（図3-2-4）

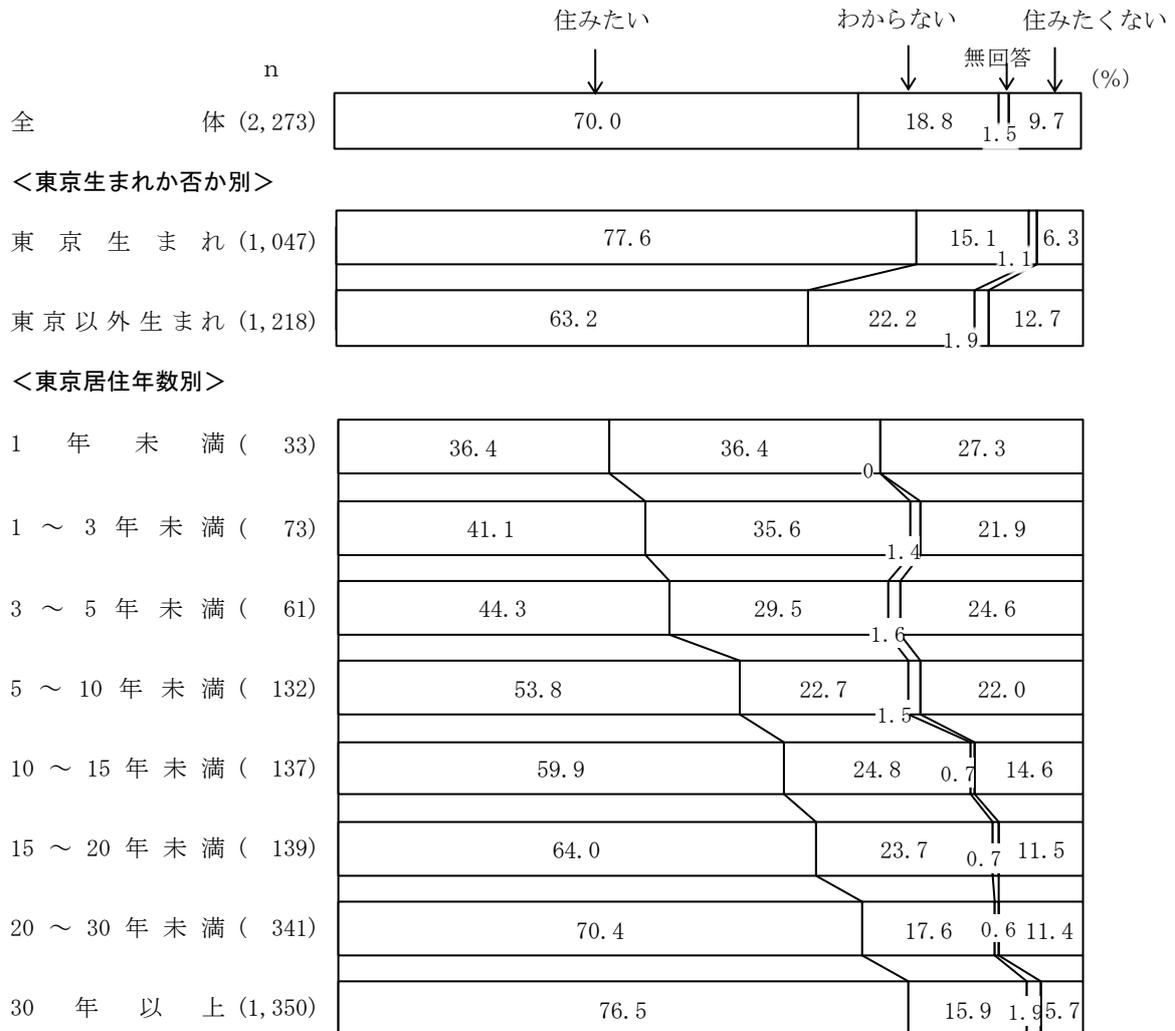
図3-2-4 東京定住意向－住居形態別



東京生まれか否か別にみると、「住みたい」は東京生まれの人で8割近くと多く、東京以外生まれの人よりも14ポイント高くなっている。

東京居住年数別にみると、年数が長いほど「住みたい」が増加する傾向があり、30年以上で8割近くと多くなっている。(図3-2-5)

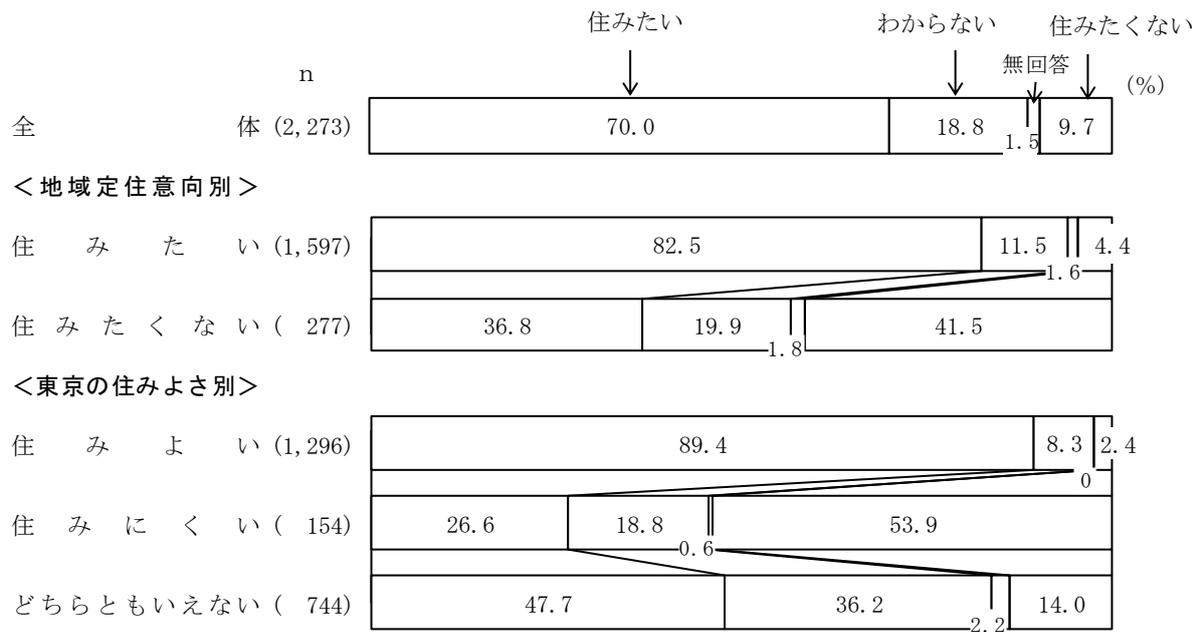
図3-2-5 東京定住意向－東京生まれか否か別、東京居住年数別



地域定住意向（問9 P50）との関係でみると、住んでいる地域に“住みたい”と答えた人で、東京に「住みたい」と思っている人は8割を超えて多くなっている。一方、地域に“住みたくない”と答えた人で、東京にも「住みたくない」と思っている人は4割を超えている。

東京の住みよさ（問10 P60）との関係でみると、東京は“住みよい”と答えた人で、東京に「住みたい」と思っている人は9割近くで多くなっている。一方、東京は“住みにくい”と答えた人で東京に「住みたくない」と思っている人は5割半ばと多くなっている。（図3-2-6）

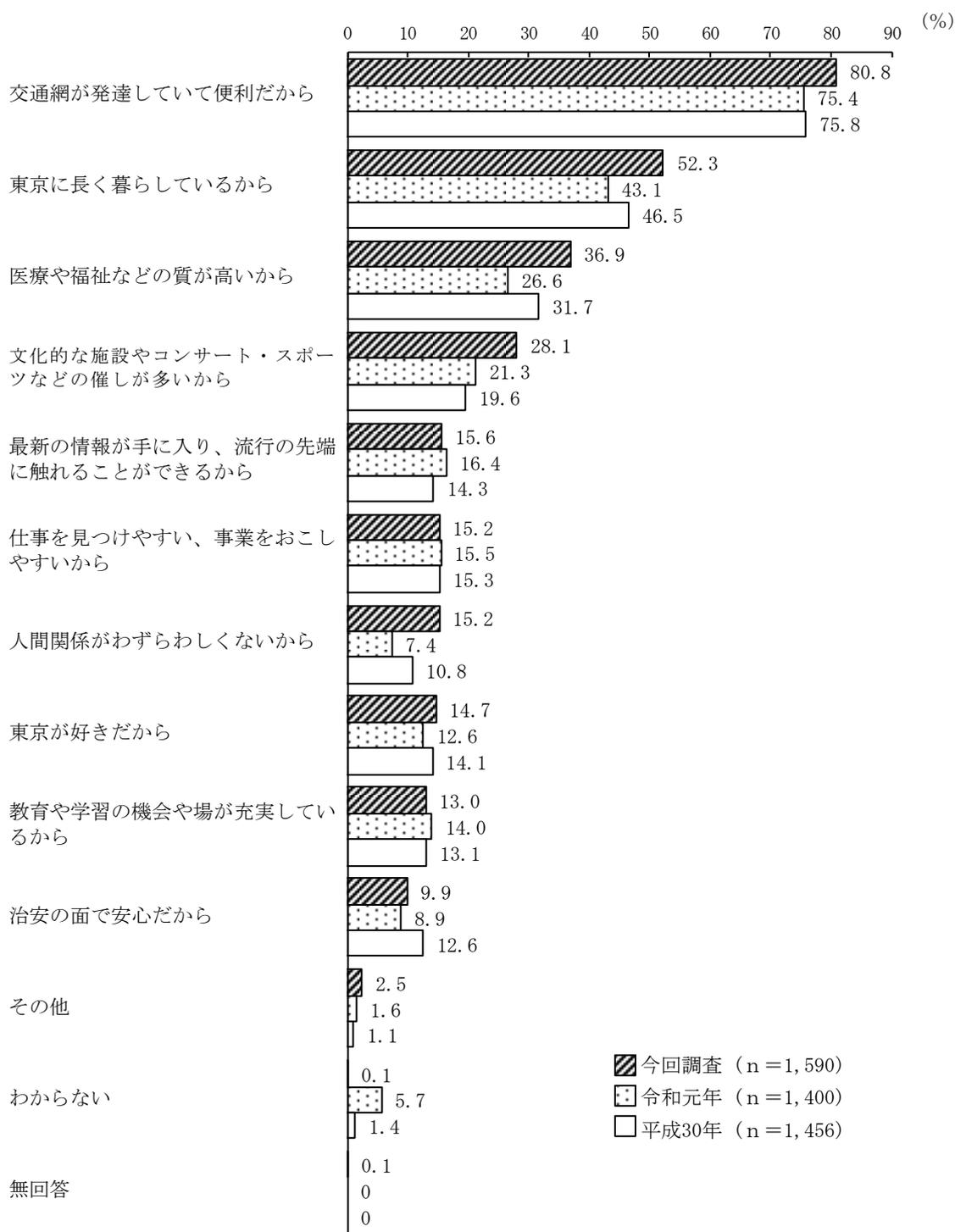
図3-2-6 東京定住意向－地域定住意向別、東京の住みよさ別



今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、東京に住みたい理由を過去の調査結果と単純に比較することはできないが、「医療や福祉などの質が高いから」は昨年よりも10ポイント、「東京に長く暮らしているから」は9ポイント、「人間関係がわずらわしくないから」は8ポイント増加している。

(図3-2-7)

図3-2-7 東京に住みたい理由－過去の調査結果



注) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

東京に住みたい理由をエリア別にみると、区部（計）は「交通網が発達していて便利だから」が8割半ばと多く、市町村（計）より10ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「東京に長く暮らしているから」は男女とも70歳以上で6割半ばと多くなっている。「医療や福祉などの質が高いから」は男女とも70歳以上で5割半ばと多くなっている。また、「文化的な施設やコンサート・スポーツなどの催しが多いから」は男性20代で4割半ばと多くなっている。

(表3-2-1)

表3-2-1 東京に住みたい理由－エリア別、性・年齢別

(%)

	n	交通網が発達して いて便利だから	東京に長く暮ら しているから	医療や福祉など の質が高いから	文化的な施設や コンサート・ス ポーツなどの催 しが多いから	最新の情報が手 に入り、流行の 先端に触れるこ とができるから	仕事をを見つけ やすいから	人間関係がわず らわしくないから	東京が好きだ から	教育や学習の機 会や場が充実し ているから	治安の面で安心 だから	その他	わからない	無回答
全 体	1,590	80.8	52.3	36.9	28.1	15.6	15.2	15.2	14.7	13.0	9.9	2.5	0.1	0.1
< エリア別 >														
区 部（計）	1,059	83.9	52.0	39.7	28.3	15.7	16.1	14.9	15.1	13.2	10.2	2.5	0.2	-
センター・コア	324	86.1	50.9	38.6	26.9	19.1	18.5	18.5	16.4	13.6	12.0	1.9	-	-
区部東部・北部	285	80.7	53.3	44.6	24.2	11.9	13.3	13.7	12.3	12.3	9.8	1.8	0.4	-
区部西部・南部	450	84.4	52.0	37.3	32.0	15.6	16.2	13.1	16.0	13.6	9.1	3.3	0.2	-
市町村部（計）	531	74.4	52.9	31.5	27.7	15.4	13.4	15.8	13.9	12.4	9.2	2.4	-	0.2
多摩東部	218	77.5	49.1	33.0	27.5	13.8	11.9	19.3	12.8	13.3	6.4	2.3	-	-
多摩中央部北	80	67.5	68.8	38.8	22.5	12.5	18.8	15.0	17.5	13.8	5.0	1.3	-	-
多摩中央部南	190	77.4	48.9	28.4	30.5	17.4	13.7	12.6	13.7	11.6	14.2	3.2	-	-
多摩西部・島しょ	43	58.1	60.5	23.3	25.6	20.9	9.3	14.0	14.0	9.3	9.3	2.3	-	2.3
< 性・年齢別 >														
男 性（計）	720	81.4	50.0	35.6	27.2	16.8	15.8	12.6	14.9	11.0	10.7	2.8	-	-
18・19歳	7	100.0	14.3	14.3	28.6	57.1	-	-	28.6	-	-	-	-	-
20代	84	86.9	35.7	11.9	45.2	29.8	27.4	3.6	11.9	9.5	3.6	-	-	-
30代	84	81.0	48.8	15.5	27.4	21.4	20.2	8.3	14.3	10.7	4.8	4.8	-	-
40代	117	83.8	38.5	27.4	31.6	20.5	28.2	12.8	14.5	26.5	5.1	3.4	-	-
50代	116	77.6	43.1	33.6	29.3	18.1	18.1	12.1	19.0	13.8	7.8	3.4	-	-
60代	131	80.2	59.5	46.6	28.2	10.7	9.9	17.6	16.8	6.1	9.2	3.1	-	-
70歳以上	181	80.1	63.5	55.2	13.8	8.3	3.9	16.0	12.2	3.9	23.8	2.2	-	-
女 性（計）	854	80.4	53.9	38.1	29.0	14.4	14.9	17.1	14.4	14.5	8.8	2.2	0.2	0.1
18・19歳	14	85.7	50.0	7.1	42.9	28.6	14.3	-	-	-	-	-	-	-
20代	82	84.1	36.6	15.9	36.6	30.5	19.5	11.0	18.3	12.2	1.2	2.4	-	-
30代	131	81.7	42.0	23.7	39.7	18.3	29.0	17.6	11.5	22.1	2.3	3.1	-	-
40代	128	83.6	47.7	31.3	32.0	18.8	28.1	13.3	14.8	28.1	4.7	2.3	-	-
50代	138	83.3	58.7	42.0	29.7	15.2	16.7	13.8	13.8	14.5	10.1	1.4	-	-
60代	127	82.7	57.5	43.3	30.7	4.7	4.7	22.8	18.9	7.1	10.2	1.6	-	0.8
70歳以上	234	73.5	65.4	54.3	16.7	8.1	2.6	20.9	13.2	8.5	16.2	2.6	0.9	-

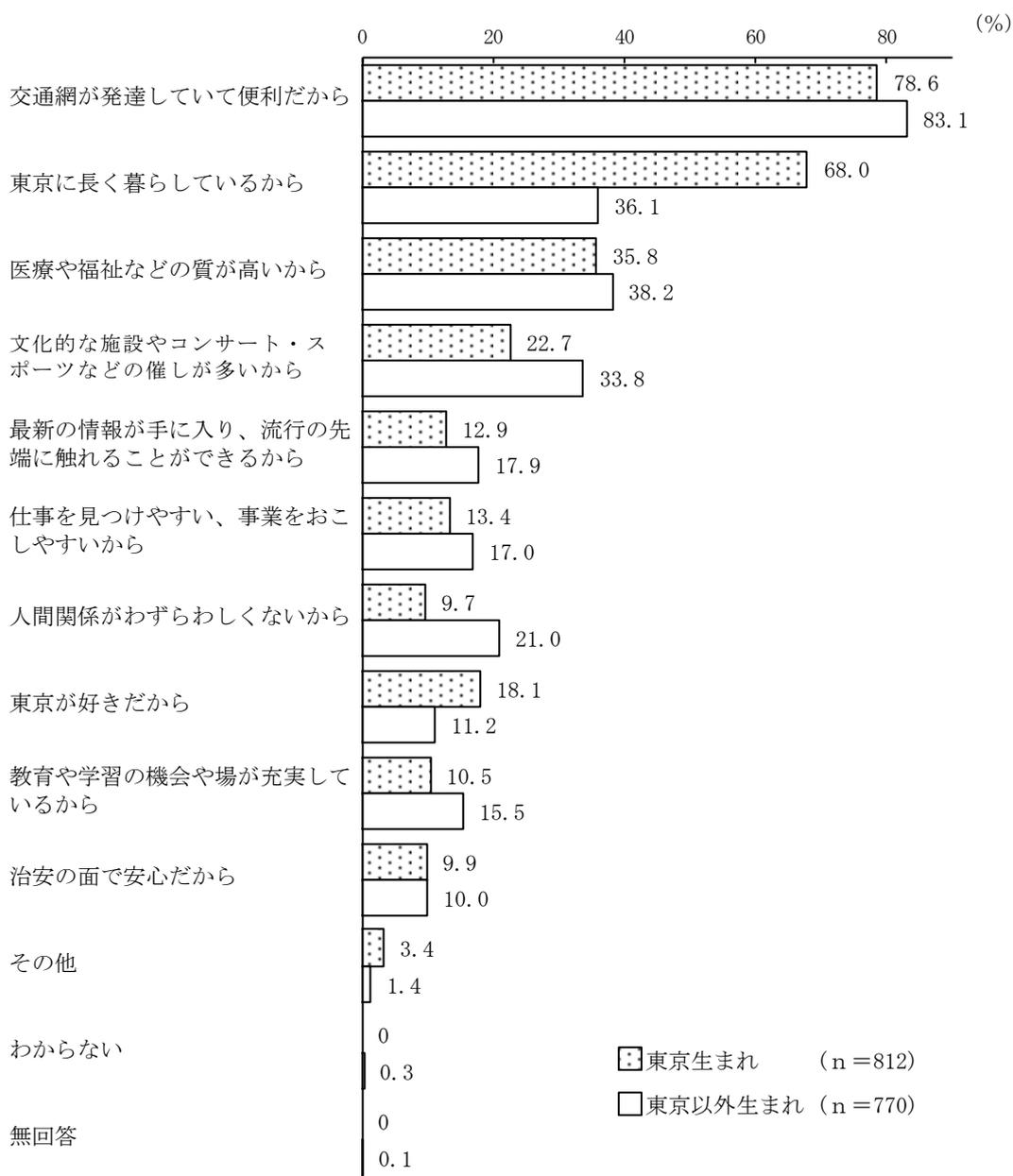
職業別にみると、「東京に長く暮らしているから」は無職の主婦・主夫で6割を超えて多くなっている。「医療や福祉などの質が高いから」は無職の主婦・主夫、その他の無職で5割前後と多くなっている。(表3-2-2)

表3-2-2 東京に住みたい理由－職業別

		(%)												
	n	交通網が発達して いて便利だから	東京に長く暮ら しているから	医療や福祉など の質が高いから	文化的な施設や コンサート・ス ポーツなどの催 しが多いから	最新の情報が手 に入り、流行の先 端に触れること ができるから	仕事をを見つけ やすいから	人間関係がわ ざらわしくない から	東京が好きだ から	教育や学習の 機会や場が充 実しているから	治安の面で安 心だから	その他	わからない	無回答
全 体	1,590	80.8	52.3	36.9	28.1	15.6	15.2	15.2	14.7	13.0	9.9	2.5	0.1	0.1
< 職 業 別 >														
自営・家族従業(計)	218	78.9	55.5	41.7	26.1	10.1	17.0	15.6	17.9	12.4	11.9	3.2	-	-
勤 め(計)	798	83.3	48.2	29.2	32.0	19.8	20.9	13.5	14.3	14.9	7.6	2.9	-	-
経営・管理職	85	76.5	44.7	41.2	34.1	18.8	12.9	8.2	12.9	21.2	7.1	4.7	-	-
専門・技術職	214	84.1	38.8	23.8	36.9	20.1	21.0	12.6	12.6	19.2	5.6	3.7	-	-
事務職	166	85.5	45.2	28.9	36.7	21.1	22.9	15.1	13.3	17.5	6.0	2.4	-	-
労務・技能職	84	73.8	51.2	34.5	25.0	15.5	19.0	13.1	8.3	8.3	13.1	2.4	-	-
販売・サービス職	186	87.1	58.6	28.5	27.4	21.5	23.1	15.1	20.4	8.6	8.6	2.2	-	-
無職の主婦・主夫	308	75.0	61.7	52.6	20.8	6.5	5.2	19.5	13.0	13.6	14.6	0.3	0.6	-
学 生	58	89.7	31.0	15.5	48.3	34.5	17.2	-	12.1	12.1	-	-	-	-
そ の 他 の 無 職	176	77.3	56.3	47.2	21.6	13.6	5.7	17.0	16.5	5.1	11.9	4.5	-	-

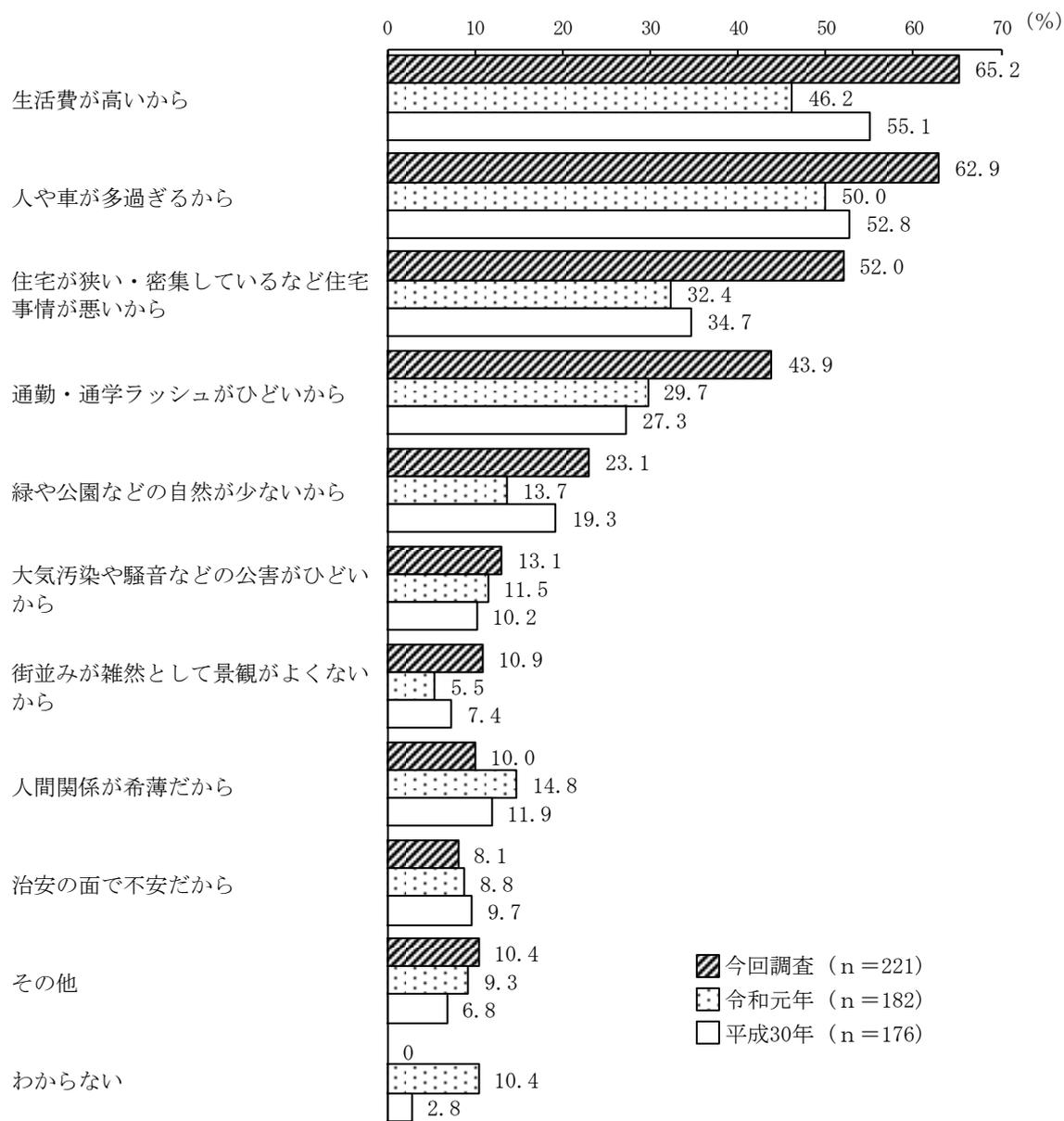
東京生まれか否か別にみると、東京生まれの人は東京以外生まれの人よりも「東京に長く暮らしているから」が32ポイント高くなっている。一方、東京以外生まれの人は東京生まれの人よりも「人間関係がわずらわしくないから」「文化的な施設やコンサート・スポーツなどの催しが多いから」が11ポイント高くなっている。(図3-2-8)

図3-2-8 東京に住みたい理由－東京生まれか否か別



今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、東京に住みたくない理由を過去の調査結果と単純に比較することはできないが、「住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから」は昨年よりも20ポイント、「生活費が高いから」は19ポイント、「通勤・通学ラッシュがひどいから」は14ポイント増加している。(図3-2-9)

図3-2-9 東京に住みたくない理由－過去の調査結果



注) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

エリア別と性別にみると、特に大きな差はみられない。

年齢別にみると、「通勤・通学ラッシュがひどいから」は20代、30代で7割近くと多くなっている。

(表3-2-3)

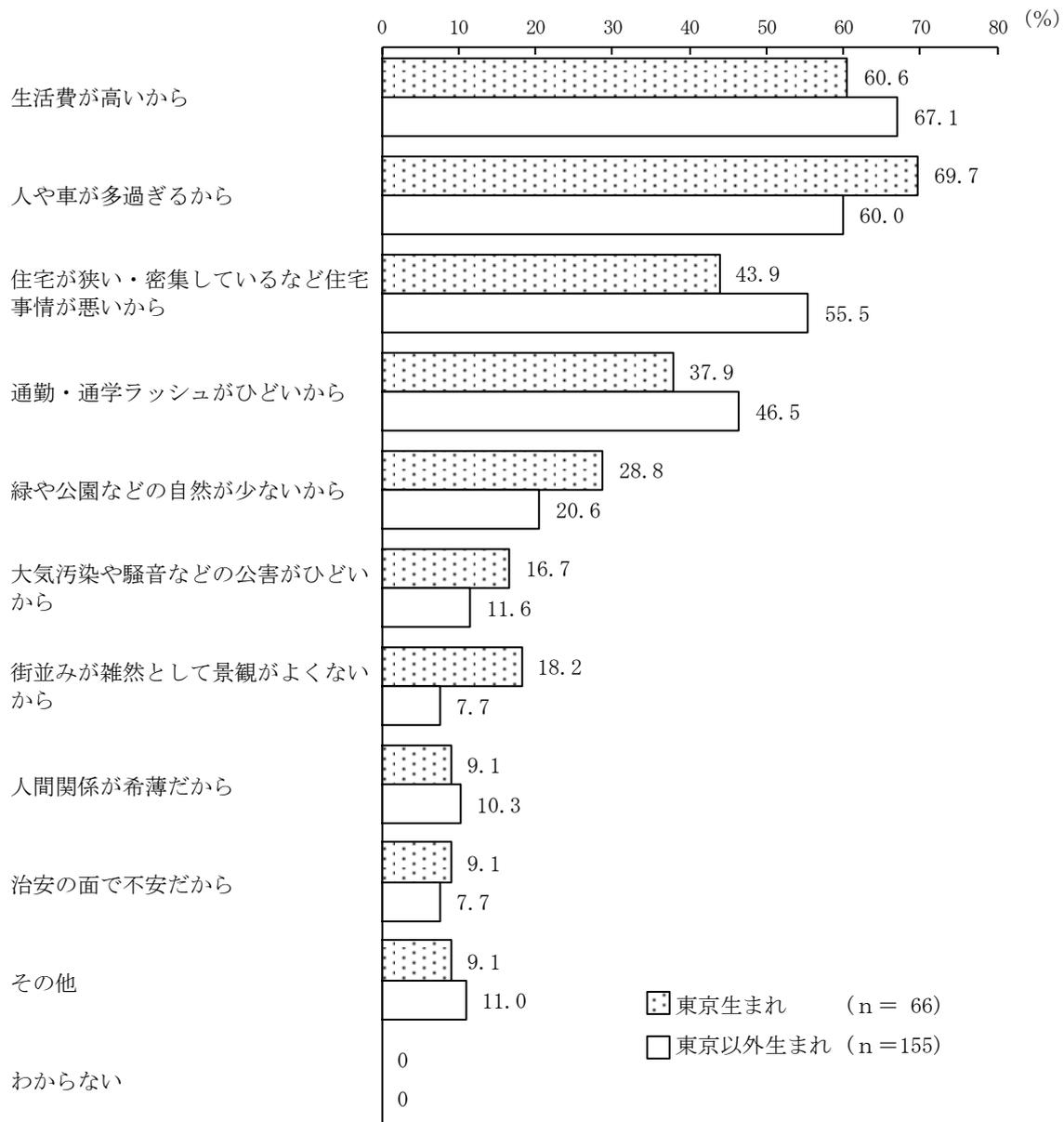
表3-2-3 東京に住みたくない理由－エリア別、性別、年齢別

(%)

	n	生活費が高いから	人や車が多過ぎるから	住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから	通勤・通学ラッシュがひどいから	緑や公園などの自然が少ないから	大気汚染や騒音などの公害がひどいから	街並みが雑然として景観がよくないから	人間関係が希薄だから	治安の面で不安だから	その他	わからない
全体	221	65.2	62.9	52.0	43.9	23.1	13.1	10.9	10.0	8.1	10.4	-
< エリア別 >												
区部 (計)	168	67.3	61.3	51.8	42.9	22.6	10.1	11.9	7.1	5.4	11.3	-
センター・コア	39	74.4	46.2	56.4	33.3	33.3	7.7	15.4	7.7	5.1	12.8	-
区部東部・北部	48	52.1	66.7	41.7	47.9	14.6	10.4	10.4	4.2	6.3	14.6	-
区部西部・南部	81	72.8	65.4	55.6	44.4	22.2	11.1	11.1	8.6	4.9	8.6	-
市町村部 (計)	53	58.5	67.9	52.8	47.2	24.5	22.6	7.5	18.9	17.0	7.5	-
多摩東部	16	50.0	81.3	56.3	50.0	25.0	18.8	6.3	18.8	18.8	-	-
多摩中央部北	7	85.7	57.1	28.6	28.6	14.3	14.3	14.3	28.6	-	28.6	-
多摩中央部南	23	60.9	60.9	47.8	43.5	21.7	17.4	4.3	13.0	21.7	8.7	-
多摩西部・島しょ	7	42.9	71.4	85.7	71.4	42.9	57.1	14.3	28.6	14.3	-	-
< 性別 >												
男性	122	66.4	64.8	52.5	41.8	25.4	12.3	10.7	9.0	6.6	9.0	-
女性	98	63.3	60.2	52.0	46.9	20.4	13.3	11.2	10.2	10.2	12.2	-
< 年齢別 >												
18・19歳	2	-	100.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-
20代	40	65.0	67.5	52.5	67.5	15.0	12.5	7.5	10.0	7.5	10.0	-
30代	45	75.6	57.8	48.9	66.7	20.0	6.7	8.9	6.7	6.7	15.6	-
40代	49	65.3	63.3	57.1	36.7	22.4	12.2	12.2	10.2	4.1	12.2	-
50代	37	64.9	67.6	56.8	37.8	29.7	16.2	13.5	-	13.5	2.7	-
60代	25	72.0	76.0	52.0	16.0	32.0	16.0	12.0	16.0	4.0	8.0	-
70歳以上	22	40.9	36.4	40.9	13.6	27.3	22.7	13.6	22.7	18.2	13.6	-

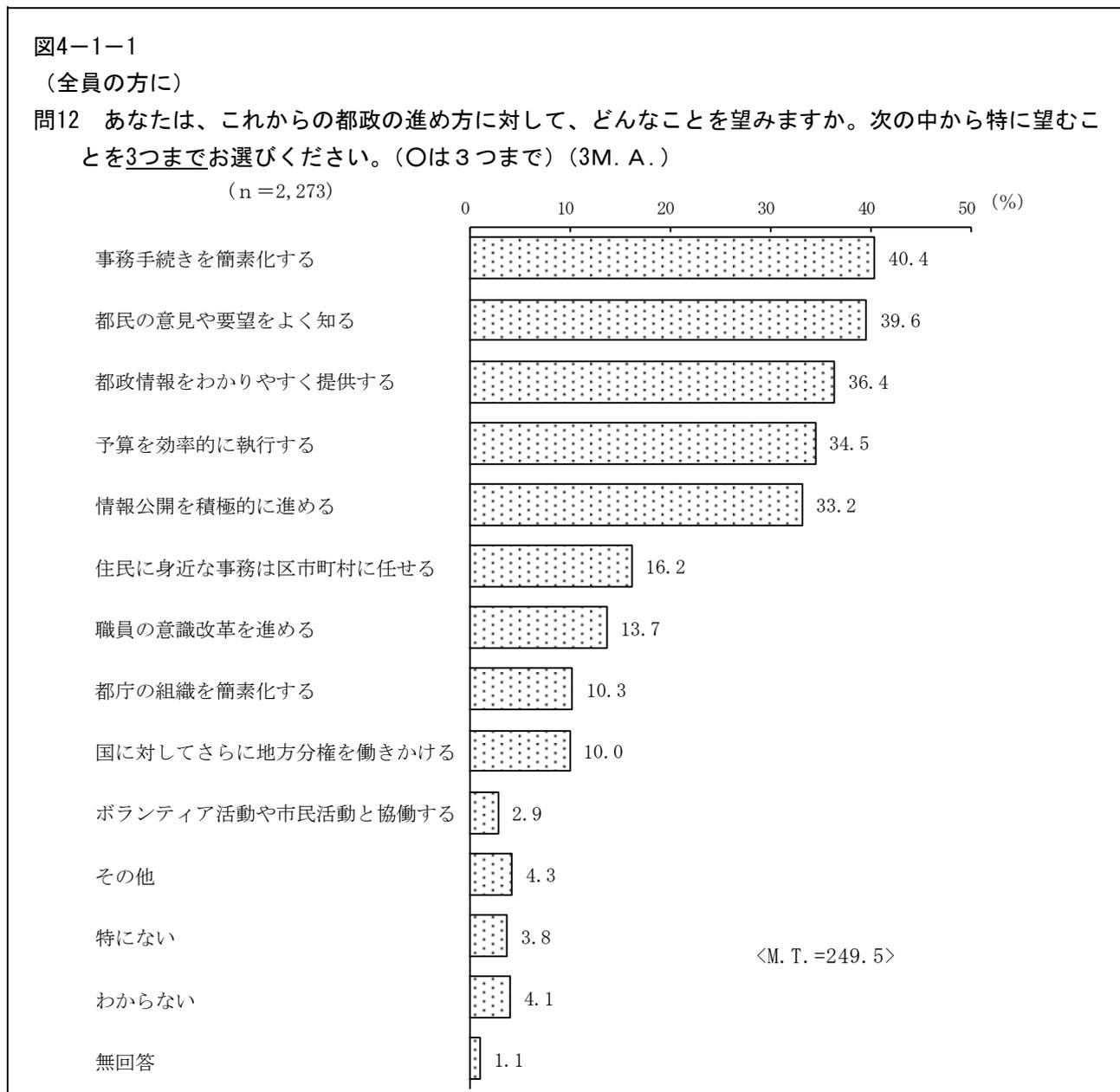
東京生まれか否か別にみると、東京以外生まれの人は東京生まれの人より「住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから」が12ポイント高くなっている。(図3-2-10)

図3-2-10 東京に住みたくない理由—東京生まれか否か別



4 都政への要望

※4-1 これからの都政の進め方

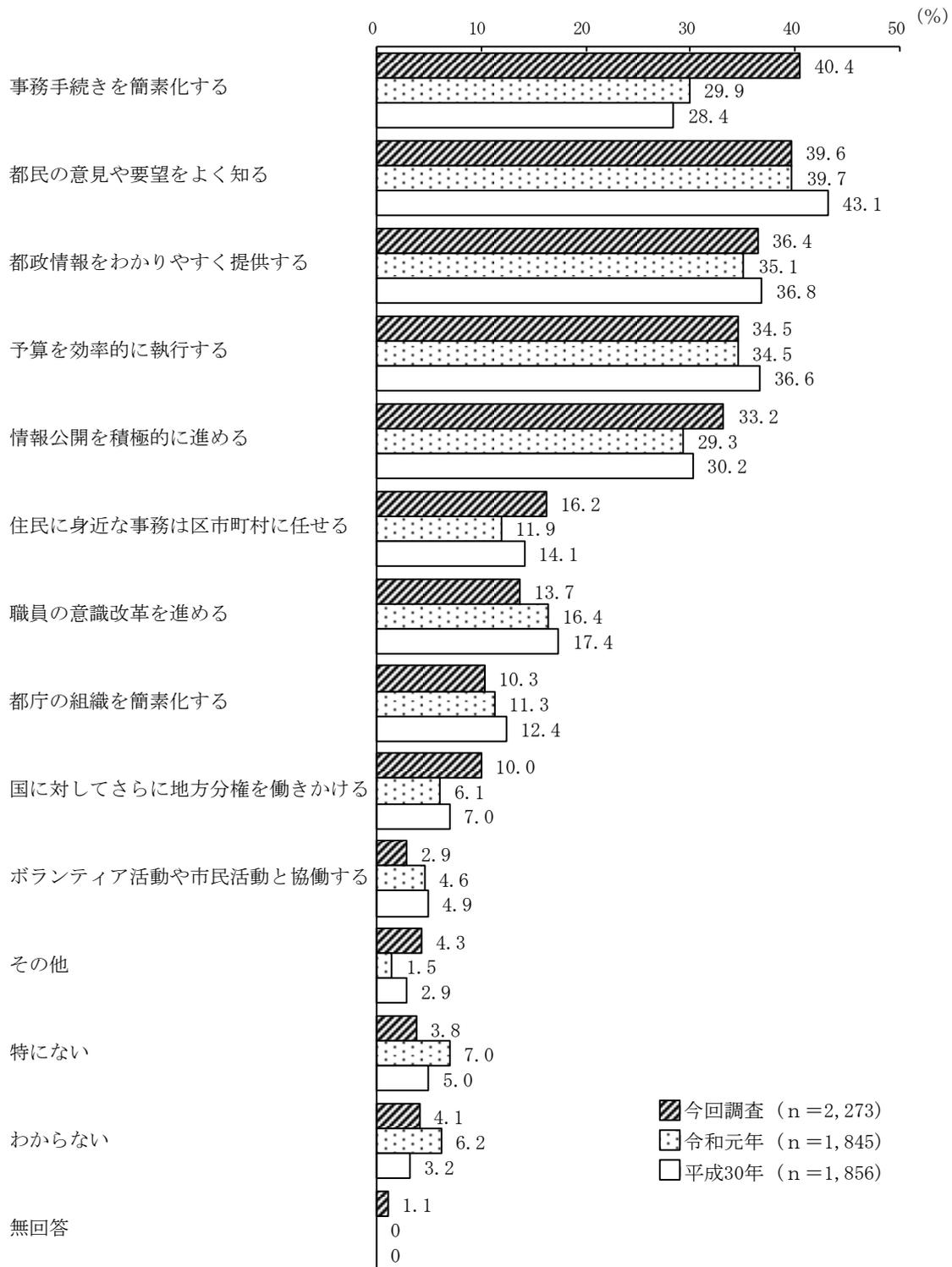


これからの都政の進め方に対して、特に望むことを3つまで選んでもらったところ、「事務手続きを簡素化する」が40%で最も多く、次いで「都民の意見や要望をよく知る」40%、「都政情報をわかりやすく提供する」36%、「予算を効率的に執行する」35%、「情報公開を積極的に進める」33%などの順となっている。(図4-1-1)

今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、これからの都政の進め方を過去の調査結果と単純に比較することはできないが、「事務手続きを簡素化する」が昨年よりも11ポイント増加している。

(図4-1-2)

図4-1-2 これからの都政の進め方—過去の調査結果



注) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

エリア別にみると、「住民に身近な事務は区市町村に任せる」は市町村部（計）で約2割となっている。
 性・年齢別にみると、「事務手続きを簡素化する」は男性30代、40代と女性30代で5割を超えて多くなっている。「都民の意見や要望をよく知る」は女性50代で約5割と多くなっている。（表4-1-1）

表4-1-1 これからの都政の進め方—エリア別、性・年齢別

(%)

	n	事務 手続き を簡素 化する	都 民の 意見 や望 望をよ く知 る	都 政情 報を わか りやす く提 供す る	予 算を 効率 的に 執行 する	情 報公 開を 積極 的に 進め る	住 民に 身近 な事 務は 区市 町村 に任 せる	職 員の 意識 改革 を進 める	都 庁の 組織 を簡 素化 する	権 を働 きか ける 国に 対し てさ らに 地方 分	活 動と 協働 する ボラ ンテ ィア 活動 や市 民	そ の他	特 に ない	わ か ら ない	無 回 答	
全 体	2,273	40.4	39.6	36.4	34.5	33.2	16.2	13.7	10.3	10.0	2.9	4.3	3.8	4.1	1.1	
< エリア別 >																
区 部（計）	1,518	41.7	39.1	37.4	35.0	33.8	14.4	12.4	10.7	10.6	2.8	4.6	3.4	3.6	1.1	
センター・コア	430	39.8	38.6	36.0	37.2	32.3	13.7	12.3	12.8	13.5	3.3	5.1	3.3	3.7	1.2	
区部東部・北部	435	40.9	37.9	35.2	34.3	31.3	17.5	13.1	9.4	9.9	2.1	4.1	3.7	4.8	0.9	
区部西部・南部	653	43.5	40.1	39.8	34.0	36.4	12.7	11.9	10.1	9.2	3.1	4.6	3.4	2.8	1.1	
市町村部（計）	755	37.9	40.8	34.3	33.5	31.9	19.9	16.4	9.7	8.9	3.0	3.6	4.6	5.0	1.2	
多摩東部	296	36.5	44.3	34.5	34.8	31.4	22.3	16.2	10.1	10.1	4.7	4.1	2.4	4.4	1.7	
多摩中央部北	105	40.0	41.0	38.1	30.5	23.8	21.0	21.0	5.7	6.7	1.0	3.8	9.5	5.7	-	
多摩中央部南	296	39.9	40.2	32.8	33.1	35.5	15.5	15.9	9.8	8.1	2.0	3.0	5.4	5.4	1.0	
多摩西部・島しょ	58	31.0	25.9	34.5	34.5	31.0	27.6	12.1	13.8	10.3	3.4	3.4	3.4	5.2	1.7	
< 性・年齢別 >																
男 性（計）	1,049	41.9	34.6	33.2	36.6	34.3	16.7	15.2	11.7	11.9	2.2	5.6	4.7	3.0	0.9	
18・19歳	10	40.0	40.0	10.0	40.0	30.0	10.0	10.0	10.0	-	-	10.0	10.0	-	-	
20代	126	47.6	40.5	31.0	36.5	32.5	7.9	8.7	11.9	5.6	-	4.8	4.0	6.3	0.8	
30代	147	51.0	32.7	37.4	36.7	29.3	4.8	12.2	11.6	10.9	2.7	7.5	4.8	2.7	-	
40代	184	51.6	34.8	31.5	42.4	35.3	15.8	16.8	9.8	8.7	2.2	7.1	3.3	2.7	-	
50代	175	36.6	46.3	32.0	36.0	33.1	17.7	16.0	10.3	15.4	2.3	7.4	4.0	1.7	-	
60代	178	37.1	27.5	30.9	39.3	36.0	19.7	19.7	14.6	18.0	1.7	3.4	3.4	2.8	0.6	
70歳以上	228	33.3	28.5	36.8	29.8	37.7	27.2	15.4	12.3	11.4	3.5	3.9	7.5	2.6	3.1	
女 性（計）	1,203	39.4	44.0	39.3	32.8	32.3	15.6	12.4	9.2	8.5	3.5	3.2	3.0	5.1	1.2	
18・19歳	20	15.0	35.0	55.0	50.0	35.0	5.0	10.0	-	5.0	-	-	-	-	-	
20代	136	39.0	44.9	44.9	33.1	39.7	5.1	8.1	5.1	2.9	2.9	3.7	1.5	6.6	0.7	
30代	202	51.5	48.5	42.1	35.1	31.7	8.4	7.4	7.4	7.4	3.0	4.0	2.5	4.0	-	
40代	204	47.5	47.1	37.7	40.7	35.3	16.2	12.7	7.8	8.3	1.0	1.5	2.5	3.9	0.5	
50代	196	37.2	49.5	43.4	37.8	33.7	12.2	15.3	12.8	10.7	4.1	4.6	2.0	3.1	1.0	
60代	165	37.0	43.0	32.1	29.7	28.5	24.2	16.4	14.5	10.3	4.2	3.0	3.6	2.4	1.2	
70歳以上	280	29.6	35.4	36.1	22.1	28.2	23.6	13.6	8.6	9.6	5.4	2.9	5.0	9.3	3.2	

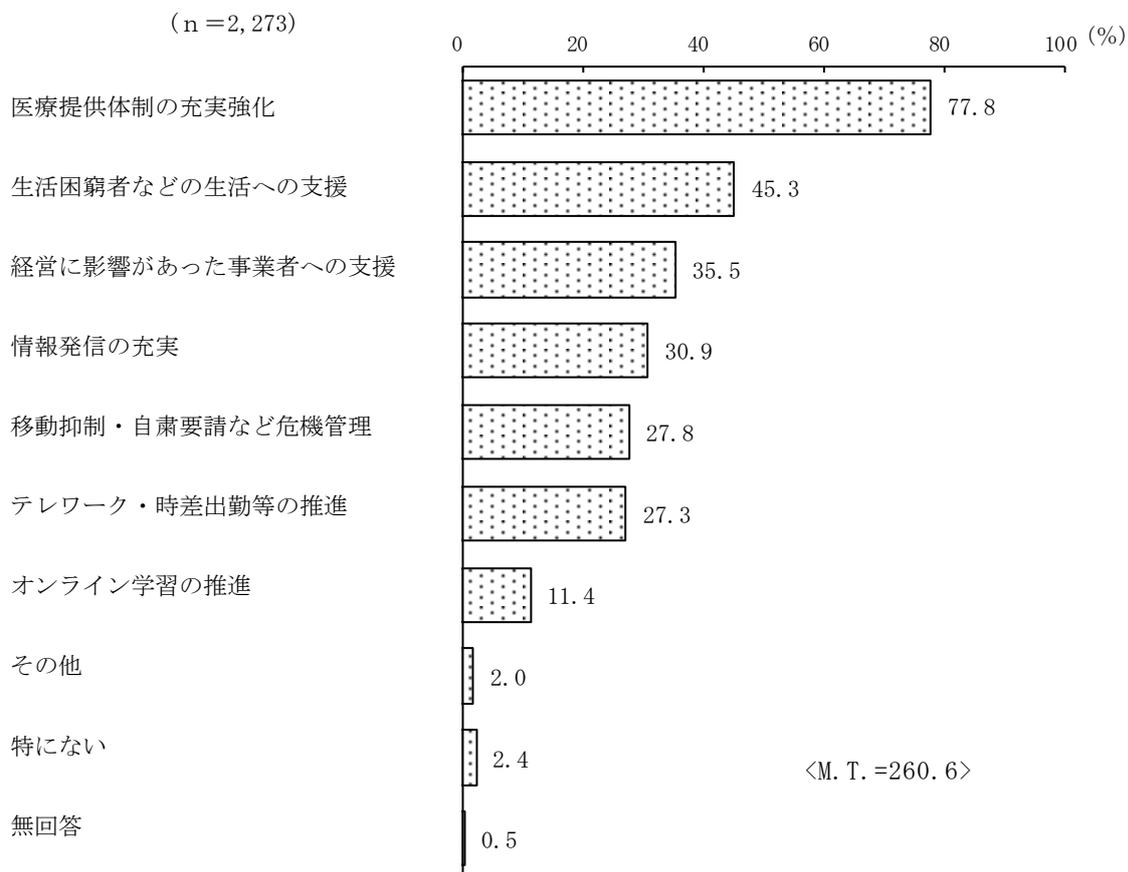
4-2 新型コロナウイルス感染症対策

図4-2-1

(全員の方に)

問13 新型コロナウイルス感染症の流行が続いています。

あなたは、「新型コロナウイルス感染症に関する対策」について、都にどのようなことを望みますか。次の中から特に望むことを3つまでお選びください。(○は3つまで) (3M. A.)



新型コロナウイルス感染症対策について、都に特に望むことを3つまで選んでももらったところ、「医療提供体制の充実強化」が78%で最も多く、次いで「生活困窮者などの生活への支援」45%、「経営に影響があった事業者への支援」36%、「情報発信の充実」31%などの順となっている。(図4-2-1)

エリア別にみると、特に大きな差はみられない。

性・年齢別にみると、「医療提供体制の充実強化」は男性は60代、70歳以上で、女性は50代から70歳以上で8割半ばを超えて多くなっている。「情報発信の充実」は男女とも60代、70歳以上で4割前後と多くなっている。「テレワーク・時差出勤等の推進」は男女とも20代、30代で4割を超えて多くなっている。

(表4-2-1)

表4-2-1 新型コロナウイルス感染症対策—エリア別、性・年齢別

(%)

	n	医療提供体制の充実強化	の生活支援 生活困窮者などの生活へ	者経営への影響があつた事業	情報発信の充実	危移動抑制・自粛要請など	のテレワーク・時差出勤等の推進	オンライン学習の推進	その他	特にな	無回答
全 体	2,273	77.8	45.3	35.5	30.9	27.8	27.3	11.4	2.0	2.4	0.5
< エリア別 >											
区 部 (計)	1,518	77.7	45.7	36.8	29.8	27.3	27.9	11.1	1.8	2.1	0.5
センター・コア	430	77.0	47.7	38.8	28.4	27.7	29.1	11.6	1.6	2.1	0.5
区部東部・北部	435	77.7	46.0	35.9	28.7	27.4	25.3	11.5	1.8	2.1	0.5
区部西部・南部	653	78.3	44.1	36.1	31.4	27.0	28.9	10.6	1.8	2.1	0.5
市町村部 (計)	755	78.0	44.6	33.0	33.1	29.0	26.1	11.9	2.5	3.0	0.7
多摩東部	296	78.4	45.6	35.5	32.8	27.4	24.7	14.9	2.4	2.0	0.7
多摩中央部北	105	77.1	46.7	27.6	35.2	25.7	27.6	11.4	1.9	4.8	-
多摩中央部南	296	76.7	42.2	31.1	33.4	31.1	28.4	10.1	3.4	4.1	0.7
多摩西部・島しょ	58	84.5	48.3	39.7	29.3	32.8	19.0	6.9	-	-	1.7
< 性・年齢別 >											
男 性 (計)	1,049	76.7	46.2	35.7	30.8	27.6	27.1	9.7	2.0	2.9	0.6
18・19歳	10	60.0	50.0	50.0	30.0	30.0	30.0	20.0	-	-	-
20代	126	55.6	48.4	47.6	18.3	15.9	49.2	11.9	3.2	1.6	-
30代	147	61.9	42.2	34.0	24.5	32.0	43.5	12.2	4.1	4.8	-
40代	184	76.1	43.5	38.0	25.5	21.2	32.6	19.6	2.2	2.2	-
50代	175	82.3	46.9	41.1	26.3	23.4	28.6	8.0	1.1	1.7	-
60代	178	87.6	46.1	30.3	44.9	32.6	16.3	3.4	1.1	2.8	0.6
70歳以上	228	86.4	49.1	27.6	38.6	35.5	7.0	4.8	1.3	3.9	2.2
女 性 (計)	1,203	78.6	44.2	35.3	30.9	28.2	27.8	12.8	2.1	2.1	0.4
18・19歳	20	30.0	55.0	70.0	5.0	20.0	35.0	45.0	-	-	-
20代	136	68.4	47.8	42.6	19.1	23.5	41.9	12.5	2.9	2.9	0.7
30代	202	69.8	45.0	41.6	22.3	28.2	45.5	20.8	2.0	-	-
40代	204	75.5	38.7	39.7	22.5	30.4	34.8	21.1	2.0	1.5	-
50代	196	86.2	39.3	32.7	35.7	29.1	27.0	9.2	3.6	1.0	0.5
60代	165	87.3	41.2	29.7	41.8	27.9	14.5	7.3	1.8	3.0	0.6
70歳以上	280	85.4	50.4	26.8	41.1	28.9	11.1	4.6	1.1	3.9	0.7

職業別にみると、「経営に影響があった事業者への支援」は自営・家族従業（計）で6割近くと多くなっている。「情報発信の充実」は無職の主婦・主夫で4割を超えて、「テレワーク・時差出勤等の推進」は経営・管理職、専門・技術職、事務職で4割を超えて多くなっている。

生活程度（問3 P14）との関係でみると、「生活困窮者などの生活への支援」は生活程度が低いほど割合が高くなっている。（表4-2-2）

表4-2-2 新型コロナウイルス感染症対策—職業別、生活程度別

		(%)									
	n	医療提供体制の充実強化	生活困窮者などの生活への支援	経営に影響があった事業者への支援	情報発信の充実	移動抑制・自粛要請など危機管理	テレワーク・時差出勤等の推進	オンライン学習の推進	その他	特にない	無回答
全体	2,273	77.8	45.3	35.5	30.9	27.8	27.3	11.4	2.0	2.4	0.5
＜ 職 業 別 ＞											
自営・家族従業（計）	303	78.5	48.8	56.8	29.7	21.1	13.2	7.3	1.3	2.0	0.7
勤め（計）	1,209	76.8	43.1	36.0	27.4	26.7	36.6	12.7	2.5	1.6	0.4
経営・管理職	117	76.1	36.8	32.5	23.1	26.5	41.9	14.5	4.3	2.6	-
専門・技術職	347	74.1	39.8	38.0	25.9	25.1	45.8	13.5	2.6	1.2	0.3
事務職	244	77.5	37.7	30.7	24.2	30.3	42.2	12.7	2.9	1.2	0.4
労務・技能職	117	80.3	53.0	32.5	29.9	31.6	24.8	10.3	1.7	1.7	-
販売・サービス職	289	77.5	52.9	41.5	30.8	23.9	25.6	12.5	0.7	1.7	1.0
無職の主婦・主夫	400	82.0	44.0	23.5	40.5	35.0	18.3	11.3	1.0	3.3	1.0
学生	80	53.8	50.0	45.0	16.3	23.8	30.0	31.3	2.5	2.5	-
その他の無職	242	82.2	52.9	23.6	36.8	32.2	15.3	5.0	2.1	5.8	-
＜ 生 活 程 度 別 ＞											
上	40	62.5	25.0	30.0	17.5	22.5	35.0	20.0	2.5	2.5	-
中の上	368	74.5	33.7	36.7	29.9	28.3	32.1	17.4	1.9	2.4	0.3
中の中	815	81.1	39.0	33.9	34.4	31.8	30.7	12.1	2.7	1.3	0.7
中の下	633	79.1	50.4	36.7	29.7	26.5	26.7	8.7	0.9	2.2	0.2
下	263	73.8	71.1	35.4	28.9	22.1	14.8	6.5	2.7	3.4	0.8

※4-3 都政への要望

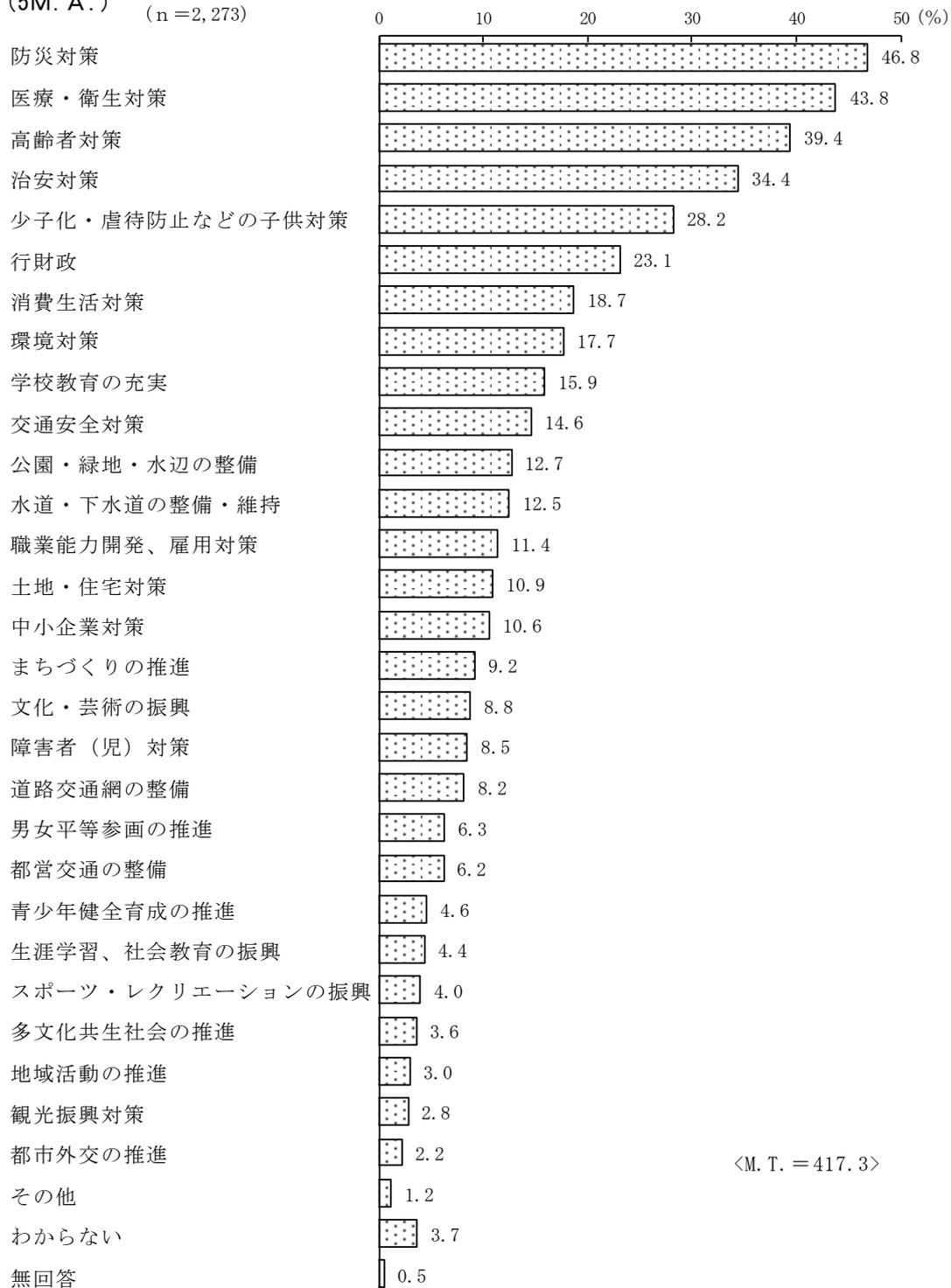
図4-3-1

(全員の方に)

問14 これからの都政全体について考えた場合、次にあげたことのどれに力を入れてほしいと思いますか。特に都に力を入れて取り組んでもらいたいものを5つまでお選びください。(〇は5つまで)

(5M. A.)

(n=2,273)

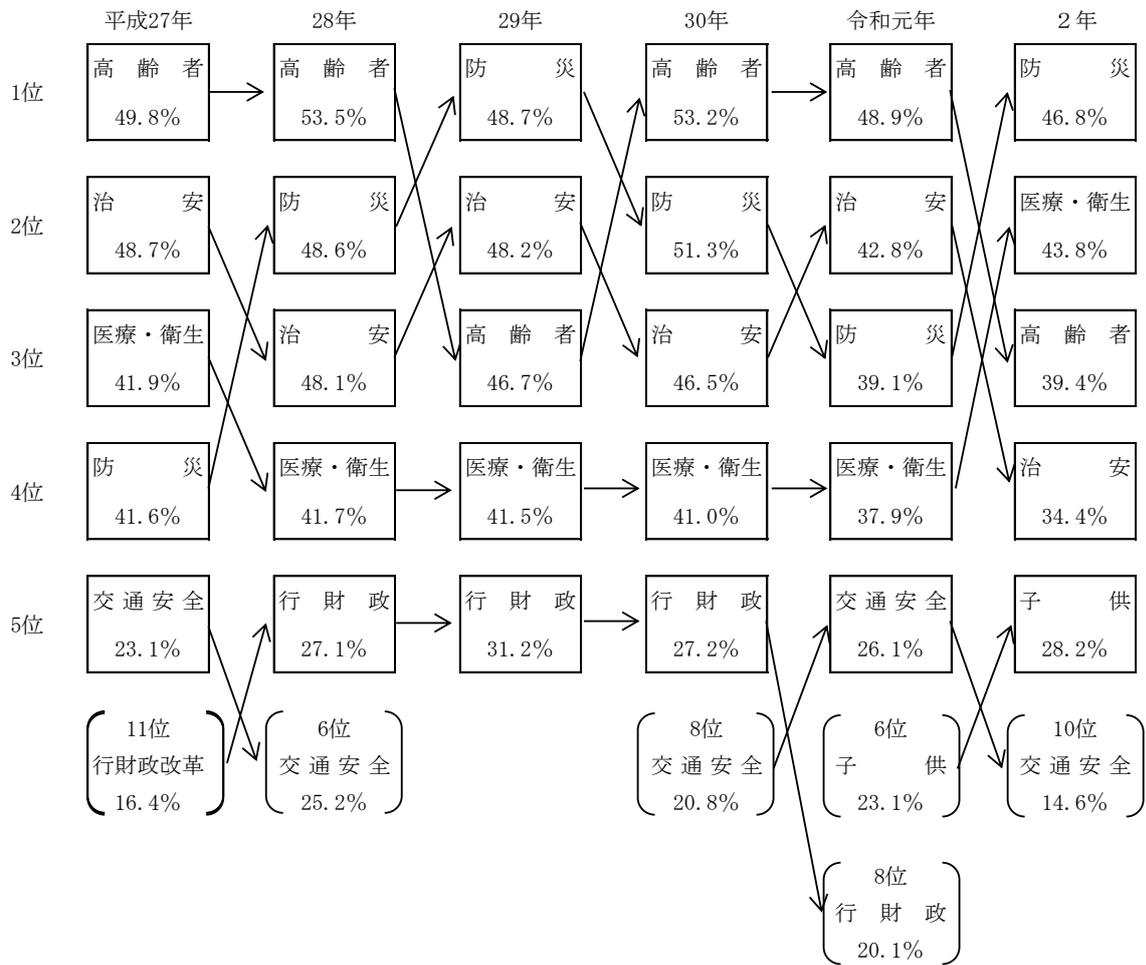


東京都が実施している諸施策をあげ、特に力を入れてほしい施策を5つまで選んでもらった。要望の上位5位は、第1位「防災対策」47%、第2位「医療・衛生対策」44%、第3位「高齢者対策」39%、第4位「治安対策」34%、第5位「少子化・虐待防止などの子供対策」28%の順となっている。(図4-3-1)

今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、都政への要望の過去の調査結果と単純に比較することはできないが、昨年第3位だった「防災対策」が8ポイント増加し第1位となっている。また、昨年第4位だった「医療・衛生対策」は6ポイント増加し第2位に、昨年第1位だった「高齢者対策」は10ポイント減少し第3位となっている。(図4-3-2)

なお、都政への要望の昭和51年からの調査結果を巻末の付属資料（P162～163 表4）に掲載している。

図4-3-2 都政への要望－過去の調査の上位5位推移



(注1) 平成28年から「行財政改革」を「行財政」に表現を変えている。

(注2) 「子供」：「少子化・虐待防止などの子供対策」

(注3) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

都政への要望をエリア別にみると、「防災対策」は多摩中央部北の「高齢者対策」を除き、全てのエリアで第1位となっている。「医療・衛生対策」は多摩西部・島しょを除き、第2位以上となっている。
(表4-3-1)

表4-3-1 都政への要望上位5位－エリア別

		(%)				
	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体	2,273	防 災 46.8	医 療 ・ 衛 生 43.8	高 齢 者 39.4	治 安 34.4	子 供 対 策 28.2
区 部 (計)	1,518	防 災 47.4	医 療 ・ 衛 生 44.6	高 齢 者 38.9	治 安 34.7	子 供 対 策 28.5
センター・コア	430	防 災 48.6	医 療 ・ 衛 生 40.7	高 齢 者 39.1	治 安 34.4	子 供 対 策 27.9
区部東部・北部	435	防 災 / 医 療 ・ 衛 生 49.4		高 齢 者 38.6	治 安 36.1	子 供 対 策 29.0
区部西部・南部	653	防 災 45.3	医 療 ・ 衛 生 44.0	高 齢 者 38.9	治 安 33.8	子 供 対 策 28.6
市町村部 (計)	755	防 災 45.6	医 療 ・ 衛 生 42.3	高 齢 者 40.5	治 安 33.8	子 供 対 策 27.4
多摩東部	296	防 災 46.6	医 療 ・ 衛 生 45.6	高 齢 者 43.6	治 安 31.1	子 供 対 策 25.7
多摩中央部北	105	高 齢 者 43.8	防 災 / 医 療 ・ 衛 生 37.1		治 安 30.5	子 供 対 策 27.6
多摩中央部南	296	防 災 44.9	医 療 ・ 衛 生 40.5	治 安 36.8	高 齢 者 33.8	子 供 対 策 29.7
多摩西部・島しょ	58	防 災 58.6	高 齢 者 53.4	医 療 ・ 衛 生 43.1	治 安 37.9	行 財 政 / 子 供 対 策 24.1

*子供対策：少子化・虐待防止などの子供対策

性・年齢別にみると、「高齢者対策」は、男女とも70歳以上で第1位となっている。「防災対策」は、男性40代、60代、女性40代から60代までで第1位となっている。

(表4-3-2)

表4-3-2 都政への要望上位5位－性・年齢別

(%)

	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体	2,273	防 災 46.8	医 療・衛 生 43.8	高 齢 者 39.4	治 安 34.4	子 供 対 策 28.2
男性（計）	1,049	防 災 45.6	医 療・衛 生 41.1	高 齢 者 38.6	治 安 34.6	行 財 政 25.5
18・19歳	10	行 財 政 / 防 災 40.0		治 安 / 子 供 対 策 30.0		交 通 安 全 等 計 6 項 目 *1 20.0
20 代	126	子 供 対 策 38.1	防 災 30.2	医 療・衛 生 29.4	治 安 25.4	消 費 生 活 23.8
30 代	147	子 供 対 策 36.1	医 療・衛 生 34.7	治 安 33.3	防 災 32.0	行 財 政 28.6
40 代	184	防 災 45.7	治 安 33.2	医 療・衛 生 31.5	子 供 対 策 31.0	行 財 政 25.0
50 代	175	医 療・衛 生 49.7	防 災 47.4	高 齢 者 43.4	治 安 38.9	子 供 対 策 27.4
60 代	178	防 災 56.2	高 齢 者 / 医 療・衛 生 52.2		治 安 37.6	行 財 政 27.5
70歳以上	228	高 齢 者 70.2	防 災 53.1	医 療・衛 生 45.6	治 安 36.4	行 財 政 24.6
女性（計）	1,203	防 災 47.7	医 療・衛 生 46.6	高 齢 者 40.1	治 安 34.1	子 供 対 策 30.6
18・19歳	20	子 供 対 策 45.0	男 女 平 等 参 画 の 推 進 / 学 校 教 育 35.0		医 療・衛 生 30.0	行 財 政 等 計 6 項 目 *2 20.0
20 代	136	医 療・衛 生 41.2	子 供 対 策 39.7	防 災 28.7	行 財 政 27.9	治 安 25.7
30 代	202	子 供 対 策 57.4	防 災 42.6	医 療・衛 生 41.1	学 校 教 育 35.6	治 安 25.7
40 代	204	防 災 49.0	医 療・衛 生 46.6	治 安 35.8	高 齢 者 31.9	学 校 教 育 27.9
50 代	196	防 災 61.2	医 療・衛 生 50.5	高 齢 者 44.4	治 安 35.7	行 財 政 24.5
60 代	165	防 災 57.6	高 齢 者 57.0	医 療・衛 生 53.9	治 安 39.4	子 供 対 策 26.1
70歳以上	280	高 齢 者 63.6	医 療・衛 生 47.5	防 災 46.8	治 安 39.6	消 費 生 活 18.6

*1 「交通安全」「中小企業」「消費生活」「環境」「まちづくりの推進」「学校教育の充実」

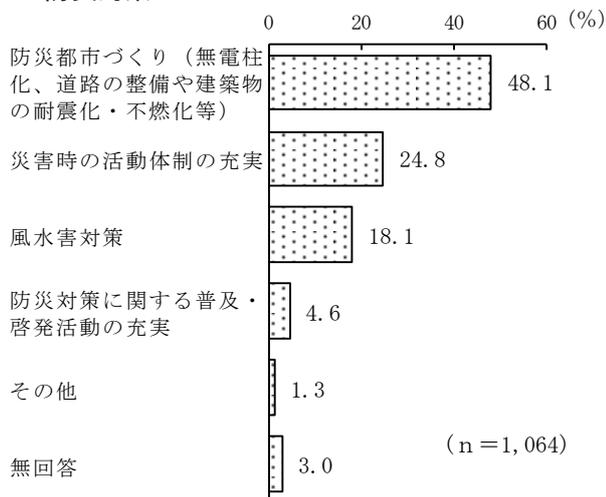
*2 「行財政」「治安」「職業能力開発、雇用」「高齢者」「公園・緑地・水辺の整備」「文化・芸術の振興」

4-4 具体的な要望施策

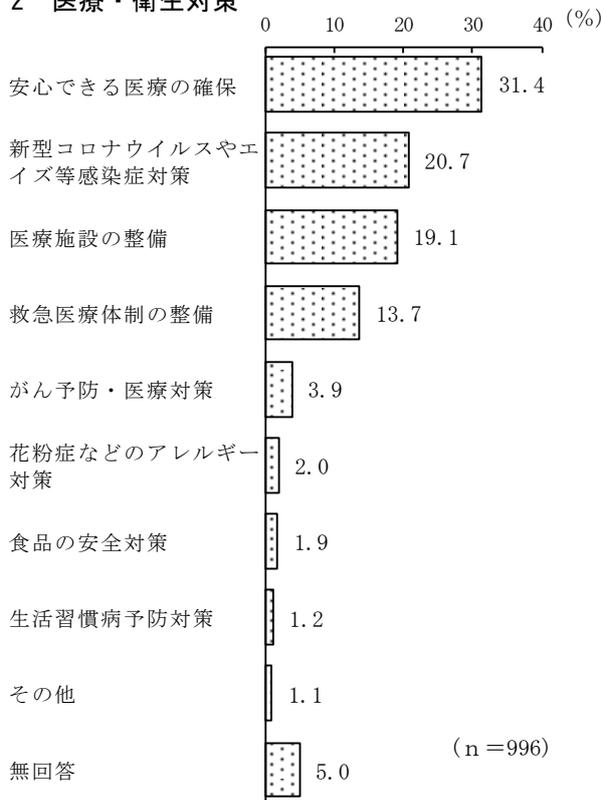
5つまで選んでもらった要望の各分野について、具体的な内容を示して1つだけ答えてもらった結果が図4-4である。(図4-4)

図4-4 具体的な要望施策

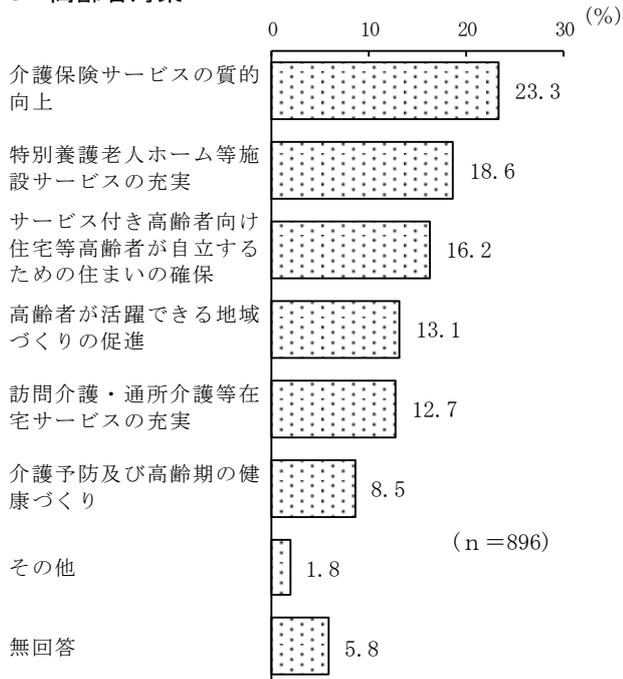
1 防災対策



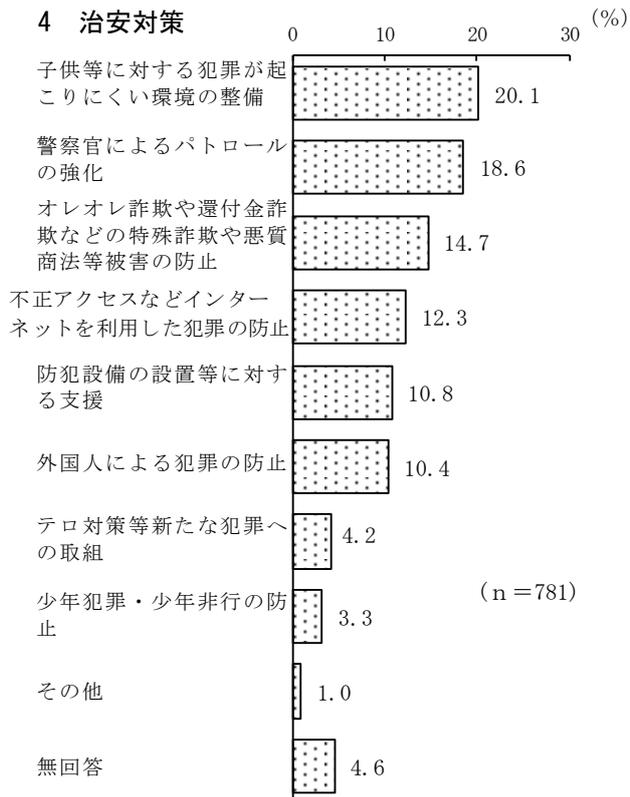
2 医療・衛生対策



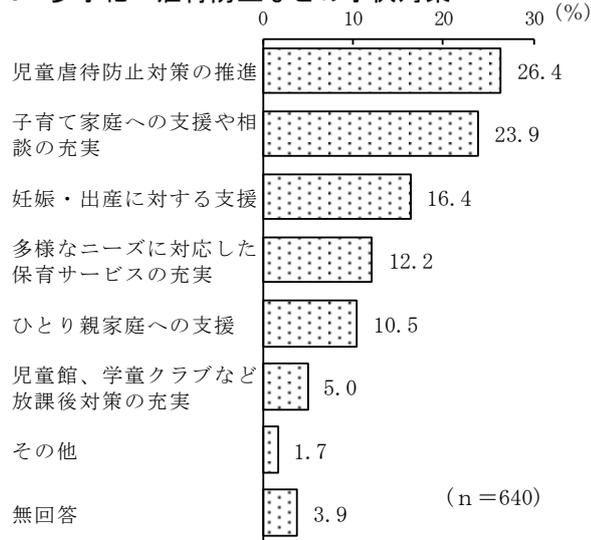
3 高齢者対策



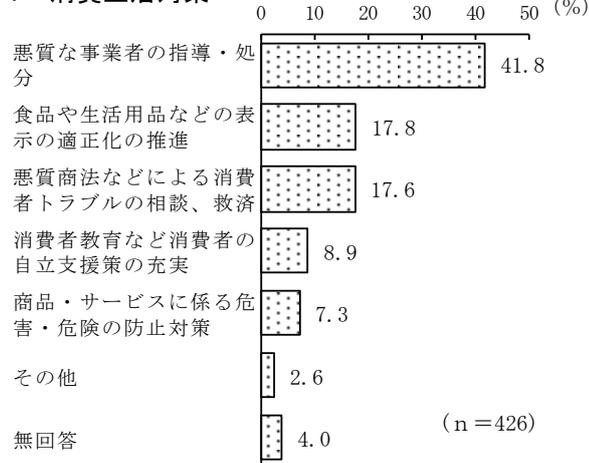
4 治安対策



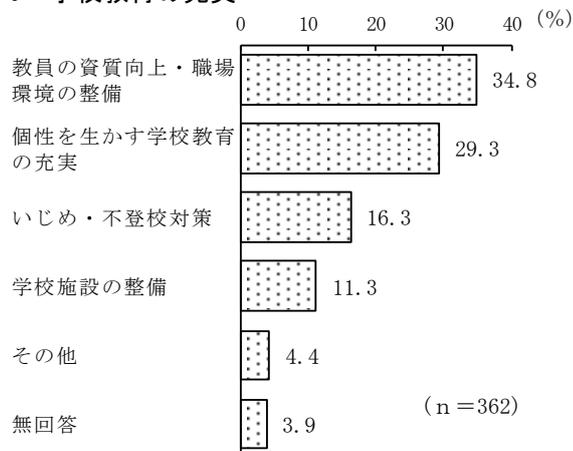
5 少子化・虐待防止などの子供対策



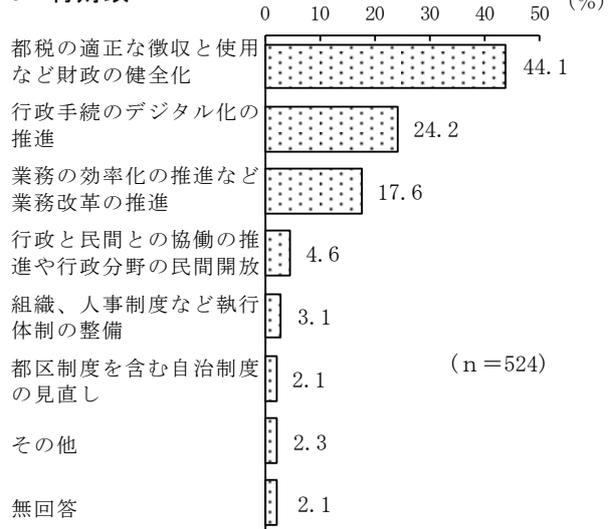
7 消費生活対策



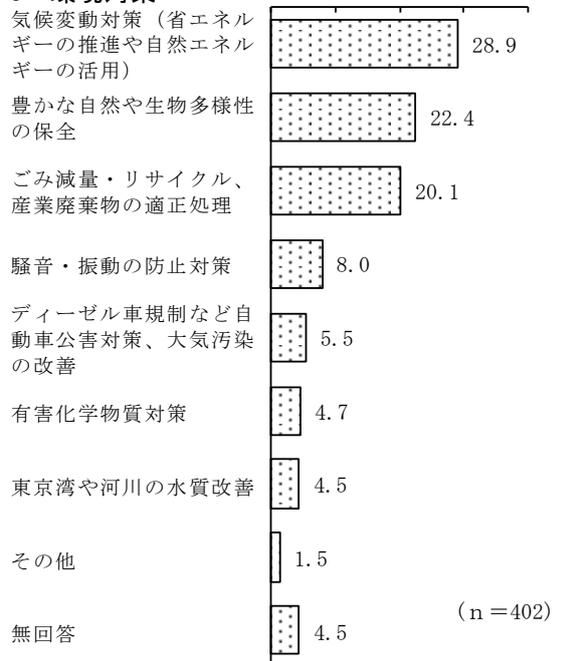
9 学校教育の充実



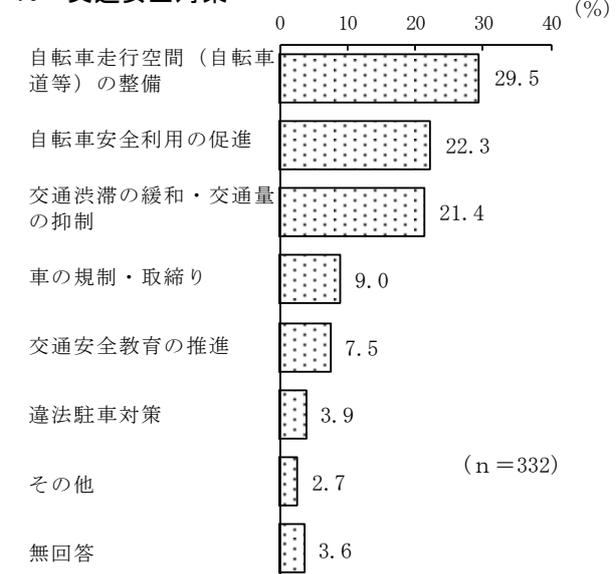
6 行財政



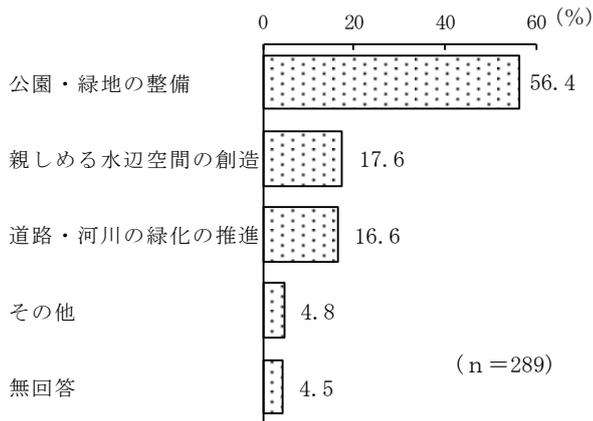
8 環境対策



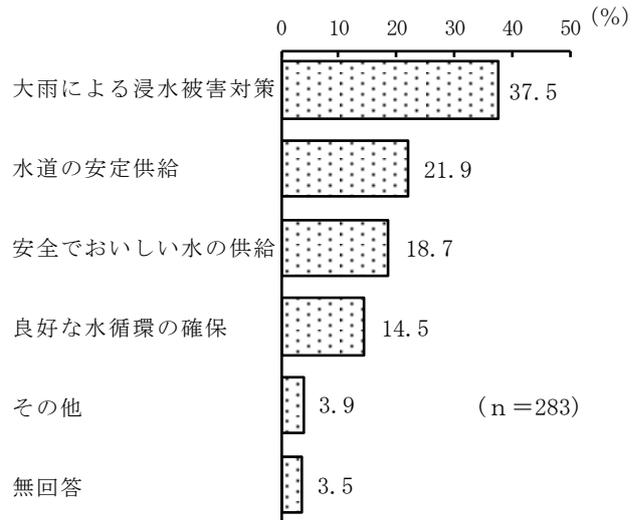
10 交通安全対策



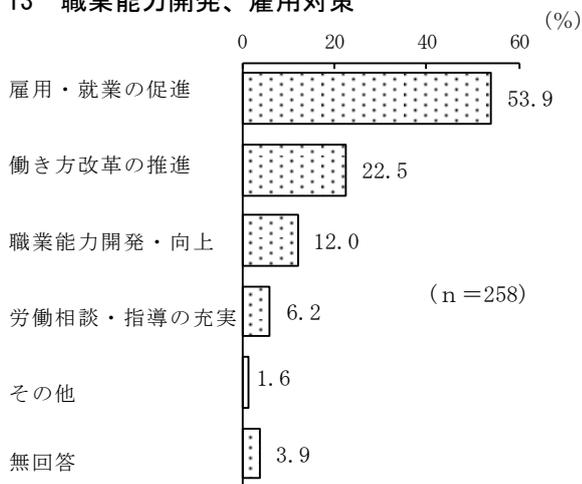
11 公園・緑地・水辺の整備



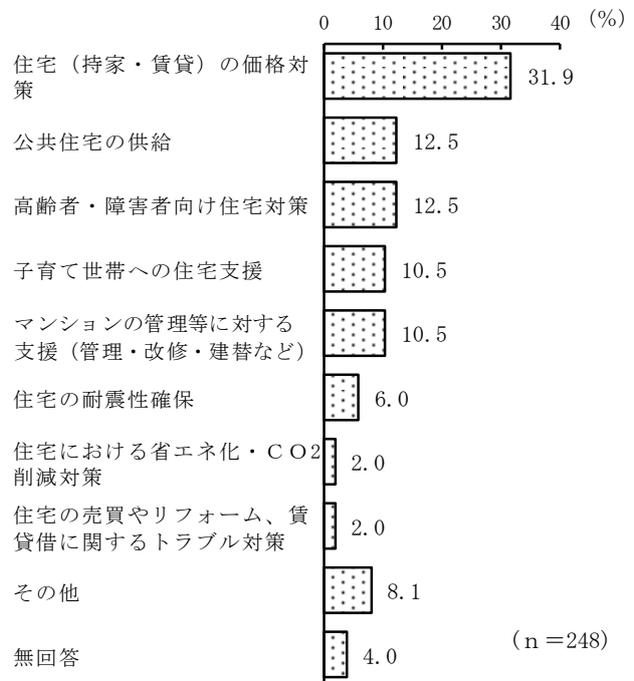
12 水道・下水道の整備・維持



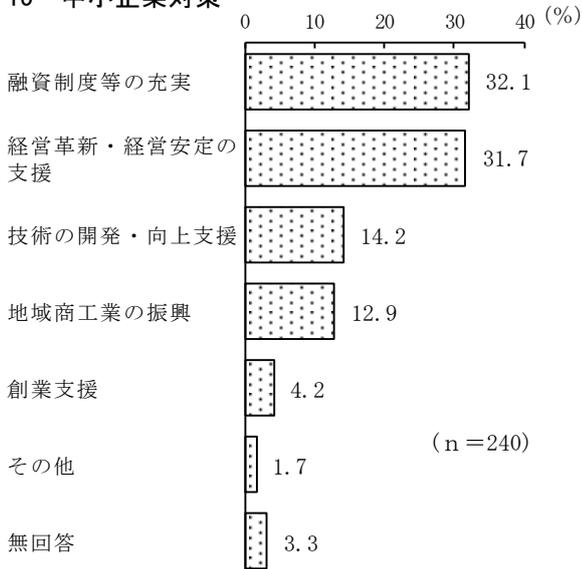
13 職業能力開発、雇用対策



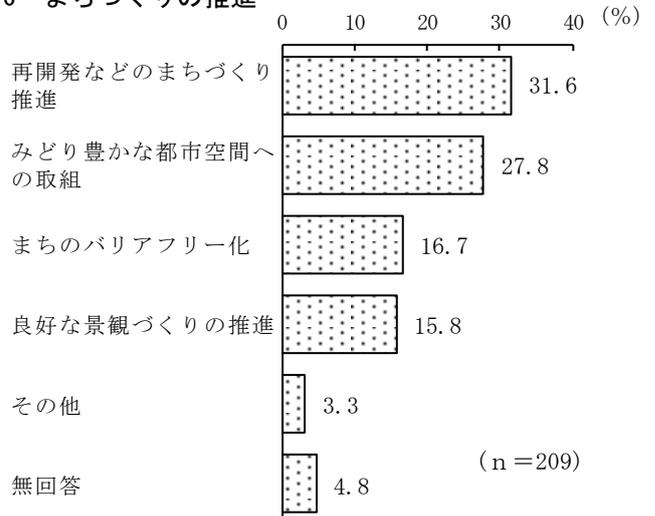
14 土地・住宅対策



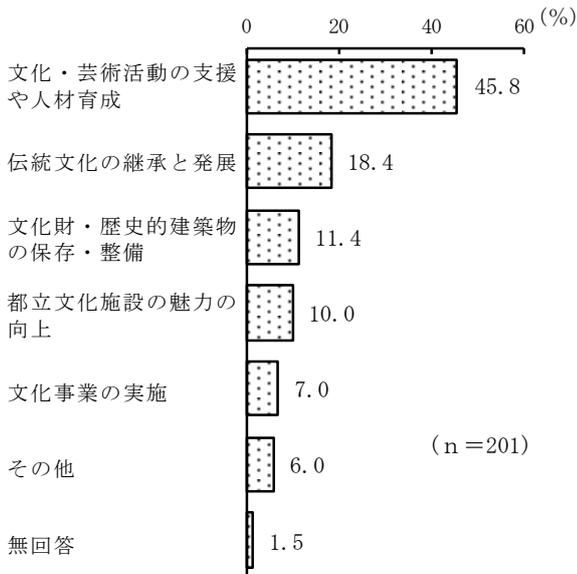
15 中小企業対策



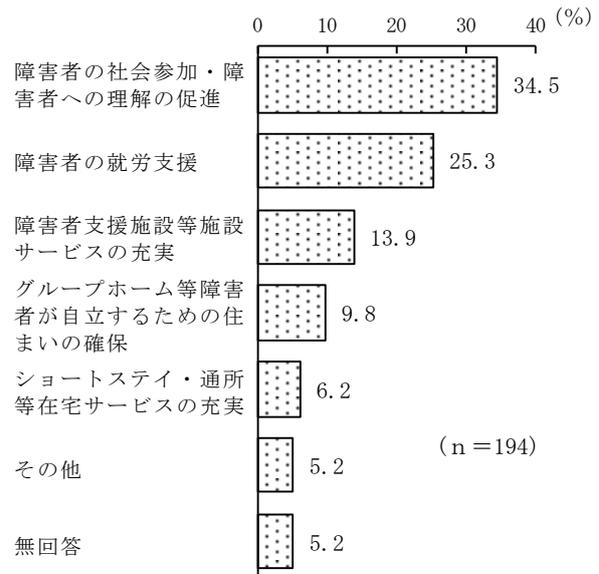
16 まちづくりの推進



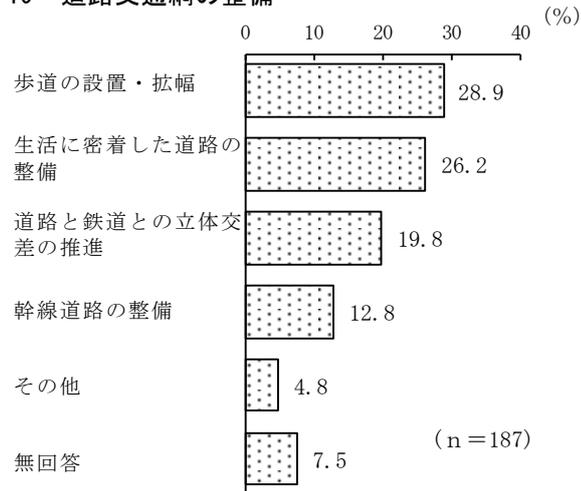
17 文化・芸術の振興



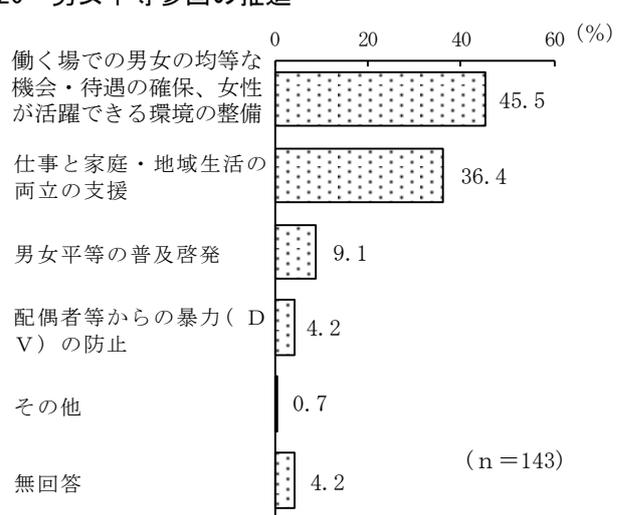
18 障害者（児）対策



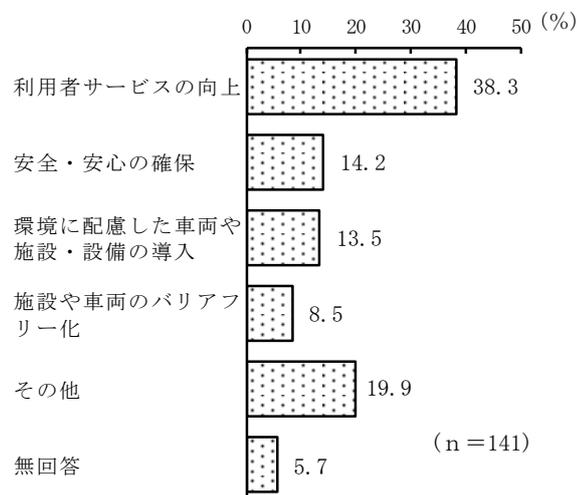
19 道路交通網の整備



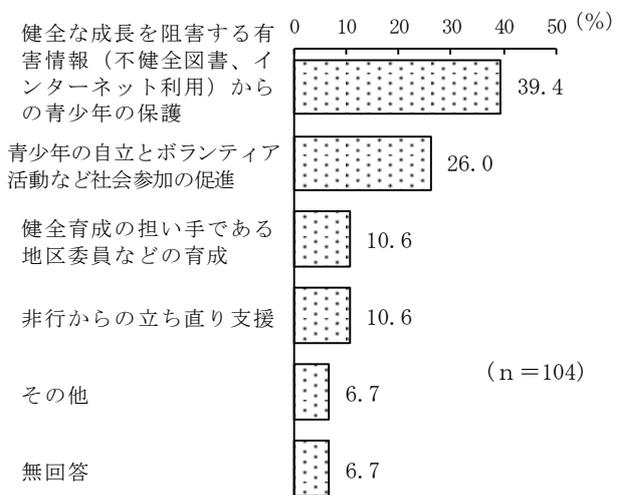
20 男女平等参画の推進



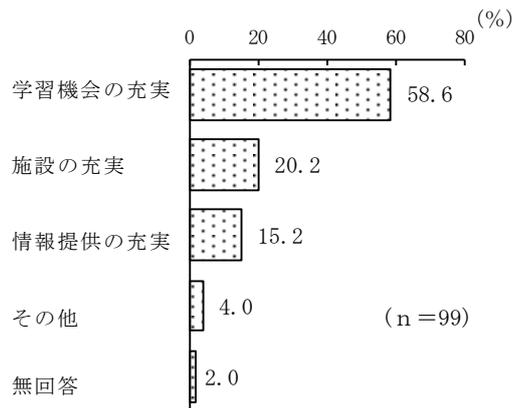
21 都営交通の整備



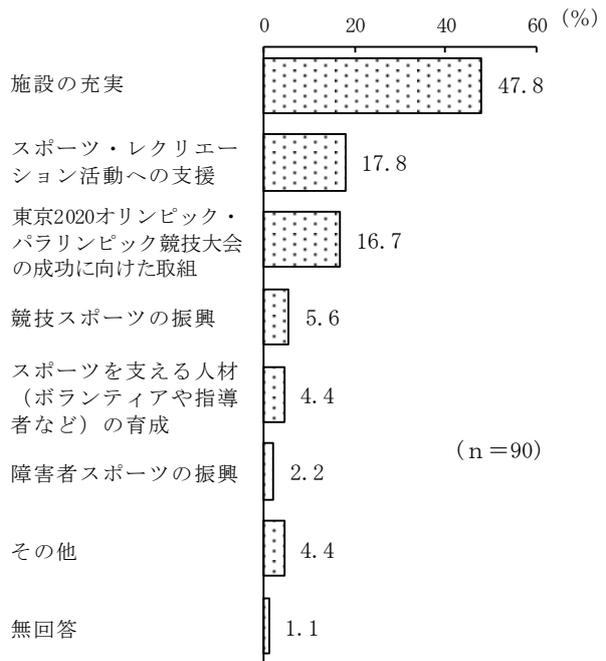
22 青少年健全育成の推進



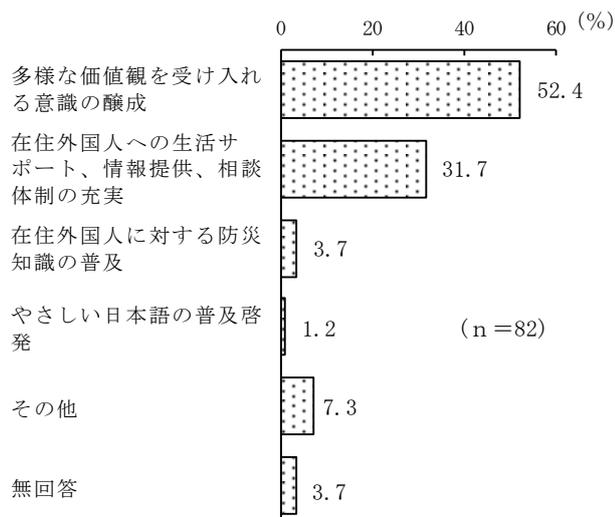
23 生涯学習、社会教育の振興



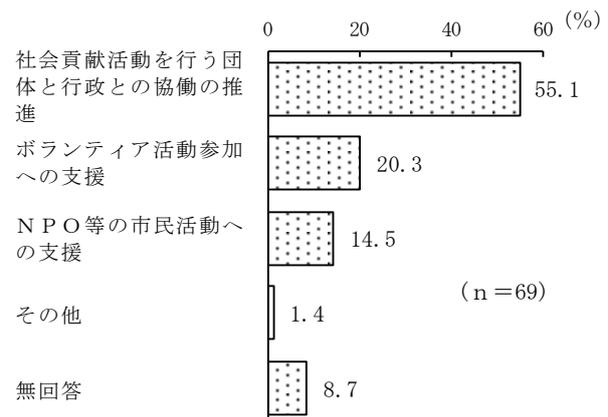
24 スポーツ・レクリエーションの振興



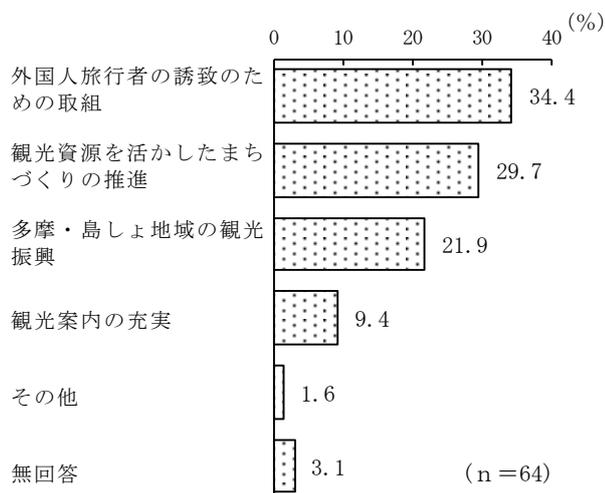
25 多文化共生社会の推進



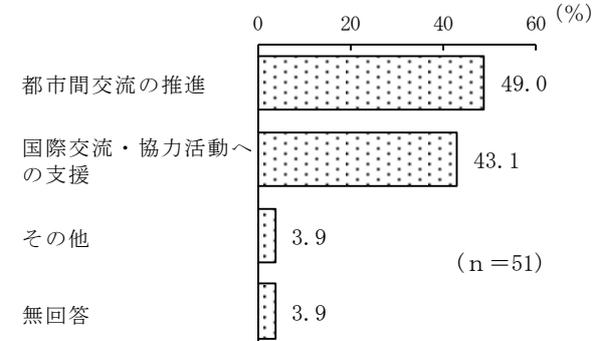
26 地域活動の推進



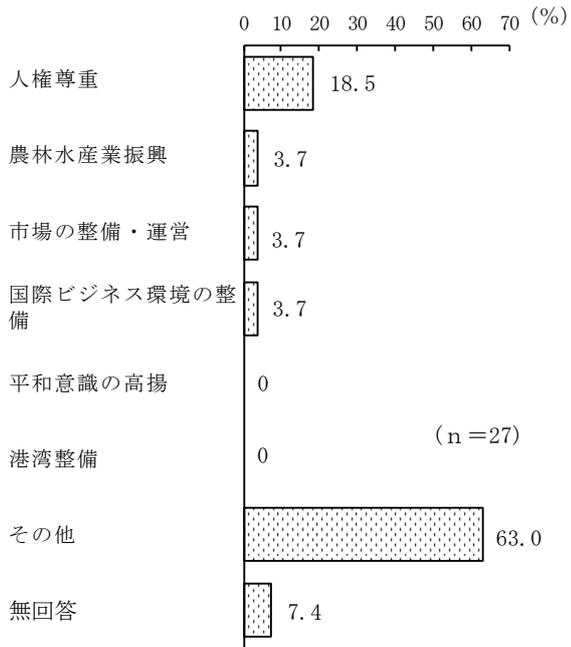
27 観光振興対策



28 都市外交の推進



29 その他



5 都民のスポーツ活動・障害者スポーツ

※5-1 スポーツ・運動の1年間の実施状況

図5-1-1

(全員の方に)

問15 あなたが、この1年間※に実施したスポーツや運動があれば、次の中からいくつでもお選びください。なお、ここでいう「スポーツ」や「運動」には、ルールに基づいて勝敗や記録を競うスポーツや運動だけでなく、散歩、体操をはじめ、健康づくりのために、目的を持って自主的に行う身体活動を広く含めます。(〇はいくつでも) (M. A.)

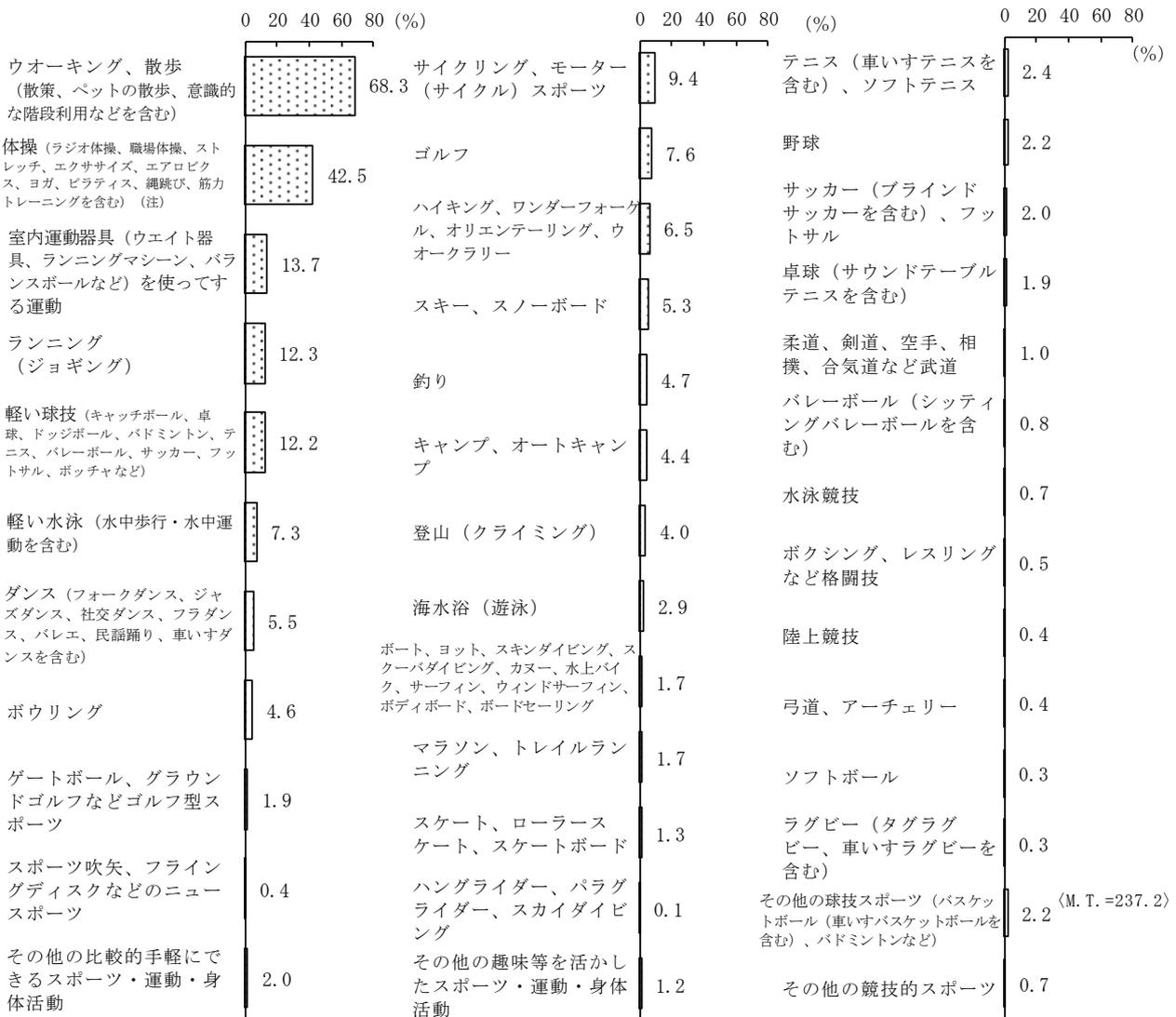
※新型コロナウイルス感染症による影響を受ける前の期間も含めた過去1年間(令和元年9月頃から令和2年9月頃まで)でお答えください。

(n=2,273)

〔比較的軽いスポーツ・運動〕

〔趣味等を活かしたスポーツ・運動〕

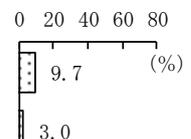
〔競技的スポーツ〕



(注) 「体操 (ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エクササイズ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、縄跳び、筋力トレーニングを含む)」は、調査票では「体操 (ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エクササイズ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、縄跳び、腕立て伏せやスクワットなど筋力トレーニングを含む)」と表記

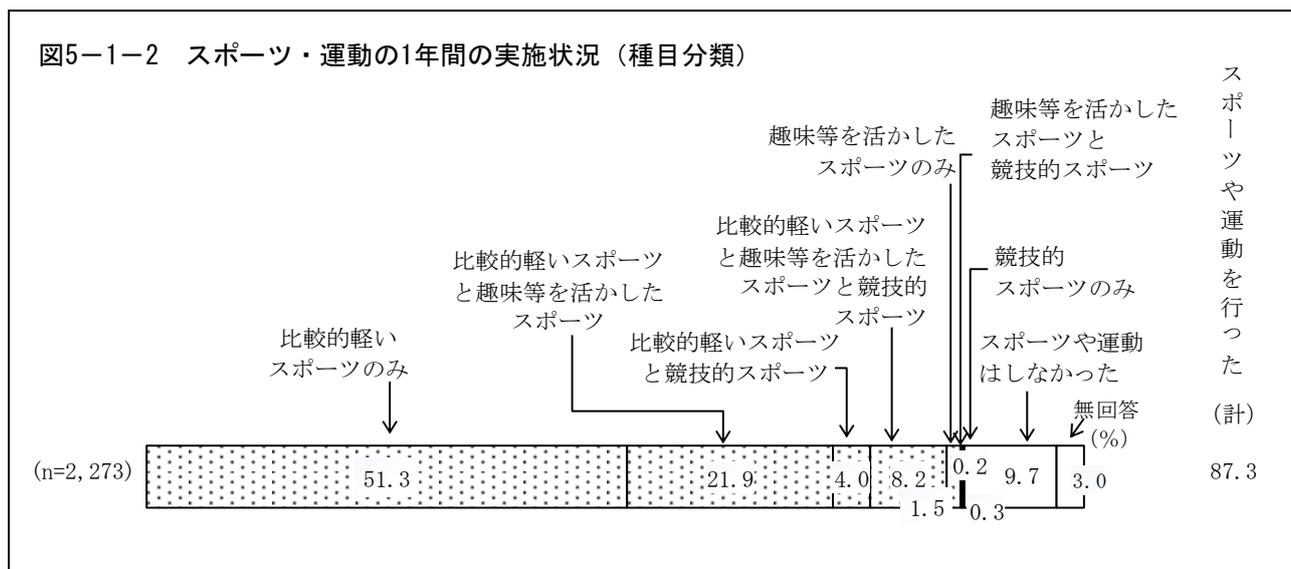
スポーツや運動はしなかった

無回答



この1年間に実施したスポーツや運動の種目を聞いたところ、「ウォーキング、散歩（散策、ペットの散歩、意識的な階段利用などを含む）」が68%で最も多く、次いで「体操（ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エクササイズ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、縄跳び、腕立て伏せやスクワットなど筋力トレーニングを含む）」43%、「室内運動器具（ウエイト器具、ランニングマシン、バランスボールなど）を使ってする運動」14%などの順となっている。一方、「スポーツや運動はしなかった」は10%となっている。（図5-1-1）

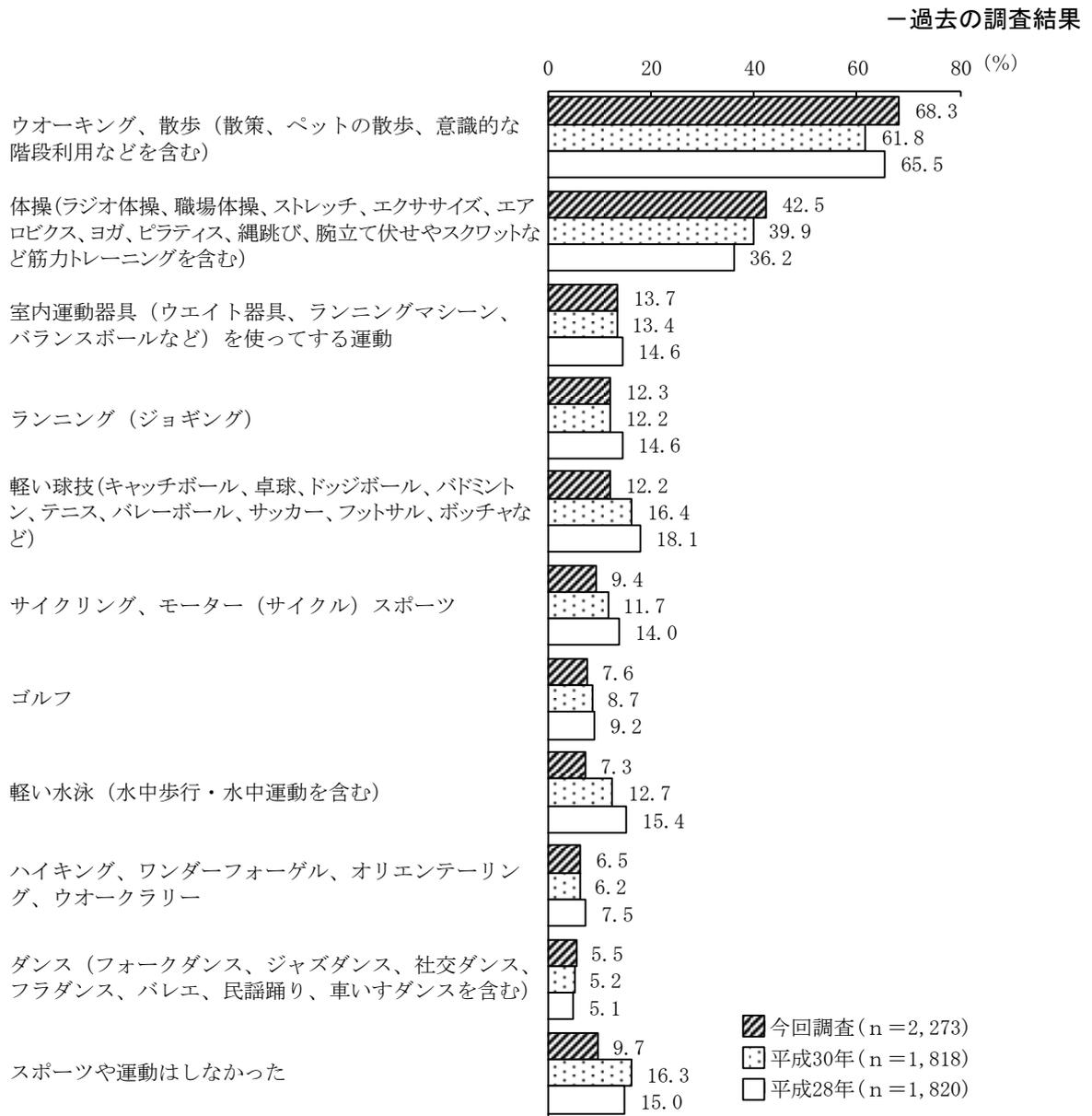
図5-1-2 スポーツ・運動の1年間の実施状況（種目分類）



種目分類をみると、「比較的小さいスポーツのみ」が51%で最も多く、次いで「比較的小さいスポーツと趣味等を活かしたスポーツ」22%、「比較的小さいスポーツと趣味等を活かしたスポーツと競技的スポーツ」8%、「比較的小さいスポーツと競技的スポーツ」4%などの順となっている。（図5-1-2）

今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、スポーツ・運動の1年間の実施状況の上位10種目を過去の調査結果と単純に比較することはできないが、平成30年よりも「ウオーキング、散歩（散策、ペットの散歩、意識的な階段利用などを含む）」が7ポイント増加している。また、「スポーツや運動はしなかった」は7ポイント減少している。（図5-1-3）

図5-1-3 スポーツ・運動の1年間の実施状況（上位10種目＋「スポーツや運動はしなかった」）

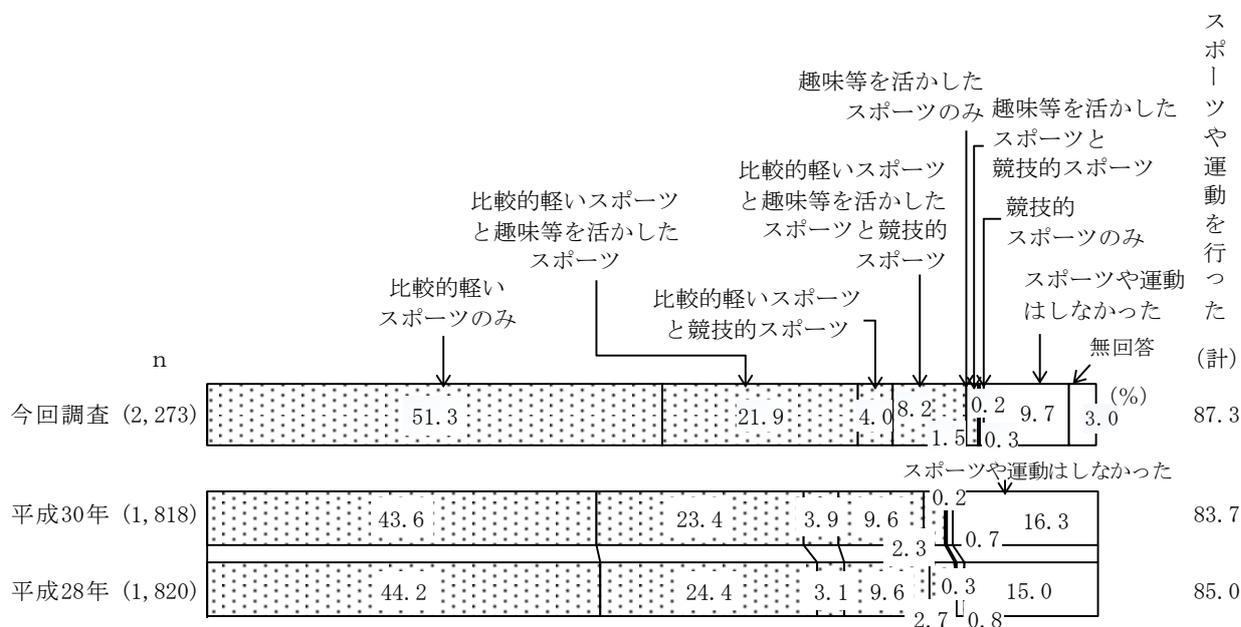


- (注1) 「ウオーキング、散歩（散策、ペットの散歩、意識的な階段利用などを含む）」は、平成28年では「ウオーキング、散歩（散策、ペットの散歩などを含む）」
- (注2) 「体操（ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エクササイズ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、縄跳び、腕立て伏せやスクワットなど筋力トレーニングを含む）」は、平成30年では「体操（ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エクササイズ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、縄跳び、筋力トレーニングを含む）」、平成28年は「体操（ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エクササイズ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、縄跳びを含む）」
- (注3) 「スポーツや運動はしなかった」は平成28年では「スポーツや運動は実施しなかった」
- (注4) 平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」
平成28年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成28年9月調査）」
- (注5) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、種目分類を過去の調査結果と単純に比較することはできないが、平成30年よりも「比較的軽いスポーツのみ」が8ポイント増加している。

(図5-1-4)

図5-1-4 スポーツ・運動の1年間の実施状況（種目分類）ー過去の調査結果



- (注1) 「比較的軽いスポーツと趣味等を活かしたスポーツ」は平成28年では「比較的軽いスポーツと比較的広域にわたるスポーツ」
- (注2) 「比較的軽いスポーツと趣味等を活かしたスポーツと競技的スポーツ」は平成28年では「比較的軽いスポーツと比較的広域にわたるスポーツと競技的スポーツ」
- (注3) 「趣味等を活かしたスポーツのみ」は平成28年では「比較的広域にわたるスポーツのみ」
- (注4) 「趣味等を活かしたスポーツと競技的スポーツ」は平成28年では「比較的広域にわたるスポーツと競技的スポーツ」
- (注5) 「スポーツや運動はしなかった」は平成28年では「スポーツや運動は実施しなかった」
- (注6) 『スポーツや運動を行った (計)』は平成28年では『スポーツや運動を実施した (計)』
- (注7) 「趣味等を活かしたスポーツ」は平成28年では「比較的広域にわたるスポーツ」
- (注8) 平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査 (平成30年9月調査)」
平成28年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査 (平成28年9月調査)」
- (注9) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法 (インターネット回答併用) で実施したため留意が必要

上位10種目について性・年齢別にみると、「体操（ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エクササイズ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、縄跳び、腕立て伏せやスクワットなど筋力トレーニングを含む）」は女性が男性より17ポイント高くなっており、特に女性の20代から40代までは5割半ばと多くなっている。「ランニング（ジョギング）」は男性が女性より7ポイント高くなっており、男性の年齢が下がるほど多くなっている。

職業別にみると、「ウォーキング、散歩（散策、ペットの散歩、意識的な階段利用などを含む）」は経営・管理職、事務職で8割近く、「軽い球技（キャッチボール、卓球、ドッジボール、バドミントン、テニス、バレーボール、サッカー、フットサル、ボッチャなど）」は学生で4割と多くなっている。

(表5-1-1)

表5-1-1 スポーツ・運動の1年間の実施状況（上位10種目）－性・年齢別、職業別

		(%)										
		n	ウォーキング、散歩（散策、ペットの散歩、意識的な階段利用などを含む）	体操（ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エクササイズ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、縄跳び、腕立て伏せやスクワットなど筋力トレーニングを含む）	室内運動器具（ウエイト器具、ランニングマシン、バランスボールなど）を使用する運動	ランニング（ジョギング）	軽い球技（キャッチボール、卓球、ドッジボール、バドミントン、テニス、バレーボール、サッカー、フットサル、ボッチャなど）	サイクリング、モーター（サイクル）スポーツ	ゴルフ	軽い水泳（水中歩行・水中運動を含む）	ハイキング、ワンダーフォーゲル、オリエンテーリング、ウォークラリー	ダンス（フォークダンス、ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、民謡踊り、車いすダンスを含む）
全	体	2,273	68.3	42.5	13.7	12.3	12.2	9.4	7.6	7.3	6.5	5.5
＜性・年齢別＞												
男	性（計）	1,049	68.4	33.8	13.7	16.2	14.9	12.7	11.6	8.2	7.8	2.5
	18・19歳	10	50.0	40.0	30.0	40.0	40.0	-	10.0	-	-	-
	20代	126	65.9	43.7	22.2	37.3	34.1	20.6	4.8	4.8	4.8	7.9
	30代	147	59.2	29.3	15.0	21.8	26.5	14.3	8.8	10.9	5.4	2.7
	40代	184	72.3	32.1	15.2	20.1	14.7	19.0	8.2	13.0	5.4	2.7
	50代	175	63.4	28.0	12.6	10.3	10.3	12.6	14.3	10.3	13.7	0.6
	60代	178	71.3	30.3	11.8	8.4	7.3	8.4	14.6	5.1	6.7	1.7
	70歳以上	228	74.6	39.5	8.8	7.5	5.3	5.7	15.8	5.7	9.6	1.3
女	性（計）	1,203	68.2	50.3	13.5	9.0	10.0	6.7	4.1	6.6	5.3	8.0
	18・19歳	20	50.0	50.0	5.0	10.0	25.0	20.0	5.0	10.0	-	35.0
	20代	136	71.3	55.1	16.2	19.9	22.1	8.8	7.4	6.6	2.9	16.9
	30代	202	74.3	58.9	12.9	10.9	13.4	5.0	3.5	5.0	4.0	6.9
	40代	204	65.7	55.9	17.2	13.7	10.3	6.9	2.0	8.3	8.3	8.3
	50代	196	70.9	49.0	17.9	11.7	6.6	9.2	4.1	8.2	9.2	4.6
	60代	165	67.9	42.4	12.1	2.4	7.9	6.1	3.0	6.7	4.2	5.5
	70歳以上	280	63.9	43.2	8.6	0.7	3.9	4.3	5.0	5.0	3.6	6.1
＜職業別＞												
自営・家族従業（計）		303	65.3	37.3	16.2	8.3	6.9	11.2	12.9	6.6	7.9	6.9
勤	め（計）	1,209	70.1	42.6	14.5	15.9	13.9	11.0	7.6	8.0	7.2	5.0
	経営・管理職	117	76.9	41.0	17.1	23.9	17.9	13.7	24.8	14.5	17.9	3.4
	専門・技術職	347	72.3	45.5	15.9	16.1	17.3	11.0	3.2	8.1	8.1	5.2
	事務職	244	76.6	47.5	15.2	15.2	11.9	10.2	5.7	7.0	7.4	7.0
	労務・技能職	117	61.5	41.0	12.0	15.4	12.0	12.0	6.8	5.1	2.6	4.3
	販売・サービス職	289	63.3	36.3	13.1	13.8	11.4	11.4	8.0	8.3	4.8	4.5
無職の主婦・主夫		400	72.5	45.0	11.3	4.3	9.8	4.5	4.8	6.8	5.5	3.8
学	生	80	56.3	48.8	17.5	30.0	40.0	13.8	6.3	7.5	3.8	20.0
その他の無職		242	61.6	43.0	8.3	8.3	6.2	7.0	7.0	5.4	4.1	5.0

種目分類についてエリア別にみると、特に大きな差はみられない。

性・年齢別にみると、「比較的軽いスポーツのみ」は女性が男性より21ポイント高くなっており、特に女性の30代と70歳以上で6割半ばと多くなっている。「比較的軽いスポーツと趣味等を活かしたスポーツ」は男性50代で3割半ばと多くなっている。(表5-1-2)

表5-1-2 スポーツ・運動の1年間の実施状況（種目分類）－エリア別、性・年齢別

(%)

	n	比較的軽いスポーツのみ	比較的に活かしスポーツと趣味	比較的軽いスポーツと競技	比較的活かしスポーツと趣味	趣味等を活かしたスポーツ	趣味等を活かしたスポーツ	競技的スポーツのみ	かかったスポーツや運動はしな	無回答
全 体	2,273	51.3	21.9	4.0	8.2	1.5	0.2	0.3	9.7	3.0
< エリア別 >										
区 部 (計)	1,518	50.9	22.5	3.8	8.4	1.3	0.1	0.2	9.6	3.2
センター・コア	430	53.7	20.2	4.9	9.3	1.4	-	0.2	8.8	1.4
区部東部・北部	435	48.5	20.9	3.7	8.3	1.1	-	0.2	12.9	4.4
区部西部・南部	653	50.7	25.1	3.2	8.0	1.2	0.3	0.2	7.8	3.5
市町村部 (計)	755	52.1	20.5	4.2	7.8	1.9	0.4	0.5	9.9	2.6
多摩東部	296	50.3	22.3	3.7	8.1	2.0	0.3	0.3	9.8	3.0
多摩中央部北	105	57.1	14.3	1.0	9.5	1.9	-	1.0	11.4	3.8
多摩中央部南	296	53.0	19.9	5.7	7.1	1.7	0.7	0.3	10.1	1.4
多摩西部・島しょ	58	46.6	25.9	5.2	6.9	1.7	-	1.7	6.9	5.2
< 性・年齢別 >										
男 性 (計)	1,049	40.1	26.9	4.8	12.4	2.4	0.3	0.4	10.4	2.4
18・19歳	10	30.0	-	40.0	20.0	-	10.0	-	-	-
20代	126	34.9	19.0	10.3	27.0	-	-	1.6	7.1	-
30代	147	34.7	22.4	8.8	15.0	5.4	0.7	-	12.9	-
40代	184	44.6	25.5	4.3	12.0	2.2	0.5	-	9.8	1.1
50代	175	34.9	33.7	1.7	11.4	2.9	-	0.6	12.6	2.3
60代	178	44.9	28.1	2.2	8.4	2.8	-	-	10.7	2.8
70歳以上	228	43.9	29.8	2.2	6.6	1.3	-	0.4	9.6	6.1
女 性 (計)	1,203	60.9	17.5	3.3	4.7	0.7	0.2	0.2	9.1	3.5
18・19歳	20	40.0	20.0	15.0	10.0	-	-	5.0	10.0	-
20代	136	52.9	25.0	5.1	11.8	-	0.7	-	4.4	-
30代	202	65.8	17.3	3.5	3.0	1.0	-	-	8.9	0.5
40代	204	62.3	20.6	1.0	5.9	1.0	-	0.5	7.4	1.5
50代	196	57.7	22.4	3.6	4.6	-	0.5	0.5	9.2	1.5
60代	165	60.6	12.7	3.6	5.5	1.2	-	-	13.9	2.4
70歳以上	280	64.3	10.7	2.9	0.7	0.7	-	-	9.6	11.1

種目分類について職業別にみると、「比較的軽いスポーツのみ」は無職の主婦・主夫で6割半ばと多くなっている。「比較的軽いスポーツと趣味等を活かしたスポーツ」は経営・管理職で4割半ばと多くなっている。「比較的軽いスポーツと趣味等を活かしたスポーツと競技的スポーツ」は学生で2割を超えて多くなっている。(表5-1-3)

表5-1-3 スポーツ・運動の1年間の実施状況（種目分類）－職業別

(%)

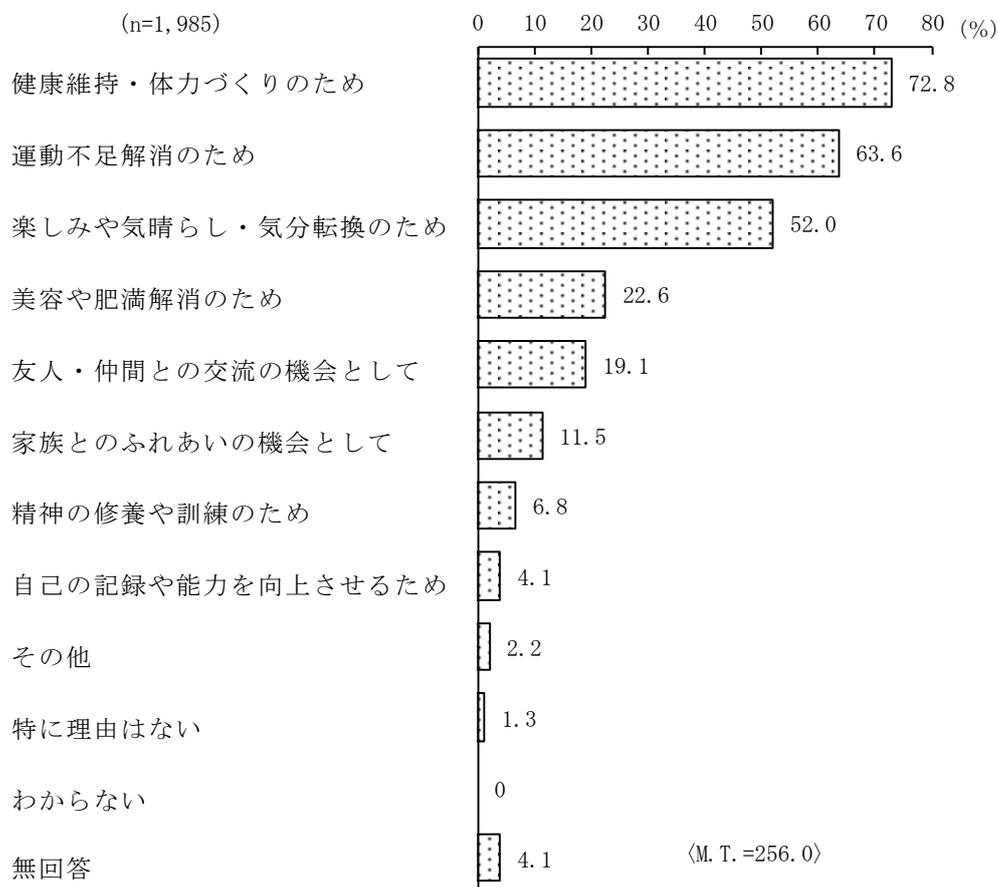
	n	比較的軽いスポーツのみ	比較的軽いスポーツと趣味等を活かしたスポーツ	比較的軽いスポーツと競技的スポーツ	比較的軽いスポーツと趣味等を活かしたスポーツと競技的スポーツ	趣味等を活かしたスポーツのみ	趣味等を活かしたスポーツと競技的スポーツのみ	競技的スポーツのみ	スポーツや運動はしなかつた	無回答
全 体	2,273	51.3	21.9	4.0	8.2	1.5	0.2	0.3	9.7	3.0
< 職 業 別 >										
自営・家族従業（計）	303	45.2	26.7	3.3	6.3	3.0	-	0.3	12.5	2.6
勤 め（計）	1,209	48.9	24.4	3.9	10.1	1.7	0.3	0.2	9.3	1.2
経営・管理職	117	25.6	44.4	6.0	15.4	1.7	-	-	5.1	1.7
専門・技術職	347	50.4	23.9	4.3	10.7	1.4	0.3	0.3	8.6	-
事務職	244	57.8	23.0	4.1	4.9	0.8	0.4	-	8.2	0.8
労務・技能職	117	41.9	21.4	2.6	11.1	4.3	-	-	14.5	4.3
販売・サービス職	289	49.5	19.7	2.8	12.5	1.7	0.3	0.3	11.8	1.4
無職の主婦・主夫	400	64.8	15.0	4.0	3.3	0.3	-	-	8.3	4.5
学 生	80	35.0	21.3	10.0	21.3	-	1.3	3.8	7.5	-
その他の無職	242	53.3	16.9	3.3	5.4	0.8	-	0.4	11.6	8.3

※5-2 スポーツ・運動を実施した理由

図5-2-1

(問15で「1 ウォーキング、散歩」～「38 その他の競技的スポーツ」と答えた方に)

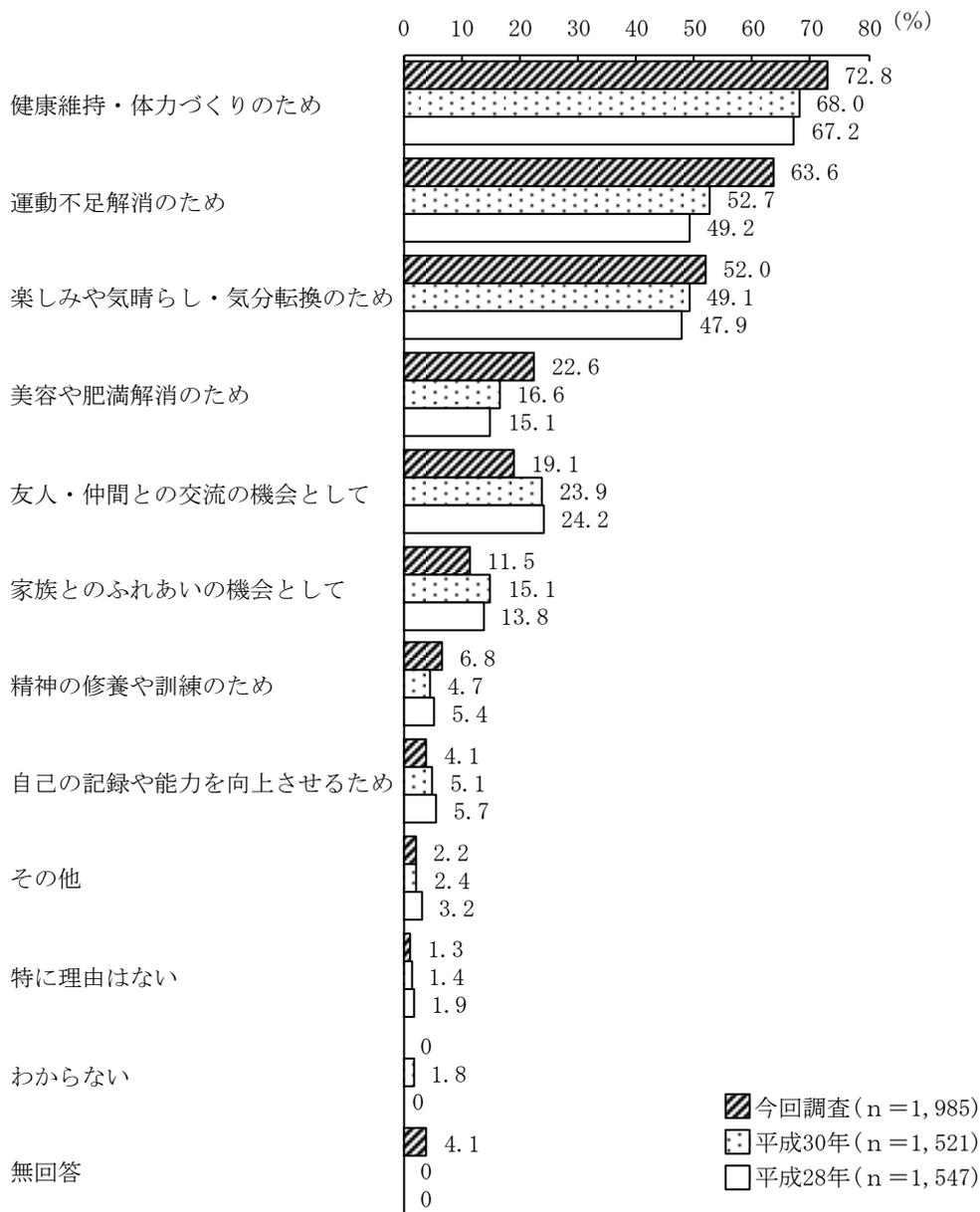
問15-1 あなたが、スポーツや運動を実施したのはどのような理由からですか。次の中からいくつでもお選びください。(〇はいくつでも) (M. A.)



この1年間にスポーツや運動を実施したと答えた人(1,985人)に、実施した理由を聞いたところ、「健康維持・体力づくりのため」が73%で最も多く、次いで「運動不足解消のため」64%、「楽しみや気晴らし・気分転換のため」52%、「美容や肥満解消のため」23%、「友人・仲間との交流の機会として」20%などの順となっている。(図5-2-1)

今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、スポーツ・運動を実施した理由を過去の調査結果と単純に比較することはできないが、平成30年よりも「運動不足解消のため」が11ポイント、「美容や肥満解消のため」が6ポイント増加している。一方、「友人・仲間との交流の機会として」は5ポイント、「家族とのふれあいの機会として」は4ポイント減少している。(図5-2-2)

図5-2-2 スポーツ・運動を実施した理由－過去の調査結果



- (注1) 「健康維持・体力づくりのため」は平成28年では「健康・体力づくりのため」
- (注2) 「運動不足解消のため」は平成28年では「運動不足を感じるから」
- (注3) 「楽しみや気晴らし・気分転換のため」は平成28年では「楽しみや、気晴らしとして」
- (注4) 「友人・仲間との交流の機会として」は平成28年では「友人・仲間との交流として」
- (注5) 「家族とのふれあいの機会として」は平成28年では「家族のふれあいとして」
- (注6) 平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」
平成28年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成28年9月調査）」
- (注7) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、「健康維持・体力づくりのため」は男女とも70歳以上で8割を超えて多くなっている。「美容や肥満解消のため」は女性が男性より14ポイント高くなっており、特に女性の20代から40代で4割近くと多くなっている。

職業別にみると、「健康維持・体力づくりのため」は無職の主婦・主夫で8割と多くなっている。「楽しみや気晴らし・気分転換のため」は学生と経営・管理職で6割半ばと多くなっている。「友人・仲間との交流の機会として」は学生で4割近くと多くなっている。(表5-2-1)

表5-2-1 スポーツ・運動を実施した理由—性・年齢別、職業別

(%)

	n	健康維持・体力づくりのため	運動不足解消のため	楽しみや気晴らし・気分転換のため	美容や肥満解消のため	友人・仲間との交流の機会として	家族とのふれあいの機会として	精神の修養や訓練のため	自己の記録や能力を向上させるため	その他	特に理由はない	わからない	無回答
全体	1,985	72.8	63.6	52.0	22.6	19.1	11.5	6.8	4.1	2.2	1.3	-	4.1
< 性・年齢別 >													
男性 (計)	915	74.3	62.5	50.5	15.2	22.3	9.5	7.1	4.4	1.4	1.7	-	3.9
18・19歳	10	50.0	50.0	60.0	-	30.0	-	10.0	20.0	-	-	-	20.0
20代	117	67.5	53.8	66.7	17.9	35.0	5.1	13.7	8.5	2.6	2.6	-	2.6
30代	128	65.6	59.4	53.1	18.0	28.1	9.4	7.0	6.3	1.6	2.3	-	3.1
40代	164	72.0	62.8	49.4	25.0	13.4	20.7	10.4	6.1	0.6	4.9	-	1.2
50代	149	75.2	59.7	55.0	15.4	18.8	12.1	7.4	2.7	2.0	0.7	-	2.0
60代	154	77.9	64.3	37.0	12.3	18.2	5.2	1.3	1.3	1.3	0.6	-	5.2
70歳以上	192	83.9	70.8	46.4	6.3	24.0	4.7	4.7	2.1	1.0	-	-	7.3
女性 (計)	1,052	71.5	64.7	53.6	29.0	16.4	13.5	6.4	3.9	2.9	0.9	-	4.0
18・19歳	18	50.0	44.4	44.4	27.8	22.2	22.2	-	5.6	-	-	-	5.6
20代	130	64.6	61.5	64.6	36.9	23.8	10.0	7.7	4.6	2.3	0.8	-	0.8
30代	183	70.5	67.2	59.0	37.7	11.5	25.7	7.7	2.2	4.4	-	-	1.1
40代	186	65.1	62.9	53.8	37.6	16.1	19.4	9.1	1.6	2.2	1.1	-	1.6
50代	175	72.0	64.0	49.1	30.9	11.4	12.6	6.9	5.7	5.7	1.1	-	3.4
60代	138	72.5	65.9	49.3	18.1	15.9	8.0	3.6	5.1	1.4	1.4	-	7.2
70歳以上	222	82.4	67.6	49.5	15.3	20.3	4.1	4.1	4.5	1.4	0.9	-	8.6
< 職業別 >													
自営・家族従業 (計)	257	75.5	63.8	42.8	20.2	17.5	12.8	5.4	2.7	3.5	2.3	-	4.7
勤め (計)	1,082	70.7	62.7	55.1	24.6	19.0	12.5	7.5	4.1	2.4	1.1	-	2.5
経営・管理職	109	78.0	63.3	65.1	19.3	29.4	18.3	10.1	4.6	0.9	-	-	1.8
専門・技術職	317	72.2	61.5	57.4	24.9	18.6	14.2	6.9	3.8	3.8	1.3	-	1.9
事務職	222	66.7	68.9	51.4	28.8	18.0	10.8	6.3	2.3	1.4	-	-	1.8
労務・技能職	95	73.7	66.3	60.0	20.0	22.1	6.3	7.4	8.4	3.2	2.1	-	3.2
販売・サービス職	251	69.3	59.8	53.0	27.1	18.3	10.8	10.0	5.6	2.0	1.6	-	2.0
無職の主婦・主夫	349	79.9	66.5	51.6	20.1	18.3	12.0	4.6	3.7	1.7	1.1	-	5.4
学生	74	59.5	55.4	66.2	25.7	36.5	10.8	9.5	8.1	1.4	1.4	-	2.7
その他の無職	194	73.7	69.6	45.9	19.6	18.6	4.1	8.2	5.7	0.5	1.5	-	7.7

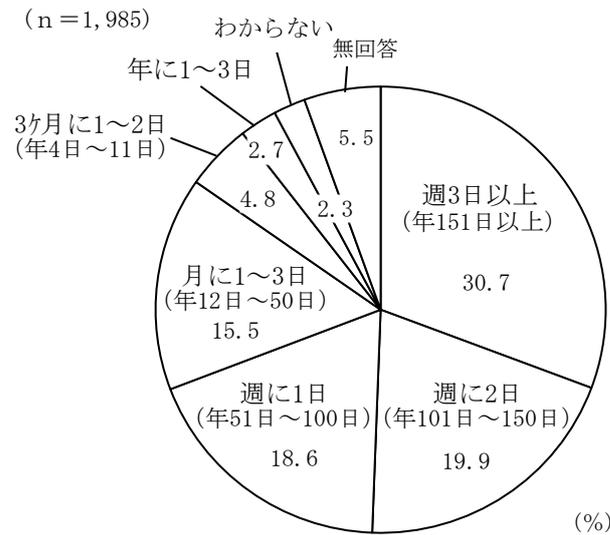
※5-3 スポーツ・運動を実施した日数（頻度）

図5-3-1

（問15で「1 ウォーキング、散歩」～「38 その他の競技的スポーツ」と答えた方に）

問15-2 そのスポーツや運動を全部合わせると頻度はどの程度になりますか。次の中から1つだけお選びください。（○は1つ）

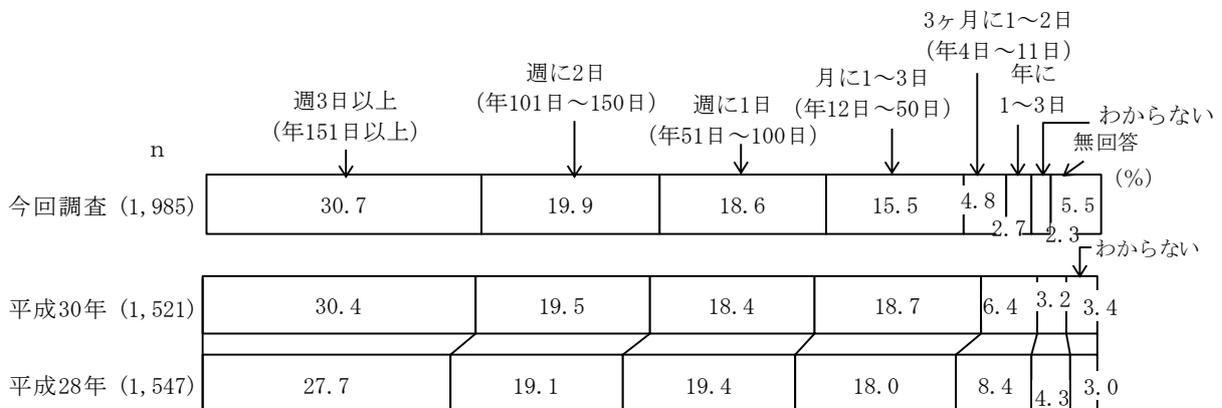
※新型コロナウイルス感染症による影響を受ける前の期間も含めた過去1年間（令和元年9月頃から令和2年9月頃まで）を通したおおよその頻度についてお選びください。



この1年間にスポーツや運動を実施したと答えた人（1,985人）に、スポーツ・運動を実施した日数を聞いたところ、「週3日以上（年151日以上）」が31%で最も多く、次いで「週に2日（年101日～年150日）」20%、「週に1日（年51日～年100日）」19%、「月に1～3日（年12日～50日）」16%、「3ヶ月に1～2日（年4日～11日）」5%、「年に1～3日」3%となっている。（図5-3-1）

今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、この1年間に実施したスポーツ・運動の日数を過去の調査結果と単純に比較することはできないが、平成30年と大きな差はみられない。（図5-3-2）

図5-3-2 スポーツ・運動を実施した日数－過去の調査結果



（注1）平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」

平成28年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成28年9月調査）」

（注2）前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

エリア別にみると、「週3日以上（年151日以上）」は市町村部（計）が区部（計）よりも6ポイント高く
なっている。

性・年齢別にみると、「週3日以上（年151日以上）」は女性60代、男女70歳以上で4割台と多くなっている。
「月に1～3日（年12日～50日）」は男女とも20代と30代で2割台から3割と多くなっている。

（図5-3-3）

図5-3-3 スポーツ・運動を実施した日数－エリア別、性・年齢別

n	3ヶ月に1～2日 (年4日～11日)							1～3日 わからない 無回答	無回答
	週3日以上 (年151日以上)	週に2日 (年101日～150日)	週に1日 (年51日～100日)	月に1～3日 (年12日～50日)	2.7	2.3	5.5		
全体 (1,985)	30.7	19.9	18.6	15.5	4.8	2.7	2.3	5.5	
< エリア別 >									
区部 (計) (1,325)	28.8	20.2	19.0	16.9	5.1	2.3	2.1	5.7	
センター・コア (386)	27.5	22.5	21.2	13.7	5.2	2.1	1.0	6.7	
区部東部・北部 (360)	32.2	17.2	16.7	17.2	4.7	1.9	4.2	5.8	
区部西部・南部 (579)	27.5	20.4	19.0	18.8	5.2	2.8	1.6	4.8	
市町村部 (計) (660)	34.7	19.4	17.7	12.7	4.2	3.3	2.6	5.3	
多摩東部 (258)	34.5	20.9	19.0	12.8	3.1	2.3	1.2	6.2	
多摩中央部北 (89)	38.2	16.9	13.5	15.7	4.5	5.6	4.5	1.1	
多摩中央部南 (262)	35.9	17.9	16.4	12.2	5.7	3.8	3.1	5.0	
多摩西部・島しょ (51)	23.5	23.5	25.5	9.8	2.0	3.9	9.8	2.0	
< 性・年齢別 >									
男性 (計) (915)	28.6	18.4	20.2	16.5	5.6	3.4	5.2	2.1	
18・19歳 (10)	30.0	10.0	10.0	30.0	0	0	20.0		
20代 (117)	24.8	12.0	22.2	24.8	9.4	3.4	2.6	0.9	
30代 (128)	21.9	14.1	16.4	24.2	9.4	7.0	3.1	3.9	
40代 (164)	17.1	24.4	26.2	17.7	4.3	5.5	2.4	2.4	
50代 (149)	25.5	17.4	25.5	16.1	6.0	4.0	0.7	4.7	
60代 (154)	33.1	15.6	23.4	11.7	5.2	1.3	3.2	6.5	
70歳以上 (192)	43.8		23.4	10.4	8.9	2.1	1.0	9.9	
女性 (計) (1,052)	32.4	21.2	17.5	14.6	4.1	2.1	5.6	2.5	
18・19歳 (18)	22.2	16.7	16.7	11.1	11.1	5.6	11.1	5.6	
20代 (130)	23.8	16.2	16.2	30.8	9.2	2.3	0.8	0.8	
30代 (183)	29.5	23.5	16.4	21.3	3.3	1.6	1.1	3.3	
40代 (186)	19.9	23.1	26.9	13.4	4.8	4.3	3.2	4.3	
50代 (175)	34.3	26.9	13.1	14.3	3.4	1.1	3.4	3.4	
60代 (138)	40.6	21.7	12.3	8.7	4.3	2.9	2.9	6.5	
70歳以上 (222)	44.6	16.2	18.0	5.0	2.3	12.6	0.9	0.5	

職業別にみると、「週3日以上（年151日以上）」はその他の無職、無職の主婦・主夫で4割台と多くなっている。「月に1～3日（年12日～50日）」は販売・サービス職で2割半ばと多くなっている。

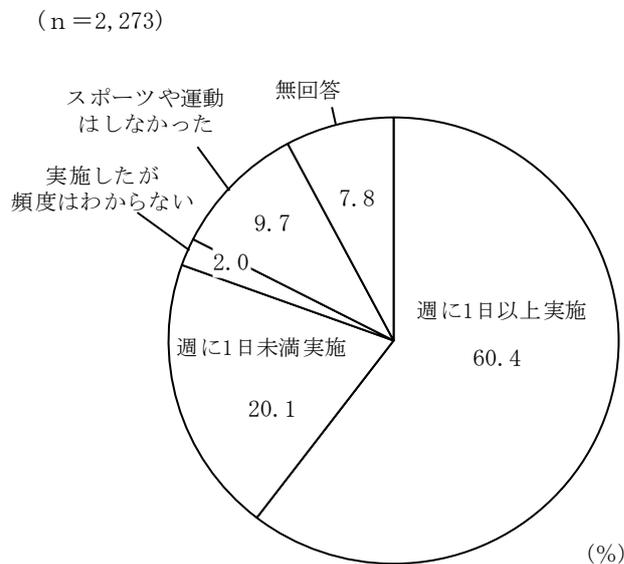
(図5-3-4)

図5-3-4 スポーツ・運動を実施した日数－職業別

職業別	n	実施した日数							無回答 (%)
		週3日以上 (年151日以上)	週に2日 (年101日～150日)	週に1日 (年51日～100日)	月に1～3日 (年12日～50日)	3ヶ月に1～2日 (年4日～11日)	1～3日 わからない	無回答	
全体 (1,985)		30.7	19.9	18.6	15.5	4.8	2.7	2.3	
＜職業別＞									
自営・家族従業 (計) (257)		31.1	19.8	19.5	13.6	3.5	3.9	2.7	5.8
勤め (計) (1,082)		24.1	19.6	20.9	19.4	6.6	3.7	3.8	
経営・管理職 (109)		21.1	23.9	22.9	15.6	10.1	3.7	2.8	
専門・技術職 (317)		23.0	20.2	21.1	20.5	6.6	3.5	3.2	
事務職 (222)		21.2	23.9	23.9	16.2	8.1	3.2	2.7	
労務・技能職 (95)		33.7	15.8	18.9	12.6	7.4	4.2	5.3	
販売・サービス職 (251)		23.9	17.5	17.9	25.9	4.4	4.4	2.8	
無職の主婦・主夫 (349)		42.1	20.9	16.3	8.9	0.3	8.3		
学生 (74)		32.4	12.2	16.2	21.6	8.1	2.7	2.7	
その他の無職 (194)		44.3	23.7	12.4	6.7	3.6	7.2		

スポーツ・運動の1年間の実施状況（問15）とスポーツ・運動を実施した日数（問15-2）のそれぞれの回答から、スポーツ・運動の実施頻度を分類した。

図5-3-5 スポーツ・運動の実施頻度



『週に1日以上実施』・・・問15-2の「週3日以上（年151日以上）」（2,273件全体の26.8%）、「週に2日（年101～150日）」（17.4%）、「週に1日（年51～100日）」（16.2%）の3つを合わせたもの

『週に1日未満実施』・・・問15-2の「月に1～3日（年12日～50日）」（13.6%）と「3ヶ月に1～2日（年4～11日）」（4.2%）、「年に1～3日」（2.3%）の3つを合わせたもの

『実施したが頻度はわからない』・・・問15-2の「わからない」（2.0%）

『スポーツや運動はしなかった』・・・問15の「スポーツや運動はしなかった」（9.7%）

『無回答』・・・問15の「無回答」（3.0%）と問15-2の「無回答」（2,273件全体の4.8%）の2つを合わせたもの

分類した結果をみると、『週に1日以上実施』が60%で最も多く、次いで『週に1日未満実施』20%、『スポーツや運動はしなかった』10%などの順となっている。（図5-3-5）

今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、スポーツ・運動の実施頻度を過去の調査結果と単純に比較することはできないが、平成30年よりも『週に1日以上実施』が3ポイント増加している。

(図5-3-6)

図5-3-6 スポーツ・運動の実施頻度－過去の調査結果

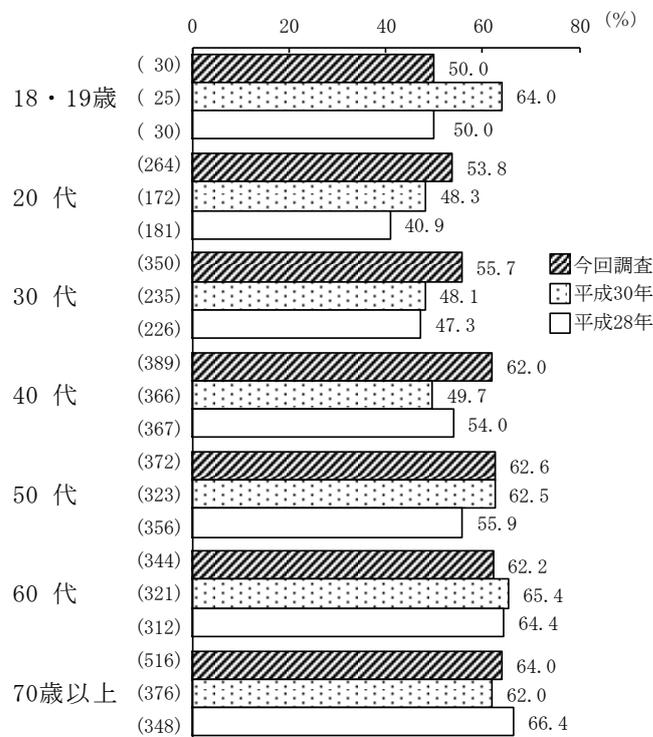
調査年 (n)	週に1日以上実施		週に1日未満実施		実施したが頻度はわからない		スポーツや運動はしなかった		無回答 (%)
	割合 (%)	n	割合 (%)	n	割合 (%)	n	割合 (%)	n	
今回調査 (2,273)	60.4	1,374	20.1	456	2.0	45	9.7	218	7.8
平成30年 (1,818)	57.2	1,040	23.7	431	2.9	52	16.3	294	16.3
平成28年 (1,820)	56.3	1,026	26.1	475	2.6	47	15.0	213	11.8

- (注1) 「スポーツや運動はしなかった」は平成28年では「スポーツや運動を実施しなかった」
- (注2) 平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」
平成28年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成28年9月調査）」
- (注3) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、スポーツ・運動を『週に1日以上実施』した人の割合を過去の調査結果と単純に比較することはできないが、40代で12ポイント増加している。

(図5-3-7)

図5-3-7 スポーツ・運動を『週に1日以上実施』した人の割合－過去の調査結果（年齢別）



- (注1) 平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」
平成28年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成28年9月調査）」
- (注2) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

エリア別にみると、特に大きな差はみられない。

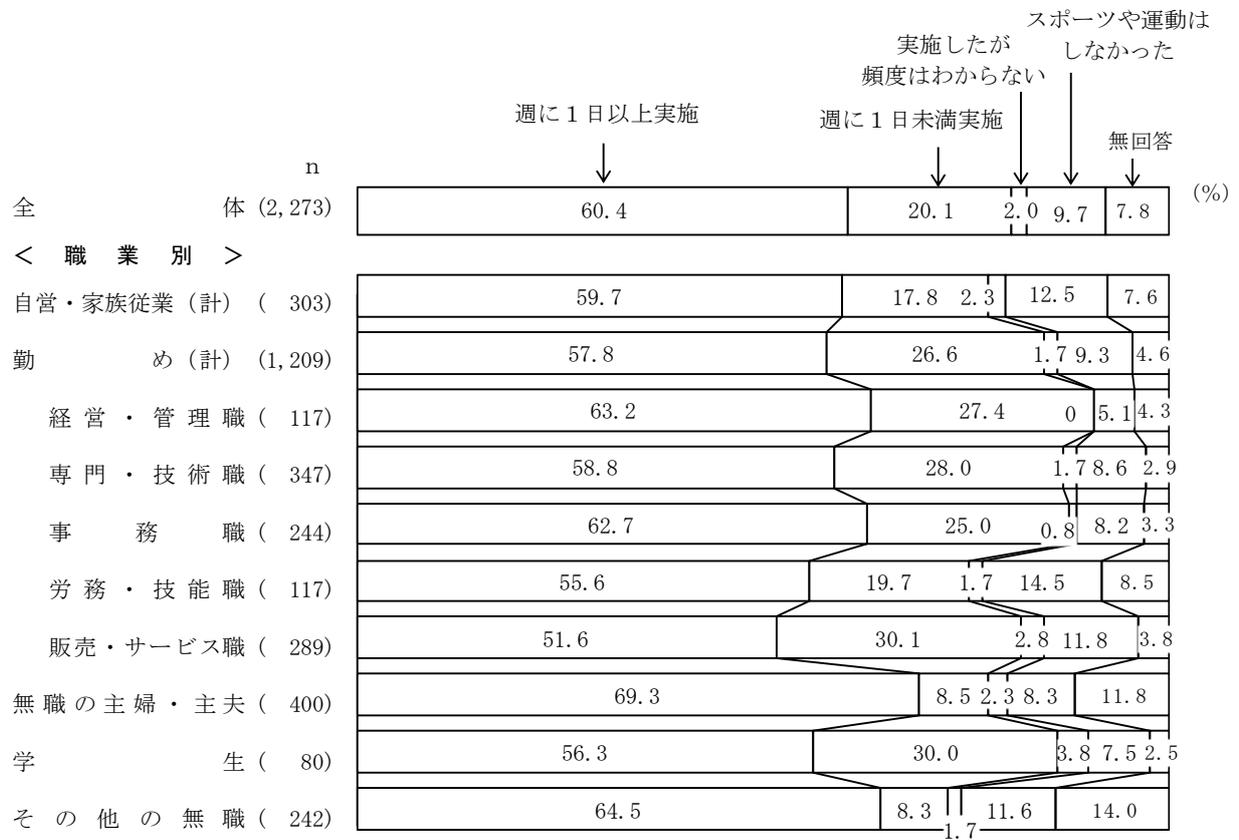
性・年齢別にみると、「週に1日未満実施」は女性20代で約4割、男性20代と30代で3割半ばと多くなっている。(図5-3-8)

図5-3-8 スポーツ・運動の実施頻度－エリア別、性・年齢別

		週に1日以上実施		週に1日未満実施		実施したが頻度はわからない		スポーツや運動はしなかった		無回答	
n											
全	体 (2,273)	60.4		20.1		2.0		9.7		7.8	
< エリア別 >											
区	部 (計) (1,518)	59.3		21.2		1.8		9.6		8.1	
	センター・コア (430)	64.0		18.8		0.9		8.8		7.4	
	区部東部・北部 (435)	54.7		19.8		3.4		12.9		9.2	
	区部西部・南部 (653)	59.3		23.7		1.4		7.8		7.8	
市町村部	(計) (755)	62.8		17.7		2.3		9.9		7.3	
	多摩東部 (296)	64.9		15.9		1.0		9.8		8.4	
	多摩中央部北 (105)	58.1		21.9		3.8		11.4		4.8	
	多摩中央部南 (296)	62.2		19.3		2.7		10.1		5.7	
	多摩西部・島しょ (58)	63.8		12.1		3.4		6.9		13.8	
< 性・年齢別 >											
男	性 (計) (1,049)	58.6		22.2		1.8		10.4		7.0	
	18・19歳 (10)	50.0		30.0		0.0		20.0			
	20代 (126)	54.8		34.9		2.4		47.1		0.8	
	30代 (147)	45.6		35.4		2.7		12.9		3.4	
	40代 (184)	60.3		24.5		2.2		9.8		3.3	
	50代 (175)	58.3		22.3		0.6		12.6		6.3	
	60代 (178)	62.4		15.7		2.8		10.7		8.4	
	70歳以上 (228)	65.4		9.6		0.9		9.6		14.5	
女	性 (計) (1,203)	62.2		18.2		2.2		9.1		8.4	
	18・19歳 (20)	50.0		25.0		10.0		10.0		5.0	
	20代 (136)	53.7		40.4		0.7		4.4		0.7	
	30代 (202)	62.9		23.8		1.0		8.9		3.5	
	40代 (204)	63.7		20.6		2.9		7.4		5.4	
	50代 (196)	66.3		16.8		3.1		9.2		4.6	
	60代 (165)	62.4		13.3		2.4		13.9		7.9	
	70歳以上 (280)	62.5		5.0		1.8		9.6		21.1	

職業別にみると、「週に1日以上実施」は無職の主婦・主夫で7割近くと多くなっている。「週に1日未満実施」は販売・サービス職、学生で約3割と多くなっている。(図5-3-9)

図5-3-9 スポーツ・運動の実施頻度－職業別



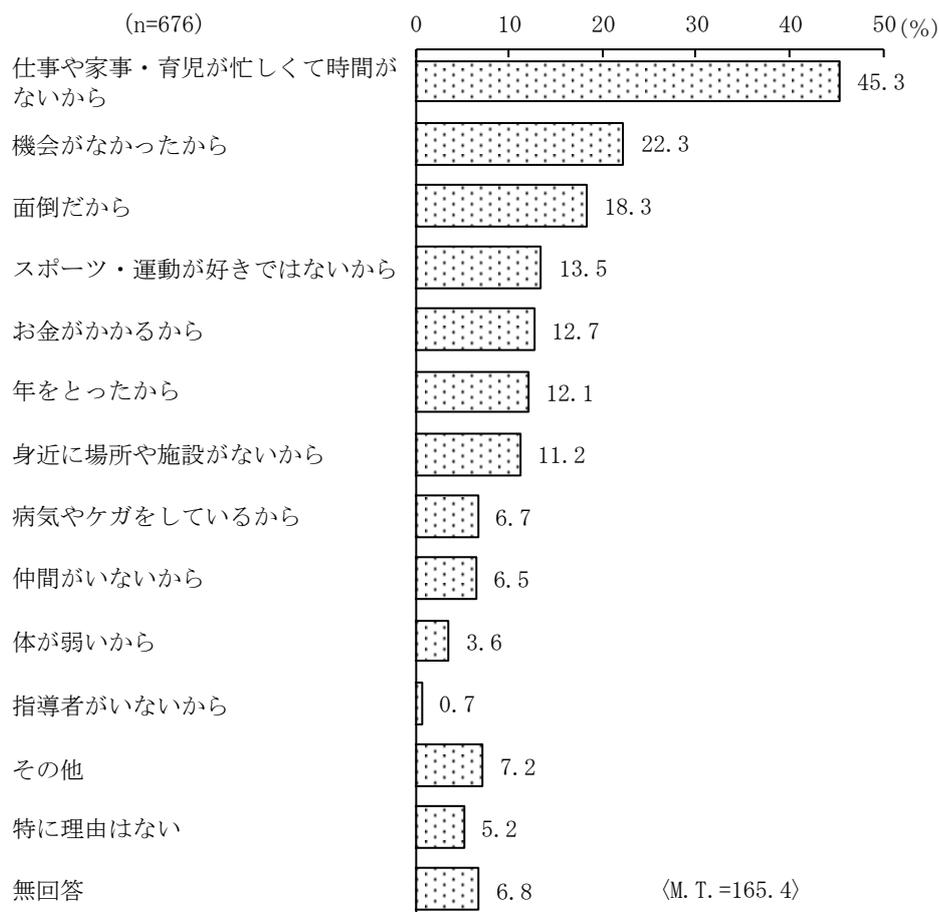
※5-4 スポーツ・運動の実施頻度が週1日未満の理由

図5-4-1

(問15で「39 スポーツや運動はしなかった」または、問15-2で「4」～「6」(週に1日未満)と答えた方に)

問15-3 この1年間※に、スポーツや運動を実施した頻度が週に1日に満たなかったのはどのような理由からですか。次の中からいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)(M. A.)

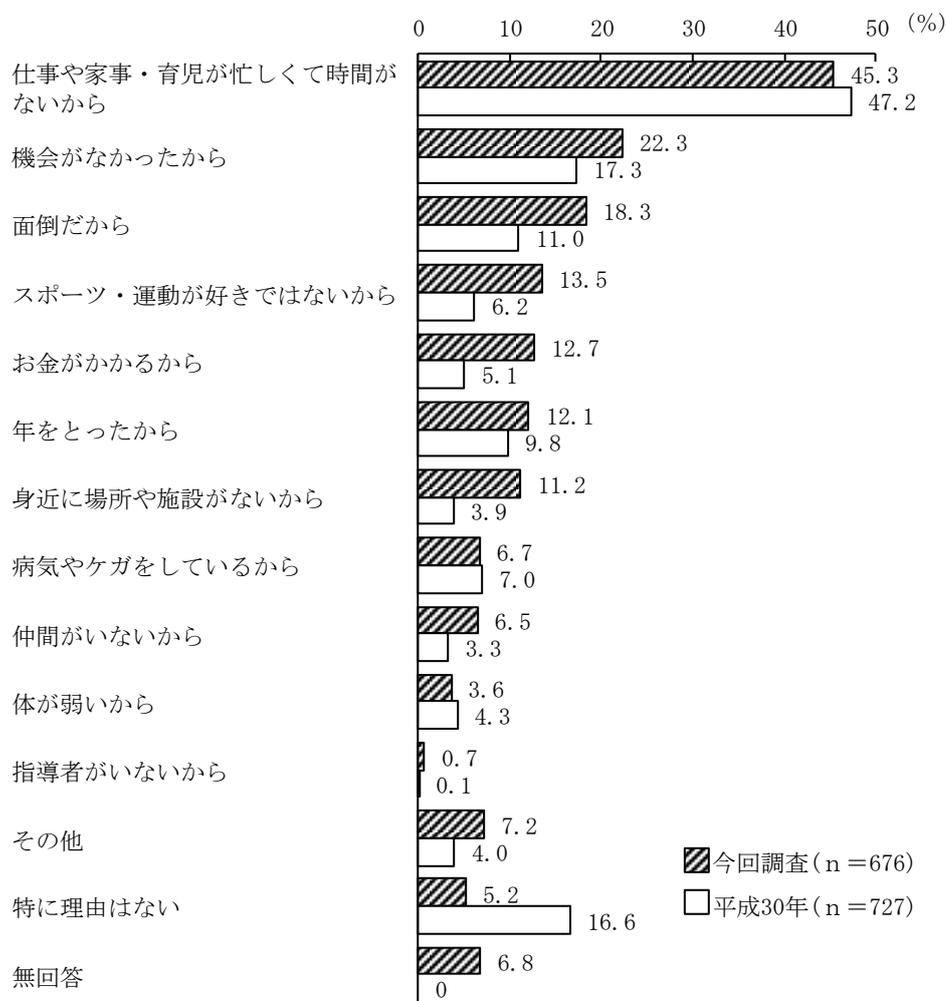
※新型コロナウイルス感染症による影響を受ける前の期間も含めた過去1年間(令和元年9月頃から令和2年9月頃まで)でお答えください。



この1年間に「スポーツや運動はしなかった」または、「週に1日未満」(「月に1~3日」「3ヶ月に1~2日」「年に1~3日」と答えた人(676人)に、その理由を聞いたところ、「仕事や家事・育児が忙しくて時間がないから」が45%で最も多く、次いで「機会がなかったから」22%、「面倒だから」18%、「スポーツ・運動が好きではないから」14%、「お金がかかるから」13%などの順となっている。(図5-4-1)

今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、スポーツ・運動を実施した頻度が週1日に満たなかった理由を過去の調査結果と単純に比較することはできないが、平成30年よりも「お金がかかるから」は8ポイント、「面倒だから」「スポーツ・運動が好きではないから」「身近に場所や施設がないから」はいずれも7ポイント増加している。(図5-4-2)

図5-4-2 スポーツ・運動の頻度が週1日未満の理由－過去の調査結果



(注1) 平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」

(注2) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性別にみると、大きな差はみられない。

年齢別にみると、「仕事や家事・育児が忙しくて時間がないから」は30代で6割近くと多くなっている。「年をとったから」はおおむね年齢が上がるほど多くなっている。

職業別にみると、「仕事や家事・育児が忙しくて時間がないから」は専門・技術職、販売・サービス職で6割近くと多くなっている。「年をとったから」はその他の無職と無職の主婦・主夫で3割近くとなっている。(表5-4-1)

表5-4-1 スポーツ・運動の頻度が週1日未満の理由－性別、年齢別、職業別

		(%)														
	n	仕事や家事・育児が忙しくて時間がないから	機会がなかったから	面倒だから	スポーツ・運動が好きではないから	お金がかかるから	年をとったから	身近に場所や施設がないから	病気やケガをしているから	仲間がいないから	体が弱いから	指導者がいないから	その他	特に理由はない	無回答	
全 体	676	45.3	22.3	18.3	13.5	12.7	12.1	11.2	6.7	6.5	3.6	0.7	7.2	5.2	6.8	
< 性 別 >																
男 性	342	46.8	23.4	19.9	10.8	12.3	14.0	12.0	7.0	6.1	2.6	0.3	5.3	5.8	5.6	
女 性	328	44.2	21.0	16.5	16.5	13.4	10.1	10.1	6.4	7.0	4.6	1.2	9.1	4.6	7.6	
< 年 齢 別 >																
18 ・ 19 歳	10	20.0	20.0	30.0	10.0	-	-	10.0	-	10.0	-	-	20.0	-	10.0	
20 代	116	50.0	25.9	19.8	17.2	15.5	0.9	15.5	5.2	8.6	4.3	-	1.7	2.6	9.5	
30 代	137	58.4	21.2	19.7	16.8	12.4	2.9	10.2	2.2	7.3	0.7	1.5	5.8	4.4	5.1	
40 代	121	53.7	18.2	21.5	9.1	12.4	2.5	9.1	3.3	5.0	2.5	-	9.9	4.1	8.3	
50 代	112	56.3	27.7	16.1	16.1	17.9	11.6	16.1	7.1	6.3	1.8	1.8	8.0	2.7	3.6	
60 代	92	29.3	30.4	25.0	12.0	13.0	25.0	4.3	9.8	3.3	5.4	-	7.6	8.7	5.4	
70 歳 以 上	85	11.8	8.2	3.5	8.2	4.7	43.5	9.4	17.6	8.2	9.4	1.2	9.4	11.8	9.4	
< 職 業 別 >																
自営・家族従業(計)	92	43.5	18.5	14.1	13.0	16.3	16.3	12.0	7.6	4.3	4.3	3.3	5.4	8.7	7.6	
勤 め (計)	433	54.5	23.3	19.4	12.5	13.9	7.4	11.5	3.9	6.2	1.2	0.2	6.7	3.5	6.9	
経 営 ・ 管 理 職	38	55.3	28.9	21.1	2.6	5.3	10.5	10.5	2.6	5.3	-	-	7.9	7.9	5.3	
専 門 ・ 技 術 職	127	59.8	21.3	18.1	14.2	13.4	7.9	11.0	6.3	7.9	3.1	0.8	8.7	2.4	5.5	
事 務 職	81	45.7	28.4	27.2	12.3	9.9	8.6	13.6	1.2	6.2	-	-	4.9	1.2	9.9	
労 務 ・ 技 能 職	40	45.0	30.0	15.0	10.0	20.0	7.5	10.0	7.5	10.0	-	-	7.5	5.0	2.5	
販 売 ・ サ ー ビ ス 職	121	57.0	21.5	16.5	14.0	20.7	5.8	11.6	3.3	4.1	0.8	-	5.0	4.1	6.6	
無 職 の 主 婦 ・ 主 夫	67	22.4	22.4	10.4	16.4	9.0	28.4	9.0	10.4	6.0	11.9	1.5	13.4	6.0	6.0	
学 生	30	36.7	33.3	23.3	13.3	3.3	-	10.0	-	3.3	-	-	6.7	6.7	10.0	
そ の 他 の 無 職	48	6.3	12.5	20.8	20.8	8.3	29.2	6.3	29.2	14.6	14.6	-	6.3	12.5	4.2	

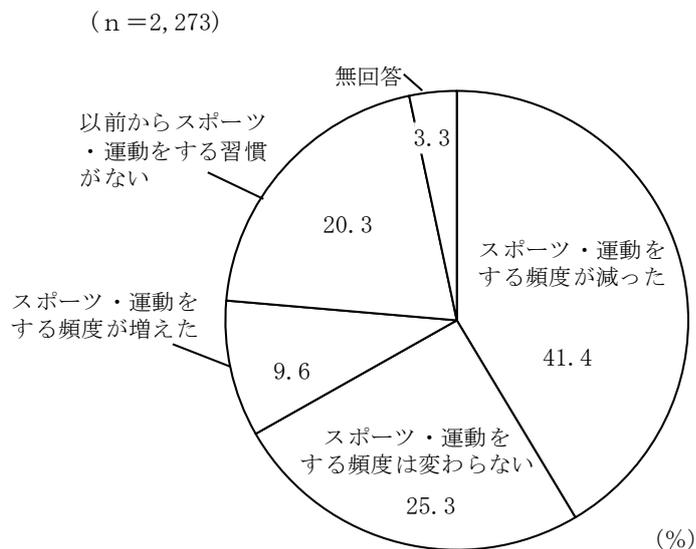
5-5 新型コロナウイルス感染症によるスポーツ・運動習慣の変化

図5-5-1

(全員の方に)

問16 あなたは、新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ・運動をする習慣について、どのような変化がありましたか。次の中から最も近いものを1つだけお選びください。

(○は1つ)



新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ・運動をする習慣について変化があったかを聞いたところ、「スポーツ・運動をする頻度が減った」が41%で最も多く、次いで「スポーツ・運動をする頻度は変わらない」25%、「スポーツ・運動をする頻度が増えた」10%、「以前からスポーツ・運動をする習慣がない」20%となっている。(図5-5-1)

エリア別にみると、「スポーツ・運動をする頻度が減った」は多摩中央部北で3割と少なくなっている。

性・年齢別にみると、「スポーツ・運動をする頻度が増えた」は女性20代・30代で2割近くとなっている。(図5-5-2)

図5-5-2 新型コロナウイルス感染症によるスポーツ・運動習慣の変化－エリア別、性・年齢別

n	以前からスポーツ・運動をする習慣がない				
	スポーツ・運動をする頻度が減った	スポーツ・運動をする頻度は変わらない	スポーツ・運動をする頻度が増えた	無回答	(%)
全体 (2,273)	41.4	25.3	9.6	20.3	3.3
< エリア別 >					
区部 (計) (1,518)	42.1	24.7	10.1	19.6	3.5
センター・コア (430)	43.0	23.3	10.7	20.0	3.0
区部東部・北部 (435)	40.0	24.8	9.4	21.4	4.4
区部西部・南部 (653)	42.9	25.6	10.3	18.1	3.2
市町村部 (計) (755)	40.1	26.5	8.6	21.7	3.0
多摩東部 (296)	41.9	24.7	8.1	21.3	4.1
多摩中央部北 (105)	31.4	33.3	10.5	23.8	1.0
多摩中央部南 (296)	40.2	27.0	8.8	22.0	2.0
多摩西部・島しょ (58)	46.6	20.7	6.9	19.0	6.9
< 性・年齢別 >					
男性 (計) (1,049)	42.9	26.6	7.9	20.4	2.2
18・19歳 (10)	30.0	50.0	10.0	10.0	0
20代 (126)	38.9	31.7	15.9	13.5	0
30代 (147)	39.5	32.0	10.2	17.0	1.4
40代 (184)	41.8	26.1	8.7	22.8	0.5
50代 (175)	46.3	21.1	10.3	20.6	1.7
60代 (178)	45.5	24.7	5.6	23.0	1.1
70歳以上 (228)	44.3	25.0	1.3	22.8	6.6
女性 (計) (1,203)	40.2	24.4	11.1	20.3	4.1
18・19歳 (20)	40.0	10.0	30.0	20.0	0
20代 (136)	36.8	28.7	19.9	14.7	0
30代 (202)	37.1	26.7	18.3	16.8	1.0
40代 (204)	38.7	28.9	10.8	20.6	1.0
50代 (196)	37.8	27.0	13.3	20.9	1.0
60代 (165)	47.9	15.8	5.5	26.7	4.2
70歳以上 (280)	42.5	21.4	2.1	21.1	12.9

職業別にみると、「スポーツ・運動をする頻度が減った」は経営・管理職で約5割と多くなっている。一方、「スポーツ・運動する頻度が増えた」は学生で2割を超えている。(図5-5-3)

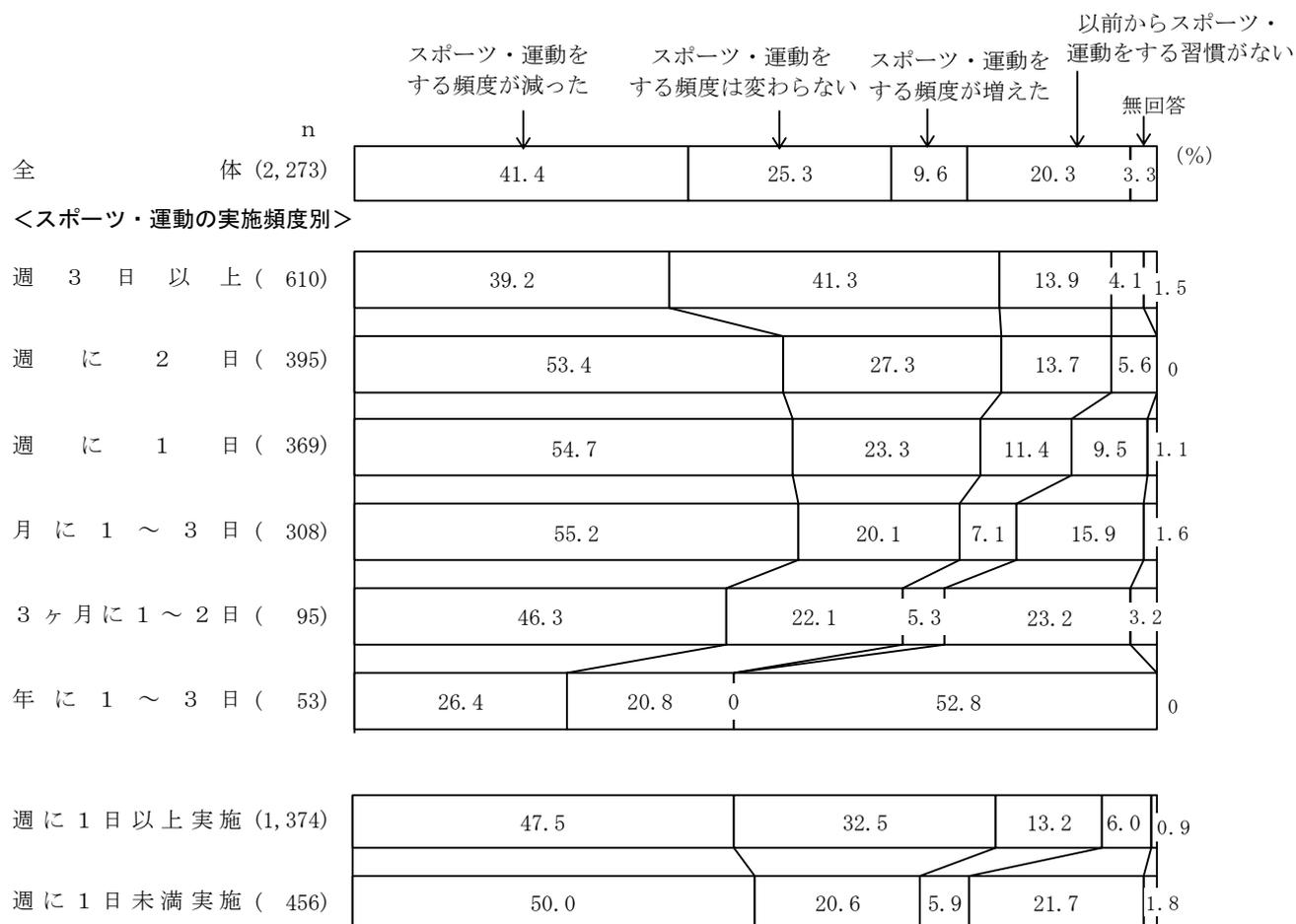
図5-5-3 新型コロナウイルス感染症によるスポーツ・運動習慣の変化－職業別

		スポーツ・運動をする頻度が減った	スポーツ・運動をする頻度は変わらない	スポーツ・運動をする頻度が増えた	以前からスポーツ・運動をする習慣がない	無回答
n		↓ (%)				
全	体 (2,273)	41.4	25.3	9.6	20.3	3.3
< 職業別 >						
自営・家族従業	(計) (303)	47.2	19.5	6.9	23.4	3.0
勤	め (計) (1,209)	40.4	27.3	11.4	19.5	1.4
	経営・管理職 (117)	50.4	21.4	12.8	15.4	0
	専門・技術職 (347)	42.9	26.8	13.0	15.9	1.4
	事務職 (244)	39.3	25.8	13.9	19.3	1.6
	労務・技能職 (117)	40.2	27.4	4.3	27.4	0.9
	販売・サービス職 (289)	34.6	30.1	10.4	23.9	1.0
無職の主婦・主夫	(400)	43.5	22.8	6.8	20.8	6.3
学	生 (80)	40.0	25.0	22.5	12.5	0
その他の無職	(242)	39.3	27.3	5.4	22.3	5.8

スポーツ・運動の実施日数（頻度）（問15-2 P105・P108）別にみると、「スポーツ・運動をする頻度が減った」は“週に2日”、“週に1日”、“月に1～3日”で5割から5割半ばと多くなっている。「スポーツ・運動する頻度は変わらない」は“週3日以上”で4割を超えて多くなっている。

(図5-5-4)

図5-5-4 新型コロナウイルス感染症によるスポーツ・運動習慣の変化—スポーツ・運動の実施頻度別



※5-6 障害者スポーツへの関心度

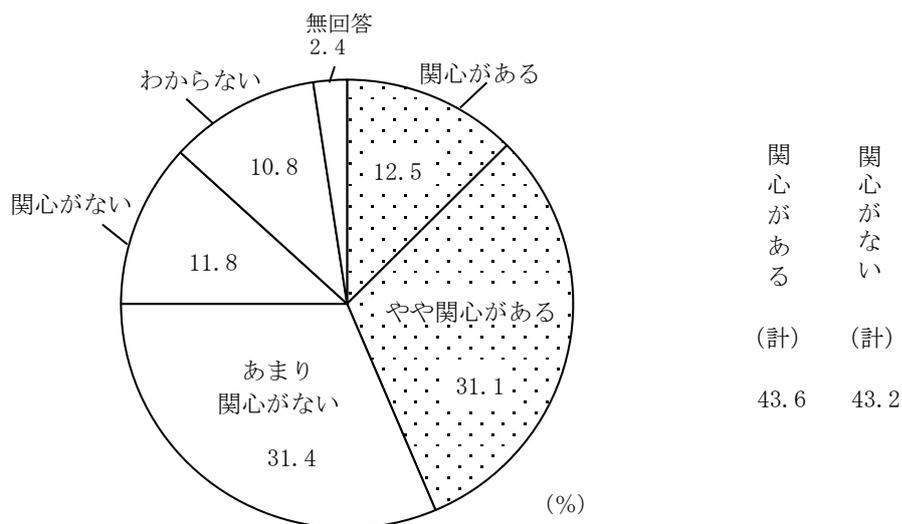
図5-6-1

(全員の方に)

問17 障害者スポーツとは、障害があってもスポーツ活動ができるよう、障害に応じ競技規則や実施方法を変更したり、用具等を用いて障害を補ったりする工夫・適合・開発がされたスポーツのことですが、あなたは、障害者スポーツに関心がありますか。次の中から1つだけお選びください。

(○は1つ)

(n=2,273)

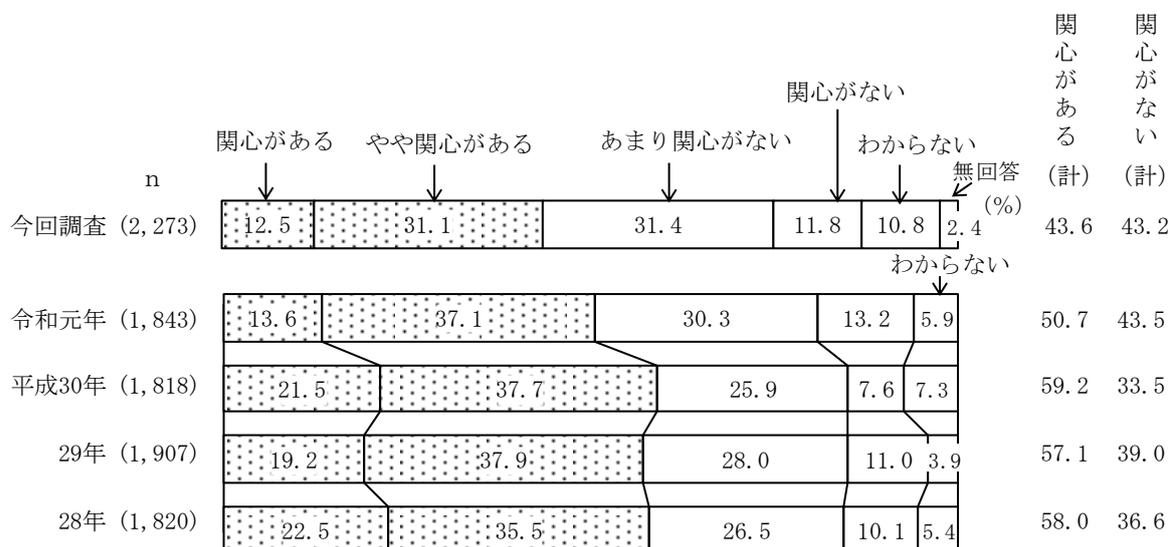


(注) 『関心がある (計)』は「関心がある」「やや関心がある」の合計
 『関心がない (計)』は「関心がない」「あまり関心がない」の合計

障害者スポーツへの関心度について聞いたところ、『関心がある (計)』は44%、『関心がない (計)』は43%となっている。(図5-6-1)

今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、障害者スポーツへの関心度を過去の調査結果と単純に比較することはできないが、令和元年よりも『関心がある（計）』は7ポイント減少している。（図5-6-2）

図5-6-2 障害者スポーツへの関心度－過去の調査結果



- (注1) 『関心がある（計）』は「関心がある」「やや関心がある」の合計
『関心がない（計）』は「関心がない」「あまり関心がない」の合計
- (注2) 令和元年は「オリンピック・パラリンピック開催、障害者スポーツに関する世論調査」（令和元年11月調査）
平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査」（平成30年9月調査）
平成29年は「オリンピック・パラリンピック開催、障害者スポーツに関する世論調査」（平成29年9月調査）
平成28年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査」（平成28年9月調査）
- (注3) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

エリア別にみると、『関心がない（計）』は区部東部・北部で5割近くと多くなっている。
 性・年齢別にみると、『関心がある（計）』は女性が男性よりも6ポイント高くなっている。『関心がない（計）』は男性の30代・40代で5割半ばと多くなっている。（図5-6-3）

図5-6-3 障害者スポーツへの関心度－エリア別、性・年齢別

n	関心度						関心がある （計）	関心がない （計）
	関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	わからない	無回答		
全体 (2,273)	12.5	31.1	31.4	11.8	10.8	2.4	43.6	43.2
< エリア別 >								
区部（計） (1,518)	11.9	30.8	31.7	12.1	10.5	2.9	42.8	43.8
センター・コア (430)	10.7	32.6	29.3	14.9	10.5	2.1	43.3	44.2
区部東部・北部 (435)	12.2	23.7	35.9	12.2	12.4	3.7	35.9	48.0
区部西部・南部 (653)	12.6	34.5	30.5	10.3	9.3	2.9	47.0	40.7
市町村部（計） (755)	13.6	31.8	30.7	11.1	11.3	1.5	45.4	41.9
多摩東部 (296)	13.2	31.8	31.4	10.5	11.5	1.7	44.9	41.9
多摩中央部北 (105)	17.1	31.4	25.7	15.2	9.5	1.0	48.6	41.0
多摩中央部南 (296)	12.5	31.1	33.8	10.8	10.5	1.4	43.6	44.6
多摩西部・島しょ (58)	15.5	36.2	20.7	8.6	17.2	1.7	51.7	29.3
< 性・年齢別 >								
男性（計） (1,049)	11.7	28.7	33.5	14.7	9.9	1.5	40.4	48.1
18・19歳 (10)	20.0	10.0	40.0	30.0	0	0	30.0	40.0
20代 (126)	19.0	28.6	29.4	14.3	8.7	0	47.6	43.7
30代 (147)	15.0	19.7	32.7	21.1	10.2	1.4	34.7	53.7
40代 (184)	9.2	29.9	35.9	19.0	6.0	0	39.1	54.9
50代 (175)	8.6	30.9	29.1	18.9	11.4	1.1	39.4	48.0
60代 (178)	9.6	31.5	36.0	11.8	9.6	1.7	41.0	47.8
70歳以上 (228)	11.4	30.3	35.5	7.0	11.8	3.9	41.7	42.5
女性（計） (1,203)	13.4	33.3	29.8	9.4	11.6	2.5	46.7	39.2
18・19歳 (20)	25.0	40.0	10.0	10.0	10.0	5.0	65.0	20.0
20代 (136)	15.4	26.5	29.4	14.7	14.0	0	41.9	44.1
30代 (202)	14.4	33.2	32.7	10.9	8.4	0.5	47.5	43.6
40代 (204)	16.7	32.4	32.8	6.4	11.3	0.5	49.0	39.2
50代 (196)	13.8	36.2	35.7	8.7	5.6	0	50.0	44.4
60代 (165)	10.9	29.7	32.1	10.3	15.2	1.8	40.6	42.4
70歳以上 (280)	9.6	37.1	21.8	7.9	15.0	8.6	46.8	29.6

（注）『関心がある（計）』は「関心がある」「やや関心がある」の合計
 『関心がない（計）』は「関心がない」「あまり関心がない」の合計

職業別にみると、『関心がある（計）』は学生で5割を超えて多くなっている。一方、『関心がない（計）』は事務職で5割を超えて多くなっている。（図5-6-4）

図5-6-4 障害者スポーツへの関心度－職業別

職業別	n	関心度						関心がある (計)	関心がない (計)
		関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	わからない	無回答 (%)		
全体	(2,273)	12.5	31.1	31.4	11.8	10.8	2.4	43.6	43.2
< 職業別 >									
自営・家族従業 (計)	(303)	11.9	33.3	31.4	13.2	8.9	1.3	45.2	44.6
勤め (計)	(1,209)	12.3	31.1	33.5	13.2	9.2	0.7	43.4	46.7
経営・管理職	(117)	13.7	29.9	35.0	13.7	7.7	0	43.6	48.7
専門・技術職	(347)	16.7	30.0	30.3	12.7	9.8	0.6	46.7	42.9
事務職	(244)	7.4	32.0	38.1	14.3	7.4	0.8	39.3	52.5
労務・技能職	(117)	8.5	35.9	35.9	12.0	6.0	1.7	44.4	47.9
販売・サービス職	(289)	13.1	32.2	30.8	13.5	9.7	0.7	45.3	44.3
無職の主婦・主夫	(400)	13.0	32.5	31.0	6.5	13.0	4.0	45.5	37.5
学生	(80)	22.5	28.8	22.5	13.8	11.3	1.3	51.3	36.3
その他の無職	(242)	10.7	28.1	27.7	12.0	16.5	5.0	38.8	39.7

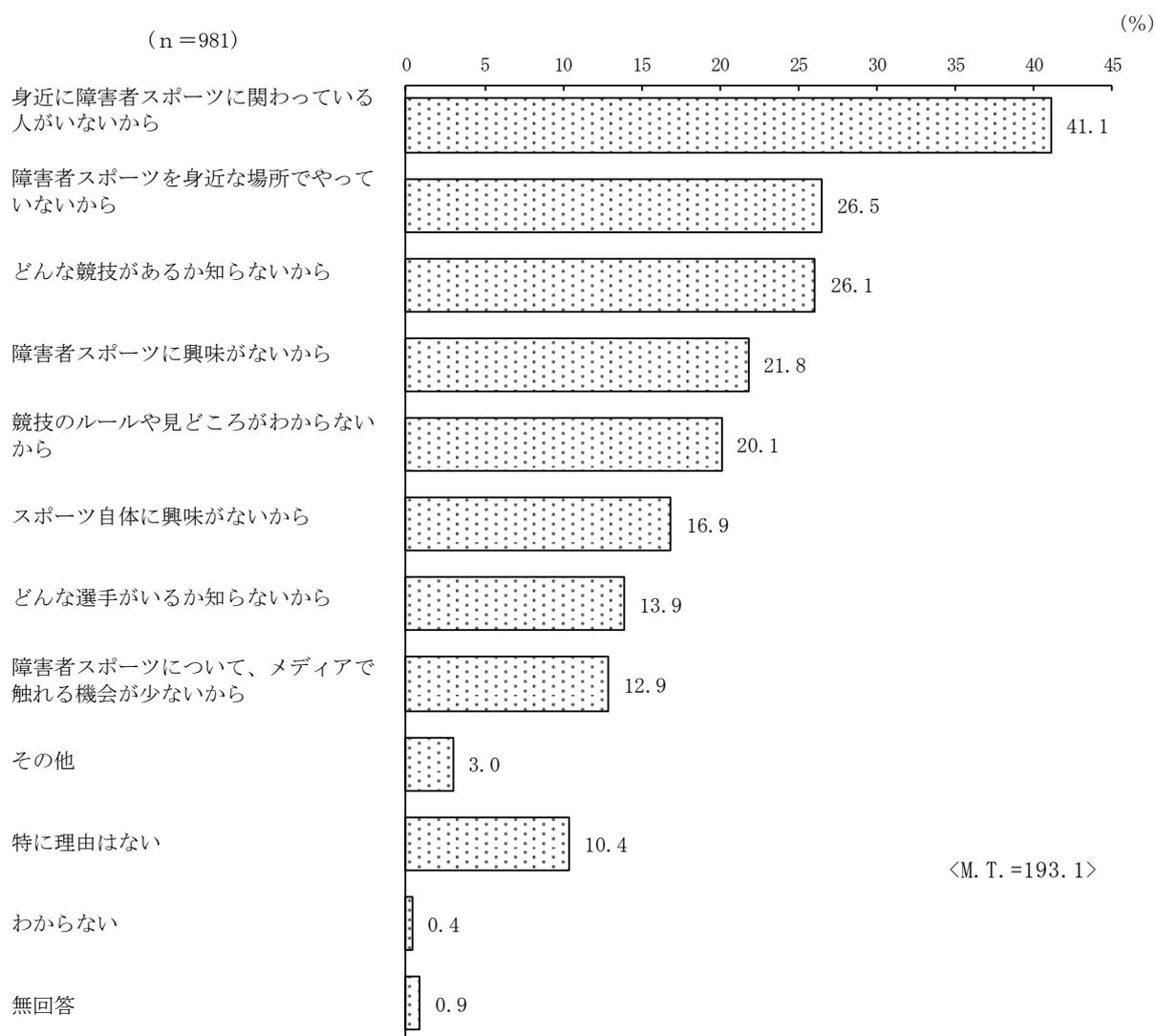
(注) 『関心がある（計）』は「関心がある」「やや関心がある」の合計
『関心がない（計）』は「関心がない」「あまり関心がない」の合計

※5-7 障害者スポーツに関心がない理由

図5-7-1

(問17で「3 あまり関心がない」「4 関心がない」と答えた方に)

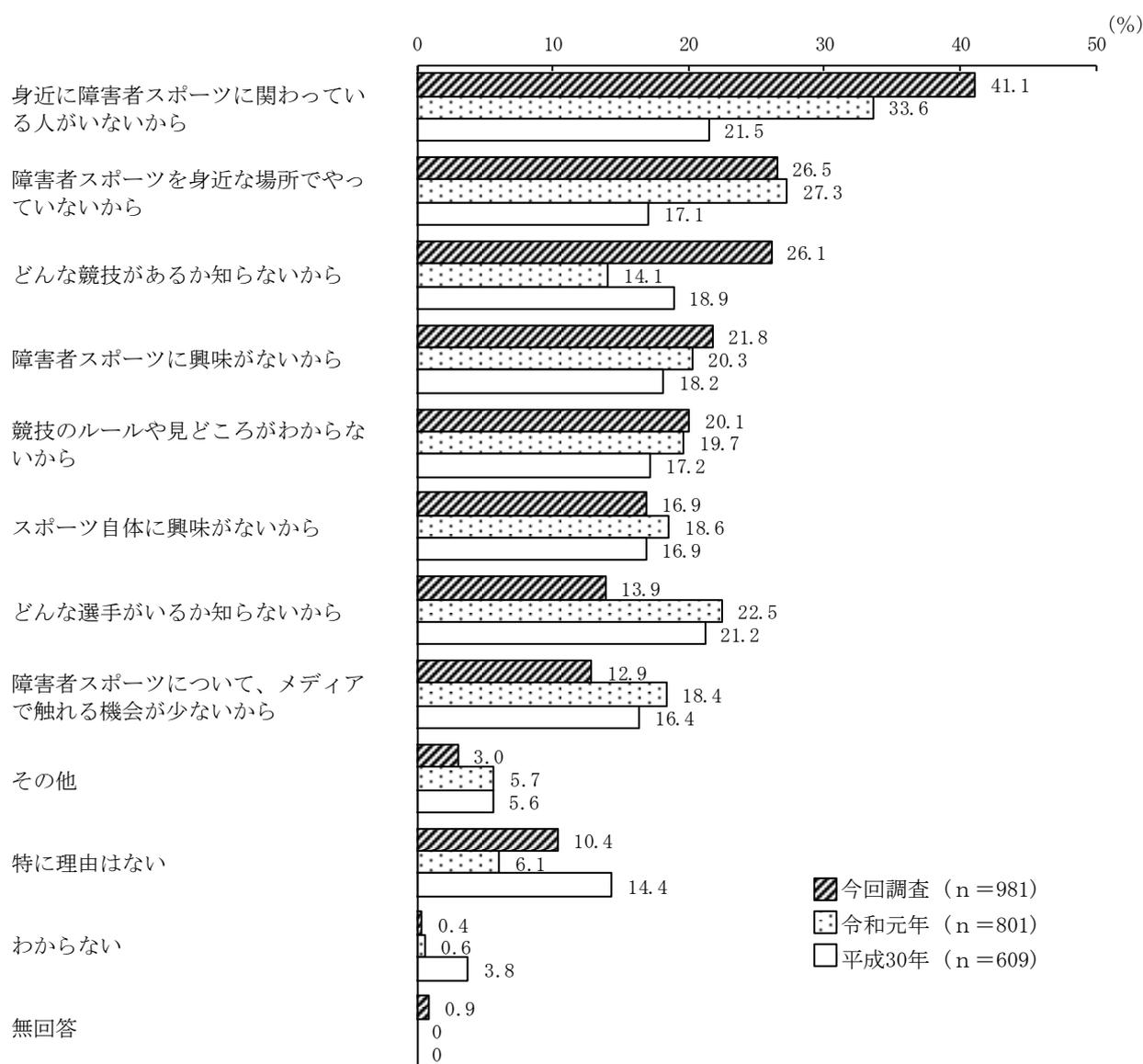
問17-1 あなたが、障害者スポーツに関心がない理由は何ですか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも) (M. A.)



障害者スポーツに『関心がない (計)』と答えた人 (981人) に、関心がない理由について聞いたところ、「身近に障害者スポーツに関わっている人がいないから」が41%で最も多く、次いで「障害者スポーツを身近な場所でやっていないから」が27%、「どんな競技があるか知らないから」が26%、「障害者スポーツには興味がないから」22%、「競技のルールや見どころがわからないから」が20%などの順となっている。(図5-7-1)

今回は、前回までの調査と調査方法が異なるため、障害者スポーツに関心がない理由を過去の調査結果と単純に比較することはできないが、令和元年よりも「どんな競技があるか知らないから」は12ポイント、「身近に障害者スポーツに関わっている人がいないから」は8ポイント増加している。一方、「どんな選手がいるか知らないから」は9ポイント減少している。(図5-7-2)

図5-7-2 障害者スポーツに関心がない理由－過去の調査結果



(注1) 令和元年は「オリンピック・パラリンピック開催、障害者スポーツに関する世論調査」(令和元年11月調査)
平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査」(平成30年9月調査)

(注2) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

エリア別にみると、「障害者スポーツには興味がないから」はセンター・コアと多摩中央部北で約3割となっている。

性・年齢別にみると、「障害者スポーツには興味がないから」は男性で3割近く、「スポーツ自体に興味がないから」は女性で2割を超えている。「障害者スポーツを身近な場所でやっていないから」は男性70歳以上で4割近くと多くなっている。(表5-7-1)

表5-7-1 障害者スポーツに関心がない理由—エリア別、性・年齢別

(%)

	n	身近に障害者スポーツに関わっていないから	障害者スポーツを身近な場所でやっていないから	どんな競技があるか知らないから	障害者スポーツに興味がないから	競技のルールや見どころがわからないから	スポーツ自体に興味がないから	どんな選手がいるか知らないから	障害者スポーツについて、メディアで触れる機会が少ないから	その他	特に理由はない	わからない	無回答
全体	981	41.1	26.5	26.1	21.8	20.1	16.9	13.9	12.9	3.0	10.4	0.4	0.9
< エリア別 >													
区部(計)	665	41.4	27.2	26.5	21.7	19.8	17.3	14.0	14.0	2.4	9.5	0.5	1.1
センター・コア	190	40.5	28.4	26.8	30.0	21.6	18.4	15.8	14.7	3.2	7.4	1.1	0.5
区部東部・北部	209	38.8	26.8	26.3	14.4	19.1	17.2	12.4	15.8	2.4	13.4	0.5	1.0
区部西部・南部	266	44.0	26.7	26.3	21.4	19.2	16.5	13.9	12.0	1.9	7.9	-	1.5
市町村部(計)	316	40.5	25.0	25.3	22.2	20.6	16.1	13.6	10.8	4.1	12.3	0.3	0.6
多摩東部	124	38.7	24.2	25.8	21.8	21.0	14.5	13.7	13.7	5.6	12.1	-	-
多摩中央部北	43	41.9	18.6	14.0	30.2	14.0	9.3	9.3	9.3	2.3	23.3	-	-
多摩中央部南	132	42.4	29.5	28.0	18.2	22.7	21.2	16.7	9.1	3.0	9.8	0.8	1.5
多摩西部・島しょ	17	35.3	11.8	29.4	35.3	17.6	5.9	-	5.9	5.9	5.9	-	-
< 性・年齢別 >													
男性(計)	505	39.4	25.9	25.1	26.7	21.2	12.1	15.8	13.1	3.0	11.3	0.4	0.2
18・19歳	4	50.0	50.0	50.0	50.0	75.0	-	50.0	50.0	-	-	-	-
20代	55	36.4	21.8	34.5	30.9	21.8	16.4	16.4	12.7	-	16.4	-	-
30代	79	36.7	13.9	21.5	27.8	21.5	16.5	12.7	10.1	1.3	8.9	1.3	-
40代	101	36.6	25.7	28.7	18.8	19.8	12.9	16.8	10.9	5.0	10.9	1.0	-
50代	84	36.9	21.4	21.4	31.0	13.1	13.1	13.1	11.9	3.6	13.1	-	-
60代	85	38.8	29.4	15.3	28.2	23.5	8.2	12.9	14.1	4.7	11.8	-	1.2
70歳以上	97	48.5	38.1	29.9	25.8	24.7	8.2	20.6	16.5	2.1	9.3	-	-
女性(計)	472	43.0	26.7	26.9	16.7	18.6	22.0	11.4	12.9	3.0	9.5	0.4	1.7
18・19歳	4	-	-	-	-	-	75.0	-	-	-	25.0	-	-
20代	60	28.3	18.3	33.3	21.7	15.0	33.3	10.0	6.7	1.7	8.3	-	5.0
30代	88	54.5	26.1	29.5	18.2	19.3	33.0	18.2	19.3	2.3	4.5	-	-
40代	80	48.8	25.0	33.8	17.5	16.3	13.8	11.3	10.0	5.0	10.0	-	-
50代	87	46.0	26.4	20.7	16.1	19.5	16.1	10.3	14.9	4.6	3.4	-	1.1
60代	70	38.6	30.0	22.9	12.9	20.0	11.4	10.0	17.1	4.3	22.9	1.4	1.4
70歳以上	83	38.6	33.7	24.1	15.7	21.7	22.9	8.4	8.4	-	9.6	1.2	3.6

職業別にみると、「身近に障害者スポーツに関わっている人がいないから」は無職の主婦・主夫で5割近く、「障害者スポーツを身近な場所でやっていないから」はその他の無職で4割近くと多くなっている。(表5-7-2)

表5-7-2 障害者スポーツに関心がない理由－職業別

		(%)												
	n	身近に障害者スポーツに関わっている人がいないから	障害者スポーツを身近な場所でやっていないから	どんな競技があるか知らないから	障害者スポーツに興味がないから	競技のルールや見どころがわからないから	スポーツ自体に興味がないから	どんな選手がいるか知らないから	障害者スポーツについて、メディアで触れる機会が少ないから	その他	特に理由はない	わからない	無回答	
全 体	981	41.1	26.5	26.1	21.8	20.1	16.9	13.9	12.9	3.0	10.4	0.4	0.9	
< 職 業 別 >														
自 営 ・ 家 族 従 業 (計)	135	37.0	28.1	17.0	19.3	15.6	10.4	13.3	15.6	6.7	17.0	0.7	1.5	
勤 め (計)	564	39.9	23.8	27.0	24.1	18.4	16.8	13.1	11.7	2.8	9.4	0.2	0.7	
経 営 ・ 管 理 職	57	47.4	24.6	22.8	29.8	14.0	10.5	12.3	10.5	1.8	7.0	-	-	
専 門 ・ 技 術 職	149	40.3	22.1	25.5	22.1	18.1	22.8	16.1	8.7	0.7	9.4	0.7	-	
事 務 職	128	40.6	26.6	27.3	27.3	16.4	19.5	8.6	13.3	3.1	5.5	-	2.3	
労 務 ・ 技 能 職	56	42.9	25.0	33.9	19.6	21.4	14.3	19.6	17.9	3.6	8.9	-	-	
販 売 ・ サ ー ビ ス 職	128	36.7	23.4	25.0	21.9	15.6	14.1	7.8	9.4	4.7	16.4	-	0.8	
無 職 の 主 婦 ・ 主 夫	150	49.3	28.0	31.3	19.3	23.3	18.7	12.7	11.3	2.0	7.3	0.7	-	
学 生	29	34.5	27.6	31.0	20.7	27.6	27.6	17.2	24.1	-	10.3	-	3.4	
そ の 他 の 無 職	96	41.7	36.5	26.0	16.7	29.2	20.8	20.8	16.7	1.0	11.5	1.0	2.1	

調査票及び単純集計結果

【暮らし】

(全員の方に)

問1 さっそくですが、お宅さまの暮らしは、昨年の今ごろとくらべて楽になりましたか、苦しくなりましたか、それとも、変わりませんか。(○は1つ) <n=2,273>

3.7 1 楽になった →	問2へ	59.3 3 変わらない	} → 問2へ
33.1 2 苦しくなった →	問1-1へ	2.9 4 わからない	
		1.1 無回答	

(問1で「2苦しくなった」と答えた方に)

問1-1 暮らしが苦しくなったのはなぜでしょうか。次の中からいくつでもお選びください。
(○はいくつでも) <n=752>

55.6 1 営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った	
19.5 2 失業、退職、病気などで働き手が減った	
10.8 3 利率の低下などにより預貯金が目減りした	
27.1 4 家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた	
14.9 5 結婚、出産、病気など特別の出費があった	
12.5 6 教育費が増えた	
10.9 7 家や自動車、家電などの支出が増えた	
28.3 8 税金や保険料の支払いが増えた	
2.9 9 営業経費が増えた	
5.6 10 その他 (具体的に)	
1.5 11 特に理由はない、わからない	
0.1 無回答	M. T. =189.6

(全員の方に)

問2 お宅さまの暮らしは、次のうちどれに当たりますか。あなたの感じ方に一番近いものを1つだけお選びください。(○は1つ) <n=2,273>

5.7 1 今の暮らしで十分余裕がある	40.9 3 今の暮らしではまだまだ余裕がない
44.8 2 今の暮らしであればまあまあだ	7.2 4 今の暮らしではとてもやりきれない
	1.5 無回答

(全員の方に)

問3 お宅さまの生活程度は、世間一般からみて、次のうちどれに入るとお考えですか。(○は1つ)
<n=2,273>

1.8 1 上	35.9 3 中の中	11.6 5 下
16.2 2 中の上	27.8 4 中の下	6.1 6 わからない
		0.7 無回答

(全員の方に)

問4 あなたの暮らしむきは、これから1年間楽になるとお考えですか、苦しくなるとお考えですか。それとも変わらないとお考えですか。(○は1つ) <n=2,273>

0.4 1 かなり楽になる	} → 問5へ	34.4 4 やや苦しくなる	} → 問4-1へ
2.9 2 やや楽になる		11.0 5 かなり苦しくなる	
41.7 3 変わらない		8.6 6 わからない	→ 問5へ
		0.9 無回答	

↓

(問4で「4 やや苦しくなる」「5 かなり苦しくなる」と答えた方に)

問4-1 では、今後、切りつめていこうと思うものがありますか。次の中から当てはまるものをいくつかもお選びください。(○はいくつでも) <n=1,033>

49.4 1 食費	18.1 10 保健、医療費
32.6 2 嗜好品費(酒、タバコなど)	30.5 11 理・美容、化粧品費
28.1 3 住居費(光熱水費を含む)	41.9 12 趣味、教養・娯楽費
49.3 4 被服費(身の回り品を含む)	42.3 13 旅行
27.0 5 装飾品費(宝石、貴金属類など)	52.6 14 外食費
29.8 6 家具、家電製品、車などの購入費	12.6 15 家族のこづかい
15.3 7 交通費(車の燃料・経費を含む)	16.8 16 冠婚葬祭、交際費
20.5 8 通信費(電話、インターネット接続など)	2.6 17 その他(具体的に)
4.8 9 教育費(塾を含む)	3.9 18 特にない
	0.3 無回答 M. T. =478.1

(全員の方に)

問6 あなたが、今後の生活を考えたとき、不安に感じることがありますか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(○はいくつでも) <n=2,273>

70.2 1	自分の健康・病気	37.4 9	親などの介護
61.2 2	家族の健康・病気	57.2 10	老後の生活
15.0 3	自分の就職、結婚などの問題	10.2 11	家族・親族間の人間関係
11.9 4	家族の就職、結婚などの問題	5.5 12	近隣・地域の人間関係
16.9 5	子育て、子供の教育	24.2 13	仕事や職場のこと
52.9 6	今後の収入	1.8 14	その他(具体的に)
37.5 7	貯蓄や資産(借金や負債)	1.5 15	不安に感じることはない
39.0 8	税金や保険料(などの負担)	0.8	無回答
		M. T.	=442.4

(全員の方に)

問7 あなたは、税金について関心がありますか。(○は1つ) <n=2,273>

33.3 1	大いに関心がある	7.8 3	関心がない	→ 問8へ
47.8 2	少し関心がある	9.2 4	わからない	
		1.9	無回答	
▼ 問7-1へ				

(問7で「1 大いに関心がある」「2 少し関心がある」と答えた方に)

問7-1 では、今、あなたが関心をもっているのはどのようなことですか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(○はいくつでも) <n=1,842>

65.4 1	自分の納める税額	11.4 5	隠し所得や脱税の摘発
20.3 2	申告・納税のしかた	49.9 6	所得税や住民税などの減税
70.1 3	税金の使われ方	34.7 7	新税の導入や増税
39.5 4	税負担の不公平さ	2.7 8	その他(具体的に)
		0.4	無回答
		M. T.	=293.9

【住んでいる地域】

(全員の方に)

問8 ところで、あなたが、今住んでいらっしゃるところは、住みよいところだと思いますか。それとも、思いませんか。(〇は1つ) <n=2,273>

79.9 1 住みよいところだと思う	8.7 3 わからない
10.1 2 住みよいところだとは思わない	1.4 無回答

(全員の方に)

問9 あなたは、今お住まいのこの地域に今後もずっと住みたいと思いますか、それとも、住みたくないと思いますか。あなたのお気持ちをお答えください。(〇は1つ) <n=2,273>

70.3 1 住みたい	12.2 2 住みたくない	16.5 3 わからない → 問10へ
		1.1 無回答
↓ 問9-1へ	↓ 問9-2へ	

(問9で「1 住みたい」と答えた方に)

問9-1 住みたいと思うのはなぜですか。
次の中から3つまでお答えください。
(〇は3つまで) <n=1,597>

41.3 1 通勤・通学に便利なところだから
60.6 2 買物など日常の生活環境が整っているから
42.6 3 地域に愛着を感じているから (住み慣れているから)
43.8 4 自分の土地や家があるから
17.8 5 親や子供、親類が近くにいるから
6.6 6 仕事や商売に都合がよいから
26.2 7 静かで住環境がよいから
19.2 8 緑などの自然環境がよいから
5.1 9 文化や教育の面で環境がよいから
4.4 10 福祉サービスが充実しているから
9.0 11 防災の面で安心だから
17.8 12 治安の面で安心だから
1.1 13 その他(具体的に)
0.3 14 わからない
M. T. =295.7

(問9で「2 住みたくない」と答えた方に)

問9-2 住みたくないと思うのはなぜですか。
次の中から3つまでお答えください。
(〇は3つまで) <n=277>

17.7 1 通勤・通学に不便なところだから
20.6 2 買物など日常の生活環境が整っていないから
36.1 3 地域に愛着を感じないから
26.4 4 家賃など住居費が高いから
14.8 5 親や子供、親類が近くにいないから
25.3 6 騒音・振動・大気汚染など周辺環境がよくないから
15.2 7 緑などの自然環境がよくないから
8.3 8 文化や教育の面で環境がよくないから
9.7 9 福祉サービスが充実していないから
21.3 10 防災の面で不安だから
13.7 11 治安の面で不安だから
13.0 12 その他(具体的に)
0.4 13 わからない
M. T. =222.4

【東京】

(全員の方に)

問10 ところで、あなたにとって東京は、全般的にみて住みよいところですか、それとも住みにくいところですか。(○は1つ) <n=2,273>

57.0 1 住みよい	32.7 3 どちらともいえない
6.8 2 住みにくい	2.1 4 わからない
	1.4 無回答

(全員の方に)

問11 あなたは、東京に今後もずっと住みたいと思いますか、それとも、住みたくないと思いますか。あなたのお気持ちをお答えください。(○は1つ) <n=2,273>

70.0 1 住みたい	9.7 2 住みたくない	18.8 3 わからない → 問12へ
		1.5 無回答

↓ 問11-1へ
↓ 問11-2へ

(問11で「1 住みたい」と答えた方に)

問11-1 住みたいと思うのはなぜですか。

次の中から3つまでお答えください。
(○は3つまで) <n=1,590>

80.8 1 交通網が発達していて便利だから
28.1 2 文化的な施設やコンサート・スポーツなどの催しが多いから
15.6 3 最新の情報が手に入り、流行の先端に触れることができるから
15.2 4 仕事を見つけやすい、事業をおこしやすいから
13.0 5 教育や学習の機会や場が充実しているから
36.9 6 医療や福祉などの質が高いから
9.9 7 治安の面で安心だから
14.7 8 東京が好きだから
52.3 9 東京に長く暮らしているから
15.2 10 人間関係がわずらわしくないから
2.5 11 その他 (具体的に)
0.1 12 わからない
0.1 無回答

M. T. =284.3

(問11で「2 住みたくない」と答えた方に)

問11-2 住みたくないと思うのはなぜです

次の中から3つまでお答えください。
(○は3つまで) <n=221>

62.9 1 人や車が多過ぎるから
43.9 2 通勤・通学ラッシュがひどいから
65.2 3 生活費が高いから
52.0 4 住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから
23.1 5 緑や公園などの自然が少ないから
13.1 6 大気汚染や騒音などの公害がひどいから
8.1 7 治安の面で不安だから
10.0 8 人間関係が希薄だから
10.9 9 街並みが雑然として景観がよくないから
10.4 10 その他 (具体的に)
- 11 わからない

M. T. =299.5

【都政への要望】

(全員の方に)

問12 あなたは、これからの都政の進め方に対して、どんなことを望みますか。次の中から特に望むことを3つまでお選びください。(〇は3つまで) <n=2,273>

36.4	1	都政情報をわかりやすく提供する	16.2	8	住民に身近な事務は区市町村に任せる
33.2	2	情報公開を積極的に進める	10.0	9	国に対してさらに地方分権を働きかける
39.6	3	都民の意見や要望をよく知る	2.9	10	ボランティア活動や市民活動と協働する
40.4	4	事務手続きを簡素化する	4.3	11	その他(具体的に)
10.3	5	都庁の組織を簡素化する	3.8	12	特にない
13.7	6	職員の意識改革を進める	4.1	13	わからない
34.5	7	予算を効率的に執行する	1.1		無回答
M. T. =249.5					

(全員の方に)

問13 新型コロナウイルス感染症の流行が続いています。

あなたは、「新型コロナウイルス感染症に関する対策」について、都にどのようなことを望みますか。次の中から特に望むことを3つまでお選びください。(〇は3つまで) <n=2,273>

77.8	1	医療提供体制の充実強化	11.4	6	オンライン学習の推進
35.5	2	経営に影響があった事業者への支援	30.9	7	情報発信の充実
45.3	3	生活困窮者などの生活への支援	2.0	8	その他(具体的に)
27.8	4	移動抑制・自粛要請など危機管理	2.4	9	特にない
27.3	5	テレワーク・時差出勤等の推進	0.5		無回答
M. T. =260.6					

(全員の方に)

問14 これからの都政全体について考えた場合、次にあげたことのどれに力を入れてほしいと思いますか。特に都に力を入れて取り組んでもらいたいことを5つまでお選びください。

(○は5つまで) <n=2,273>

なお、次の問14-1〔分野別要望〕に、具体的な要望内容を記載していますので、参考にしてください。

23.1 1 行財政	問14-1へ	28.2 16 少子化・虐待防止などの子供対策	問14-1へ
2.2 2 都市外交の推進		43.8 17 医療・衛生対策	
34.4 3 治安対策		9.2 18 まちづくりの推進	
14.6 4 交通安全対策		12.7 19 公園・緑地・水辺の整備	
46.8 5 防災対策		12.5 20 水道・下水道の整備・維持	
10.6 6 中小企業対策		8.2 21 道路交通網の整備	
11.4 7 職業能力開発、雇用対策		6.2 22 都営交通の整備	
2.8 8 観光振興対策		10.9 23 土地・住宅対策	
18.7 9 消費生活対策		15.9 24 学校教育の充実	
6.3 10 男女平等参画の推進		4.4 25 生涯学習、社会教育の振興	
3.0 11 地域活動の推進		8.8 26 文化・芸術の振興	
4.6 12 青少年健全育成の推進		4.0 27 スポーツ・レクリエーションの振興	
17.7 13 環境対策		3.6 28 多文化共生社会の推進	
39.4 14 高齢者対策		1.2 29 その他	
8.5 15 障害者(児)対策		3.7 30 わからない	
	0.5 無回答	問15へ	
		M. T. =417.3	

〔問14で「1 行財政」～「29 その他」を選んだ方に〕

問14-1 それでは、問14で（5つまで）選ばれた「都に力を入れて取り組んでほしいこと」について、それぞれ具体的にどのようなことを望まれますか。次の表の左側のあなたが選ばれた項目に対応する右側の〔問14-1 分野別要望〕の中から該当するものについて、それぞれ1つずつお選びください。(○はそれぞれ1つ) ※12ページ〔本報告書でP141〕まであります。

問14で選ばれた「都に力を入れて取り組んでほしいこと」	〔問14-1 分野別要望〕(○はそれぞれ1つ)
「1 行財政」を選んだ方	24.2 1 行政手続のデジタル化の推進
	17.6 2 業務の効率化の推進など業務改革の推進
	4.6 3 行政と民間との協働の推進や行政分野の民間開放
	3.1 4 組織、人事制度など執行体制の整備
	44.1 5 都税の適正な徴収と使用など財政の健全化
	2.1 6 都区制度を含む自治制度の見直し
	2.3 7 その他(具体的に)
	2.1 無回答
	<n=524>

問14で選ばれた「都に力を入れて取り組んでほしいこと」	〔問14-1 分野別要望〕(○はそれぞれ1つ)
「2 都市外交の推進」を選んだ方	49.0 1 都市間交流の推進 43.1 2 国際交流・協力活動への支援 3.9 3 その他(具体的に) 3.9 無回答 < n = 51 >
「3 治安対策」を選んだ方	18.6 1 警察官によるパトロールの強化 20.1 2 子供等に対する犯罪が起こりにくい環境の整備 3.3 3 少年犯罪・少年非行の防止 10.8 4 防犯設備の設置等に対する支援 10.4 5 外国人による犯罪の防止 14.7 6 オレオレ詐欺や還付金詐欺などの特殊詐欺や悪質商法等被害の防止 4.2 7 テロ対策等新たな犯罪への取組 12.3 8 不正アクセスなどインターネットを利用した犯罪の防止 1.0 9 その他(具体的に) 4.6 無回答 < n = 781 >
「4 交通安全対策」を選んだ方	21.4 1 交通渋滞の緩和・交通量の抑制 3.9 2 違法駐車対策 9.0 3 車の規制・取締り 7.5 4 交通安全教育の推進 29.5 5 自転車走行空間(自転車道等)の整備 22.3 6 自転車安全利用の促進 2.7 7 その他(具体的に) 3.6 無回答 < n = 332 >
「5 防災対策」を選んだ方	48.1 1 防災都市づくり(無電柱化、道路の整備や建築物の耐震化・不燃化等) 24.8 2 災害時の活動体制の充実 4.6 3 防災対策に関する普及・啓発活動の充実 18.1 4 風水害対策 1.3 5 その他(具体的に) 3.0 無回答 < n = 1,064 >
「6 中小企業対策」を選んだ方	12.9 1 地域商工業の振興 32.1 2 融資制度等の充実 4.2 3 創業支援 14.2 4 技術の開発・向上支援 31.7 5 経営革新・経営安定の支援 1.7 6 その他(具体的に) 3.3 無回答 < n = 240 >
「7 職業能力開発、雇用対策」を選んだ方	53.9 1 雇用・就業の促進 12.0 2 職業能力開発・向上 6.2 3 労働相談・指導の充実 22.5 4 働き方改革の推進 1.6 5 その他(具体的に) 3.9 無回答 < n = 258 >

問14で選ばれた「都に力を入れて取り組んでほしいこと」	〔問14-1 分野別要望〕(○はそれぞれ1つ)
「8 観光振興対策」を選んだ方	34.4 1 外国人旅行者の誘致のための取組 9.4 2 観光案内の充実 21.9 3 多摩・島しょ地域の観光振興 29.7 4 観光資源を活かしたまちづくりの推進 1.6 5 その他(具体的に) 3.1 無回答 < n = 64 >
「9 消費生活対策」を選んだ方	17.6 1 悪質商法などによる消費者トラブルの相談、救済 41.8 2 悪質な事業者の指導・処分 17.8 3 食品や生活用品などの表示の適正化の推進 7.3 4 商品・サービスに係る危害・危険の防止対策 8.9 5 消費者教育など消費者の自立支援策の充実 2.6 6 その他(具体的に) 4.0 無回答 < n = 426 >
「10 男女平等参画の推進」を選んだ方	45.5 1 働く場での男女の均等な機会・待遇の確保、女性が活躍できる環境の整備 36.4 2 仕事と家庭・地域生活の両立の支援 4.2 3 配偶者等からの暴力(DV)の防止 9.1 4 男女平等の普及啓発 0.7 5 その他(具体的に) 4.2 無回答 < n = 143 >
「11 地域活動の推進」を選んだ方	14.5 1 NPO等の市民活動への支援 55.1 2 社会貢献活動を行う団体と行政との協働の推進 20.3 3 ボランティア活動参加への支援 1.4 4 その他(具体的に) 8.7 無回答 < n = 69 >
「12 青少年健全育成の推進」を選んだ方	26.0 1 青少年の自立とボランティア活動など社会参加の促進 39.4 2 健全な成長を阻害する有害情報(不健全図書、インターネット利用)からの青少年の保護 10.6 3 健全育成の担い手である地区委員などの育成 10.6 4 非行からの立ち直り支援 6.7 5 その他(具体的に) 6.7 無回答 < n = 104 >
「13 環境対策」を選んだ方	28.9 1 気候変動対策(省エネルギーの推進や自然エネルギーの活用) 5.5 2 ディーゼル車規制など自動車公害対策、大気汚染の改善 8.0 3 騒音・振動の防止対策 4.7 4 有害化学物質対策 22.4 5 豊かな自然や生物多様性の保全 4.5 6 東京湾や河川の水質改善 20.1 7 ごみ減量・リサイクル、産業廃棄物の適正処理 1.5 8 その他(具体的に) 4.5 無回答 < n = 402 >

問14で選ばれた「都に力を入れて取り組んでほしいこと」	〔問14-1 分野別要望〕(○はそれぞれ1つ)
「14 高齢者対策」を選んだ方	23.3 1 介護保険サービスの質的向上 12.7 2 訪問介護・通所介護等在宅サービスの充実 18.6 3 特別養護老人ホーム等施設サービスの充実 16.2 4 サービス付き高齢者向け住宅等高齢者が自立するための住まいの確保 8.5 5 介護予防及び高齢期の健康づくり 13.1 6 高齢者が活躍できる地域づくりの促進 1.8 7 その他(具体的に) 5.8 無回答 < n =896 >
「15 障害者(児)対策」を選んだ方	6.2 1 ショートステイ・通所等在宅サービスの充実 13.9 2 障害者支援施設等施設サービスの充実 9.8 3 グループホーム等障害者が自立するための住まいの確保 34.5 4 障害者の社会参加・障害者への理解の促進 25.3 5 障害者の就労支援 5.2 6 その他(具体的に) 5.2 無回答 < n =194 >
「16 少子化・虐待防止などの子供対策」を選んだ方	26.4 1 児童虐待防止対策の推進 12.2 2 多様なニーズに対応した保育サービスの充実 10.5 3 ひとり親家庭への支援 5.0 4 児童館、学童クラブなど放課後対策の充実 23.9 5 子育て家庭への支援や相談の充実 16.4 6 妊娠・出産に対する支援 1.7 7 その他(具体的に) 3.9 無回答 < n =640 >
「17 医療・衛生対策」を選んだ方	19.1 1 医療施設の整備 13.7 2 救急医療体制の整備 3.9 3 がん予防・医療対策 31.4 4 安心できる医療の確保 1.2 5 生活習慣病予防対策 20.7 6 新型コロナウイルスやエイズ等感染症対策 2.0 7 花粉症などのアレルギー対策 1.9 8 食品の安全対策 1.1 9 その他(具体的に) 5.0 無回答 < n =996 >
「18 まちづくりの推進」を選んだ方	16.7 1 まちのバリアフリー化 31.6 2 再開発などのまちづくり推進 15.8 3 良好な景観づくりの推進 27.8 4 みどり豊かな都市空間への取組 3.3 5 その他(具体的に) 4.8 無回答 < n =209 >
「19 公園・緑地・水辺の整備」を選んだ方	16.6 1 道路・河川の緑化の推進 56.4 2 公園・緑地の整備 17.6 3 親しめる水辺空間の創造 4.8 4 その他(具体的に) 4.5 無回答 < n =289 >

問14で選ばれた「都に力を入れて取り組んでほしいこと」	〔問14-1 分野別要望〕（○はそれぞれ1つ）
「20 水道・下水道の整備・維持」を選んだ方	21.9 1 水道の安定供給 18.7 2 安全でおいしい水の供給 37.5 3 大雨による浸水被害対策 14.5 4 良好な水循環の確保 3.9 5 その他（具体的に) 3.5 無回答 < n =283 >
「21 道路交通網の整備」を選んだ方	12.8 1 幹線道路の整備 26.2 2 生活に密着した道路の整備 19.8 3 道路と鉄道との立体交差の推進 28.9 4 歩道の設置・拡幅 4.8 5 その他（具体的に) 7.5 無回答 < n =187 >
「22 都営交通の整備」を選んだ方	38.3 1 利用者サービスの向上 13.5 2 環境に配慮した車両や施設・設備の導入 14.2 3 安全・安心の確保 8.5 4 施設や車両のバリアフリー化 19.9 5 その他（具体的に) 5.7 無回答 < n =141 >
「23 土地・住宅対策」を選んだ方	12.5 1 公共住宅の供給 10.5 2 子育て世帯への住宅支援 12.5 3 高齢者・障害者向け住宅対策 6.0 4 住宅の耐震性確保 31.9 5 住宅（持家・賃貸）の価格対策 2.0 6 住宅における省エネ化・CO2削減対策 2.0 7 住宅の売買やリフォーム、賃貸借に関するトラブル対策 10.5 8 マンションの管理等に対する支援（管理・改修・建替など） 8.1 9 その他（具体的に) 4.0 無回答 < n =248 >
「24 学校教育の充実」を選んだ方	29.3 1 個性を生かす学校教育の充実 34.8 2 教員の資質向上・職場環境の整備 11.3 3 学校施設の整備 16.3 4 いじめ・不登校対策 4.4 5 その他（具体的に) 3.9 無回答 < n =362 >
「25 生涯学習、社会教育の振興」を選んだ方	58.6 1 学習機会の充実 20.2 2 施設の充実 15.2 3 情報提供の充実 4.0 4 その他（具体的に) 2.0 無回答 < n =99 >

問14で選ばれた「都に力を入れて取り組んでほしいこと」	〔問14-1 分野別要望〕(○はそれぞれ1つ)
「26 文化・芸術の振興」を選んだ方	10.0 1 都立文化施設の魅力の向上 45.8 2 文化・芸術活動の支援や人材育成 18.4 3 伝統文化の継承と発展 11.4 4 文化財・歴史的建築物の保存・整備 7.0 5 文化事業の実施 6.0 6 その他(具体的に) 1.5 無回答 < n =201 >
「27 スポーツ・レクリエーションの振興」を選んだ方	47.8 1 施設の充実 17.8 2 スポーツ・レクリエーション活動への支援 5.6 3 競技スポーツの振興 4.4 4 スポーツを支える人材(ボランティアや指導者など)の育成 2.2 5 障害者スポーツの振興 16.7 6 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向けた取組 4.4 7 その他(具体的に) 1.1 無回答 < n =90 >
「28 多文化共生社会の推進」を選んだ方	31.7 1 在住外国人への生活サポート、情報提供、相談体制の充実 1.2 2 やさしい日本語の普及啓発 52.4 3 多様な価値観を受け入れる意識の醸成 3.7 4 在住外国人に対する防災知識の普及 7.3 5 その他(具体的に) 3.7 無回答 < n =82 >
「29 その他」を選んだ方	18.5 1 人権尊重 - 2 平和意識の高揚 3.7 3 農林水産業振興 - 4 港湾整備 3.7 5 市場の整備・運営 3.7 6 国際ビジネス環境の整備 63.0 7 その他(具体的に) 7.4 無回答 < n =27 >

【都民のスポーツ活動・障害者スポーツ】

ここからは、随時テーマとして、スポーツ活動・障害者スポーツについてお伺いします。

新型コロナウイルス感染症の拡大以降、日常生活が大きく変化しています。都では、“誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも、スポーツを楽しみ、スポーツの力で人と都市が活性化する「スポーツ都市東京」を実現する”ことを目指しています。この実現に向けて、スポーツ・運動に対する皆様の意識を伺います。

(全員の方に)

問15 あなたが、この1年間※に実施したスポーツや運動があれば、次の中からいくつでもお選びください。なお、ここでいう「スポーツ」や「運動」には、ルールに基づいて勝敗や記録を競うスポーツや運動だけでなく、散歩、体操をはじめ、健康づくりのために、目的を持って自主的に行う身体活動を広く含めます。(〇はいくつでも) <n=2,273>

※新型コロナウイルス感染症による影響を受ける前の期間も含めた過去1年間(令和元年9月頃 から令和2年9月頃まで)でお答えください。

〔比較的軽いスポーツ・運動〕 ※〔イメージ〕自宅(テレワーク期間中を含む)、職場(休憩時間を含む)、近所、運動教室等で日常的に行うことができる身体活動

- 68.3 1 ウォーキング、散歩(散策、ペットの散歩、意識的な階段利用などを含む)
- 42.5 2 体操(ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エクササイズ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、縄跳び、腕立て伏せやスクワットなど筋力トレーニングを含む)
- 12.2 3 軽い球技(キャッチボール、卓球、ドッジボール、バドミントン、テニス、バレーボール、サッカー、フットサル、ボッチャなど)
- 7.3 4 軽い水泳(水中歩行・水中運動を含む)
- 12.3 5 ランニング(ジョギング)
- 4.6 6 ボウリング
- 13.7 7 室内運動器具(ウエイト器具、ランニングマシン、バランスボールなど)を使ってする運動
- 5.5 8 ダンス(フォークダンス、ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、民謡踊り、車いすダンスを含む)
- 1.9 9 ゲートボール、グラウンドゴルフなどゴルフ型スポーツ
- 0.4 10 スポーツ吹矢、フライングディスクなどのニュースポーツ
- 2.0 11 その他の比較的手軽にできるスポーツ・運動・身体活動(具体的に:)

〔趣味等を活かしたスポーツ・運動〕 ※〔イメージ〕自然豊かな場所や環境が整った場所で楽しみながら行う身体活動

- 9.4 12 サイクリング、モーター(サイクル)スポーツ
- 7.6 13 ゴルフ
- 6.5 14 ハイキング、ワンダーフォーゲル、オリエンテーリング、ウォークラリー
- 2.9 15 海水浴(遊泳)
- 5.3 16 スキー、スノーボード
- 4.7 17 釣り

次ページにもあります⇒

(問15で「1 ウォーキング、散歩」～「38 その他の競技的スポーツ」と答えた方に)

問15-2 そのスポーツや運動を全部合わせると頻度はどの程度になりますか。次の中から1つだけお選びください。(〇は1つ) <n=1,985>

※新型コロナウイルス感染症による影響を受ける前の期間も含めた過去1年間(令和元年9月頃から令和2年9月頃まで)を通したおおよその頻度についてお選びください。

30.7 1 週3日以上(年151日以上)	15.5 4 月に1~3日(年12日~50日)	問15-3 へ
19.9 2 週に2日(年101日~150日)	4.8 5 3ヶ月に1~2日(年4日~11日)	
18.6 3 週に1日(年51日~100日)	2.7 6 年に1~3日	
問16へ	2.3 7 わからない → 問16へ	
	5.5 無回答	

(問15で「39 スポーツや運動はしなかった」または、問15-2で「4」～「6」(週に1日未満)と答えた方に)

問15-3 この1年間※に、スポーツや運動を実施した頻度が週に1日に満たなかったのはどのような理由からですか。次の中からいくつでもお選びください。(〇はいくつでも) <n=676>

※新型コロナウイルス感染症による影響を受ける前の期間も含めた過去1年間(令和元年9月頃から令和2年9月頃まで)でお答えください。

45.3 1 仕事や家事・育児が忙しくて 時間がないから	12.7 7 お金がかかるから
3.6 2 体が弱いから	13.5 8 スポーツ・運動が好きではないから
12.1 3 年をとったから	22.3 9 機会がなかったから
11.2 4 身近に場所や施設がないから	6.7 10 病気やケガをしているから
6.5 5 仲間がいないから	18.3 11 面倒だから
0.7 6 指導者がいないから	7.2 12 その他(具体的に:)
	5.2 13 特に理由はない
	6.8 無回答 M. T. =165.4

(全員の方に)

問16 あなたは、新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ・運動をする習慣について、どのような変化がありましたか。次の中から最も近いものを1つだけお選びください。(〇は1つ) <n=2,273>

41.4 1 スポーツ・運動をする頻度が減った
25.3 2 スポーツ・運動をする頻度は変わらない
9.6 3 スポーツ・運動をする頻度が増えた
20.3 4 以前からスポーツ・運動をする習慣がない
3.3 無回答

(全員の方に)

問17 障害者スポーツとは、障害があってもスポーツ活動ができるよう、障害に応じ競技規則や実施方法を変更したり、用具等を用いて障害を補ったりする工夫・適合・開発がされたスポーツのことですが、あなたは、障害者スポーツに関心がありますか。次の中から1つだけお選びください。(○は1つ) <n=2,273>

12.5 1 関心がある	31.4 3 あまり関心がない	} → 問17-1へ
31.1 2 やや関心がある	11.8 4 関心がない	
	10.8 5 わからない	
	2.4 無回答	

(問17で「3 あまり関心がない」「4 関心がない」と答えた方に)

問17-1 あなたが、障害者スポーツに関心がない理由は何ですか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(○はいくつでも) <n=981>

26.1 1 どんな競技があるか知らないから	
20.1 2 競技のルールや見どころがわからないから	
13.9 3 どんな選手がいるか知らないから	
26.5 4 障害者スポーツを身近な場所でやっていないから	
41.1 5 身近に障害者スポーツに関わっている人がいないから	
12.9 6 障害者スポーツについて、メディアで触れる機会が少ないから	
16.9 7 スポーツ自体に興味がないから	
21.8 8 障害者スポーツに興味がないから	
3.0 9 その他(具体的に: _____)	
10.4 10 特に理由はない	
0.4 11 わからない	
0.9 無回答	M. T. =193.1

【フェイスシート】

ここでは、調査結果を統計的に分析するために必要なことをお伺いします。ご協力ください。

F 1 性別 <n=2,273>

46.2	1	男性	52.9	2	女性
			0.9		無回答

F 2 あなたの年齢は、おいくつですか。(○は1つ) <n=2,273>

1.3	1	18・19歳	7.6	6	40～44歳	7.5	11	65～69歳
5.1	2	20～24歳	9.5	7	45～49歳	7.9	12	70～74歳
6.5	3	25～29歳	8.6	8	50～54歳	14.8	13	75歳以上
7.4	4	30～34歳	7.8	9	55～59歳	0.4		無回答
8.0	5	35～39歳	7.6	10	60～64歳			

F 3 あなたの仕事は次のうちどれですか。(○は1つ) <n=2,273>

10.6	1	自営業主	} → F 3-1 へ	17.6	5	無職の主婦・主夫	} → F 4 へ
2.8	2	家族従業 (家業手伝い)		3.5	6	学生	
43.2	3	勤め (全日)	} → F 3-2・ F 3-3 へ	10.6	7	その他の無職	
10.0	4	勤め (短時間)		1.7		無回答	

(F 3で「1 自営業主」「2 家族従業 (家業手伝い)」と答えた方に)

F 3-1 あなたのお仕事の種類を次の中から1つお選びください。(○は1つ) <n=303>

1.0	1	農林漁業	68.0	2	商工・サービス業	28.7	3	自由業
-	4	その他 (具体的に)	2.3				無回答

→ (F 3で「3 勤め (全日)」「4 勤め (短時間)」と答えた方に)

F 3-2 お勤めの方にお伺いします。あなたの働き方に当てはまるものを次の中から1つお選びください。(○は1つ) <n=1,209>

64.3	1	正社員、正規職員	25.7	2	派遣、契約・嘱託・パート・アルバイトなど
			10.0		無回答

▶(F3で「3 勤め(全日)」「4 勤め(短時間)」と答えた方に)

F3-3 お勤めの方にお伺いします。あなたの仕事の内容を次の中から1つお選びください。
(○は1つ) <n=1,209>

9.7 1 経営・管理職	9.7 4 労務・技能職
28.7 2 専門・技術職	23.9 5 販売・サービス職
20.2 3 事務職	- 6 その他(具体的に)
	7.9 無回答

F4 現在のお住まいは、次のうちのどれになりますか。当てはまるものを1つお選びください。
(○は1つ) <n=2,273>

44.1 1 持家(一戸建)
17.4 2 持家(分譲マンションなどの集合住宅)
2.0 3 民間の借家(一戸建)
26.3 4 民間の借家(賃貸マンション・アパートなどの集合住宅)
5.3 5 都市機構(旧公団)・公社・公営の賃貸住宅・アパート
1.5 6 社宅・公務員住宅などの給与住宅
1.0 7 住み込み・寮・寄宿舎など
1.8 8 その他(具体的に)
0.6 無回答

F5 あなたは、結婚していらっしゃいますか。(○は1つ) <n=2,273>

28.4 1 未婚	→ F6へ	14.9 3 既婚(離別・死別)	→ F6へ
56.2 2 既婚(配偶者あり)	→ F5-1へ	0.5 無回答	

(F5で「2 既婚(配偶者あり)」と答えた方に)

F5-1 ご夫婦ともに働いていらっしゃいますか。(○は1つ) <n=1,277>

52.3 1 はい	47.4 2 いいえ
	0.3 無回答

F6 お子さんは何人いらっしゃいますか。同居・別居は問いません。(亡くなった方は除いてお答えください。)(○は1つ) <n=2,273>

36.6 1 子どもはいない	→ F7へ	10.3 4 3人	
16.5 2 1人		1.2 5 4人	→ F6-1へ
30.1 3 2人		0.3 6 5人以上	
		4.9 無回答	

(F6で「2 1人」～「6 5人以上」と答えた方に)

F6-1 お子さんの現在の成長段階について教えてください。すべてのお子さんについて当てはまるものをお選びください。(○はいくつでも) <n=1,329>

4.4 1	乳児 (0歳)	7.8 6	高校生
9.0 2	1～3歳	8.7 7	大学生・大学院生
7.8 3	4歳以上で小学校入学前	51.1 8	学校教育終了
14.1 4	小学生	8.6 9	その他 (具体的に)
8.0 5	中学生	5.0	無回答 M. T. =119.3

F7 今、一緒に暮らしているご家族は、あなたを含めて何人ですか。(○は1つ) <n=2,273>

21.7 1	1人	5.6 5	5人
30.0 2	2人	1.5 6	6人
21.8 3	3人	1.2 7	7人以上
16.0 4	4人	2.1	無回答

F8 あなたは、生まれてからずっとこの地域にお住まいですか。それとも他の地域からいらしたのですか。(○は1つ) <n=2,273>

24.3 1	生まれてからずっとこの地域に住んでいる (一時的にこの地域を離れた人も含む)	75.6 2	他の地域からきた
		0.1	無回答

F9 あなたは、この地域にお住まいになってから何年になりますか。(○は1つ) <n=2,273>

3.4 1	1年未満	10.2 5	10～15年未満
9.1 2	1～3年未満	7.1 6	15～20年未満
6.0 3	3～5年未満	16.1 7	20～30年未満
9.2 4	5～10年未満	38.6 8	30年以上
		0.3	無回答

F10 あなたは、生まれてからずっと東京にお住まいですか。それとも、東京以外からいらしたのですか。(○は1つ) <n=2,273>

46.1 1	生まれてからずっと東京に住んでいる (一時的に東京を離れた人も含む)	53.6 2	東京以外からきた
		0.4	無回答

F11 東京都にお住まいになってから何年になりますか。(○は1つ) <n=2,273>

1.5	1	1年未満	6.0	5	10～15年未満
3.2	2	1～3年未満	6.1	6	15～20年未満
2.7	3	3～5年未満	15.0	7	20～30年未満
5.8	4	5～10年未満	59.4	8	30年以上
			0.3		無回答

F12 お宅さま全体の昨年1年間の収入(世帯年収)はおよそどのくらいでしたか。
(○は1つ) <n=2,273>

9.8	1	200万円未満	6.7	7	900～1,100万円未満
12.1	2	200～300万円未満	4.1	8	1,100～1,300万円未満
12.2	3	300～400万円未満	2.6	9	1,300～1,500万円未満
11.1	4	400～500万円未満	2.9	10	1,500～2,000万円未満
14.7	5	500～700万円未満	2.0	11	2,000万円以上
10.3	6	700～900万円未満	9.4	12	わからない
			2.1		無回答

F13 あなたはインターネットを利用していますか。(○は1つ) <n=2,273>

63.5	1	よく利用している	5.7	3	あまり利用していない
12.5	2	ときどき利用している	16.6	4	利用していない
			1.7		無回答

付 属 資 料

東京都では、世論調査を開始して以来、毎年様々な項目について世論調査を実施しているが、その一部については経年変化をみるため、同一項目を毎年継続調査している。

そこで、比較的長期にわたって調査している項目について、毎年変化を追えるように付属資料としてまとめた。

※「暮らしむきの変化」については、消費者物価上昇率、景気の動向など主な経済・社会の変化を合わせて掲載した。

表1 暮らしの余裕

	n	余裕がある (計)							余裕がない (計)			わからない	無回答
		十分余裕がある	今の暮らしで余裕がある	あればまあまあ	今の暮らしで余裕がある	余裕がまだ余り	きつてもやり	今の暮らしで	余裕がない	余裕がまだ余り	きつてもやり		
昭和47年	(2,291)	53.5	4.7	48.8	43.5	39.7	3.8	3.0	-	-	-	-	
48	(2,186)	44.5	2.1	42.4	54.2	44.4	9.8	1.3	-	-	-	-	
49	(2,168)	35.5	1.9	33.6	63.8	45.6	18.2	0.8	-	-	-	-	
50	(2,191)	45.1	2.4	42.7	53.0	44.8	8.2	1.9	-	-	-	-	
51	(2,181)	43.1	2.3	40.8	55.3	45.3	10.0	1.6	-	-	-	-	
52	(2,210)	48.2	3.3	44.9	50.1	41.5	8.6	1.5	-	-	-	-	
53	(2,268)	53.9	3.2	50.7	45.4	39.2	6.2	0.7	-	-	-	-	
54	(2,104)	52.4	3.4	49.0	46.4	39.8	6.6	1.2	-	-	-	-	
55	(2,193)	50.8	3.0	47.8	47.8	40.3	7.5	1.5	-	-	-	-	
56	(2,202)	47.6	4.0	43.6	50.6	41.6	9.0	1.9	-	-	-	-	
57	(2,172)	49.1	3.6	45.5	49.6	42.6	7.0	1.3	-	-	-	-	
58	(2,150)	51.2	3.4	47.8	47.3	39.7	7.6	1.5	-	-	-	-	
59	(2,165)	56.3	4.2	52.1	42.0	36.7	5.3	1.7	-	-	-	-	
60	(2,188)	57.2	4.8	52.4	41.7	36.4	5.3	1.1	-	-	-	-	
61	(2,178)	55.2	4.4	50.8	43.6	38.2	5.4	1.2	-	-	-	-	
62	(2,209)	53.9	5.2	48.7	45.0	40.0	5.0	1.1	-	-	-	-	
63	(2,143)	54.8	4.4	50.4	44.0	38.3	5.7	1.2	-	-	-	-	
平成元年	(2,219)	57.1	5.5	51.6	41.9	37.6	4.3	0.9	-	-	-	-	
2	(2,230)	59.1	5.4	53.7	40.4	35.7	4.7	0.5	-	-	-	-	
3	(2,106)	59.0	5.2	53.8	40.5	36.1	4.4	0.6	-	-	-	-	
4	(2,107)	62.6	5.3	57.3	37.0	33.2	3.8	0.4	-	-	-	-	
5	(2,111)	57.9	5.0	52.9	41.7	36.0	5.7	0.4	-	-	-	-	
6	(2,136)	58.2	4.6	53.7	41.4	36.4	5.1	0.3	-	-	-	-	
7	(2,190)	60.7	5.9	54.8	39.0	33.8	5.2	0.2	-	-	-	-	
8	(2,115)	58.9	5.3	53.6	40.8	35.3	5.5	0.4	-	-	-	-	
9	(2,165)	57.6	4.6	53.1	41.7	36.3	5.4	0.6	-	-	-	-	
10	(2,132)	53.9	4.3	49.7	44.9	36.8	8.1	1.2	-	-	-	-	
11	(2,074)	56.8	5.1	51.7	42.6	35.4	7.2	0.6	-	-	-	-	
12	(2,115)	57.3	5.8	51.5	42.1	34.7	7.4	0.6	-	-	-	-	
13	(2,124)	52.1	4.1	48.0	46.0	37.1	8.9	1.9	-	-	-	-	
14	(2,132)	52.1	3.8	48.2	45.5	37.6	7.9	2.4	-	-	-	-	
15	(1,873)	50.3	4.2	46.2	47.5	38.1	9.5	2.1	-	-	-	-	
16	(1,857)	44.3	2.9	41.4	53.2	42.1	11.1	2.5	-	-	-	-	
17	(2,031)	49.7	4.3	45.4	48.6	38.3	10.3	1.7	-	-	-	-	
18	(2,081)	48.6	3.7	44.8	50.3	41.1	9.2	1.2	-	-	-	-	
19	(2,084)	46.7	3.1	43.6	51.3	41.8	9.5	2.0	-	-	-	-	
20	(2,030)	46.9	3.0	43.9	51.2	41.1	10.0	1.9	-	-	-	-	
21	(2,025)	42.5	2.8	39.7	56.6	46.4	10.2	0.9	-	-	-	-	
22	(2,013)	45.9	4.0	41.9	53.4	45.4	8.0	0.7	-	-	-	-	
23	(2,009)	49.2	4.0	45.2	48.3	40.5	7.8	2.5	-	-	-	-	
24	(2,002)	48.3	3.6	44.7	49.3	41.0	8.3	2.4	-	-	-	-	
25	(2,010)	48.8	4.8	43.9	48.7	41.2	7.4	2.6	-	-	-	-	
26	(1,850)	50.4	4.5	45.9	48.9	40.4	8.4	0.7	-	-	-	-	
27	(1,900)	49.8	3.6	46.2	49.3	41.7	7.6	0.9	-	-	-	-	
28	(1,805)	51.9	4.7	47.1	47.2	40.1	7.1	0.9	-	-	-	-	
29	(1,810)	54.9	5.4	49.6	43.0	36.7	6.3	2.1	-	-	-	-	
30	(1,856)	54.3	5.2	49.1	44.9	38.1	6.8	0.8	-	-	-	-	
令和元年	(1,845)	53.7	5.9	47.9	45.6	39.6	6.0	0.7	-	-	-	-	
2	(2,273)	50.5	5.7	44.8	48.0	40.9	7.2	1.5	-	-	-	-	

(注1)『余裕がある(計)』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあ」の合計『余裕がない(計)』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計
(注2)平成9年までは「都市生活に関する世論調査」
(注3) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

表2 これからの暮らしむき

	n	楽になる(計)		変わらない	苦しくなる(計)		わからない	無回答		
		かなり楽になる	やや楽になる		やや苦しくなる	かなり苦しくなる				
昭和56年	(1,099)	8.3	1.0	7.3	60.6	31.1	26.9	4.2	-	-
57	(1,083)	7.3	0.8	6.5	55.3	36.4	31.8	4.6	1.0	-
58	(1,110)	6.1	0.6	5.5	55.0	34.8	29.9	4.9	4.1	-
59	(1,199)	6.7	0.5	6.2	65.0	28.1	25.1	3.0	0.2	-
60	(2,134)	9.0	1.0	8.0	63.7	26.6	23.0	3.6	0.7	-
61	(2,143)	8.3	0.7	7.6	63.1	28.7	23.8	4.9	-	-
62	(2,119)	9.1	0.7	8.4	61.9	29.0	24.9	4.1	-	-
63	(2,029)	8.8	1.1	7.7	66.8	24.3	21.4	2.9	-	-
平成元年	(2,106)	7.2	0.7	6.5	67.4	25.4	22.7	2.7	-	-
2	(2,157)	9.9	1.0	8.9	68.4	21.6	20.3	1.3	-	-
3	(2,207)	9.8	1.0	8.7	67.6	22.4	19.4	3.0	0.1	-
4	(2,132)	7.7	1.0	6.7	58.5	33.9	26.3	7.6	-	-
5	(2,117)	7.9	0.7	7.2	58.9	33.3	24.0	9.3	-	-
6	(2,123)	7.8	0.6	7.2	62.8	29.3	23.4	5.9	-	-
7	(2,190)	8.3	0.5	7.9	61.7	28.9	25.2	3.7	1.1	-
8	(2,115)	8.7	0.4	8.2	56.2	33.7	29.3	4.4	1.5	-
9	(2,165)	5.6	0.6	5.0	52.3	40.7	36.3	4.5	1.4	-
10	(2,132)	3.5	0.4	3.0	49.3	44.2	37.6	6.6	3.0	-
11	(2,074)	5.8	0.4	5.4	56.8	34.8	30.4	4.4	2.6	-
12	(2,115)	6.5	0.8	5.7	59.5	31.5	26.9	4.6	2.5	-
13	(2,124)	2.9	0.3	2.6	46.2	44.5	35.4	9.1	6.4	-
14	(2,132)	4.7	0.5	4.2	50.7	38.4	30.0	8.4	6.2	-
15	(1,873)	4.1	1.0	3.2	47.6	40.5	30.5	10.0	7.7	-
16	(1,857)	4.1	0.2	3.9	51.3	35.3	25.6	9.7	9.3	-
17	(2,031)	4.3	0.3	4.0	50.1	37.9	29.2	8.7	7.8	-
18	(2,081)	4.8	0.4	4.4	51.4	37.5	28.2	9.3	6.4	-
19	(2,084)	3.9	0.3	3.6	47.8	40.6	31.1	9.5	7.6	-
20	(2,030)	2.3	0.1	2.2	38.1	53.1	40.5	12.5	6.6	-
21	(2,025)	2.8	0.2	2.6	40.0	50.4	35.9	14.5	6.9	-
22	(2,013)	3.2	0.1	3.1	47.1	43.6	32.1	11.5	6.0	-
23	(2,009)	3.6	0.3	3.3	47.9	40.6	31.8	8.8	7.8	-
24	(2,002)	3.1	0.3	2.7	46.9	43.4	33.2	10.2	6.6	-
25	(2,010)	4.3	0.4	3.8	50.6	38.0	29.0	9.1	7.1	-
26	(1,850)	4.5	0.4	4.1	48.7	42.3	32.8	9.5	4.5	-
27	(1,900)	3.9	0.3	3.6	53.2	38.2	29.3	8.8	4.7	-
28	(1,805)	4.4	0.5	3.9	55.8	35.0	28.3	6.7	4.8	-
29	(1,810)	6.2	0.6	5.6	54.2	32.3	25.7	6.6	7.3	-
30	(1,856)	4.4	0.1	4.3	56.3	33.9	27.6	6.3	5.4	-
令和元年	(1,845)	4.8	0.3	4.5	54.5	35.3	29.0	6.3	5.4	-
2	(2,273)	3.3	0.4	2.9	41.7	45.4	34.4	11.0	8.6	0.9

(注1)『楽になる(計)』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計『苦しくなる(計)』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計
(注2) 平成6年までは「都民要望に関する世論調査」、平成7年から平成9年は「都市生活に関する世論調査」
(注3) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

表3 生活満足度

(%)

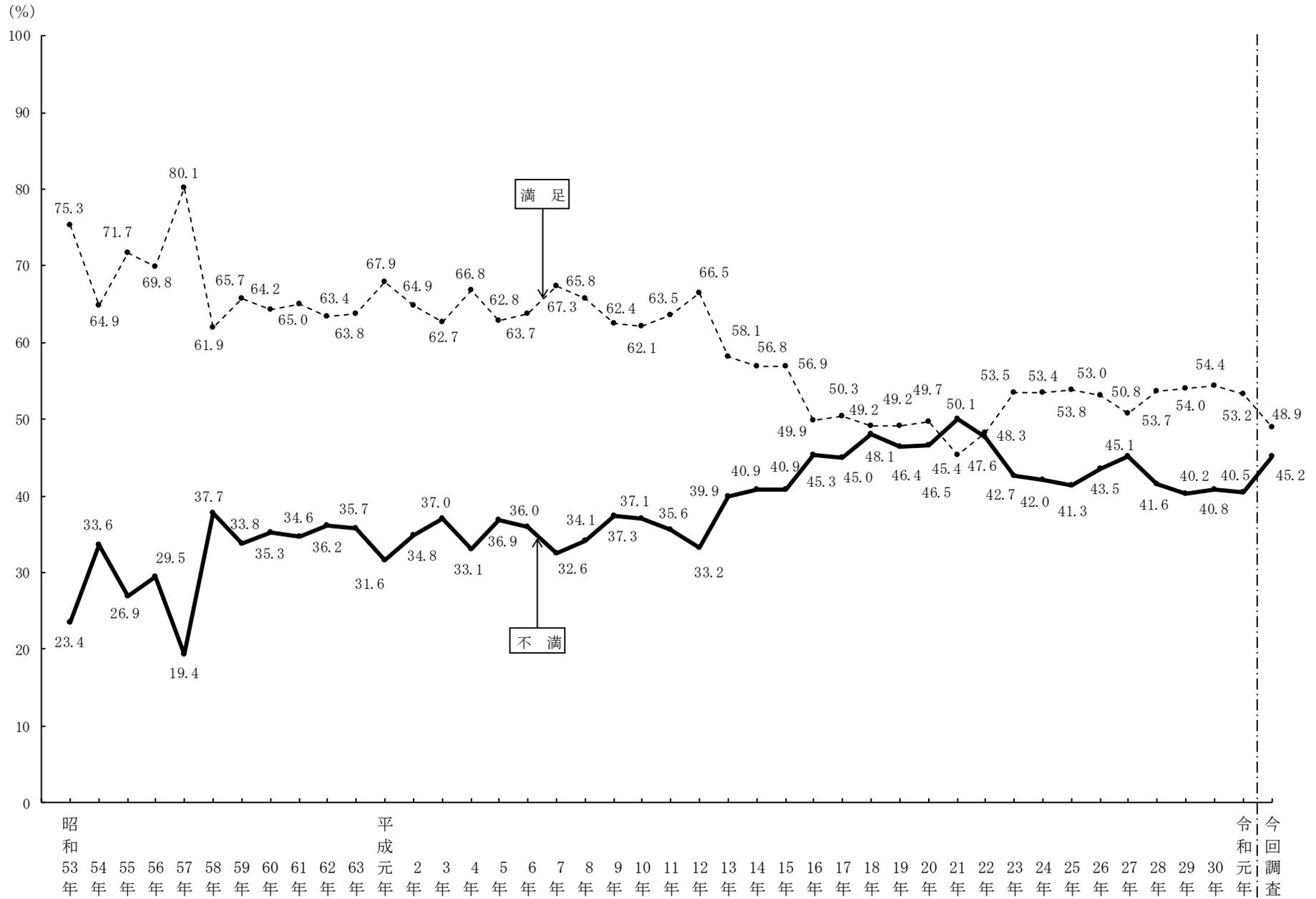
	n	満足 (計)	満足		不満 (計)	不満		わからない	無回答
			大変満足 している	まあ満足 している		やや不満 である	大変不満 である		
昭和53年	(2,268)	75.3	10.8	64.5	23.4	20.5	2.9	1.3	-
54	(2,104)	64.9	5.6	59.3	33.6	27.9	5.7	1.6	-
55	(2,193)	71.7	8.1	63.6	26.9	22.3	4.6	1.4	-
56	(2,202)	69.8	8.7	61.1	29.5	25.2	4.3	0.7	-
57	(2,172)	80.1	15.1	65.0	19.4	17.7	1.7	0.5	-
58	(2,150)	61.9	5.4	56.5	37.7	30.6	7.1	0.4	-
59	(2,165)	65.7	5.4	60.3	33.8	28.9	4.9	0.5	-
60	(2,188)	64.2	7.5	56.7	35.3	30.2	5.1	0.4	-
61	(2,178)	65.0	6.8	58.2	34.6	29.7	4.9	0.4	-
62	(2,209)	63.4	6.8	56.6	36.2	31.5	4.7	0.4	-
63	(2,143)	63.8	7.0	56.8	35.7	30.8	4.9	0.6	-
平成元年	(2,219)	67.9	6.1	61.8	31.6	27.2	4.4	0.5	-
2	(2,230)	64.9	5.2	59.7	34.8	29.1	5.7	0.3	-
3	(2,106)	62.7	6.0	56.7	37.0	31.7	5.3	0.3	-
4	(2,107)	66.8	6.3	60.5	33.1	28.6	4.5	0.1	-
5	(2,111)	62.8	5.6	57.2	36.9	31.1	5.8	0.3	-
6	(2,136)	63.7	6.0	57.6	36.0	30.9	5.1	0.3	-
7	(2,190)	67.3	6.1	61.1	32.6	27.7	4.9	0.2	-
8	(2,115)	65.8	6.5	59.3	34.1	29.0	5.1	0.1	-
9	(2,165)	62.4	4.7	57.7	37.3	32.1	5.1	0.3	-
10	(2,132)	62.1	3.4	58.6	37.1	29.9	7.2	0.8	-
11	(2,074)	63.5	5.9	57.7	35.6	29.7	5.9	0.9	-
12	(2,115)	66.5	4.5	61.9	33.2	27.0	6.1	0.3	-
13	(2,124)	58.1	3.7	54.4	39.9	32.5	7.3	2.1	-
14	(2,132)	56.8	3.4	53.4	40.9	32.5	8.4	2.3	-
15	(1,873)	56.5	3.9	53.0	40.9	31.7	9.2	2.2	-
16	(1,857)	49.9	2.0	47.9	45.3	34.0	11.3	4.7	-
17	(2,031)	50.3	4.2	46.0	45.0	35.6	9.4	4.7	-
18	(2,081)	49.2	3.7	45.6	48.1	37.4	10.6	2.7	-
19	(2,084)	49.2	2.4	46.8	46.4	35.6	10.8	4.4	-
20	(2,030)	49.7	3.2	46.5	46.5	37.0	9.5	3.8	-
21	(2,025)	45.4	2.8	42.6	50.1	37.5	12.6	4.5	-
22	(2,013)	47.6	2.9	44.8	48.3	36.8	11.5	4.1	-
23	(2,009)	53.5	4.0	49.4	42.7	34.1	8.6	3.8	-
24	(2,002)	53.4	3.6	49.9	42.0	33.9	8.0	4.6	-
25	(2,010)	53.8	4.3	49.5	41.3	32.6	8.7	4.9	-
26	(1,850)	53.0	3.6	49.4	43.5	34.0	9.5	3.6	-
27	(1,900)	50.8	3.0	47.8	45.1	35.9	9.1	4.1	-
28	(1,805)	53.7	4.4	49.3	41.6	33.1	8.4	4.8	-
29	(1,810)	54.0	4.5	49.4	40.2	33.3	7.0	5.8	-
30	(1,856)	54.4	4.5	49.9	40.8	33.6	7.2	4.7	-
令和元年	(1,845)	53.2	4.4	48.8	40.5	33.2	7.3	6.3	-
2	(2,273)	48.9	3.1	45.8	45.2	35.6	9.6	4.4	1.5

(注1)『満足(計)』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計
『不満(計)』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

(注2)平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注3)前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

図4 生活満足度

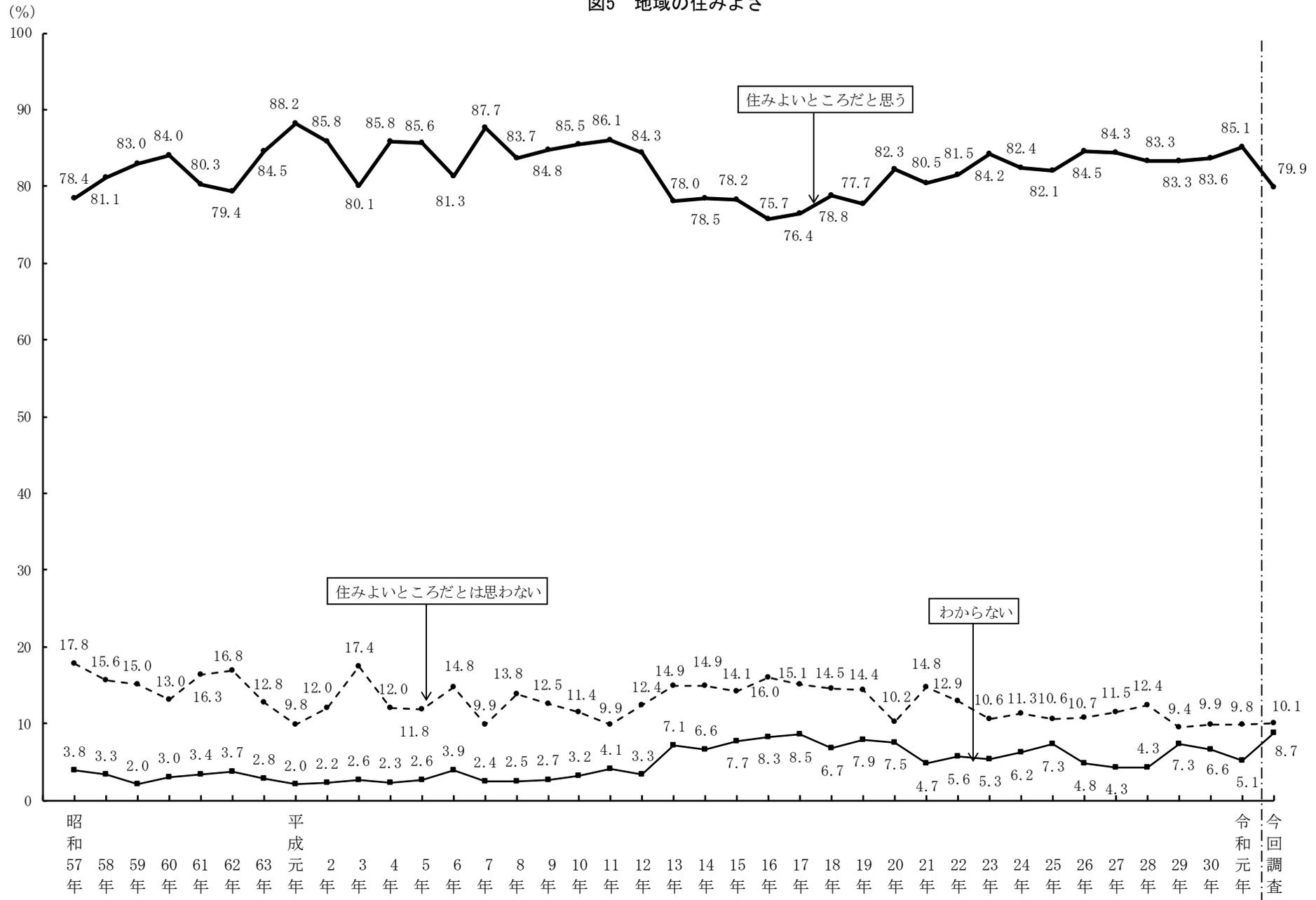


-157-

(注1) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注2) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

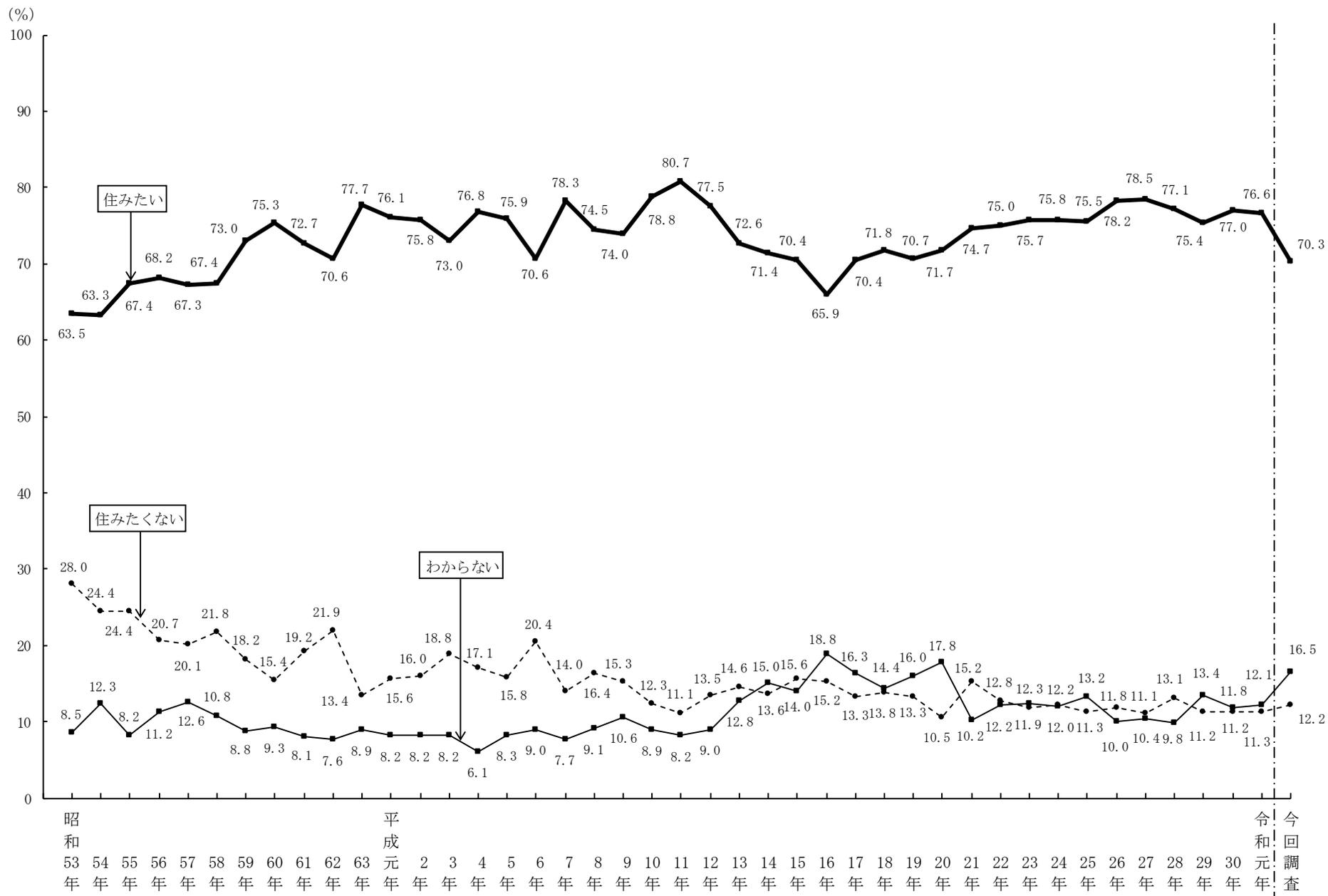
図5 地域の住みよさ



(注1) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注2) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

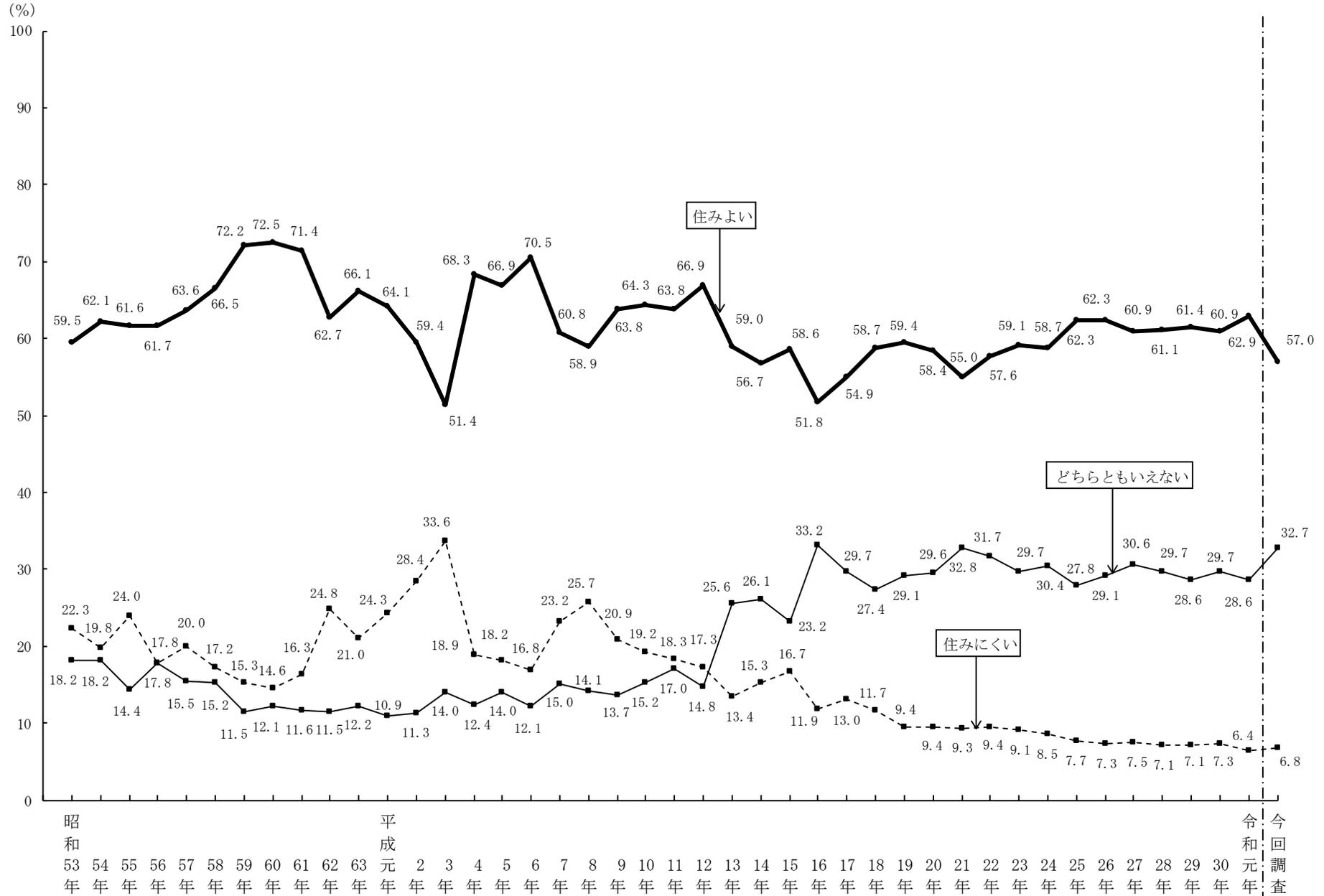
図6 地域定住意向



(注1) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注2) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

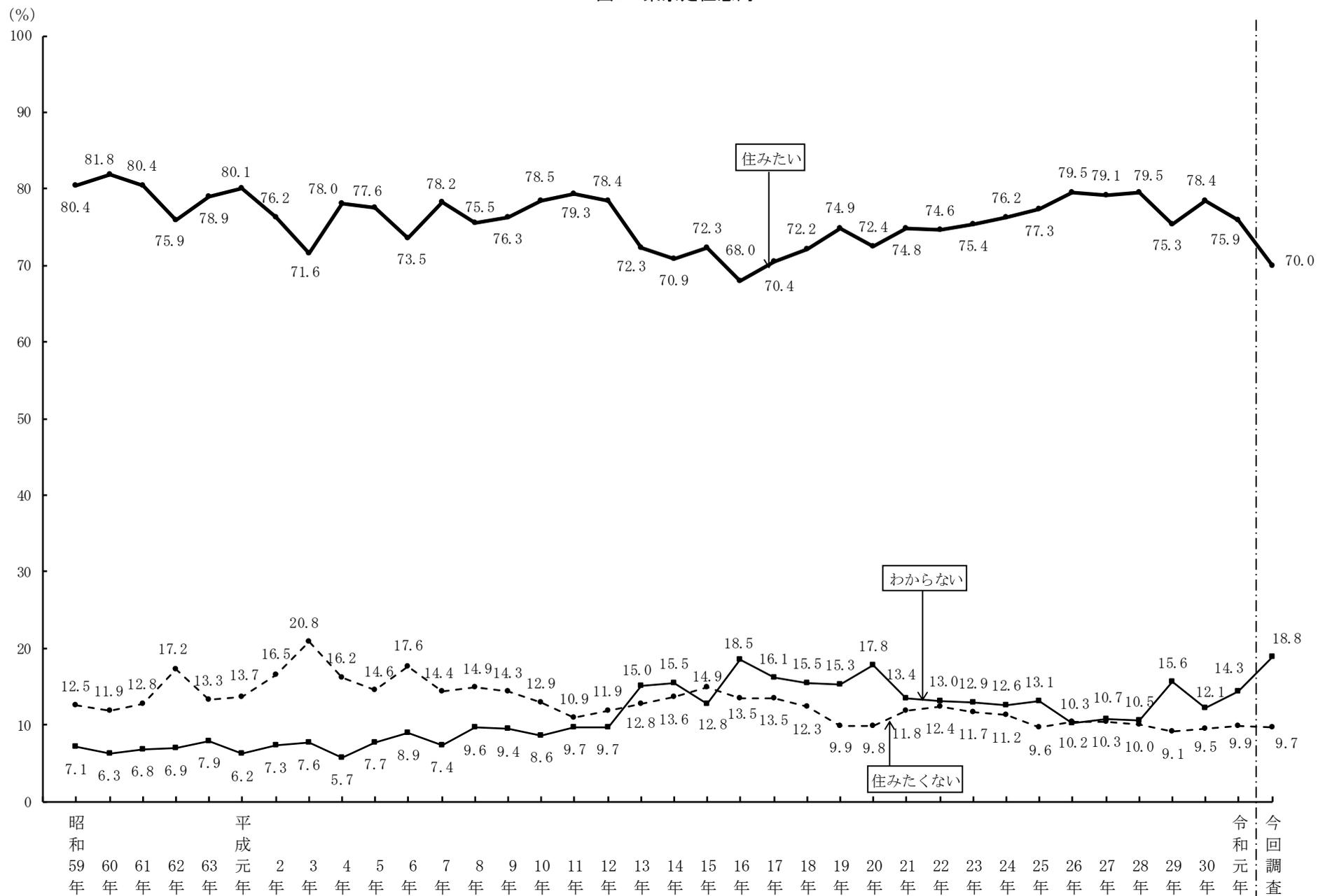
図7 東京の住みよさ



(注1) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注2) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

図8 東京定住意向



(注1) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注2) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

表4 都政への要望（昭和51年～令和2年）

(%)

順位	昭和51年	昭和52年	昭和53年	昭和54年	昭和55年	昭和56年	昭和57年	昭和58年	昭和59年	昭和60年	昭和61年	昭和62年
1	物価・消費者	高齢者	高齢者									
2	住宅	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	高齢者	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生
3	医療・衛生	住宅	住宅	住宅	住宅	老齢者	老齢者	高年齢者	高年齢者	物価・消費者	物価・消費者	物価・消費者
4	公害	老人	老人	老人	老人	住宅	住宅	住宅	学校教育	住宅	公園・緑化	住宅
5	老人	震災	震災	震災	震災	公害	公害	学校教育	公園・緑化	公園・緑化	住宅	公園・緑化
6	交通災害	公害	公害	公害	公害	青少年	公害	防犯	公害	学校教育	学校教育	道路
7	震災	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	震災	学校教育	公園・緑化	住宅	道路	公害	学校教育
8	公園・緑化	交通災害	下水道	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	交通災害	交通災害	公害	心身障害者	心身障害者	公害
9	心身障害者	文道	交通災害	中小企業	青少年	交通災害	防犯	青少年	防犯	生涯教育	防犯	心身障害者
10	ゴミ	下水道	心身障害者	交通災害	交通災害	心身障害者	青少年	心身障害者	青少年	公害	心身障害者	上下水道
11	下水道	心身障害者	中小企業	下水道	心身障害者	道路	防犯	交通災害	防犯	青少年	交通災害	都市再開発
12	中小企業	中小企業	中小企業	心身障害者	中小企業	下水道	心身障害者	生涯教育	道路	防犯	中小企業	生涯教育
13	文道	文道	青少年	青少年	青少年	中小企業	中小企業	上下水道	交通災害	上下水道	文道	交通災害
14	青少年	青少年	文道	文道	文道	文道	文道	道路	上下水道	交通災害	上下水道	文道
15	道路	道路	文道	文道	文道	文道	文道	道路	防犯	文道	青少年	防犯
16	都営交通	都営交通	都営交通	都営交通	都営交通	都営交通	生涯教育	中小企業	中小企業	防犯	生涯教育	青少年
17	婦人	婦人	婦人	上水道	婦人	婦人	文道	文道	都市再開発	文道	都市再開発	中小企業
18	上水道	上水道	上水道	婦人	上水道	上水道	都市再開発	都市再開発	生涯教育	中小企業	防犯	防犯
19	—	—	—	—	—	—	婦人	文化・芸術	勤労者	文化・芸術	文化・芸術	文化・芸術
20	—	—	—	—	—	—	婦人	文化・芸術	勤労者	文化・芸術	勤労者	勤労者
21	—	—	—	—	—	—	都営交通	勤労者	婦人	都営交通	都営交通	婦人
22	—	—	—	—	—	—	勤労者	都営交通	都営交通	勤労者	勤労者	都営交通
23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 回答項目について、昭和57年調査で、新たに若干の施策を加えるとともに一部表現を変更し、平成3年から新たに「国際交流の推進」を加えたので、過去の調査との比較は、この点を留意する必要があります。なお、平成元年から「婦人」は「女性」に、平成2年から「生涯教育」を「生涯学習」に表現を変えている。

(%)

順位	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年
1	高齢者	高齢者										
2	物価・消費者	物価・消費者	医療・衛生	医療・衛生	物価・消費者	物価・消費者	物価・消費者	物価・消費者	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	物価・消費者
3	住宅	医療・衛生	物価・消費者	物価・消費者	住宅	住宅	住宅	住宅	物価・消費者	物価・消費者	環境	医療・衛生
4	医療・衛生	住宅	住宅	住宅	物価・消費者	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅	環境	環境
5	公園・緑化	公害	住宅	物価・消費者	物価・消費者							
6	道路	公園・緑化	道路	公園・緑化	公園・緑化	公害	公園・緑化	道路	医療・衛生	防犯	住宅	防犯
7	公害	道路	公園・緑化	公害	道路	道路	公害	公害	公園・緑化	公害	学校教育	学校教育
8	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	防犯	公園・緑化	公園・緑化	防犯
9	防犯	文道	学校教育	心身障害者	学校教育	心身障害者	心身障害者	心身障害者	道路	道路	学校教育	少年化・子ども
10	心身障害者	心身障害者	心身障害者	学校教育	防犯	学校教育	交通災害	公害	学校教育	学校教育	防犯	障害者
11	交通災害	防犯	交通災害	交通災害	心身障害者	防犯	学校教育	都市再開発	心身障害者	心身障害者	道路	防犯
12	都市再開発	防犯	都市再開発	都市再開発	交通災害	生涯学習	生涯学習	学校教育	交通災害	交通災害	中小企業	自動車交通
13	青少年	交通災害	都市再開発	上下水道	上下水道	交通災害	都市再開発	青少年	防犯	防犯	自動車交通	公園・緑地・水辺
14	文道	上下水道	防犯	生涯学習	生涯学習	防犯	防犯	心身障害者	生涯学習	生涯学習	障害者	職業・雇用
15	生涯教育	都市再開発	上下水道	防犯	都市再開発	都市再開発	防犯	中小企業	都市再開発	都市再開発	公園・緑地・水辺	道路
16	防犯	青少年	文化・芸術	文化・芸術	青少年	青少年	中小企業	生涯学習	都市再開発	生涯学習	職業・雇用	中小企業
17	上下水道	生涯教育	青少年	防犯	防犯	文化・芸術	勤労者	勤労者	文化・芸術	文化・芸術	青少年	青少年
18	中小企業	中小企業	女性	青少年	中小企業	青少年	上下水道	文化・芸術	中小企業	中小企業	まちづくり	まちづくり
19	文化・芸術	文化・芸術	中小企業	中小企業	都営交通	都営交通	青少年	都営交通	勤労者	勤労者	生涯学習	生涯学習
20	都営交通	都営交通	防犯	女性	女性	文化・芸術	女性	女性	交通災害	女性	都営交通	文化・芸術
21	婦人	女性	勤労者	国際交流	女性	勤労者	都営交通	都営交通	女性	都営交通	都営交通	文化・芸術
22	勤労者	勤労者	都営交通	勤労者	勤労者	勤労者	都営交通	都営交通	国際交流	国際交流	水道・下水道	都営交通
23	—	—	—	勤労者	国際交流	国際交流	国際交流	国際交流	国際交流	国際交流	男女平等	男女平等
24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	国際交流	国際交流

順位	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
1	高齢者	高齢者	医療・衛生	高齢者	治安	治安	治安	治安	治安	治安	治安	防災
2	医療・衛生	医療・衛生	高齢者	医療・衛生	高齢者	防災	高齢者	高齢者	高齢者	医療・衛生	高齢者	治安
3	ごみ・産業廃棄物	環境	環境	環境	医療・衛生	高齢者	防	医療・衛生	医療・衛生	高齢者	医療・衛生	高齢者
4	環境	防犯	消費生活	防犯	環境	環境	環境	環境	消費生活	防犯	防犯	医療・衛生
5	消費生活	学校教育	学校教育	少子化・子ども	交通安全	交通安全	交通安全	交通安全	環境	環境	環境	環境
6	学校教育	自動車交通	防	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活	環境	消費生活	消費生活	消費生活
7	少子化・子ども	消費生活	少子化・子ども	学校教育	防	交通安全	交通安全	交通安全	交通安全	交通安全	交通安全	交通安全
8	防犯	消費生活	消費生活	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	交通安全	交通安全	交通安全
9	防災	廃棄物	防	防	防	青少年	土地・住宅	学校教育	学校教育	少子化・子ども	少子化・子ども	少子化・子ども
10	自動車交通	防	障害者(児)	交通安全	土地・住宅	土地・住宅	学校教育	学校教育	土地・住宅	土地・住宅	土地・住宅	土地・住宅
11	公園・緑地・水辺	土地・住宅	公園・緑地・水辺	土地・住宅	障害者(児)	まちづくり	青少年	青少年	土地・住宅	学校教育	学校教育	学校教育
12	土地・住宅	公園・緑地・水辺	土地・住宅	障害者(児)	まちづくり	青少年	青少年	青少年	公園・緑地・水辺	まちづくり	まちづくり	まちづくり
13	道路	障害者(児)	道路	公園・緑地・水辺	行財政	まちづくり	公園・緑地・水辺	公園・緑地・水辺	公園・緑地・水辺	青少年	青少年	青少年
14	障害者(児)	職業・雇用	交通安全	道路	公園・緑地・水辺	まちづくり	まちづくり	道	道	職業・雇用	職業・雇用	職業・雇用
15	青少年	職業・雇用	職業・雇用	職業・雇用	公園・緑地・水辺	道	職業・雇用	職業・雇用	職業・雇用	公園・緑地・水辺	職業・雇用	文化・芸術
16	中小企業	中小企業	生涯学習	青少年	中小企業	職業・雇用	職業・雇用	道	道	中小企業	中小企業	中小企業
17	職業・雇用	青少年	青少年	中小企業	職業・雇用	職業・雇用	職業・雇用	道	道	職業・雇用	職業・雇用	公園・緑地・水辺
18	職業・雇用	生涯学習	まちづくり	男女平等	男女平等	文化・芸術	障害者(児)	障害者(児)	職業・雇用	中小企業	障害者(児)	都市外交
19	生涯学習	まちづくり	文化・芸術	生涯学習	生涯学習	水道・下水道	水道・下水道	水道・下水道	文化・芸術	障害者(児)	障害者(児)	道路
20	まちづくり	文化・芸術	中小企業	まちづくり	男女平等	生涯学習	生涯学習	文化・芸術	道	文化・芸術	男女平等	男女平等
21	国際交流	水道・下水道	水道・下水道	文化・芸術	都営交通	障害者(児)	男女平等	男女平等	男女平等	男女平等	文化・芸術	障害者(児)
22	都営交通	男女平等	男女平等	水道・下水道	水道・下水道	生涯学習	生涯学習	文化・芸術	文化・芸術	都営交通	都営交通	水道・下水道
23	男女平等	国際交流	行政サービス	都営交通	文化・芸術	都営交通	都営交通	生涯学習・社会教育	生涯学習・社会教育	都営交通	都市外交	男女平等
24	水道・下水道	都営交通	国際交流	行政サービス	都市外交	都市外交	都市外交	都営交通	都営交通	都市外交	都市外交	生涯学習・社会教育
25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

順位	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
1	防災	防災	防災	高齢者	高齢者	防災	高齢者	高齢者	防災
2	治安	治安	治安	治安	防	治安	治安	治安	医療・衛生
3	高齢者	高齢者	高齢者	医療・衛生	治安	高齢者	治安	防	高齢者
4	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	防	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	治安
5	環境	環境	消費生活	交通安全	行財政	行財政	行財政	交通安全	少子化・子供
6	消費生活	交通安全	交通安全	土地・住宅	交通安全	交通安全	環境	少子化・子供	行財政
7	行財政	消費生活	環境	少子化・子供	環境	環境	少子化・子供	環境	消費生活
8	交通安全	土地・住宅	土地・住宅	環境	少子化・子供	少子化・子供	交通安全	行財政	環境
9	少子化・子供	行財政	少子化・子供	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活	学校教育
10	土地・住宅	少子化・子供	行財政	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	交通安全
11	学校教育	学校教育	学校教育	行財政	土地・住宅	土地・住宅	土地・住宅	土地・住宅	公園・緑地・水辺
12	まちづくり	まちづくり	まちづくり	まちづくり	職業・雇用	職業・雇用	職業・雇用	職業・雇用	水道・下水道
13	青少年	青少年	公園・緑地・水辺	道路	中小企業	中小企業	障害者(児)	水道・下水道	職業・雇用
14	職業・雇用	職業・雇用	道路	公園・緑地・水辺	公園・緑地・水辺	公園・緑地・水辺	中小企業	道路	土地・住宅
15	文化・芸術	公園・緑地・水辺	職業・雇用	青少年	道路	道路	公園・緑地・水辺	都営交通	中小企業
16	中小企業	中小企業	水道・下水道	男女平等	障害者(児)	道路	まちづくり	まちづくり	まちづくり
17	公園・緑地・水辺	文化・芸術	青少年	水道・下水道	まちづくり	まちづくり	水道・下水道	障害者(児)	文化・芸術
18	都市外交	道路	男女平等	中小企業	水道・下水道	水道・下水道	男女平等	男女平等	障害者(児)
19	道路	水道・下水道	文化・芸術	文化・芸術	男女平等	まちづくり	中小企業	道	道路
20	障害者(児)	都市外交	文化・芸術	職業・雇用	青少年	男女平等	青少年	公園・緑地・水辺	男女平等
21	水道・下水道	男女平等	障害者(児)	都営交通	都営交通	文化・芸術	青少年	青少年	都営交通
22	男女平等	障害者(児)	障害者(児)	障害者(児)	都市外交	都市外交	文化・芸術	文化・芸術	生涯学習・社会教育
23	生涯学習・社会教育	都営交通	都市外交	生涯学習・社会教育	文化・芸術	文化・芸術	多文化共生	多文化共生	多文化共生
24	都営交通	生涯学習・社会教育	都営交通	都市外交	都営交通	都営交通	生涯学習・社会教育	生涯学習・社会教育	多文化共生
25	都市外交	生涯学習・社会教育	都営交通	都市外交	都営交通	都営交通	生涯学習・社会教育	生涯学習・社会教育	多文化共生
26	市民活動	市民活動	市民活動	市民活動	市民活動	市民活動	市民活動	市民活動	市民活動
27	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興
28	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注1) 平成9年までは「都民要望に関する世論調査」

(注2) 平成10年から選択肢の表現を下記のとおり一部変更・追加した。
「ごみ対策」を「ごみ・産業廃棄物対策」、「公害対策」を「環境対策」、
「住宅対策」を「土地・住宅対策」、「公園・緑化などの環境対策」を「公園・緑地・水辺の整備」、「心身障害者対策」を「障害者対策」、「交通安全対策」を「自動車交通対策」、「都市再開発などの市街地の整備」を「まちづくりの推進」、「女性の地位向上などの推進」を「男女平等の確立」、「上下水道の整備」を「水道・下水道の整備」、「職業訓練・雇用対策など勤労者対策」を「職業能力開発・雇用対策」に変更した。新たに、「少子化・子ども対策」を追加した。

(注3) 平成11年から「都営交通対策」を「都営交通の整備」に表現を変えている。

(注4) 平成12年から「障害者対策」を「障害者(児)対策」、「物価・消費者対策」を「消費生活対策」に表現を変えている。

(注5) 平成13年から「ごみ・産業廃棄物対策」を「廃棄物対策」に表現を変えている。

(注6) 平成14年から新たに、「行政サービスの電子化」を追加した。

(注7) 平成14年から「男女平等の確立」を「男女平等参画の推進」に、「自動車交通対策」を「交通安全対策」に表現を変えている。

(注8) 平成16年から「防犯対策」を「治安対策」に、「少子化・子ども対策」を「少子化・虐待防止などの子ども対策」に、「水道・下水道の整備」を「水道・下水道の整備・維持」に、「国際交流の推進」を「都市外交の推進」に、それぞれ表現を変えている。

(注9) 平成16年から「行政サービスの電子化」は、新たに追加された「行政財政改革」に含めることとし、「廃棄物対策」は、「環境対策」に含めることとした。

(注10) 平成16年から選択可能な数を3つから5つに変更した。

(注11) 平成17年から新たに、「観光振興対策」を追加した。

(注12) 平成19年から「生涯学習・スポーツ・レクリエーションの振興」を「スポーツ・レクリエーションの振興」と「生涯学習・社会教育の振興」に分け、新たに「市民活動の促進」を追加した。

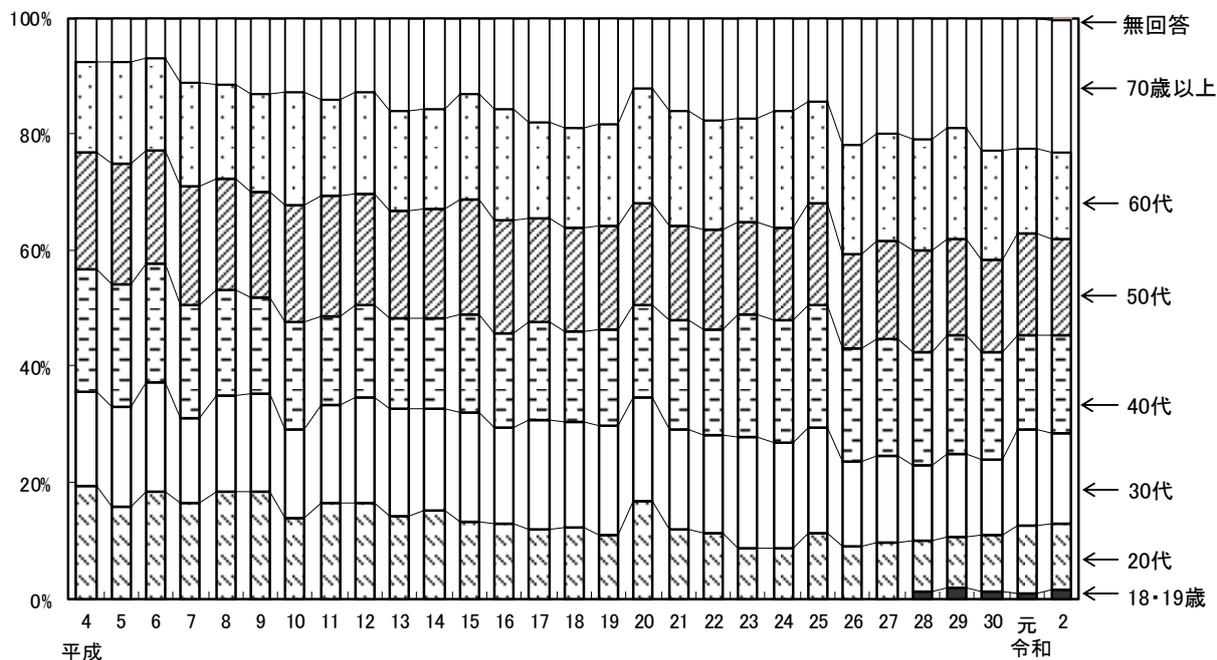
(注13) 平成28年から「行政財政改革」を「行財政」、「市民活動の促進」を「地域活動の推進」に表現を変えている。

(注14) 平成29年から新たに、「多文化共生」を追加した。

(注) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接取法であったが、今回は郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

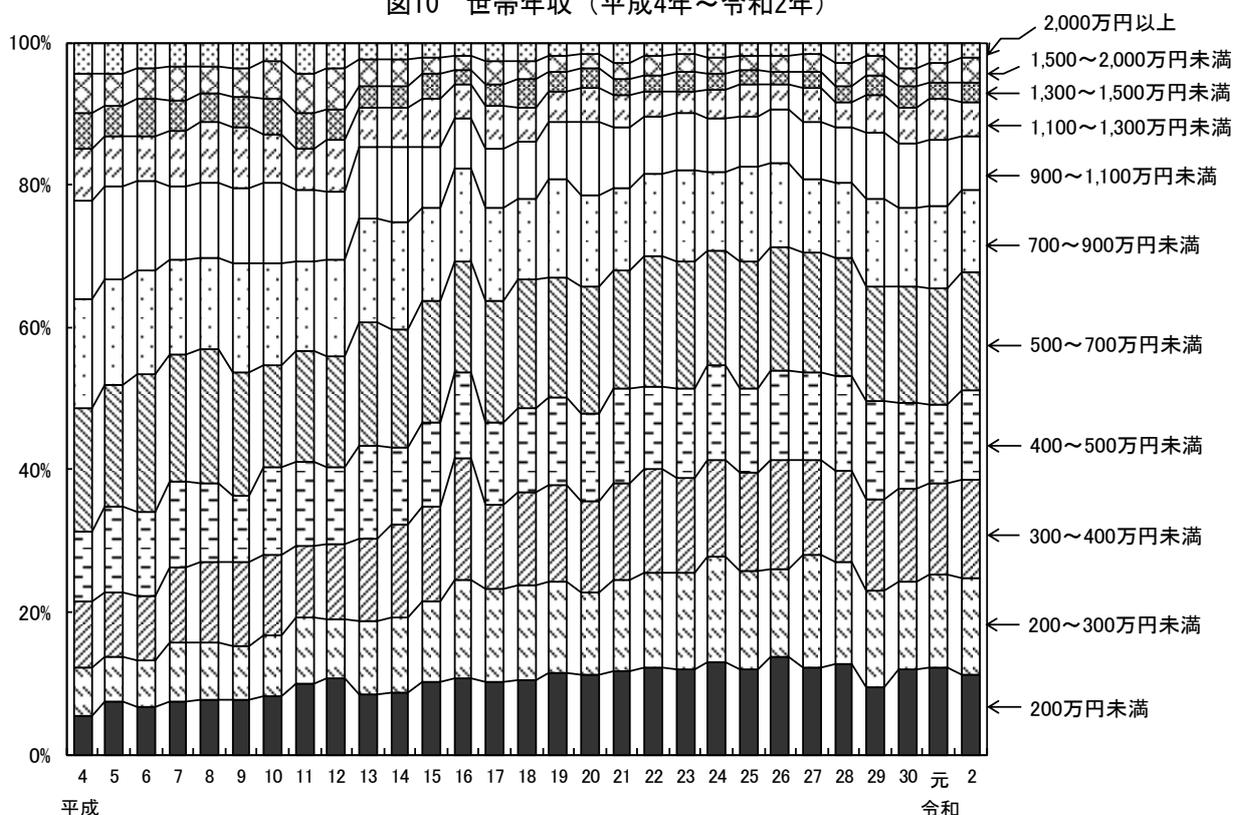
<参考：有効回収標本の年齢構成及び世帯年収の推移>

図9 年齢構成（平成4年～令和2年）



(注) 平成28年から「18・19歳」を追加した

図10 世帯年収（平成4年～令和2年）



(注1) 図9・10とも、各年の有効回収標本（回答者）の構成比を示す。図10は「わからない」「無回答」を除く。

(注2) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注3) 前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

「都民生活に関する世論調査」

登録番号 (2) 34

令和3年1月発行

編集・発行 東京都生活文化局広報広聴部都民の声課
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03(5388)3133

印刷 株式会社 三交社
東京都新宿区市谷砂土原町三丁目4番
電話 03(3267)3641

リサイクル適正®マーク



< お 願 い >

この報告書の内容を引用される場合、その旨を下記にご連絡ください。なお、印刷物の場合はその掲載部分の写しをお送りくだされば幸いです。

**東京都生活文化局
広報広聴部都民の声課調査担当**

〒163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号

電 話 03 (5388) 3133

F A X 03 (5388) 1222

E-mail : S0000010@section.metro.tokyo.jp